
今治市地域福祉計画アンケート調査 (市民アンケート)

調査報告書

令和2年3月

今治市 健康福祉部 福祉政策課

目 次

I	調査概要	1
II	調査結果の概要	2
III	市民アンケート分析結果	4
問1	あなたご自身のこと	4
①	性別	4
②	年齢	4
③	世帯構成	5
④	小学校区	5
⑤	今治市でずっと暮らしてきたか	7
⑥	今治市の居住歴	9
⑦	今後も今治市に住み続けたいか	10
⑧	日常生活の不安	20
問2	福祉への関心	33
問3	福祉への理解	35
問4	近所付き合い	39
問5	近所の手助け	42
問6	手助けできること	47
問7	ボランティア活動への興味・関心	52
問8	ボランティア活動への参加頻度	53
問8-1	参加したボランティア活動	55
問8-2	ボランティア活動に参加できる条件	59
問9	福祉サービスについて	63
問9-1	充実していない分野	65
問10	福祉サービスの利用に必要なこと	67
問11	共生社会の実現に必要な取組	72
問12	社会問題について	78
問13	高齢者等への虐待	101
問14	虐待発生での取組	103
問15	成年後見制度	107
問16	成年後見制度の利用	109
問17	再犯防止	112
問18	社会復帰支援	114
問19	今治市の施策	116
問20	自由意見	121

I 調査概要

I 調査概要

- ・調査名：今治市地域福祉計画アンケート調査
- ・目的：次期今治市地域福祉計画策定の基礎資料とするため、「日常生活での課題」、「地域での助け合い」、「福祉サービス」等の観点から、市民及び団体・事業所に向けてニーズ調査を行いました。
- ・調査期間：令和元年12月～令和2年1月
- ・調査対象者：市民アンケート 18歳以上の市内在住者（無作為抽出）
- ・標本数：市民アンケート 3,000人
- ・配布方法：郵送方式

調査対象者	調査対象者数 (標本数)	回収数	有効回収率
市民アンケート	3,000	1,316	43.9%

2 報告書の見方について

- ・回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、クロス集計では、回答者数（n）は、無回答を除いた数となっています。
- ・グラフ及び表中に「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答条件に沿っていないものを含んでいます。
- ・グラフ及び表中のn（number of case）は、集計対象者総数です。

Ⅱ 調査結果の概要

■市民アンケート

Ⅰ 居住及び日常生活について

今治市民の 8 割の人が、今治市に 30 年以上暮らし続けています。今後の居住意向も 7 割の人が今治市で暮らし続けたいと答えています。

住み続けたい理由は、7 割の人が自分の土地や家があることを挙げていますが、生活環境面を見ると、福祉や医療のサービス、子育て環境、文化・スポーツ環境の面では 3%以下、平成 26 年調査でも少数意見となっています。住み続けたくない理由では、買い物や交通の便が悪いことが挙げられており、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では 7 割の人が不便と答えています。生活環境の質の向上が課題となります。

日常生活の面では、5 割以上の方が不安に感じていることは、「自分や家族の介護」、「災害時の避難訓練」、「健康状態」、「経済的な状況」が挙げられています。地域の格差がみられるのが、日常の買い物や通院などの外出面で、旧越智郡島しょ部では現在困っており、旧越智郡の陸地部と島しょ部ではともに将来に不安を持っています。

2 福祉について

今治市民の 7 割以上の方が、福祉にある程度関心を持っています。福祉への理解を深めるためには、5 割以上の方が「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習する」機会を持つことを挙げています。

3 地域や隣人とのかかわりについて

今治市民の日頃の地域や隣人との付き合いは、8 割の方があいさつ程度と答えています。しかし、75 歳以上の高齢者の 28.9%、旧越智郡島しょ部の 26.7%は、いろいろな事を話し合う関係を持っています。

近所の人に望む手助けは、「安否確認の声かけ」、「災害時の避難支援」が挙げられています。手助けできることでも同じことが挙げられています。家事の手伝いや子どもの預かりなど日常生活でのかかわりはあまり望んでいません。

4 ボランティア活動について

ボランティア活動への興味・関心を持っている人と持っていない人の割合はほぼ半数で、同程度となっています。ボランティア活動への参加の経験は、年に数回あるかないかとごく僅かとなっています。参加したボランティア活動は、7 割の人が「地域の清掃、美化、地域おこし」となっています。高齢者や障がい者への配慮を要する方への支援及び子育て支援への参加は少ない状況です。ボランティア活動への参加の機会を増やすことや配慮を要する人への支援活動を増やすことが課題となります。

5 福祉サービスについて

福祉サービスの充実度については、ある程度充実（充実しているとどちらかと言えば充実しているの合計）していると答えており、平成 26 年度調査から 4.5 ポイント増加しています。充実していない分野が、高齢者に対する福祉で 6 割を超える方が答えています。福祉サービスの利用促進にはサービスの情報提供と利用を支援する窓口が求められています。

住民が自ら取組む支え合いは、5 割以上の方が「近隣住民と日常的な対話や交流を広げる」ことを挙げています。しかし、8 割の方があいさつ程度の近所との付き合いであることから、住民同士の交流や近所づきあいの希薄さを解消する取組が課題となります。

6 社会問題について

社会問題への意識は、生活保護を受けている方への偏見や差別を取り除くこととホームレスの問題は 6 割の方が重要と思い、それ以外の分野は全て 7 割以上の方が重要と思っています。なかでも、地域の防犯対策、災害時の支援体制、高齢者・児童・障がい者等の虐待を防ぐ地域のつながりの 3 つの分野では、そう思う割合が高い分野となっています。

Ⅲ 市民アンケート分析結果

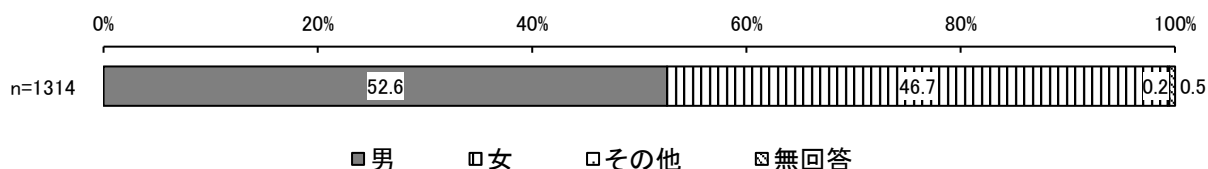
あなたご自身のことについて

問Ⅰ あなたご自身のことについて、おたずねします。【令和2年1月1日現在】

① 性別 ※戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご記入ください。

		(件)
1	男	691
2	女	614
3	その他	2
	無回答	7

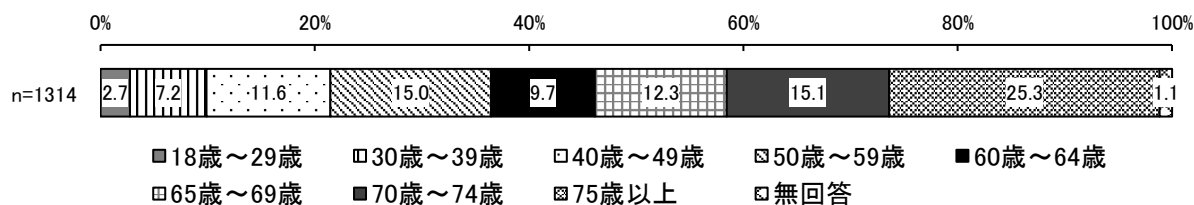
性別をみると、「男性」52.6%「女性」46.7%となっています。



② あなたの年齢を教えてください。

		(件)
1	18～29 歳	36
2	30～39 歳	94
3	40～49 歳	152
4	50～59 歳	197
5	60～64 歳	127
6	65～69 歳	162
7	70～74 歳	199
8	75 歳以上	332
	無回答	15

年齢をみると、40歳未満が9.9%（「18歳～29歳」2.7%、「30歳～39歳」7.2%）、40歳～64歳が36.3%（「40歳～49歳」11.6%、「50歳～59歳」15.0%、「60歳～64歳」9.7%）、65歳～74歳が27.4%（「65歳～69歳」12.3%、「70～74歳」15.1%）、75歳以上が25.3%となっています。

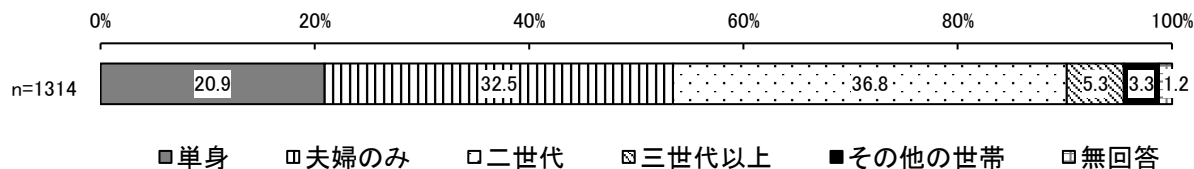


③ あなたの世帯構成を教えてください。

(件)

1	単身世帯(一人暮らし)	275
2	夫婦のみの世帯	427
3	二世世代世帯(親子)	483
4	三世代以上の世帯	70
5	その他の世帯	43
	無回答	16

世帯構成をみると、「単身世帯(一人暮らし)」が20.9%、「夫婦のみの世帯」が32.5%、「二世世代世帯(親子)」が36.8%、「三世代以上の世帯」が5.3%、その他の世帯が3.3%となっています。

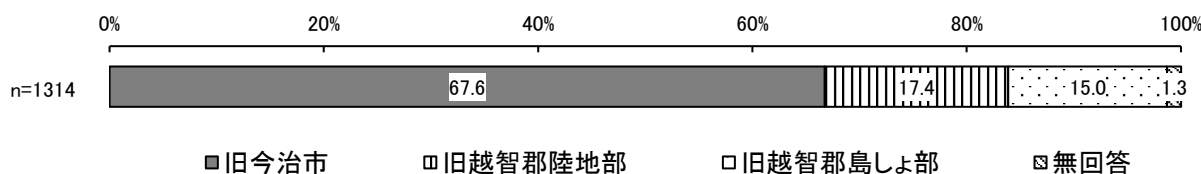


④ あなたの現在のお住まいの小学校区はどこですか。

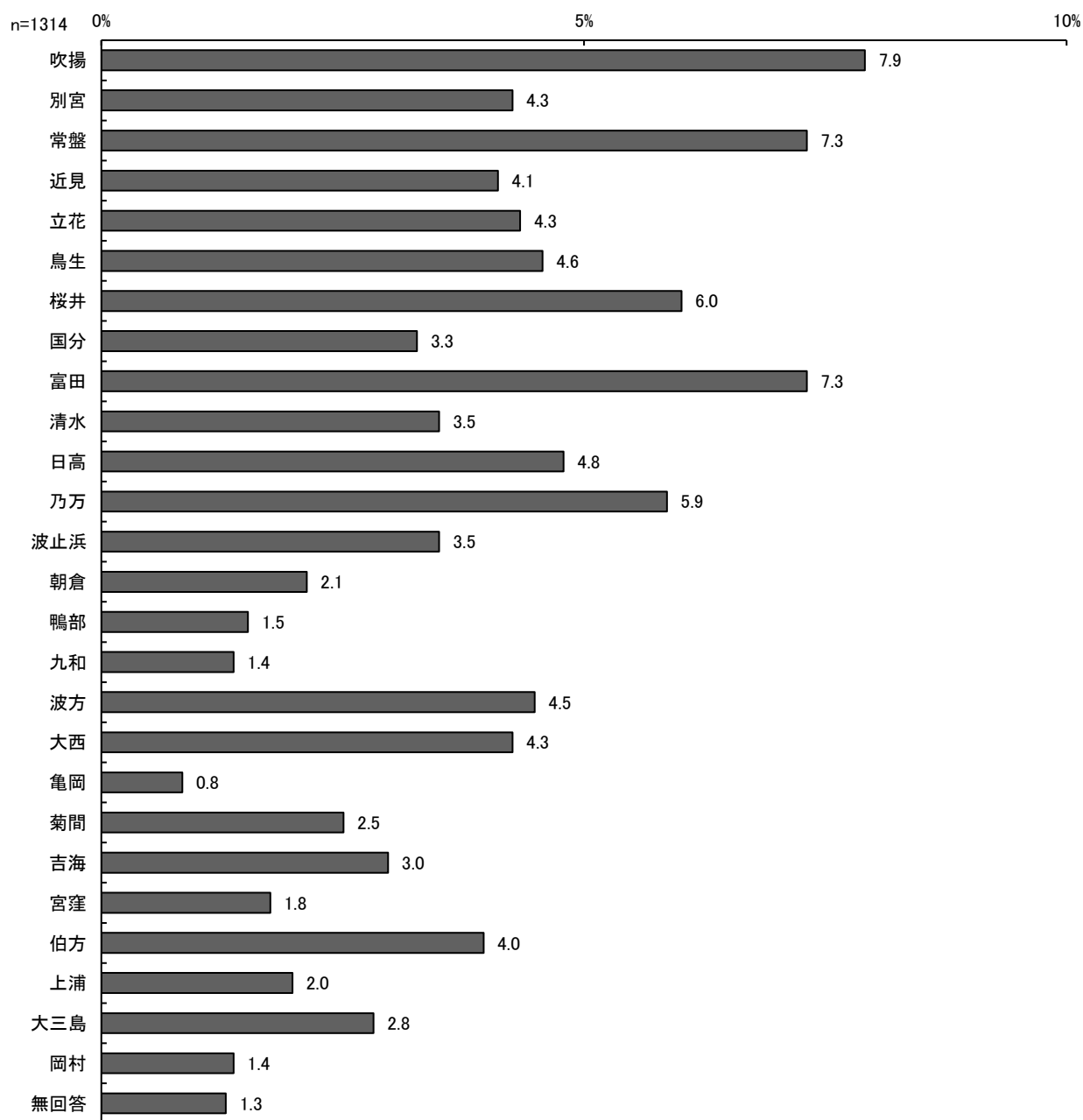
(件)

1	吹揚	104	旧今治市	877
2	別宮	56		
3	常盤	96		
4	近見	54		
5	立花	57		
6	鳥生	60		
7	桜井	79		
8	国分	43		
9	富田	96		
10	清水	46		
11	日高	63		
12	乃万	77		
13	波止浜	46		
14	朝倉	28	旧越智郡陸地部	225
15	鴨部	20		
16	九和	18		
17	波方	59		
18	大西	56		
19	亀岡	11		
20	菊間	33		
21	吉海	39	旧越智郡島しょ部	195
22	宮窪	23		
23	伯方	52		
24	上浦	26		
25	大三島	37		
26	岡村	18		
	無回答	17		

現在、居住している小学校区をみると、「旧今治市」が67.6%、「旧越智郡陸地部」が17.4%、「旧越智郡島しょ部」が15.0%となっています。



【小学校区】



居住および日常生活について

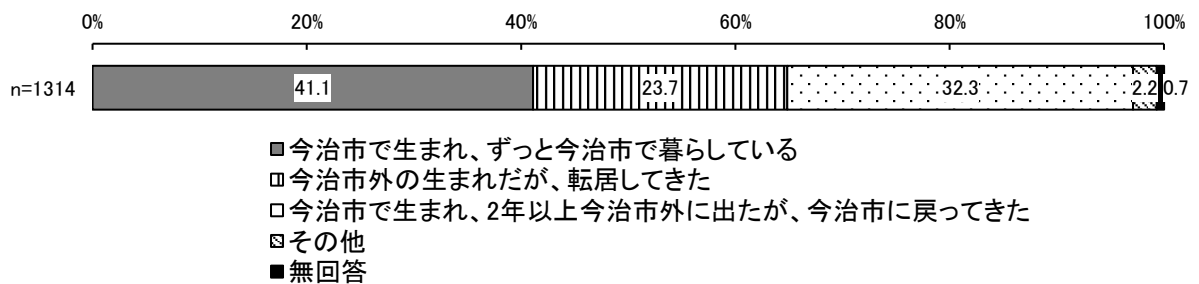
⑤ あなたは、今治市でずっと暮らしてこられましたか。

※この設問の今治市は、現在の今治市としてお答えください。

例：旧玉川町から旧今治市に転居した場合、回答は「1.」になります。

		(件)
1	今治市で生まれ、ずっと今治市で暮らしている	540
2	今治市外の生まれだが、転居してきた	312
3	今治市で生まれ、2年以上今治市外に出たが、今治市に戻ってきた	424
4	その他	29
	無回答	9

今治市でずっと暮らしてこられたかを聞いたところ、「今治市で生まれ、ずっと今治市で暮らしている」と回答した者が41.1%と最も多く、次いで「今治市で生まれ、2年以上今治市外に出たが、今治市に戻ってきた」(32.3%)、「今治市外の生まれだが、転居してきた」(23.7%)の順となっています。

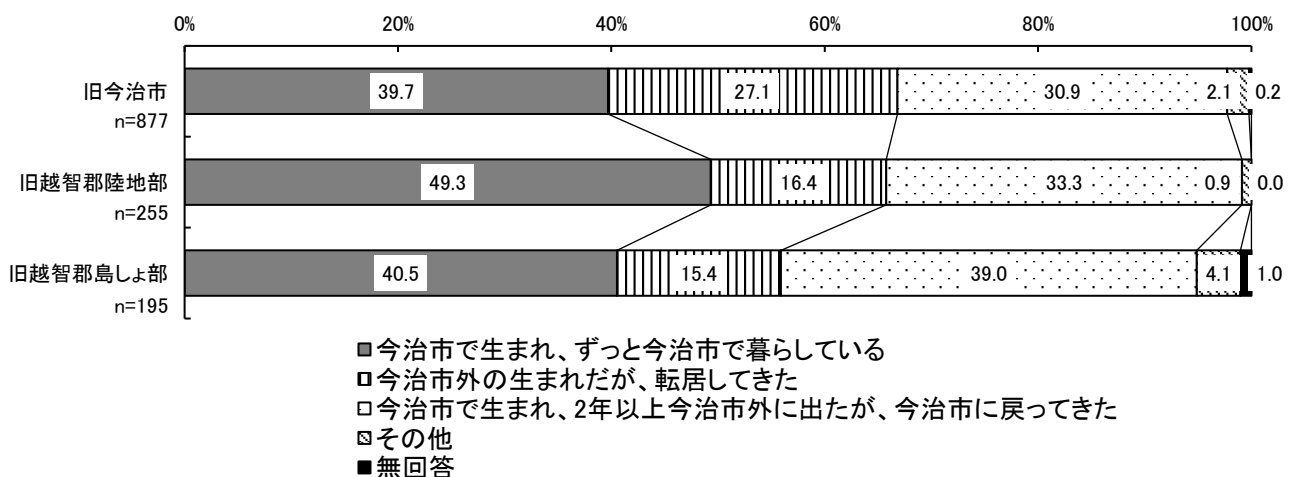


【地区】

地区別にみると、全ての地区で「今治市で生まれ、ずっと今治市で暮らしている」と回答した者が最も多くなっています。なかでも旧越智郡陸地部(49.3%)は、旧今治市(39.7%)より、9.6ポイント多くなっています。

「今治市外の生まれだが、転居してきた」では、旧今治市(27.1%)が最も多く、旧越智郡島しょ部(15.4%)より11.7ポイント多くなっています。

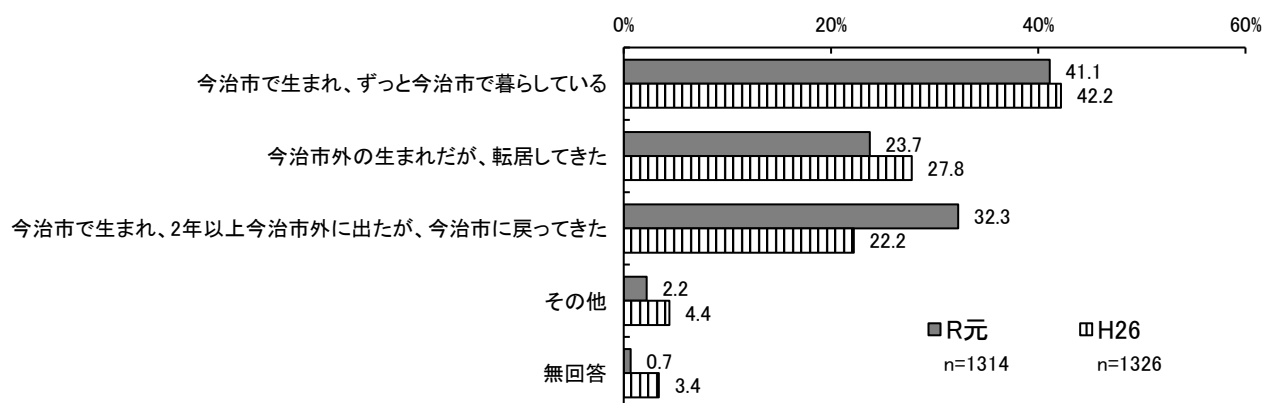
「今治市で生まれ、2年以上今治市外に出たが、今治市に戻ってきた」では、旧越智郡島しょ部(39.0%)が最も多く、旧今治市(30.9%)より8.1ポイント多くなっています。



【経年変化】

過去の調査と比べると、「今治市で生まれ、ずっと今治市で暮らしている」と回答した者が、前回調査より 1.1 ポイント、「今治市外の生まれだが、転居してきた」と回答した者が、前回調査より 4.1 ポイント減少しています。

一方、「今治市で生まれ、2 年以上今治市外に出たが、今治市に戻ってきた」と回答した者は、前回調査より 10.1 ポイント増加しています。



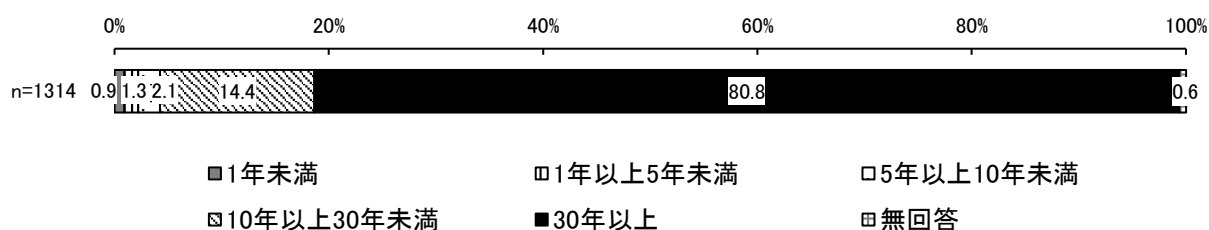
※H26 年度調査「今治市外の生まれだが、転居してきた」11.9%、「今治市外の生まれだが、結婚をきっかけに転居してきた」10.6%、「今治市外の生まれだが、子どもの頃からずっと住んでいる」5.3%を「今治市外の生まれだが、転居してきた」に集約している。

⑥ 今治市に住んで通算何年になりますか。

(件)

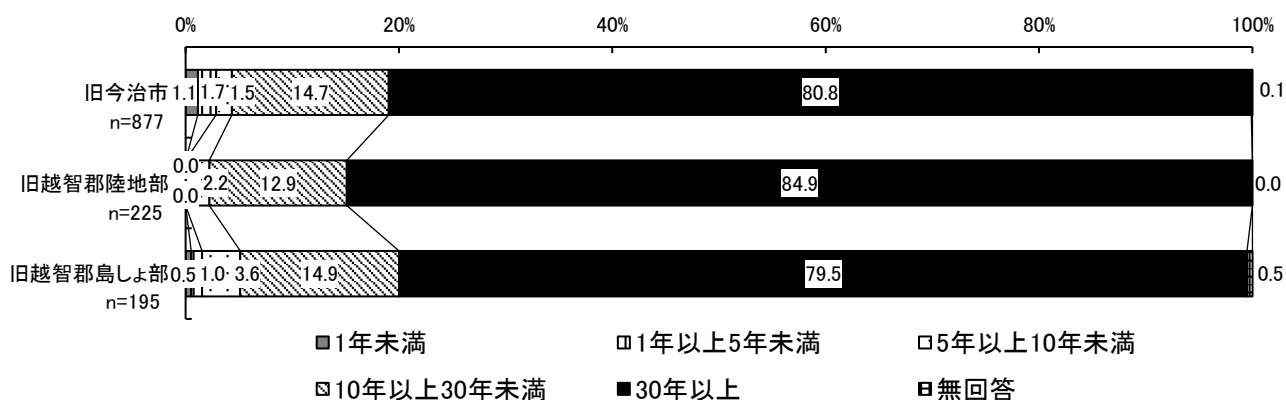
1	1 年未満	12
2	1 年以上 5 年未満	17
3	5 年以上 10 年未満	27
4	10 年以上 30 年未満	189
5	30 年以上	1061
	無回答	8

今治市に住んで通算何年になるかを聞いたところ、「30 年以上」と回答した者が 80.8%と最も多く、次いで「10 年以上 30 年未満」(14.4%)、「5 年以上 10 年未満」(2.1%)、「1 年以上 5 年未満」(1.3%)、「1 年未満」(0.9%) の順となっています。



【地区】

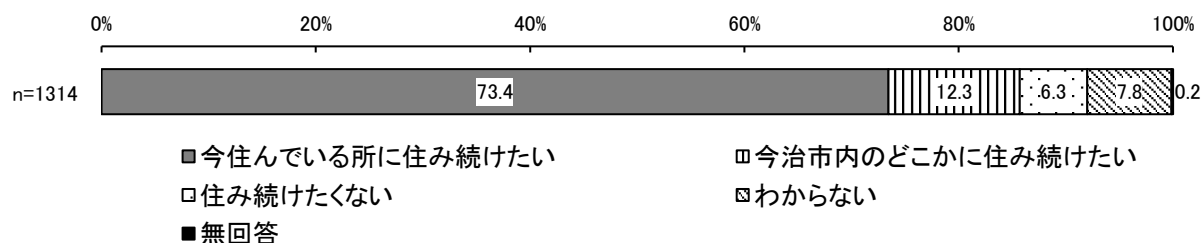
地区別にみると、全ての地区で「30 年以上」と回答した者が最も多く、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では 5.4 ポイント差となっています。



⑦ 今後も今治市に住み続けたいと思いますか。

		(件)
1	今住んでいる所に住み続けたい	965
2	今治市内のどこかに住み続けたい	161
3	住み続けたくない	83
4	わからない	103
	無回答	2

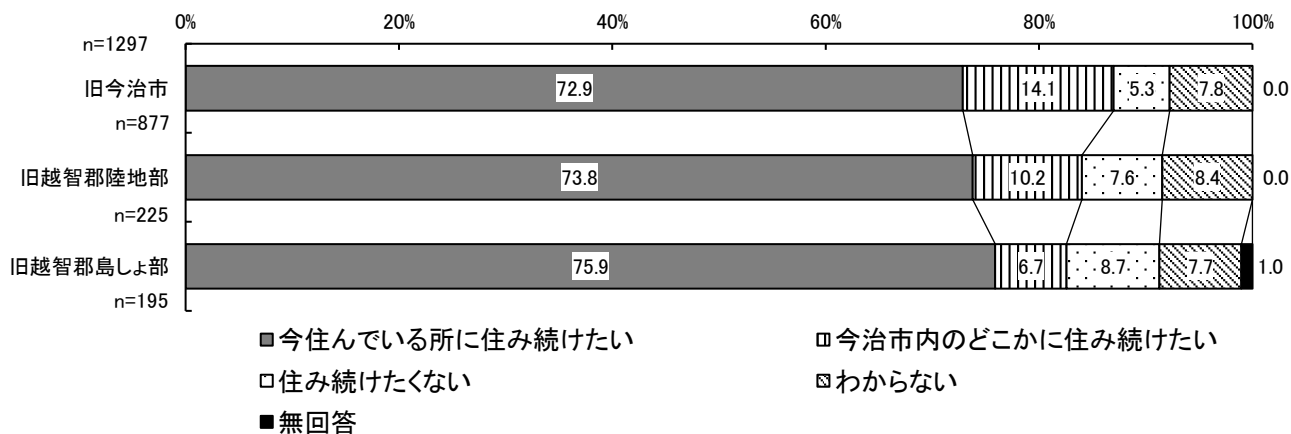
今後も今治市に住み続けたいかを聞いたところ、住み続けたい 85.7%（「今住んでいる所に住み続けた
い」73.4%、「今治市内のどこかに住み続けたい」12.3%の合計（以下同じ））、「住み続けたくない」が
6.3%、「わからない」が7.8%となっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、住み続けたい 87.0%、「住み続けたくない」が 5.3%となっており、住
み続けたいが 81.7%多くなっています。旧越智郡陸地部は、住み続けたい 84.0%、「住み続けたくない」
が 7.6%となっており、住み続けたいが 76.4%多くなっています。旧越智郡島しょ部は、住み続けたい
82.6%、「住み続けたくない」が 8.7%となっており、住み続けたいが 73.9%多くなっています。

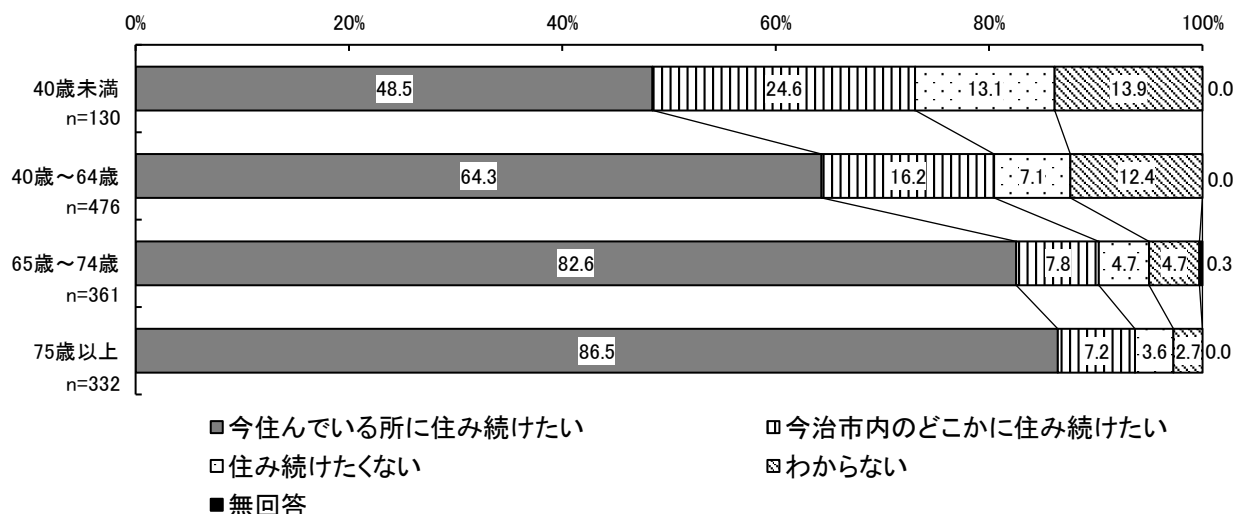
住み続けたいと回答した者は、旧今治市で最も多く、旧越智郡島しょ部より 4.4 ポイント多くなってい
ます。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、住みたい73.1%、「住みたくない」が13.1%となっており、住みたいが60.0%多くなっています。40歳～64歳は、住みたい80.5%、「住みたくない」が7.1%となっており、住みたいが73.4%多くなっています。65歳～74歳は、住みたい90.4%、「住みたくない」が4.7%となっており、住みたいが85.7%多くなっています。75歳以上は、住みたい93.7%、「住みたくない」が3.6%となっており、住みたいが90.1%多くなっています。

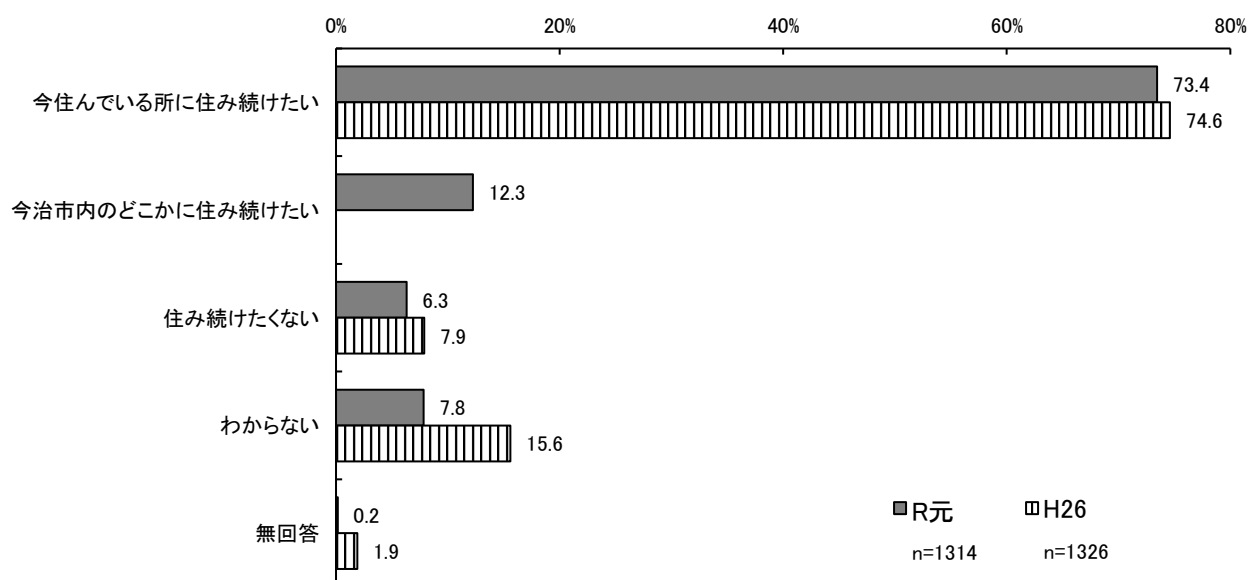
全ての年齢層で「今住んでいる所に住みたい」と回答した者が最も多く、なかでも75歳以上（86.5%）は40歳未満（48.5%）と比べて38.0ポイント多くなっています。



【経年変化】

経年変化をみると、「今住んでいる所に住みたい」もしくは「今治市内のどこかに住みたい」と回答した者は、前回調査より11.1ポイント増加しています。

一方で、「住みたくない」と回答した者が、前回調査より1.6ポイント、「わからない」と回答した者が、前回調査より7.8ポイント減少しています。



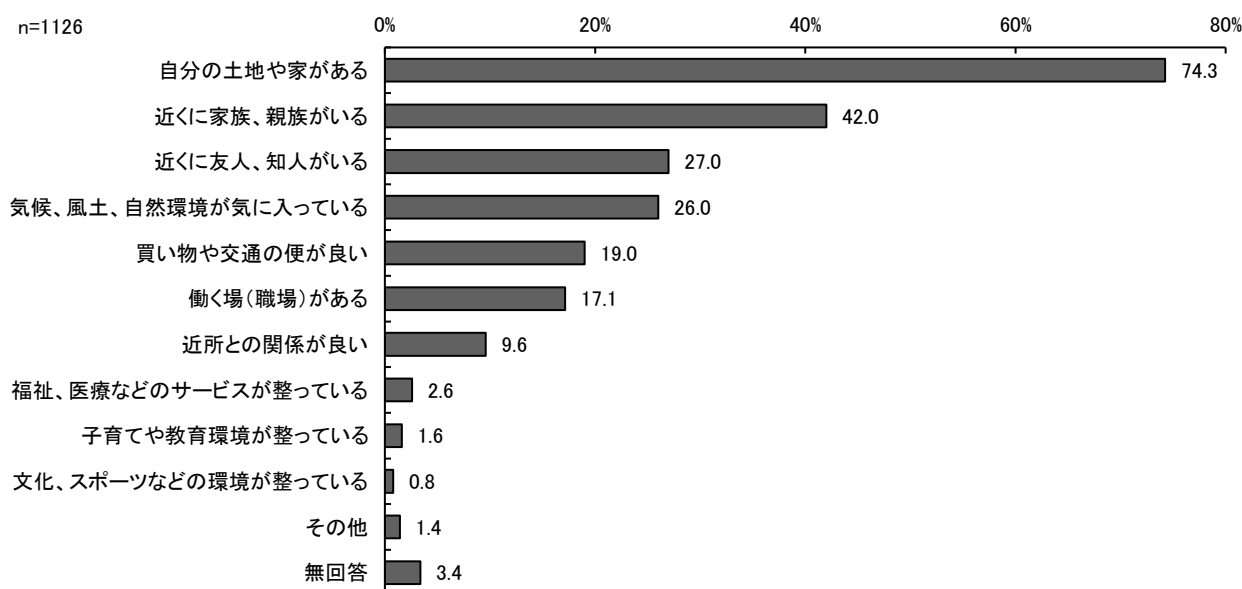
⑦-1 どのような点で住み続けたいと思いますか。

⑦で1～2を選択された方にお伺いします。

〈複数回答・3つまで〉(件)

1	自分の土地や家がある	836
2	近くに家族、親族がいる	473
3	近くに友人、知人がいる	304
4	近所との関係が良い	108
5	買い物や交通の便が良い	214
6	働く場(職場)がある	193
7	子育てや教育環境が整っている	18
8	福祉、医療などのサービスが整っている	29
9	気候、風土、自然環境が気に入っている	293
10	文化、スポーツなどの環境が整っている	9
11	その他	16
	無回答	38

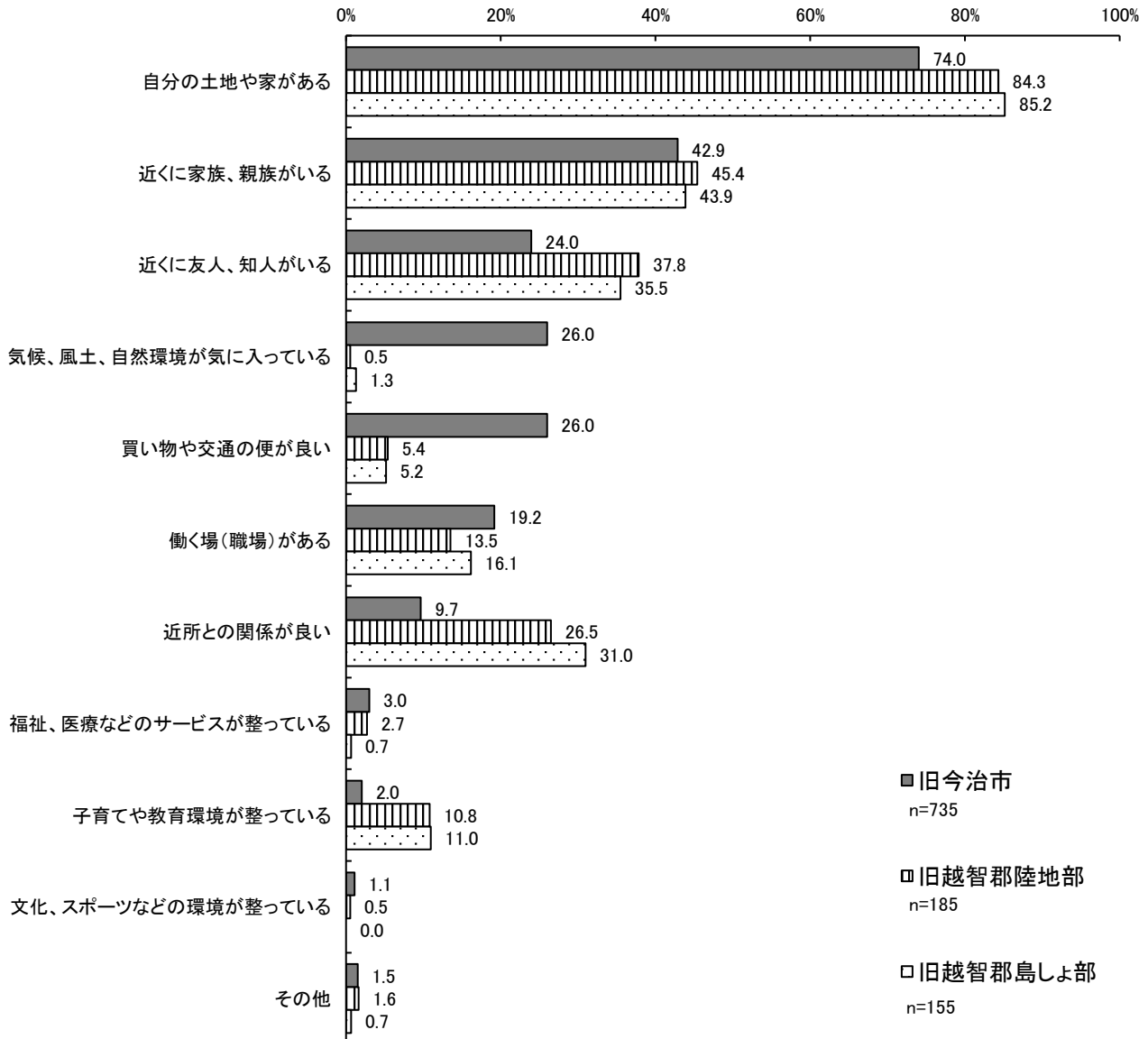
今後も今治市に住み続けたい理由を聞いたところ、「自分の土地や家がある」と回答した者が74.3%と最も多く、次いで「近くに家族、親族がいる」(42.0%)、「近くに友人、知人がいる」(27.0%)、「気候、風土、自然環境が気に入っている」(26.0%)、「買い物や交通の便が良い」(19.0%)、「働く場(職場)がある」(17.1%)の順となっています。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「自分の土地や家がある」と回答した者が最も多く7割を超え、次いで「近くに家族、親族がいる」となっています。

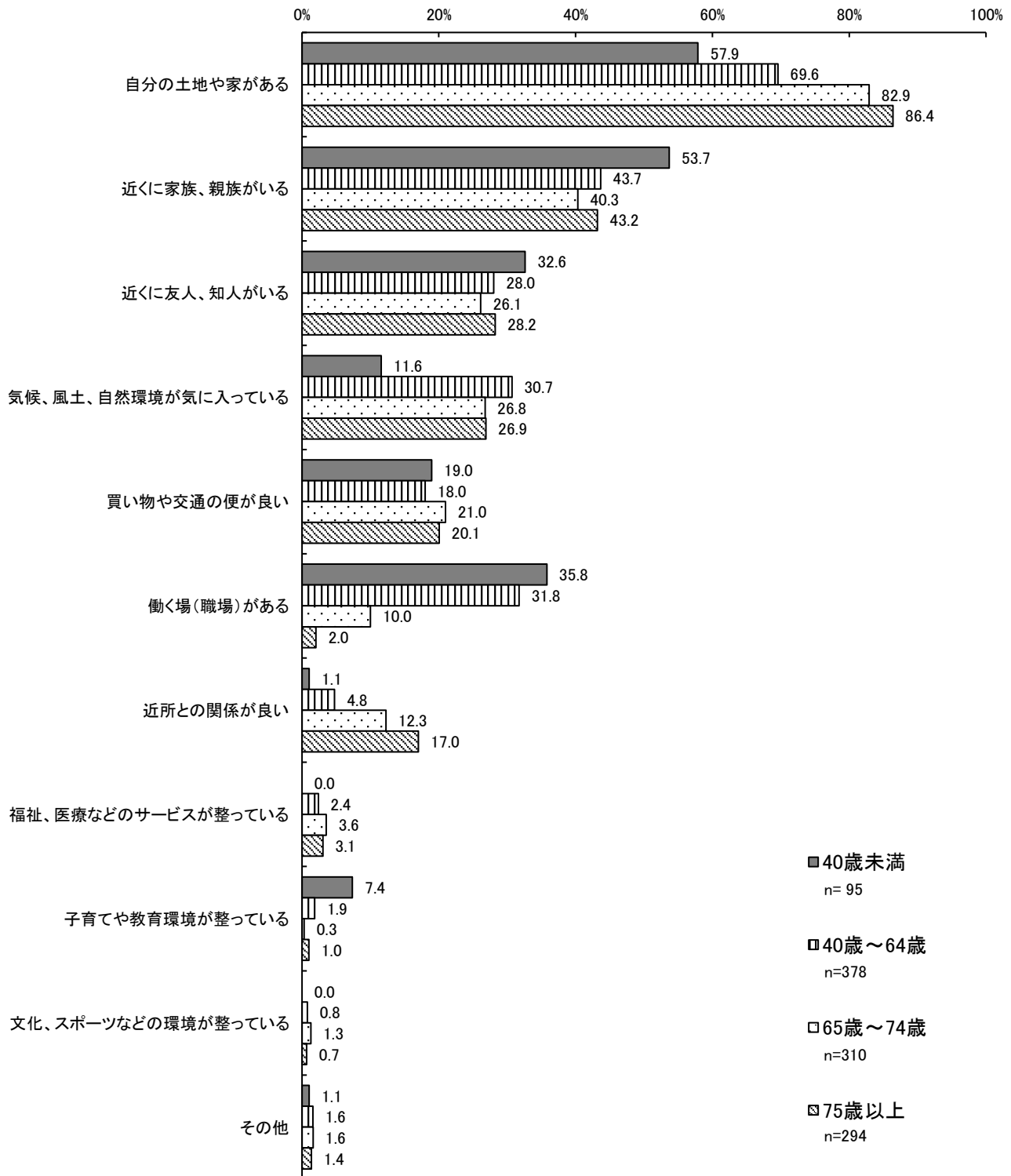
旧今治市では「気候、風土、自然環境が気に入っている」と回答した者が多く、旧越智郡陸地部より25.5ポイント多くなっています。また、「買い物や交通の便が良い」と回答した者も多く、旧越智郡島しょ部よりも20.8ポイント多くなっています。一方で「近所との関係が良い」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧今治市より21.3ポイント多くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、全ての年齢層で「自分の土地や家がある」と回答した者が最も多く、年齢層が高いほどその傾向が強くなっています。

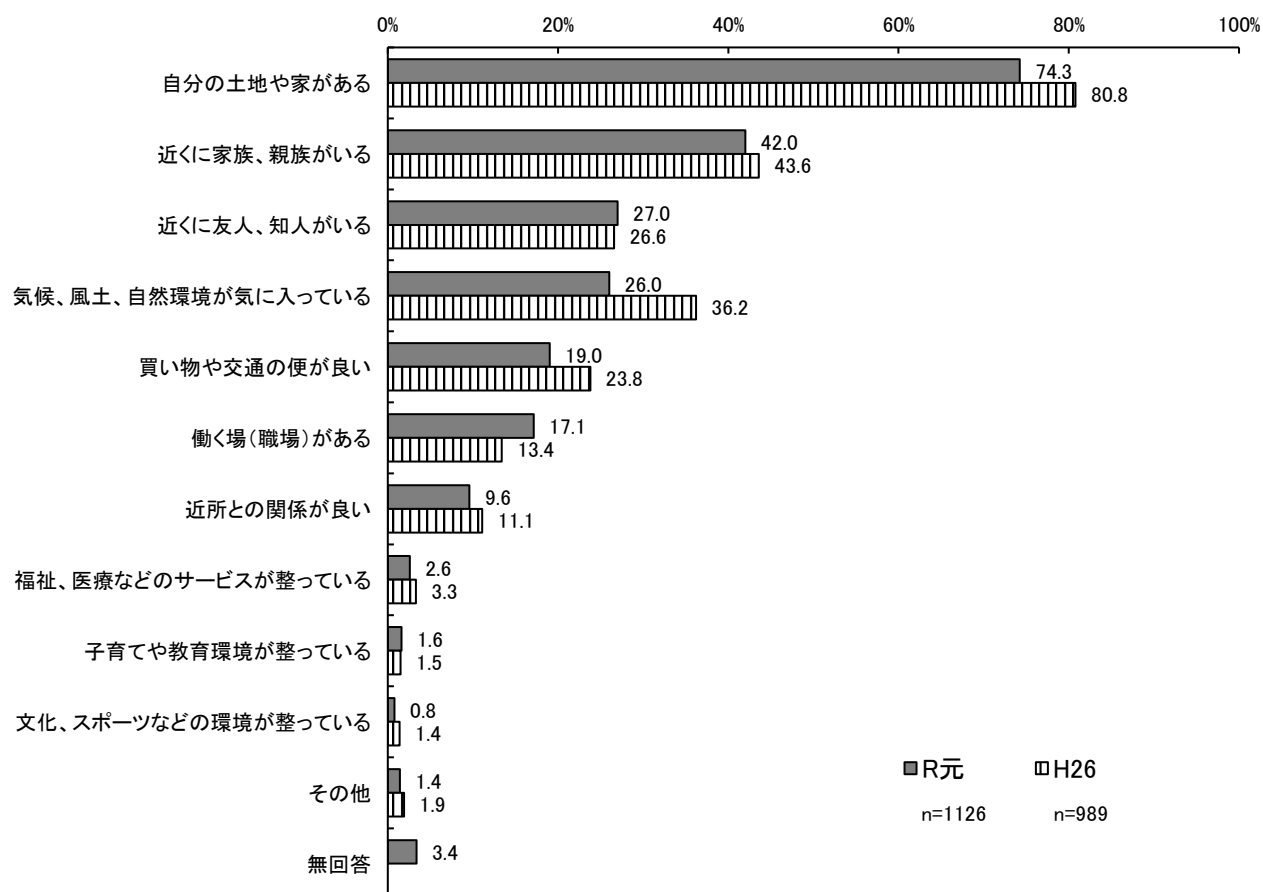
「働く場（職場）がある」と回答した者が3割を超えるのは40歳未満（35.8%）と40歳～64歳（31.8%）で、他の年齢層は1割以下となっています。



【経年変化】

経年変化をみると、「自分の土地や家がある」と回答した者が、前回調査より 6.5 ポイント、「気候、風土、自然環境が気に入っている」と回答した者が、前回調査より 10.2 ポイント、そして「買い物や交通の便が良い」と回答した者が、前回調査より 4.8 ポイント減少しています。

一方で、「働く場（職場）がある」と回答した者が、前回調査より 3.7 ポイント増加しています。



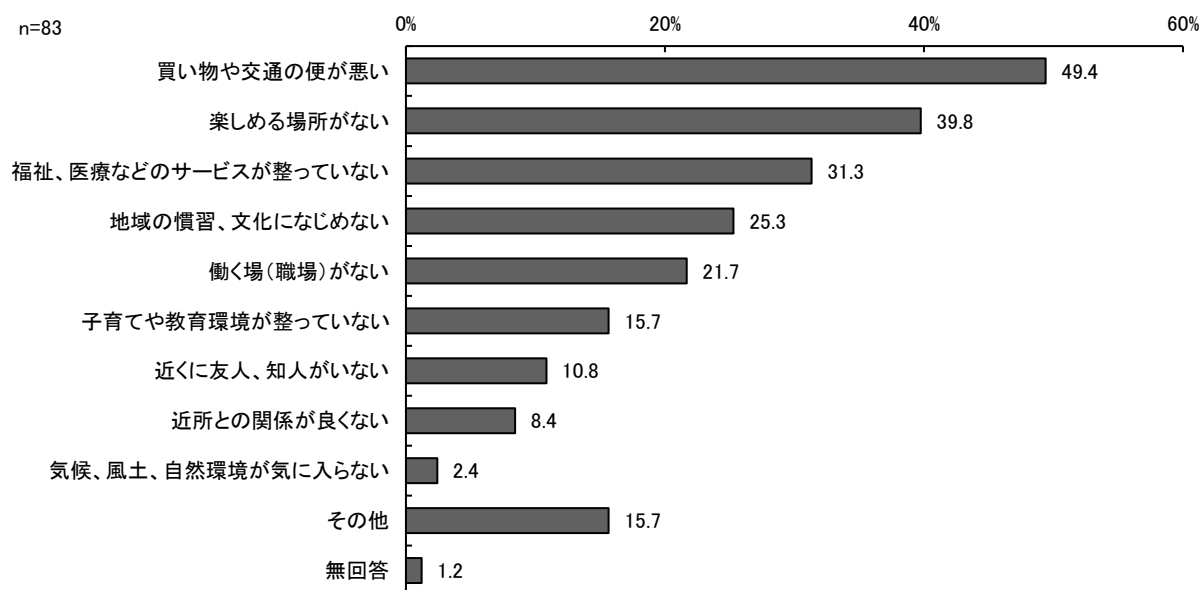
⑦-2 どのような点で住み続けたくないと思いますか。

⑦で3を選択された方にお伺いします。

〈複数回答・3つまで〉(件)

1	地域の慣習、文化になじめない	21
2	楽しめる場所がない	33
3	近くに友人、知人がいない	9
4	近所との関係が良くない	7
5	買い物や交通の便が悪い	41
6	働く場(職場)がない	18
7	子育てや教育環境が整っていない	13
8	福祉、医療などのサービスが整っていない	26
9	気候、風土、自然環境が気に入らない	2
10	その他	13
	無回答	1

今治市に住み続けたくない理由を聞いたところ、「買い物や交通の便が悪い」と回答した者が49.4%と最も多く、次いで「楽しめる場所がない」(39.8%)、「福祉、医療などのサービスが整っていない」(31.3%)、「地域の慣習、文化になじめない」(25.3%)、「働く場(職場)がない」(21.7%)の順となっています。

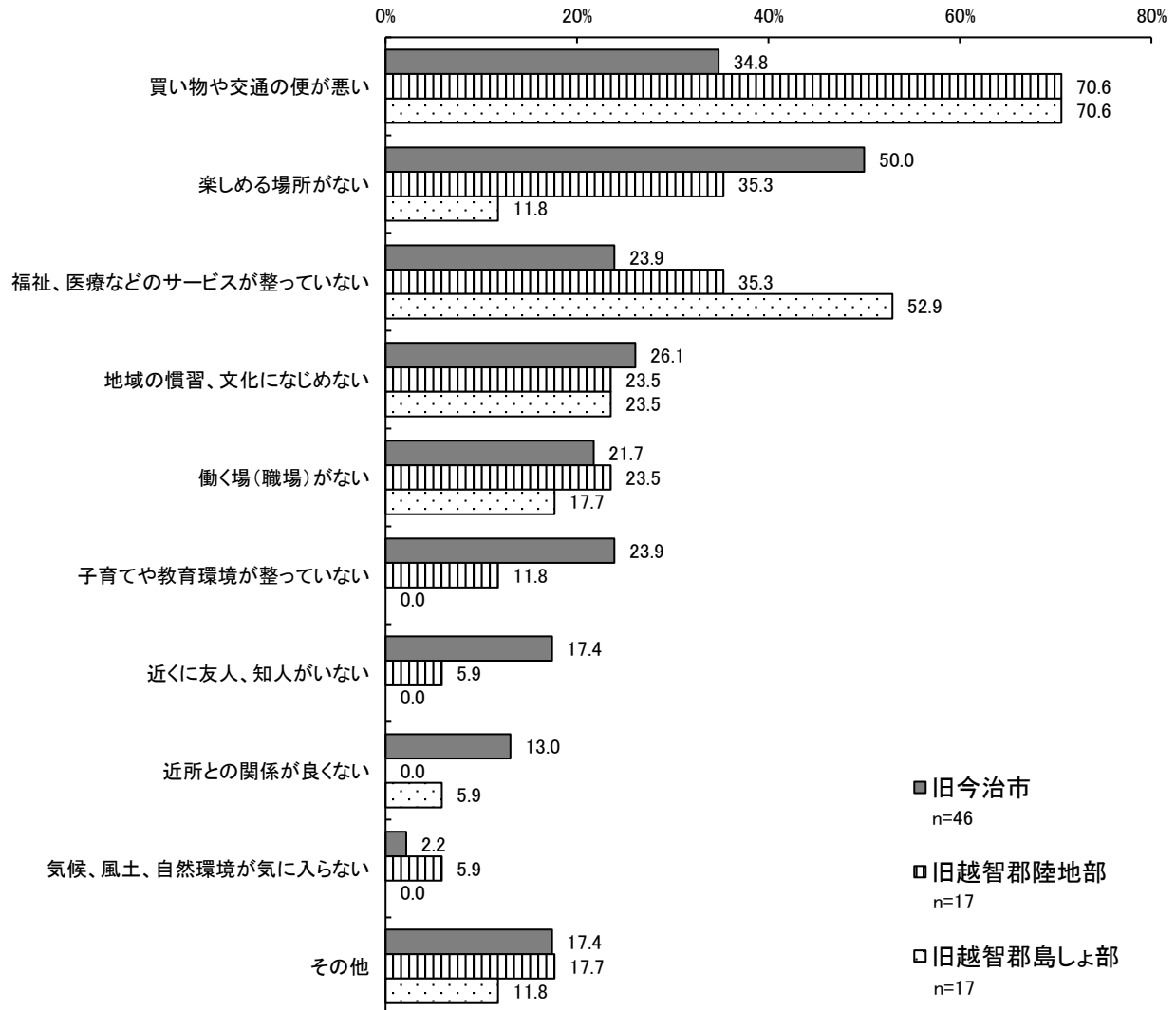


【地区】

地区別にみると、旧今治市は「楽しめる場所がない」と回答した者が最も多く、旧越智郡島しょ部より38.2ポイント多くなっています。

旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部は「買い物や交通の便が悪い」と回答した者が最も多く、ともに70.6%と7割を超えています。旧今治市より35.8ポイント多くなっています。

「福祉、医療などのサービスが整っていない」と回答した者は、旧越智郡島しょ部で5割を超え、旧今治市より29.0ポイント多くなっています。



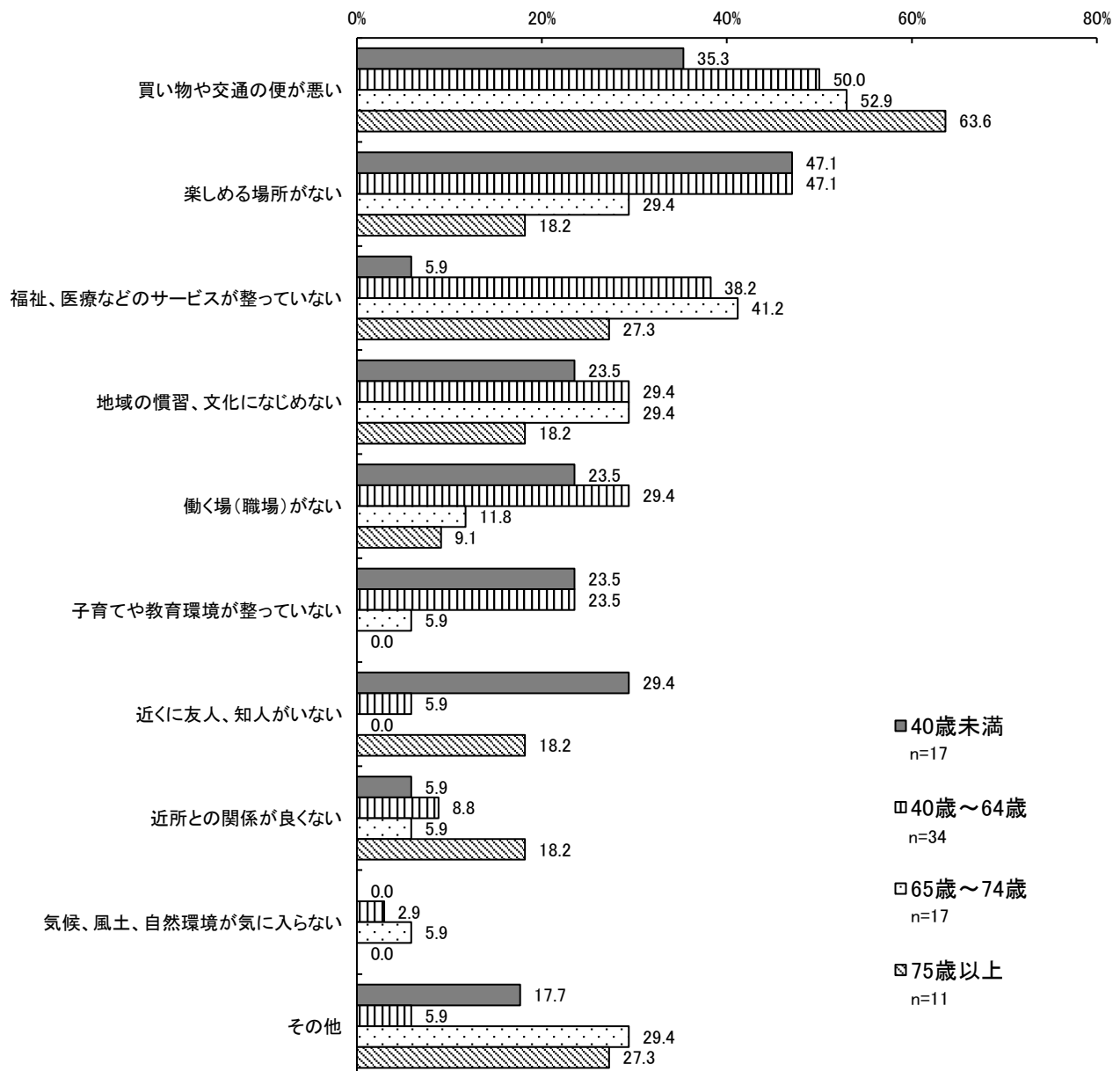
【年齢】

年齢別にみると、40歳未満では「楽しめる場所がない」と回答した者が最も多く、次いで「買い物や交通の便が悪い」、「近くに友人、知人がいない」となっています。

40歳～64歳では「買い物や交通の便が悪い」と回答した者が最も多く、次いで「楽しめる場所がない」、「福祉、医療などのサービスが整っていない」となっています。

65歳～74歳及び75歳以上では「買い物や交通の便が悪い」と回答した者が最も多く、次いで「福祉、医療などのサービスが整っていない」、「楽しめる場所がない」、「地域の慣習、文化になじめない」となっています。

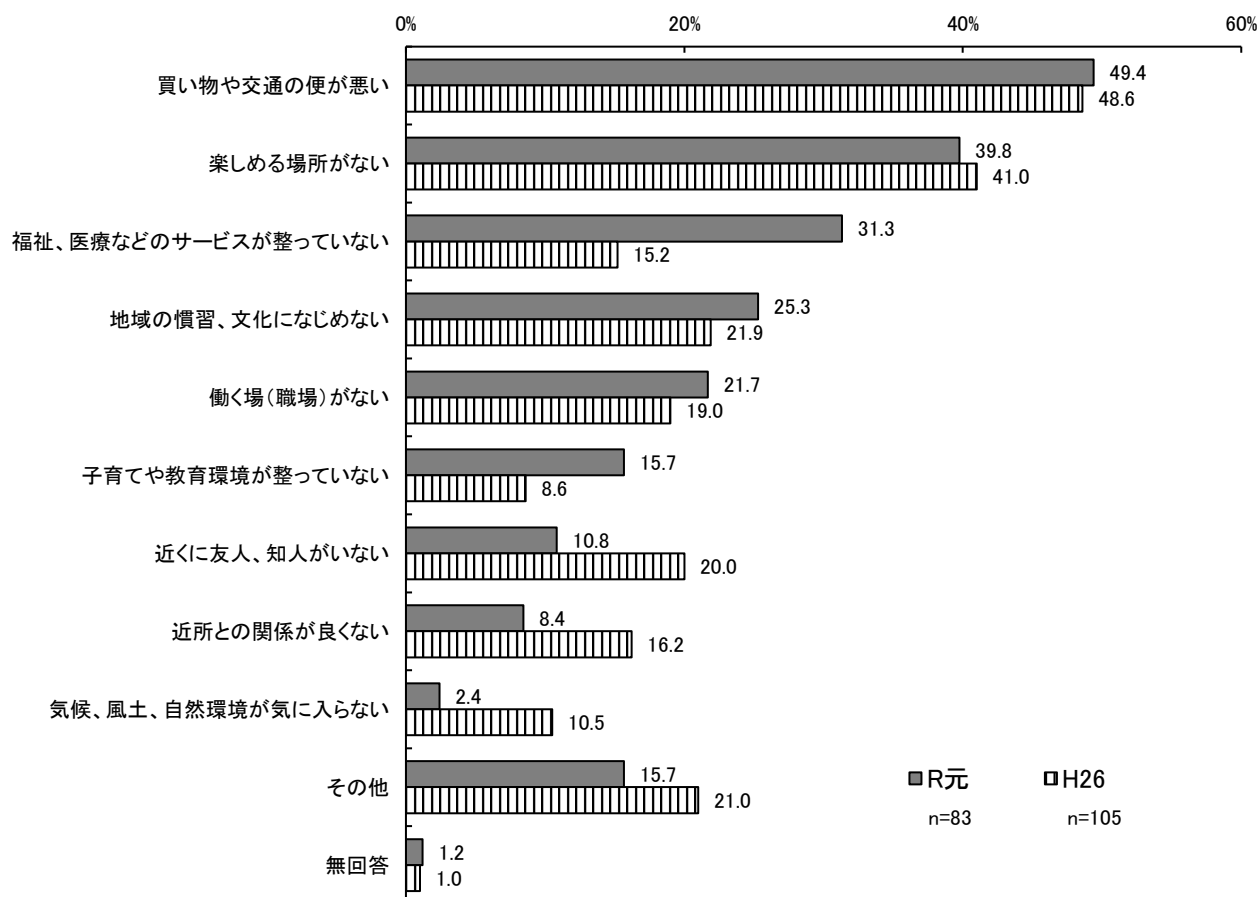
「買い物や交通の便が悪い」と回答した者は、75歳以上で6割を超え、40歳未満（35.3%）と比べると28.3ポイント多くなっています。



【経年変化】

経年変化をみると、「福祉、医療などのサービスが整っていない」と回答した者は、前回調査より16.1ポイント、「子育てや教育環境が整っていない」と回答した者は、前回調査より7.1ポイント増加しています。

一方、「近くに友人、知人がいない」と回答した者が、前回調査より9.2ポイント、「気候、風土、自然環境が気に入らない」と回答した者が、前回調査より8.1ポイント、「近所との関係が良くない」と回答した者が、前回調査より7.8ポイント減少しています。



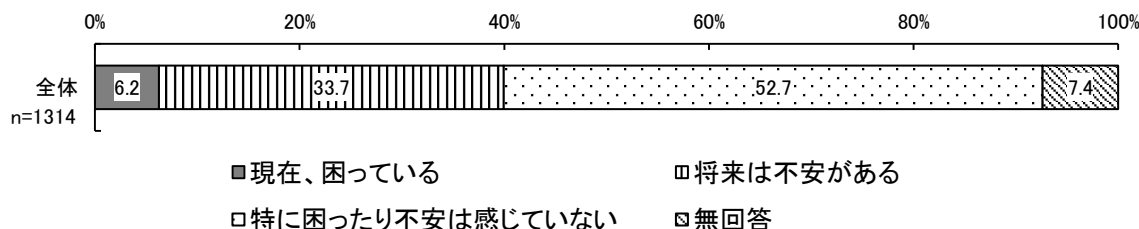
⑧ あなたは日常生活に関することで、困ったり不安に感じていることがありますか。

(件)

	現在、困っている	将来は不安がある	特に困ったり不安は感じていない	無回答
ア 日常の買い物	82	443	692	97
イ 近所付き合い	49	307	839	119
ウ 自分や家族の介護	67	802	334	111
エ 子育てや子どもの教育	32	213	839	230
オ 日常の外出・通院	76	558	568	112
カ 話し相手や相談相手	32	377	774	131
キ 災害時の避難訓練	51	679	457	127
ク 地域の治安	32	290	854	138
ケ 健康状態	105	689	411	109
コ 経済的な状況	78	662	460	114
サ 就労や雇用の状況	69	414	631	200
シ お金の管理や契約などの判断	23	543	614	134

【ア 日常の買い物】

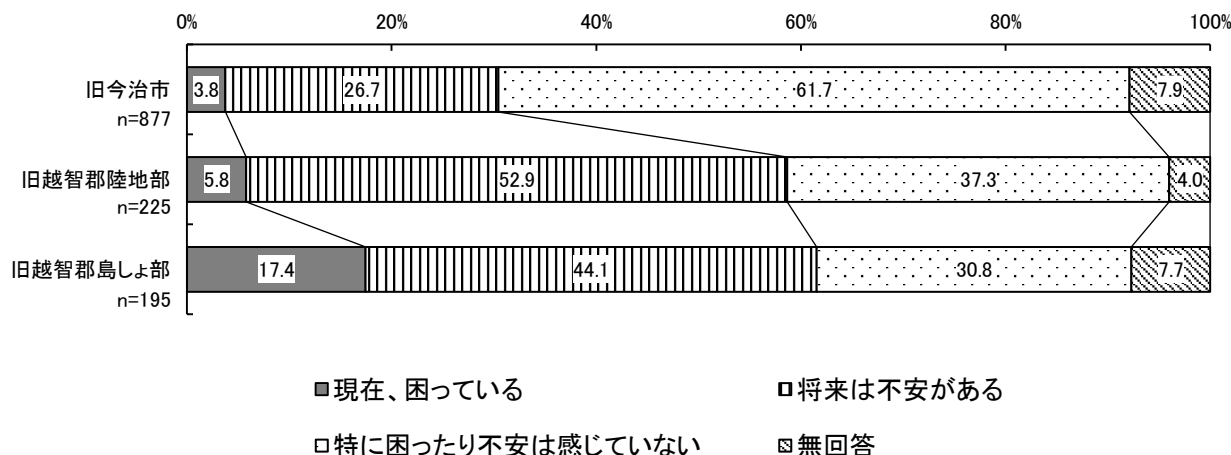
日常の買い物について聞いたところ、「現在、困っている」(6.2%)、「将来は不安がある」(33.7%)、「特に困ったり不安は感じていない」(52.7%)となっています。



【地区】

地区別で見ると、旧今治市は「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多く、他の地区では「将来は不安がある」と回答した者が最も多くなっています。

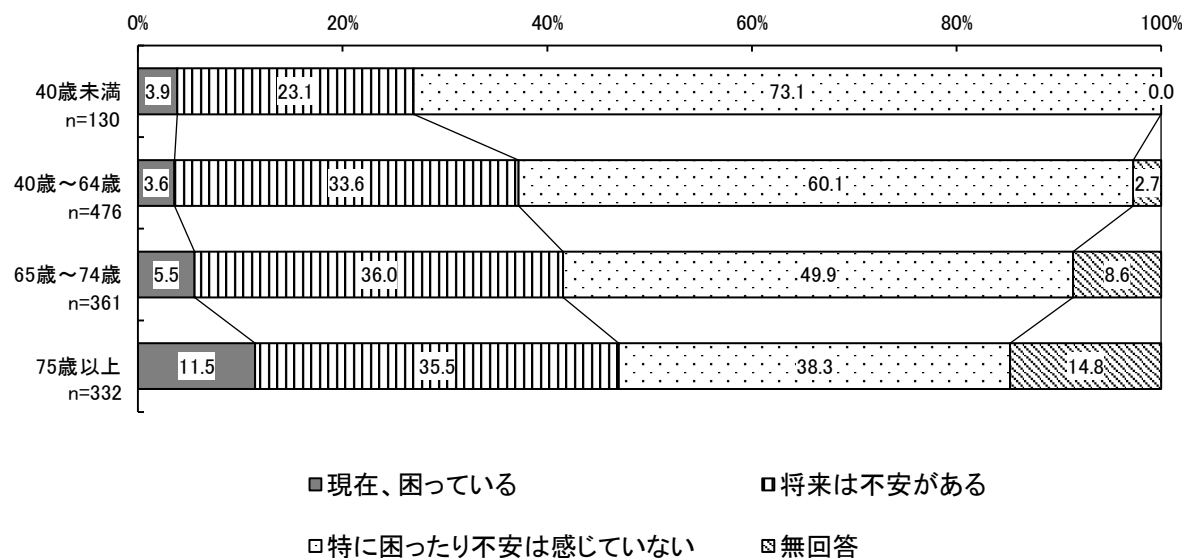
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧今治市より13.6ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は旧越智郡陸地部で多く、旧今治市より26.2ポイント多くなっています。



【年齢】

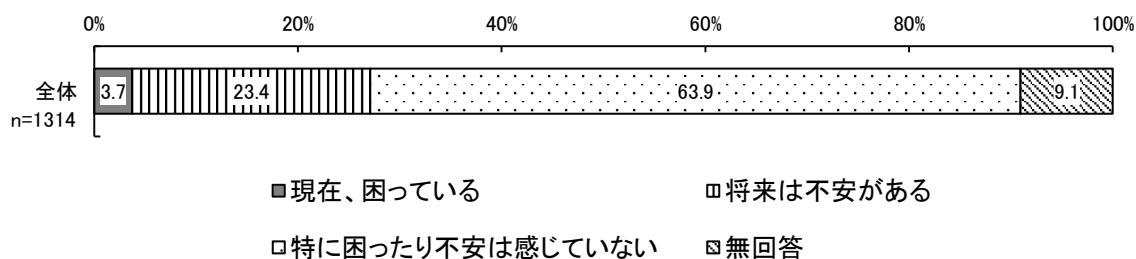
年齢別にみると、どの年齢層も「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。しかし、年齢が高くなるほど「現在、困っている」と「将来は不安がある」の割合が高くなる傾向にあります。

「現在、困っている」と回答した者は75歳以上で多く、40歳～64歳より7.9ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は65歳～74歳で多く、40歳未満より12.9ポイント多くなっています。



【イ 近所付き合い】

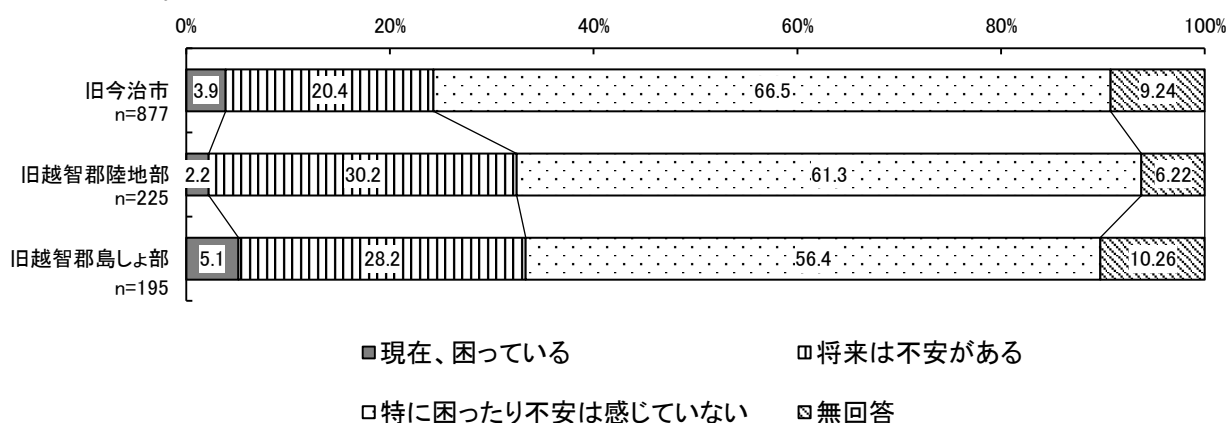
近所付き合いについて聞いたところ、「現在、困っている」(3.7%)、「将来は不安がある」(23.4%)、「特に困ったり不安は感じていない」(63.9%)となっています。



【地区】

地区別でみると、全ての地区で「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

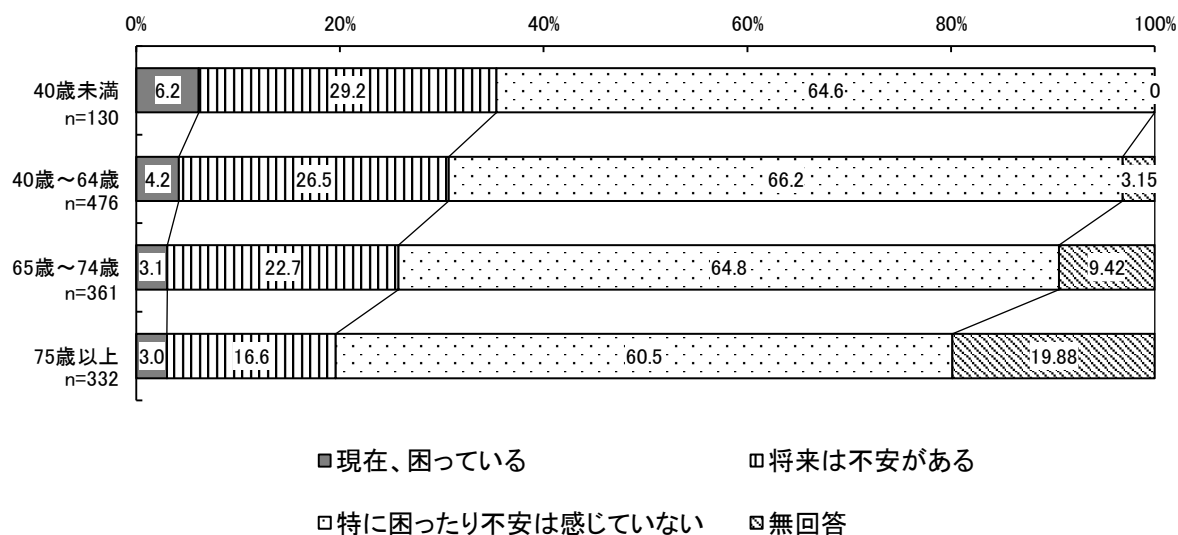
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧越智郡陸地部より 2.9 ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は旧越智郡陸地部で多く、旧今治市より 9.8 ポイント多くなっています。



【年齢】

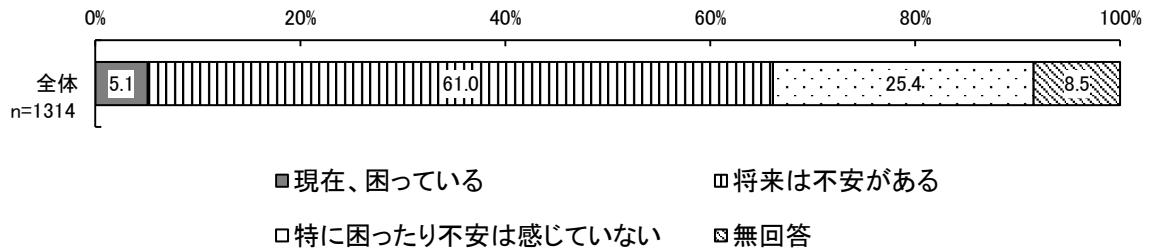
年齢別にみると、全ての年齢層で「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。また、年齢が高くなるほど「現在、困っている」と「将来は不安がある」の割合が低くなる傾向にあります。

「現在、困っている」と回答した者は 40 歳未満で多く、75 歳以上より 3.2 ポイント多くなっています。さらに、「将来は不安がある」と回答した者も 40 歳未満で多く、75 歳以上より 12.6 ポイント多くなっています。



【ウ 自分や家族の介護】

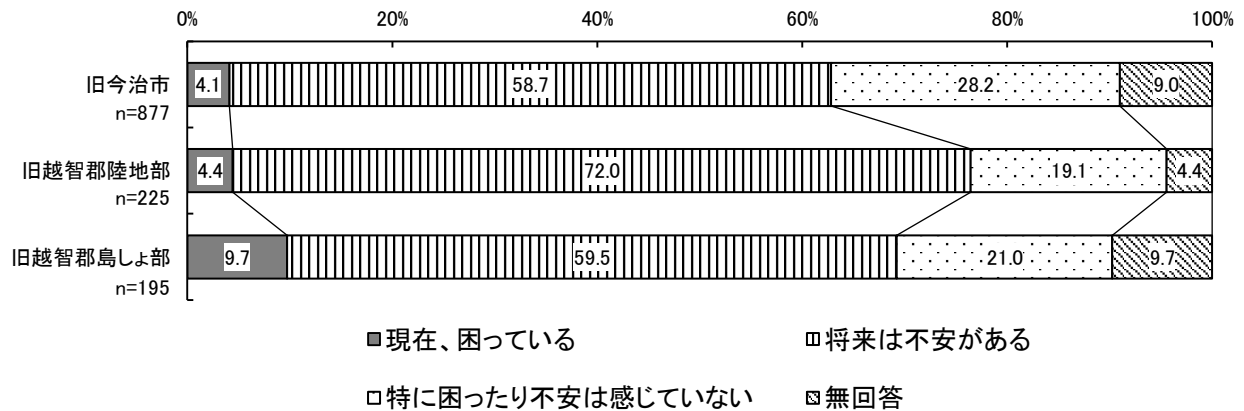
自分や家族の介護について聞いたところ、「現在、困っている」(5.1%)、「将来は不安がある」(61.0%)、「特に困ったり不安は感じていない」(25.4%)となっています。



【地区】

地区別でみると、全ての地区で「将来は不安がある」と回答した者が最も多く、旧越智郡陸地部と旧今治市では13.3ポイントの差となっています。

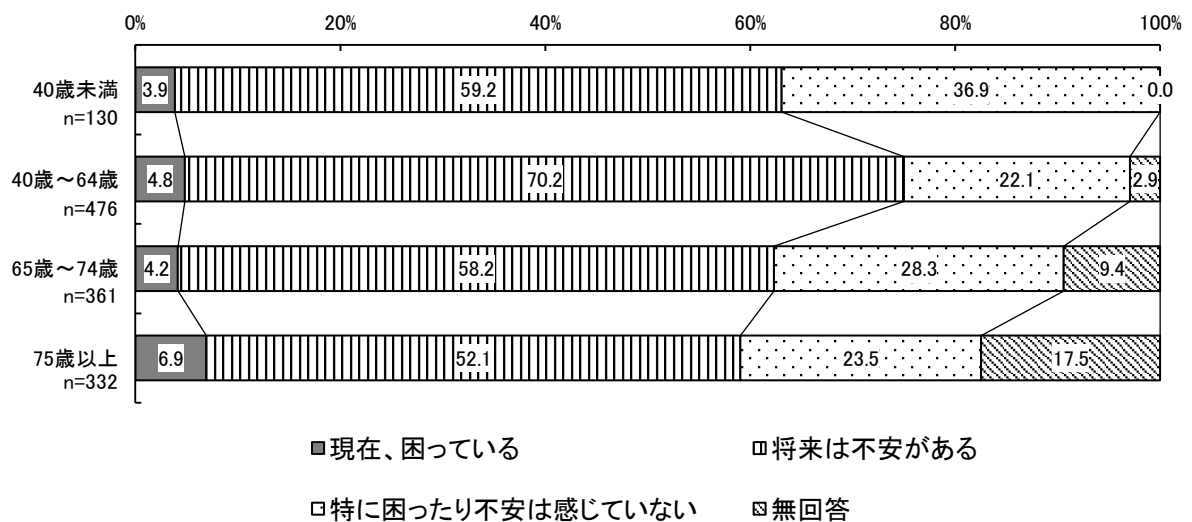
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧今治市より5.6ポイント多くなっています。「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者は旧今治市で多く、旧越智郡陸地部より9.1ポイント多くなっています。



【年齢】

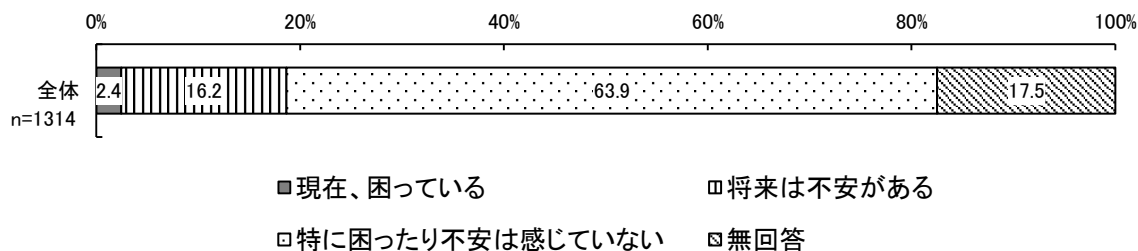
年齢別にみると、全ての年齢層で「将来は不安がある」と回答した者が最も多く、40歳～64歳と75歳以上では18.1ポイントの差となっています。

「現在、困っている」と回答した者は75歳以上で多く、40歳未満より3.0ポイント多くなっています。「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者は40歳未満で多く、40歳～64歳より14.8ポイント多くなっています。



【エ 子育てや子どもの教育】

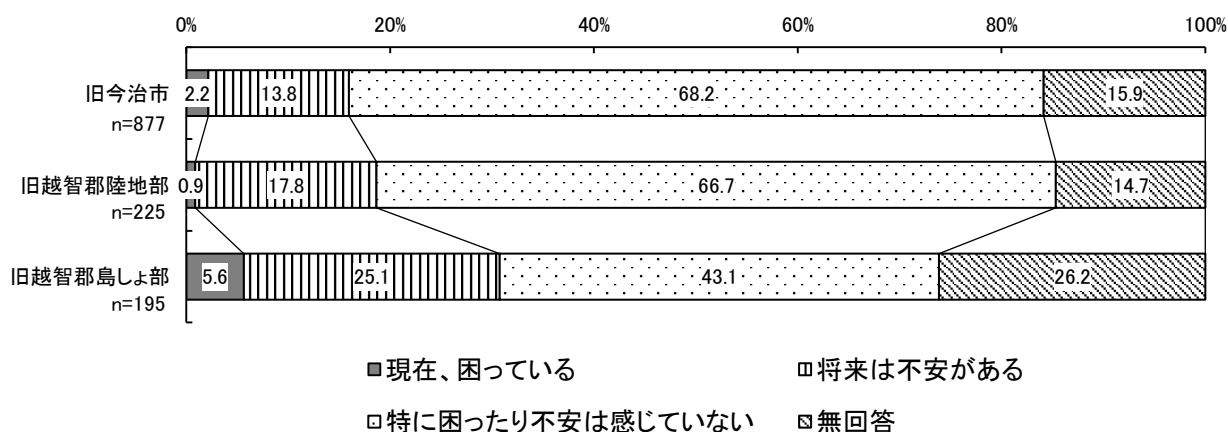
子育てや子どもの教育について聞いたところ、「現在、困っている」(2.4%)、「将来は不安がある」(16.2%)、「特に困ったり不安は感じていない」(63.9%)となっています。



【地区】

地区別でみると、全ての地区で「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

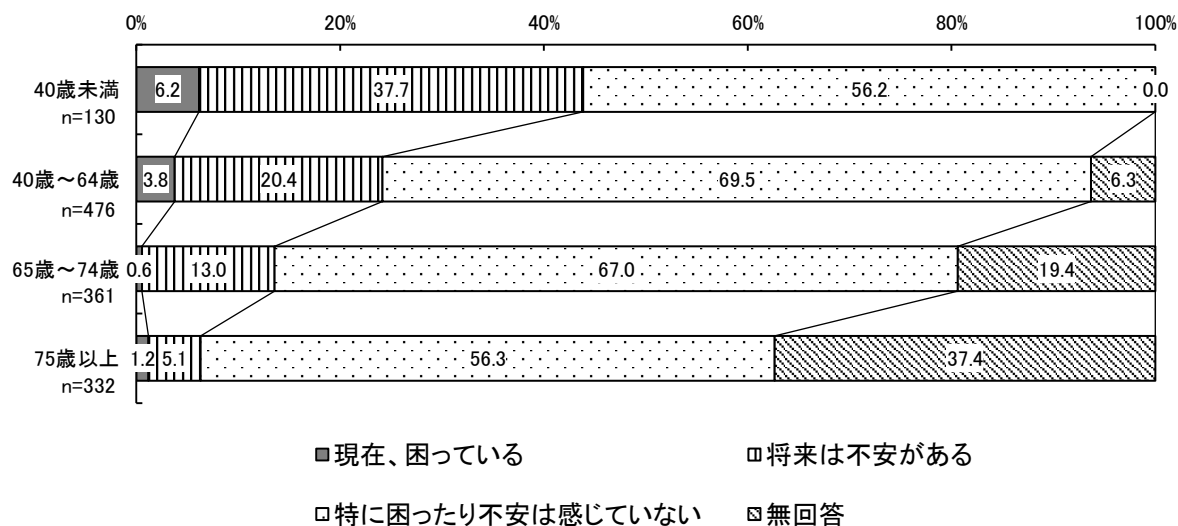
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧越智郡陸地部より 4.7 ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者も旧越智郡島しょ部で多く、旧今治市より 11.3 ポイント多くなっています。



【年齢】

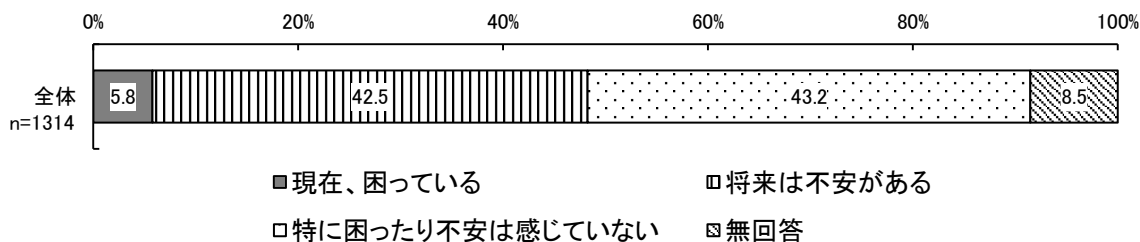
年齢別にみると、全ての年齢層で「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

「現在、困っている」と回答した者は 40 歳未満で多く、65 歳～74 歳より 5.6 ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者も 40 歳未満で多く、75 歳以上より 32.6 ポイント多くなっています。



【オ 日常の外出・通院】

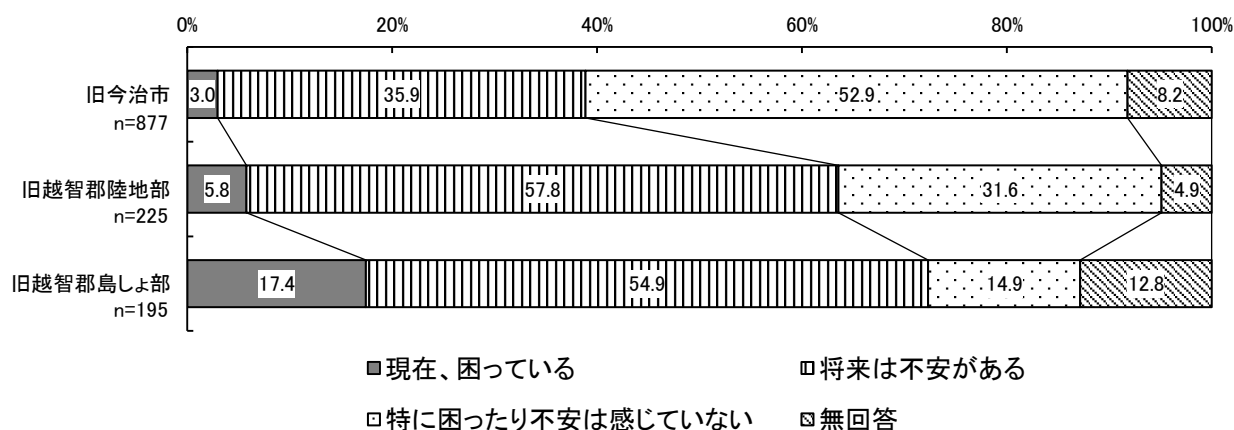
日常の外出・通院について聞いたところ、「現在、困っている」(5.8%)、「将来は不安がある」(42.5%)、「特に困ったり不安は感じていない」(43.2%)となっています。



【地区】

地区別でみると、旧今治市は「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多く、他の地区では「将来は不安がある」と回答した者が最も多くなっています。

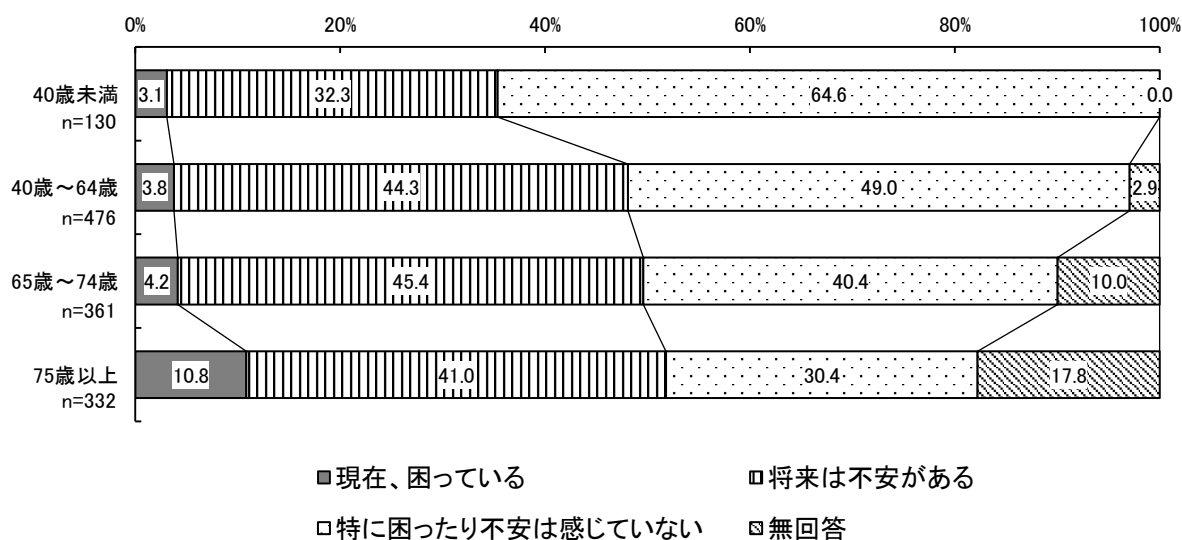
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧今治市より14.4ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は旧越智郡陸地部で多く、旧今治市より21.9ポイント多くなっています。



【年齢】

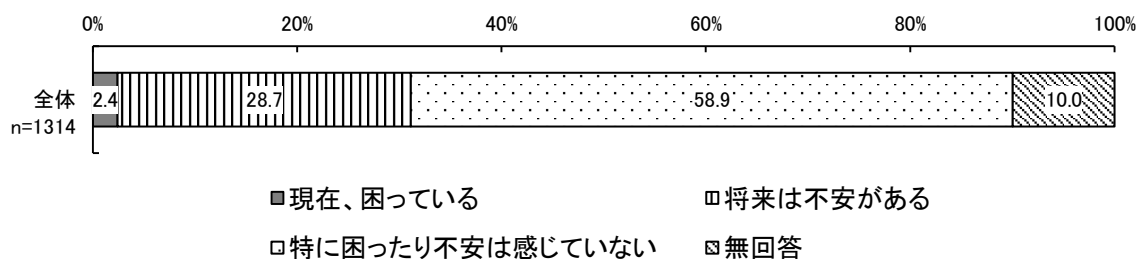
年齢別にみると、40歳未満と40歳～64歳は「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多く、65歳～74歳と75歳以上は「将来は不安がある」と回答した者が最も多くなっています。

「現在、困っている」と回答した者は75歳以上で多く、40歳未満より7.7ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は65歳～74歳で多く、40歳未満より13.1ポイント多くなっています。



【カ 話し相手や相談相手】

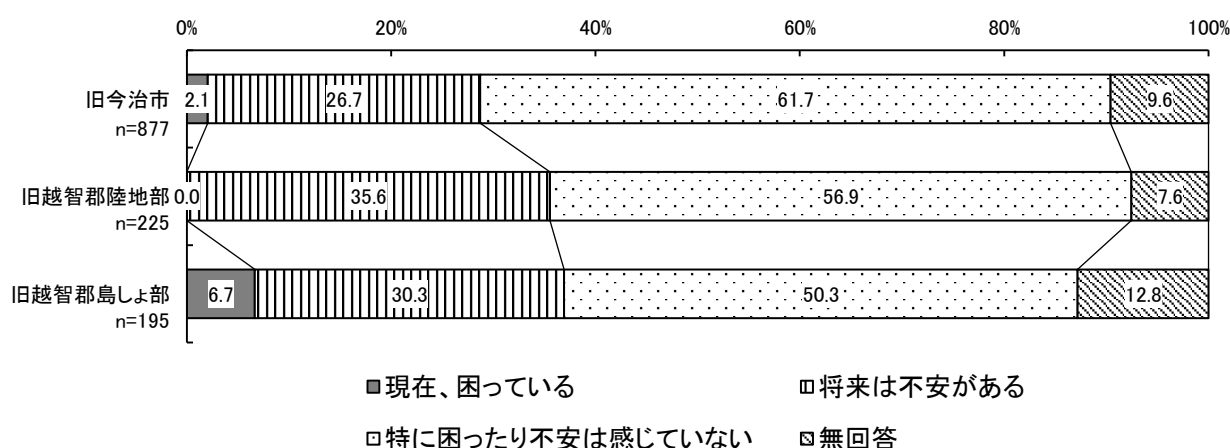
話し相手や相談相手について聞いたところ、「現在、困っている」(2.4%)、「将来は不安がある」(28.7%)、「特に困ったり不安は感じていない」(58.9%)となっています。



【地区】

地区別でみると、全ての地区で「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

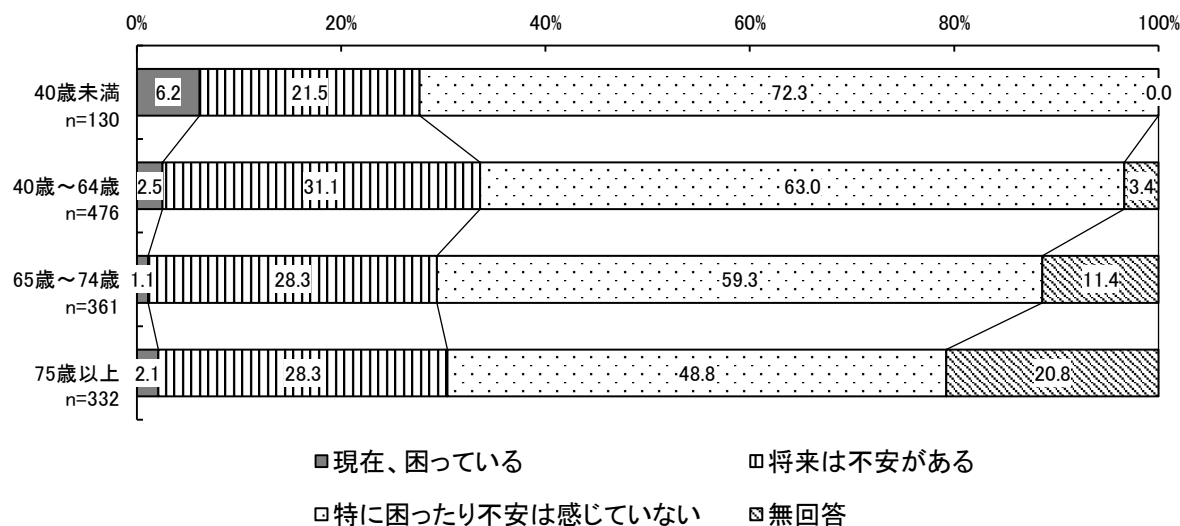
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧越智郡陸地部より 6.7 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は「現在、困っている」と回答した者はいませんが、「将来は不安がある」と回答した者が多く、旧今治市より 8.9 ポイント多くなっています。



【年齢】

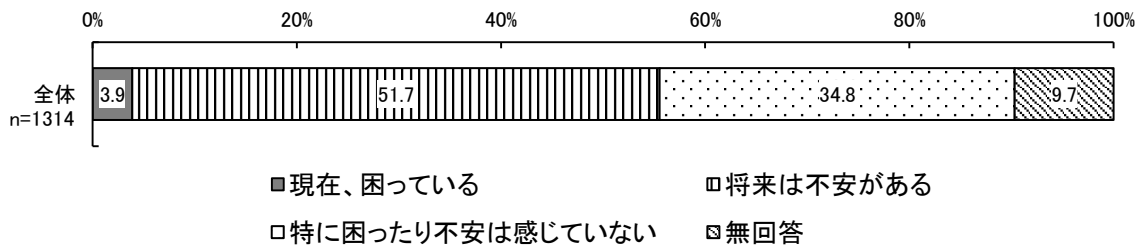
年齢別にみると、全ての年齢層で「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

「現在、困っている」と回答した者は 40 歳未満で多く、65 歳～74 歳より 5.1 ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は 40 歳～64 歳で多く、40 歳未満より 9.6 ポイント多くなっています。



【キ 災害時の避難訓練】

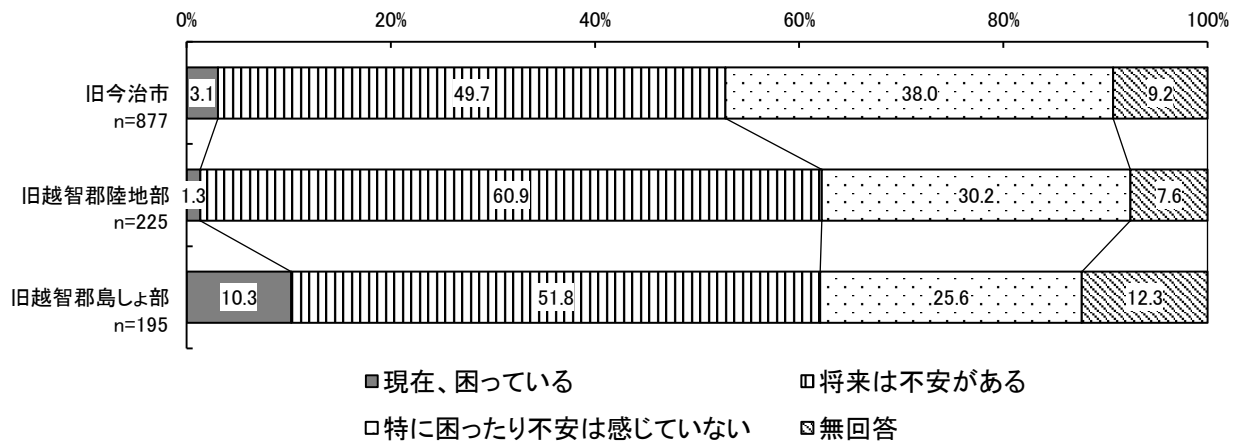
災害時の避難訓練について聞いたところ、「現在、困っている」(3.9%)、「将来は不安がある」(51.7%)、「特に困ったり不安は感じていない」(34.8%)となっています。



【地区】

地区別でみると、全ての地区で「将来は不安がある」と回答した者が最も多く、旧越智郡陸地部と旧今治市では11.2ポイントの差があります。

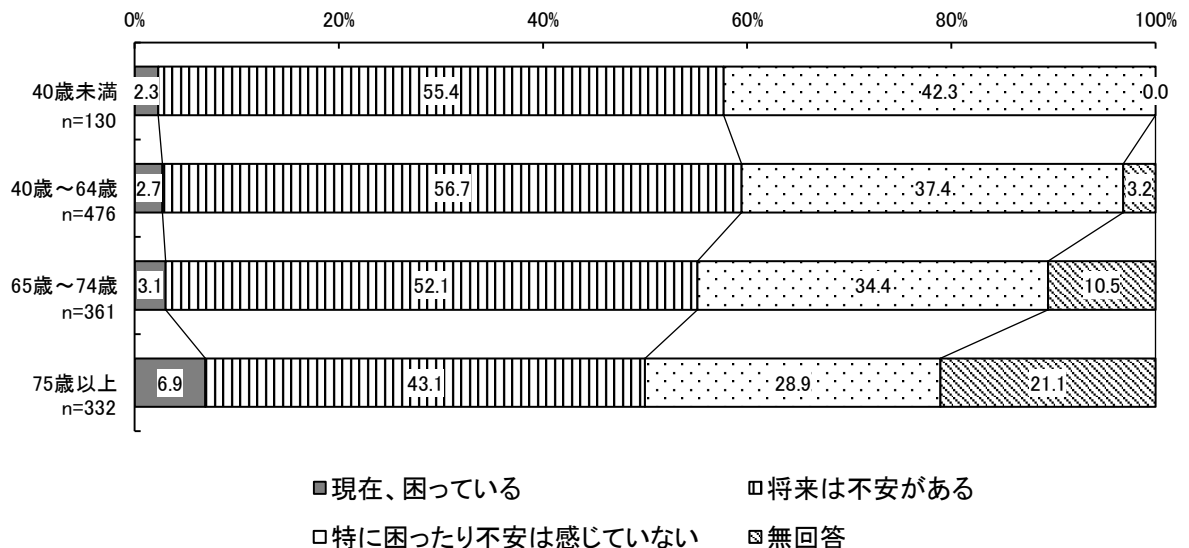
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧越智郡陸地部より9.0ポイント多くなっています。



【年齢】

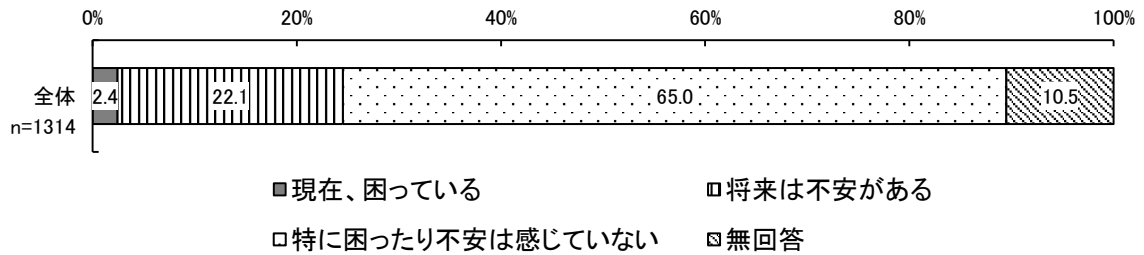
年齢別にみると、全ての年齢層で「将来は不安がある」と回答した者が最も多く、40歳～64歳と75歳以上では13.6ポイントの差があります。

「現在、困っている」と回答した者は75歳以上で多く、40歳未満より4.6ポイント多くなっています。



【ク 地域の治安】

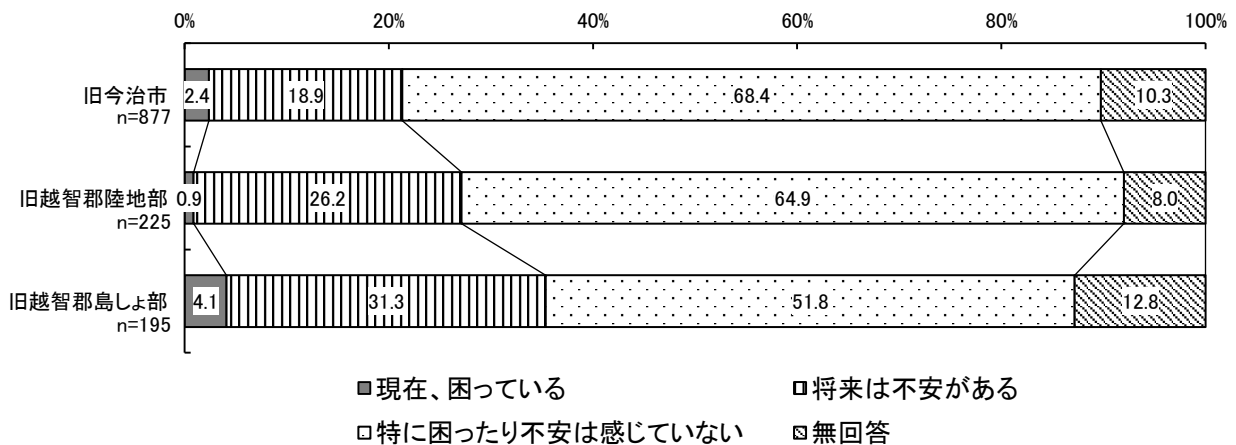
地域の治安について聞いたところ、「現在、困っている」(2.4%)、「将来は不安がある」(22.1%)、「特に困ったり不安は感じていない」(65.0%)となっています。



【地区】

地区別でみると、全ての地区で「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

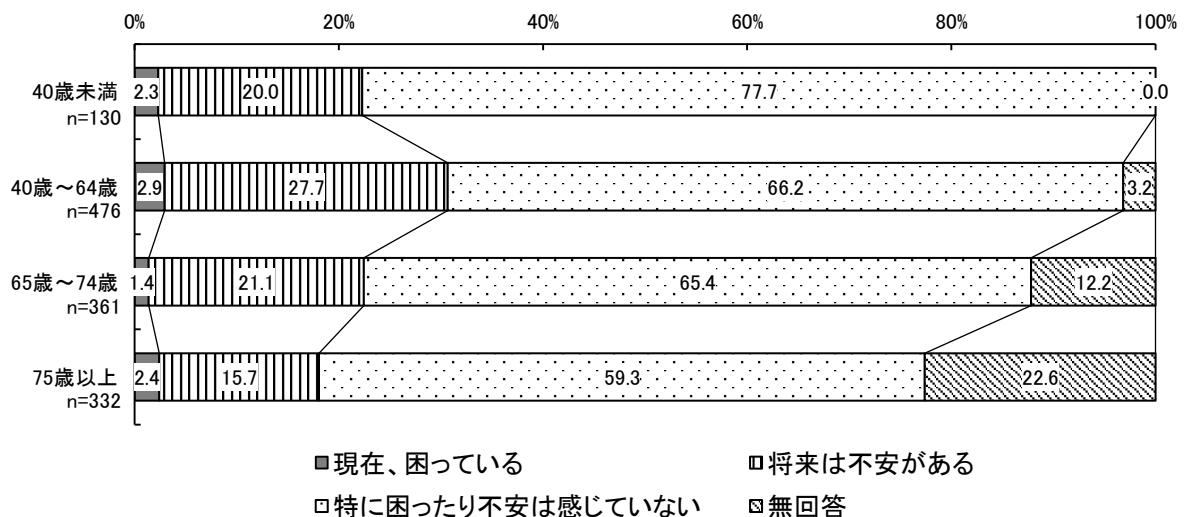
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧越智郡陸地部より3.2ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者も旧越智郡島しょ部で多く、旧今治市より12.4ポイント多くなっています。



【年齢】

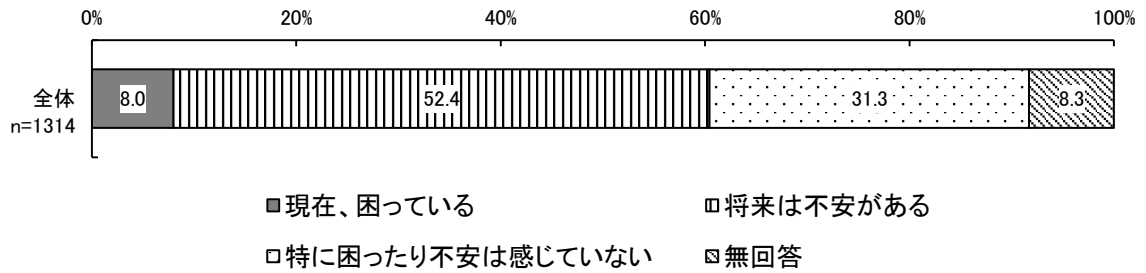
年齢別にみると、全ての年齢層で「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

「現在、困っている」と回答した者は40歳～64歳で多く、65歳～74歳より1.5ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者も40歳～64歳で多く、75歳以上より12.0ポイント多くなっています。



【ケ 健康状態】

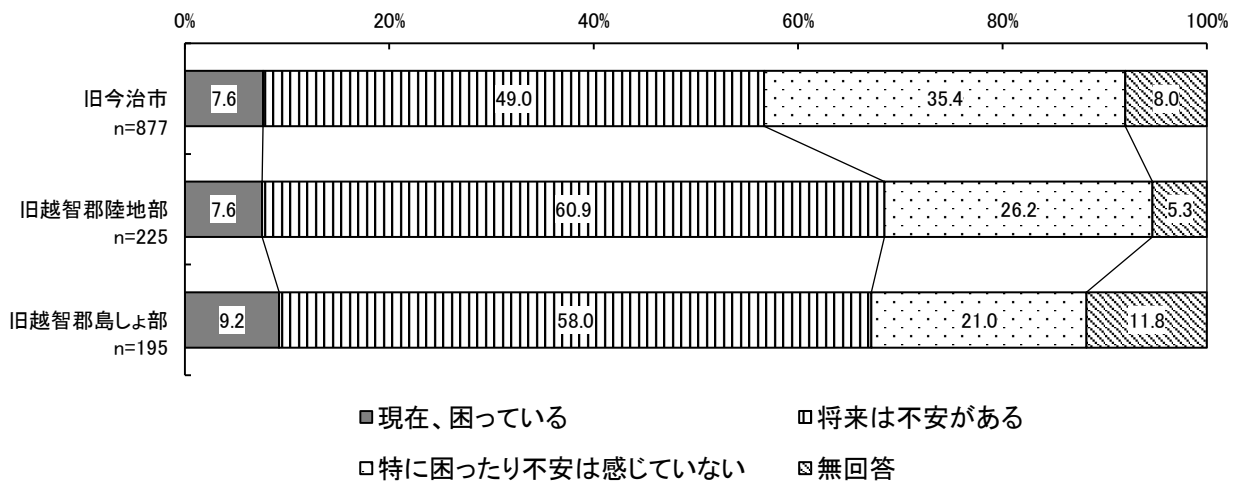
健康状態について聞いたところ、「現在、困っている」(8.0%)、「将来は不安がある」(52.4%)、「特に困ったり不安は感じていない」(31.3%)となっています。



【地区】

地区別でみると、全ての地区で「将来は不安がある」と回答した者が最も多く、旧越智郡陸地部と旧今治市では11.9ポイントの差があります。

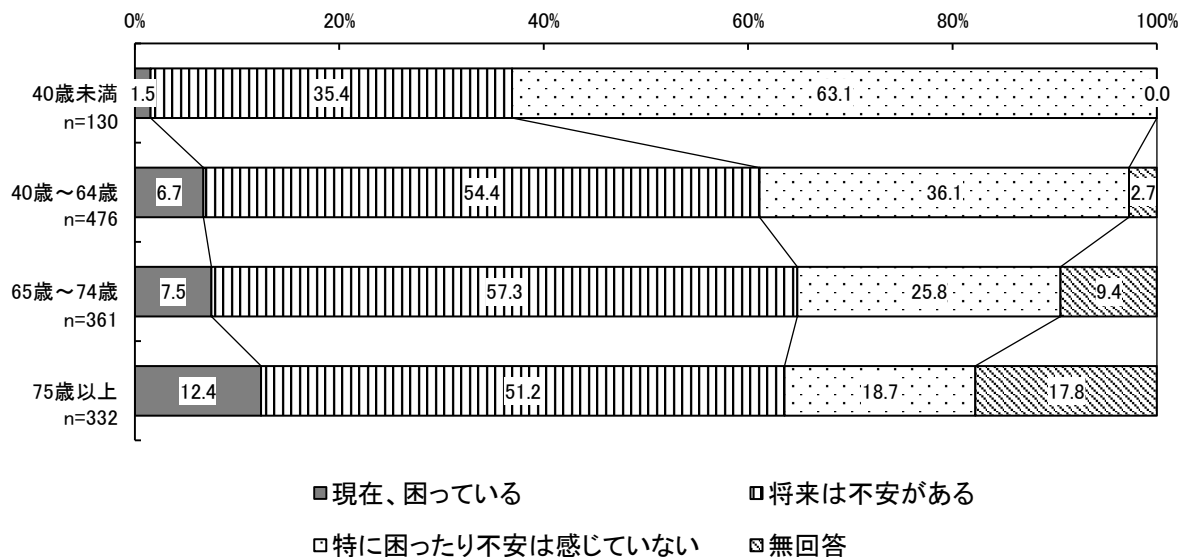
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、他の地区より1.6ポイント多くなっています。



【年齢】

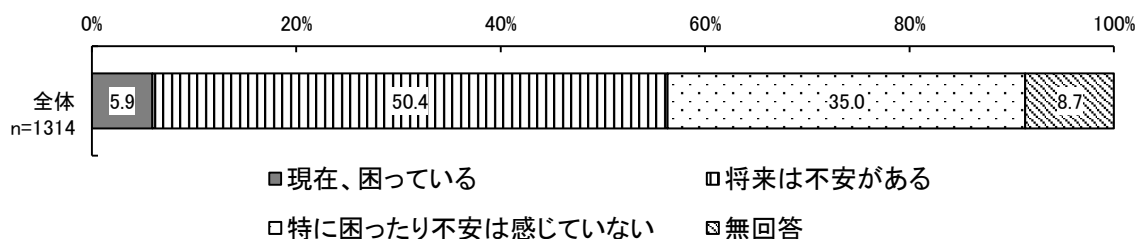
年齢別にみると、40歳未満は「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多く、他の年齢層では「将来は不安がある」と回答した者が最も多くなっています。

「現在、困っている」と回答した者は75歳以上で多く、40歳未満より10.9ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は65歳～74歳で多く、40歳未満より21.9ポイント多くなっています。



【コ 経済的な状況】

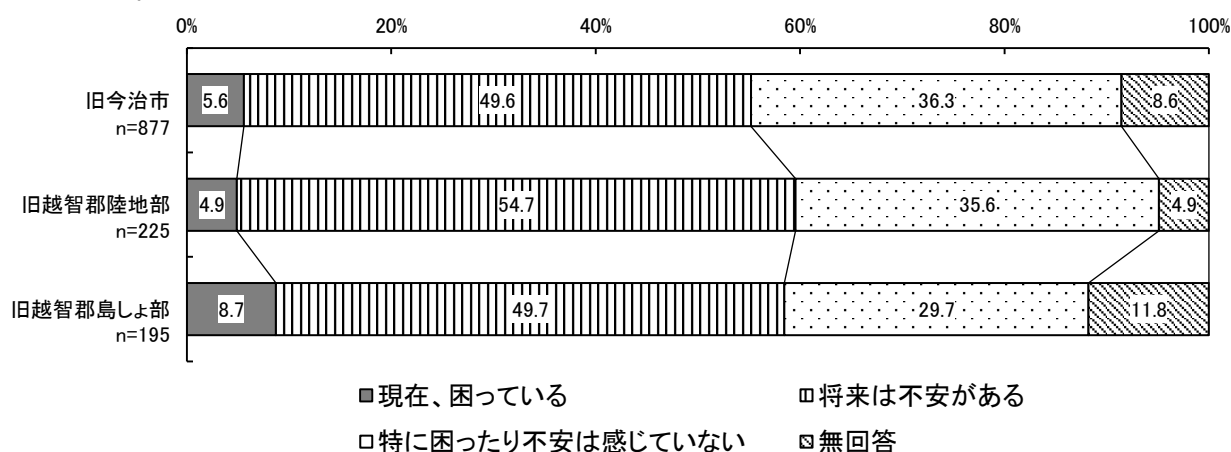
経済的な状況について聞いたところ、「現在、困っている」(5.9%)、「将来は不安がある」(50.4%)、「特に困ったり不安は感じていない」(35.0%)となっています。



【地区】

地区別でみると、全ての地区で「将来は不安がある」と回答した者が最も多く、旧越智郡陸地部と旧今治市では5.1ポイントの差があります。

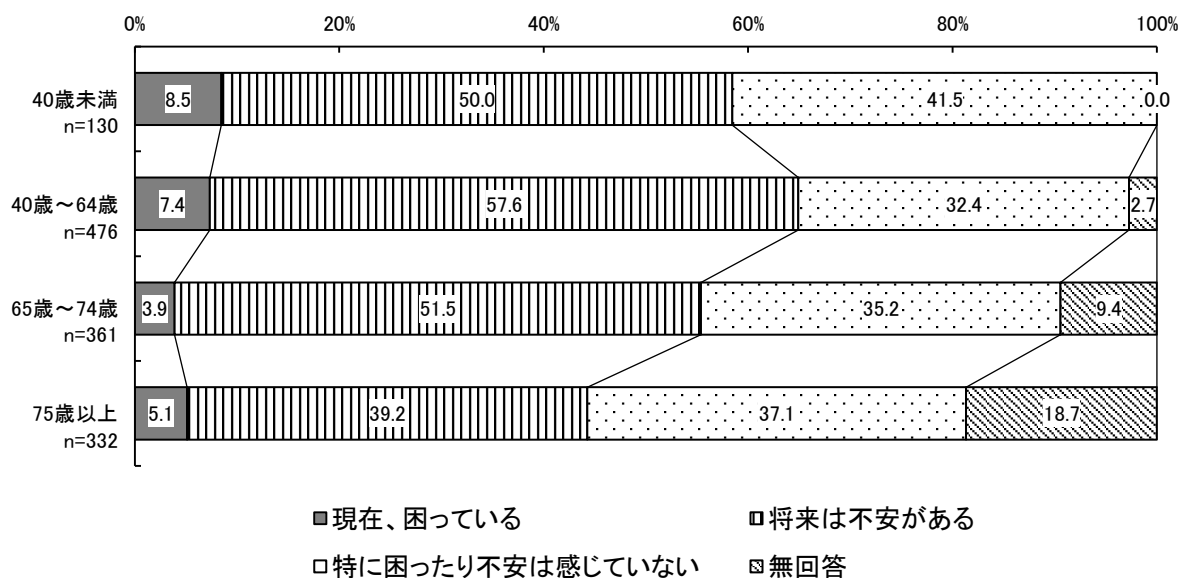
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧越智郡陸地部より3.8ポイント多くなっています。



【年齢】

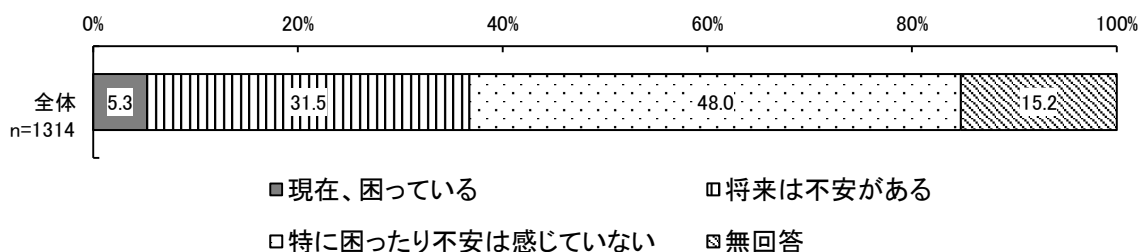
年齢別にみると、全ての年齢層で「将来は不安がある」と回答した者が最も多く、40歳～64歳と75歳以上では18.4ポイントの差があります。

「現在、困っている」と回答した者は40歳未満が多く、65歳～74歳より4.6ポイント多くなっています。



【サ 就労や雇用の状況】

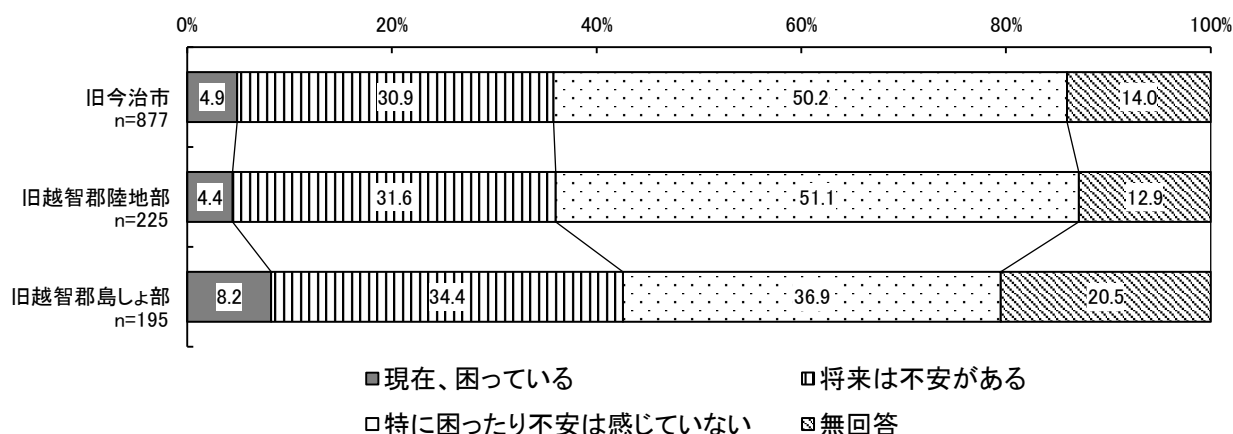
就労や雇用の状況について聞いたところ、「現在、困っている」（5.3%）、「将来は不安がある」（31.5%）、「特に困ったり不安は感じていない」（48.0%）となっています。



【地区】

地区別でみると、全ての地区で「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

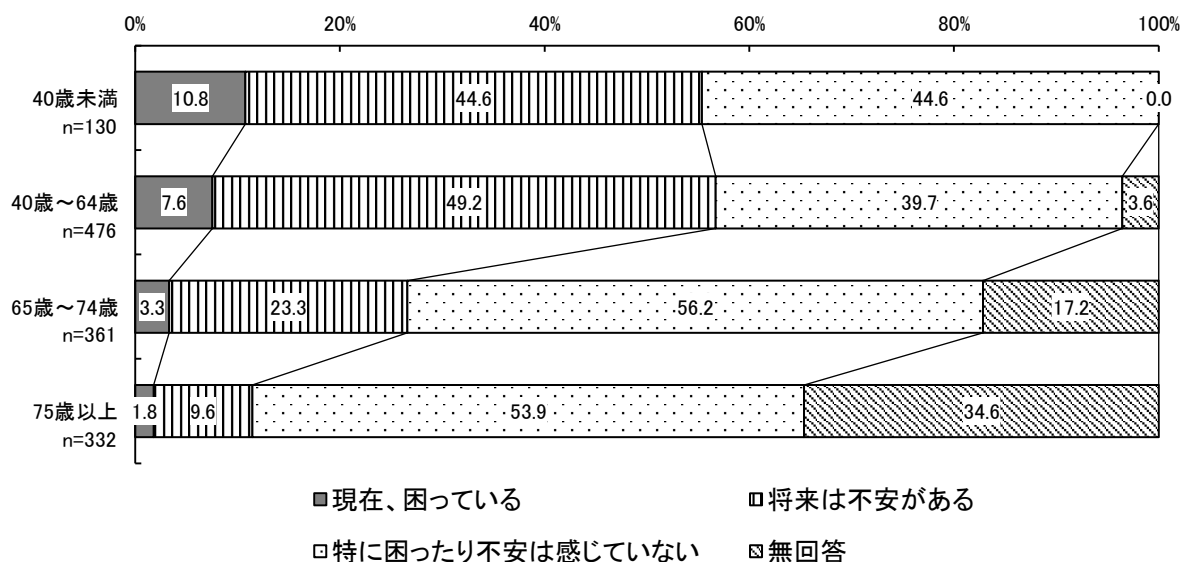
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧越智郡陸地部より 3.8 ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者も旧越智郡島しょ部で多く、旧今治市より 3.5 ポイント多くなっています。



【年齢】

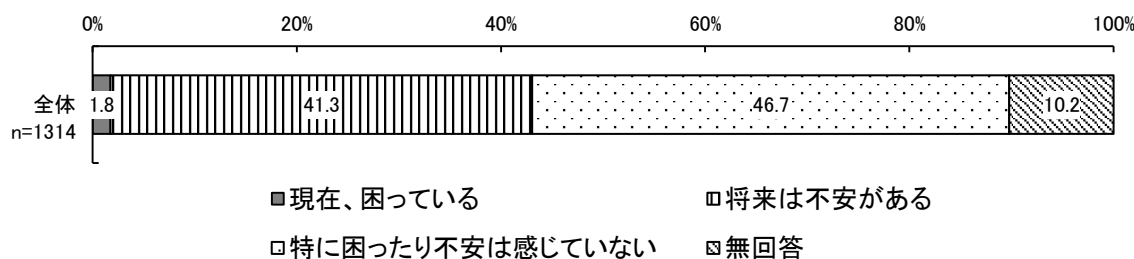
年齢別にみると、40 歳未満は「将来は不安がある」と「特に困ったり不安は感じていない」が同じ割合です。40 歳～64 歳は「将来は不安がある」と回答した者が最も多く、65 歳～74 歳と 75 歳以上は「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

「現在、困っている」と回答した者は 40 歳未満で多く、75 歳以上より 9.0 ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は 40 歳～64 歳で多く、75 歳以上より 39.6 ポイント多くなっています。



【シ お金の管理や契約などの判断】

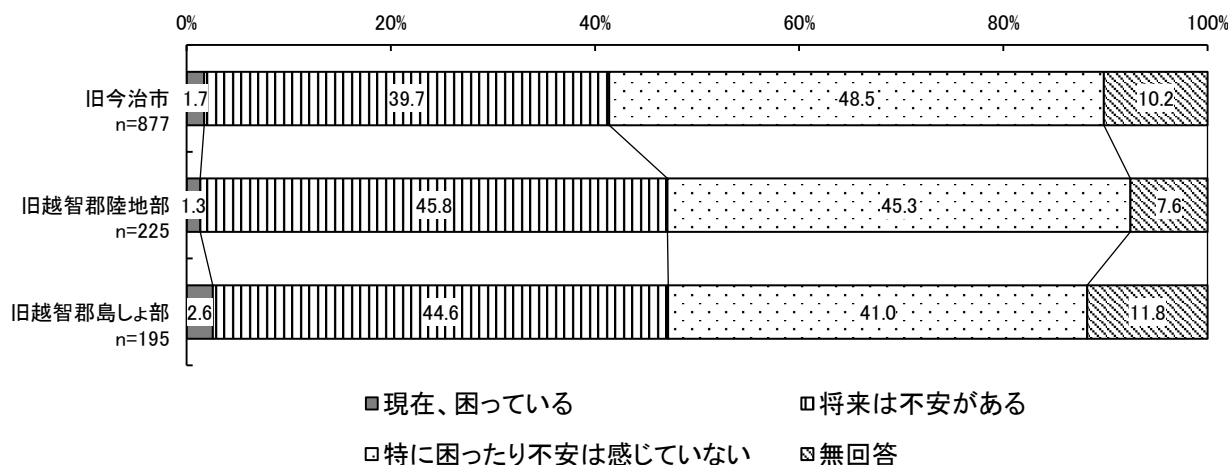
お金の管理や契約などの判断について聞いたところ、「現在、困っている」(1.8%)、「将来は不安がある」(41.3%)、「特に困ったり不安は感じていない」(46.7%)となっています。



【地区】

地区別でみると、旧今治市は「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多く、他の地区は「将来は不安がある」と回答した者が最も多くなっています。

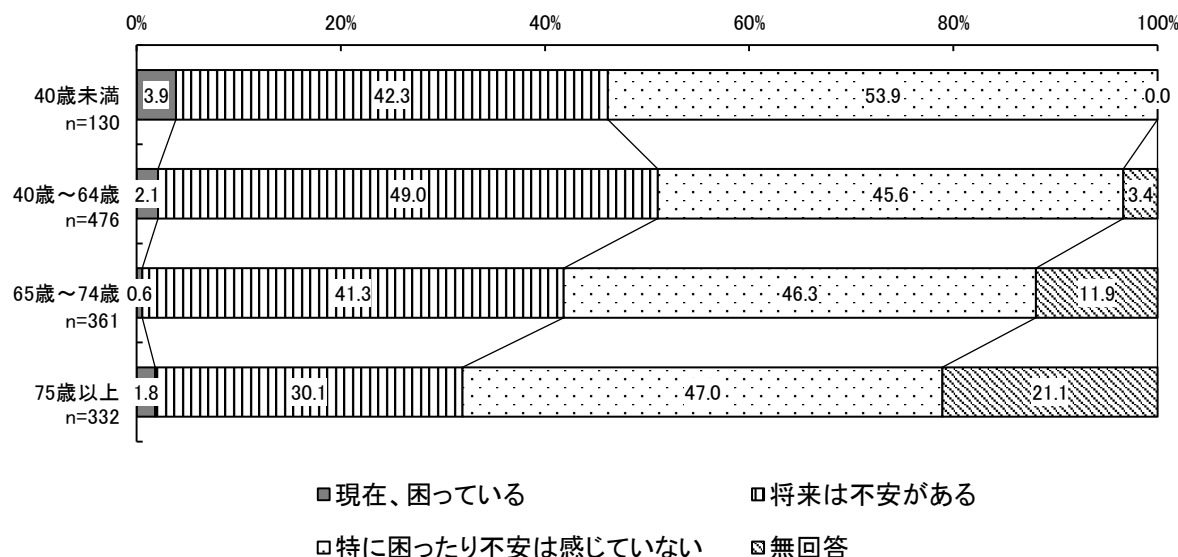
「現在、困っている」と回答した者は旧越智郡島しょ部で多く、旧越智郡陸地部より 1.3 ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は旧越智郡陸地部で多く、旧今治市より 6.1 ポイント多くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳～64歳は「将来は不安がある」と回答した者が最も多く、他の年齢層は「特に困ったり不安は感じていない」と回答した者が最も多くなっています。

「現在、困っている」と回答した者は40歳未満で多く、65歳～74歳より 3.3 ポイント多くなっています。「将来は不安がある」と回答した者は40歳～64歳で多く、75歳以上より 18.9 ポイント多くなっています。

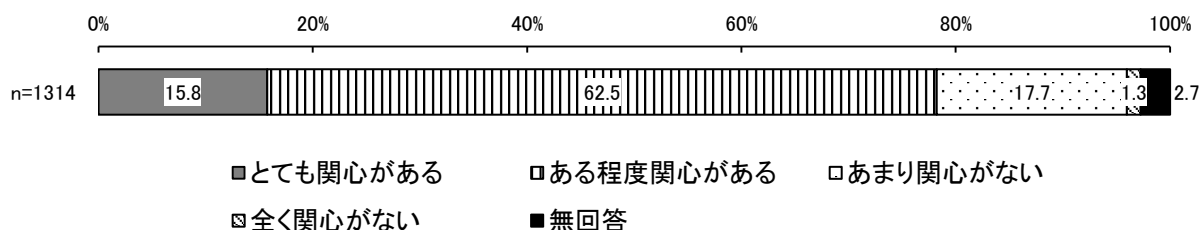


福祉について

問2 あなたは、「福祉」に関心がありますか。

	(件)
1 とても関心がある	207
2 ある程度関心がある	821
3 あまり関心がない	233
4 全く関心がない	17
無回答	36

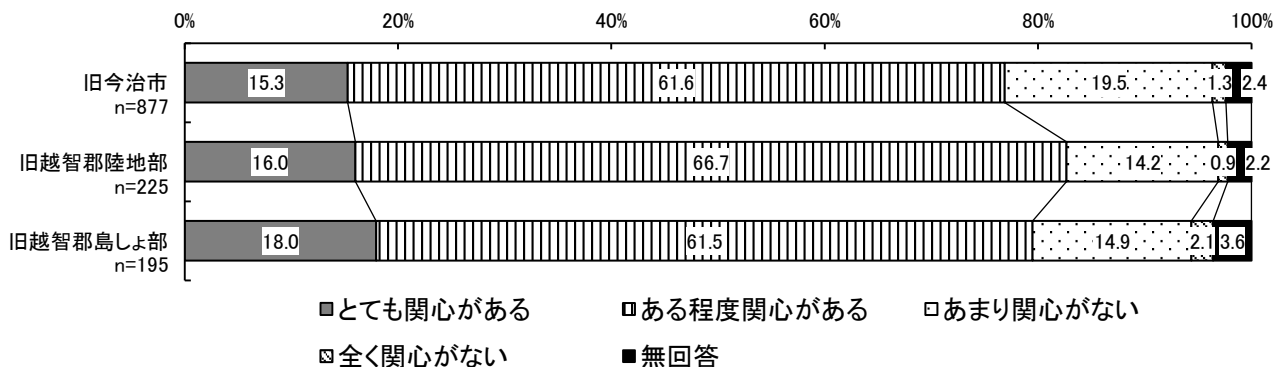
「福祉」に関心があるかを聞いたところ、関心がある 78.3%（「とても関心がある」15.8%、「ある程度関心がある」62.5%の合計（以下同じ））、関心がない 19.0%（「あまり関心がない」17.7%、「全く関心がない」1.3%の合計（以下同じ））となっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、関心がある 76.9%、関心がない 20.8%となっており、関心があるが 56.1 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、関心がある 82.7%、関心がない 15.1%となっており、関心があるが 67.6 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、関心がある 79.5%、関心がない 17.0%となっており、関心があるが 62.5 ポイント多くなっています。

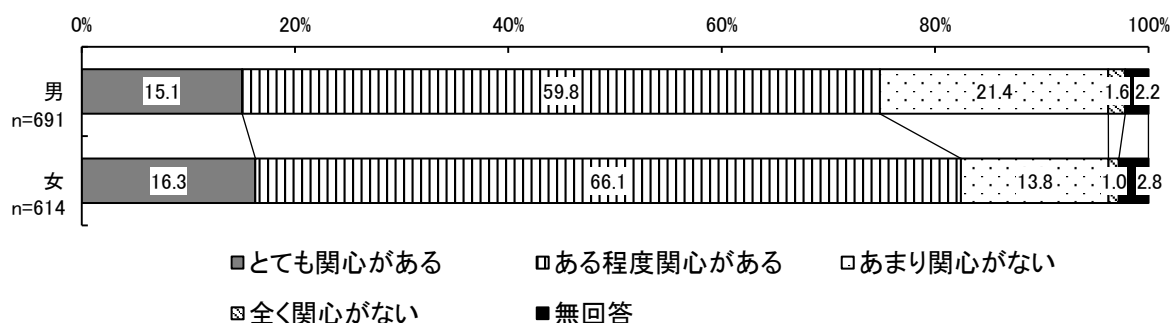
全ての地区で関心があると回答した者は 7 割を超えています、なかでも旧越智郡陸地部が最も多く、旧今治市より 5.8 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、関心がある 74.9%、関心がない 23.0%となっており、関心があるが 51.9 ポイント多くなっています。女性は、関心がある 82.4%、関心がない 14.8%となっており、関心があるが 67.6 ポイント多くなっています。

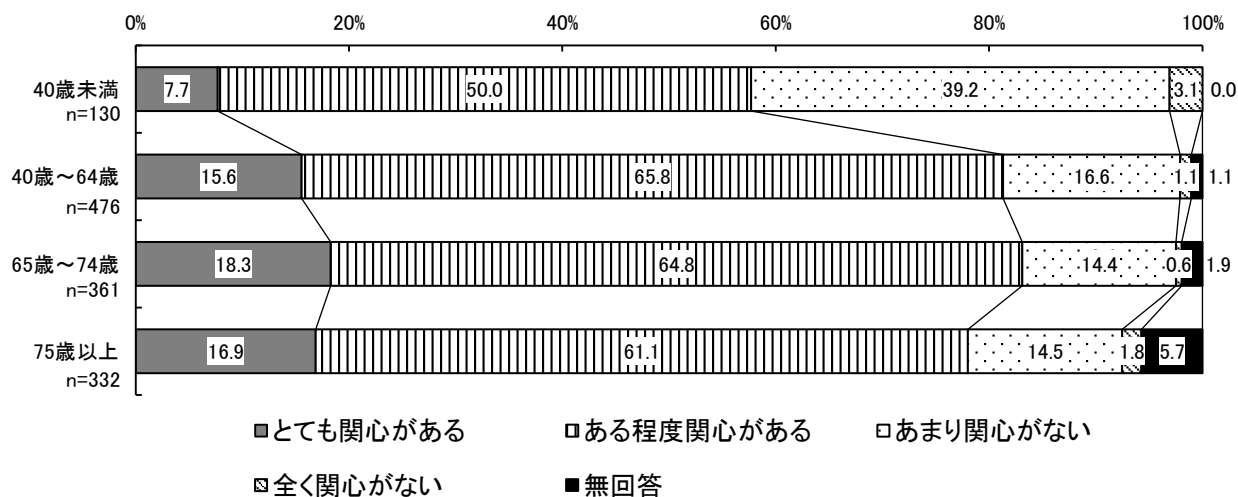
関心があると回答した者は、女性の方が男性より 7.5 ポイント多くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、関心がある57.7%、関心がない42.3%となっており、関心があるが15.4ポイント多くなっています。40歳～64歳は、関心がある81.4%、関心がない17.7%となっており、関心があるが63.7ポイント多くなっています。65歳～74歳は、関心がある83.1%、関心がない15.0%となっており、関心があるが68.1ポイント多くなっています。75歳以上は、関心がある78.0%、関心がない16.3%となっており、関心があるが61.7ポイント多くなっています。

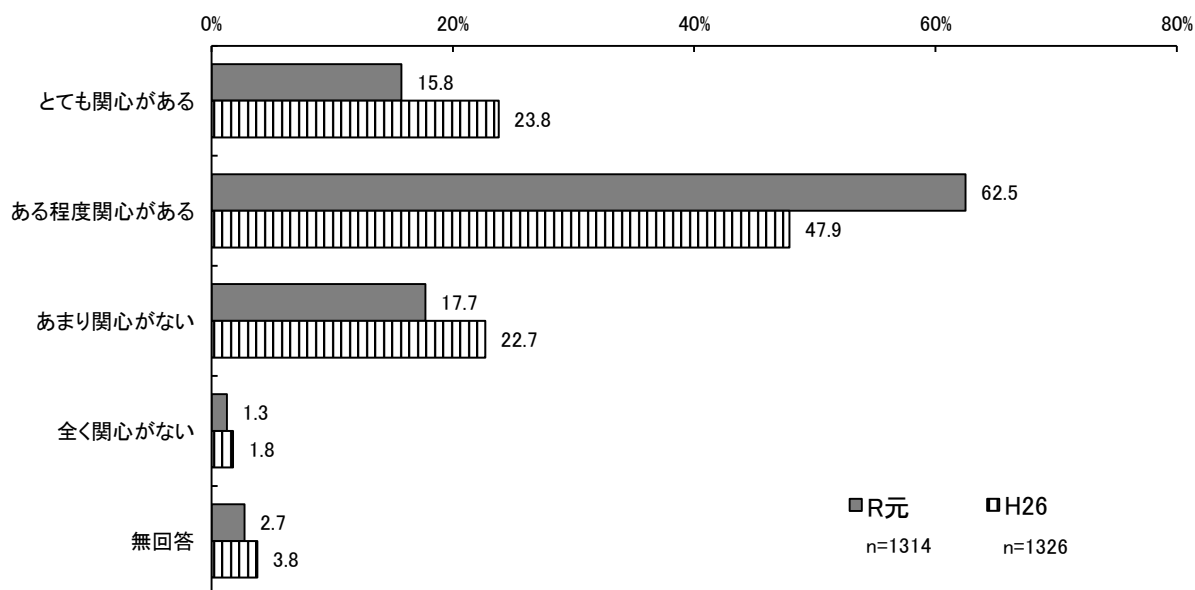
関心があると回答した者は65歳～74歳で多く、40歳未満より25.4ポイント多くなっています。



【経年変化】

経年変化をみると、「ある程度関心がある」と回答した者が、前回調査より14.6ポイント増加しています。

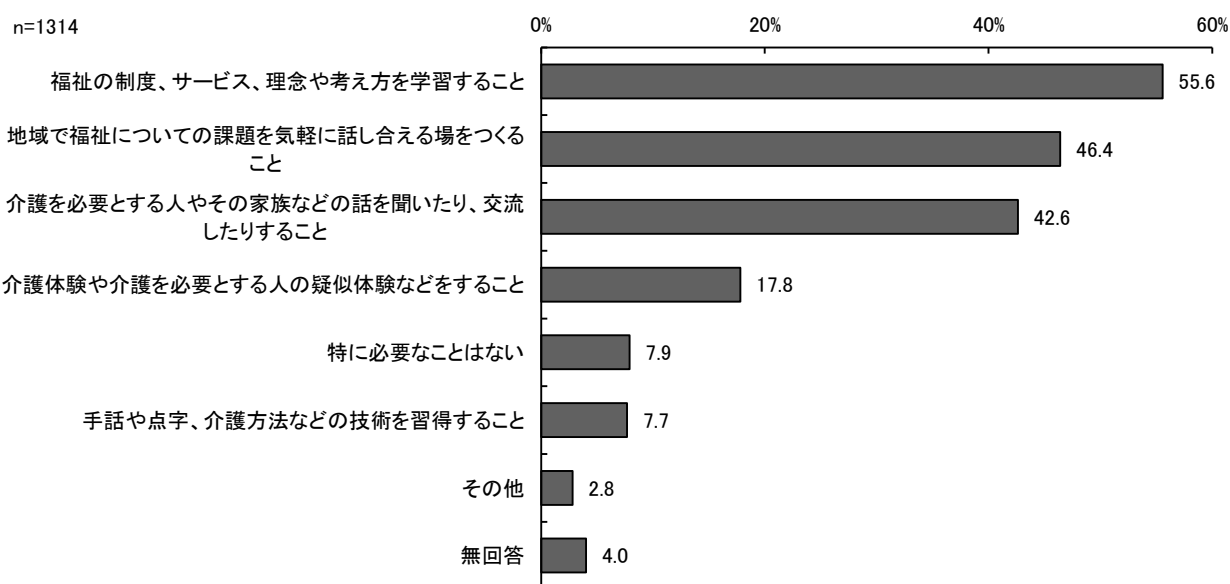
一方、「とても関心がある」と回答した者が、前回調査より8.0ポイント、「あまり関心がない」と回答した者は、前回調査より5.0ポイント、「全く関心がない」と回答した者は、前回調査より0.5ポイント減少しています。



問3 「福祉」について理解を深めるためには、どのような機会が必要であると思いますか。

〈複数回答・3つまで〉(件)		
1	福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること	730
2	介護体験や介護を必要とする人の疑似体験などを行うこと	234
3	介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること	560
4	手話や点字、介護方法などの技術を習得すること	101
5	地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること	610
6	特に必要なことはない	104
7	その他	37
	無回答	53

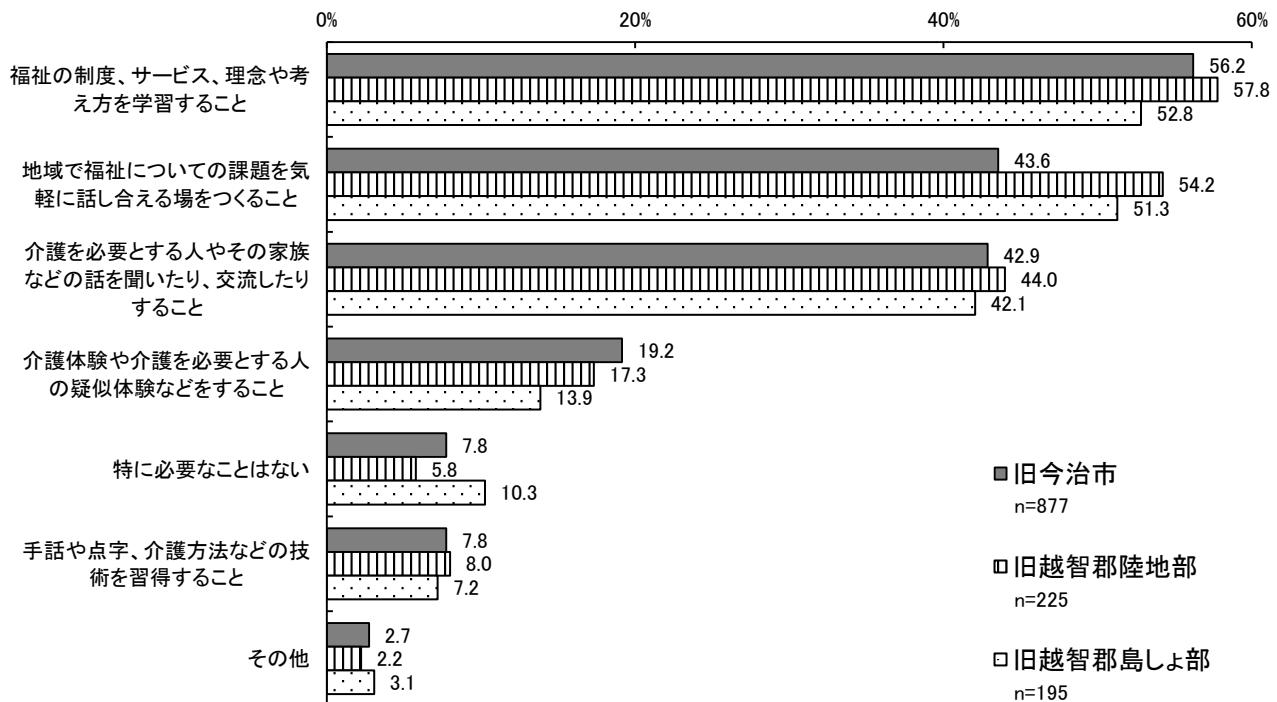
「福祉」について理解を深めるためには、どのような機会が必要であるかを聞いたところ、「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」と回答した者が55.6%と最も多く、次いで「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」(46.4%)、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」(42.6%)、「介護体験や介護を必要とする人の疑似体験などを行うこと」(17.8%)の順となっています。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」と回答した者が最も多く、次いで「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」の順となっています。

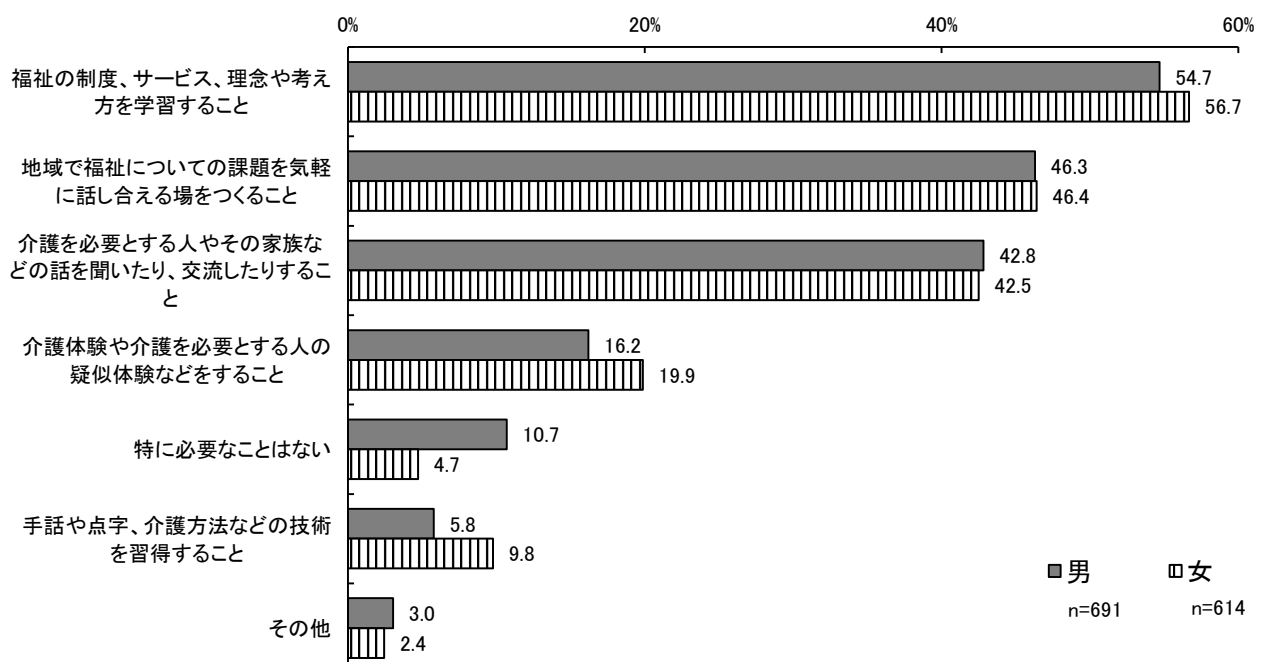
「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」と回答した者は、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では5割を超えていますが、旧今治市では43.6%と5割を切っています。



【性別】

性別でみると、男女ともに「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」と回答した者が最も多く、次いで「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」の順となっています。

「介護体験や介護を必要とする人の疑似体験などをする事」と回答した者は、女性の方が男性よりも3.7ポイント多くなっています。一方、「特に必要なことはない」と回答した者は、男性の方が女性よりも6.0ポイント多くなっています。

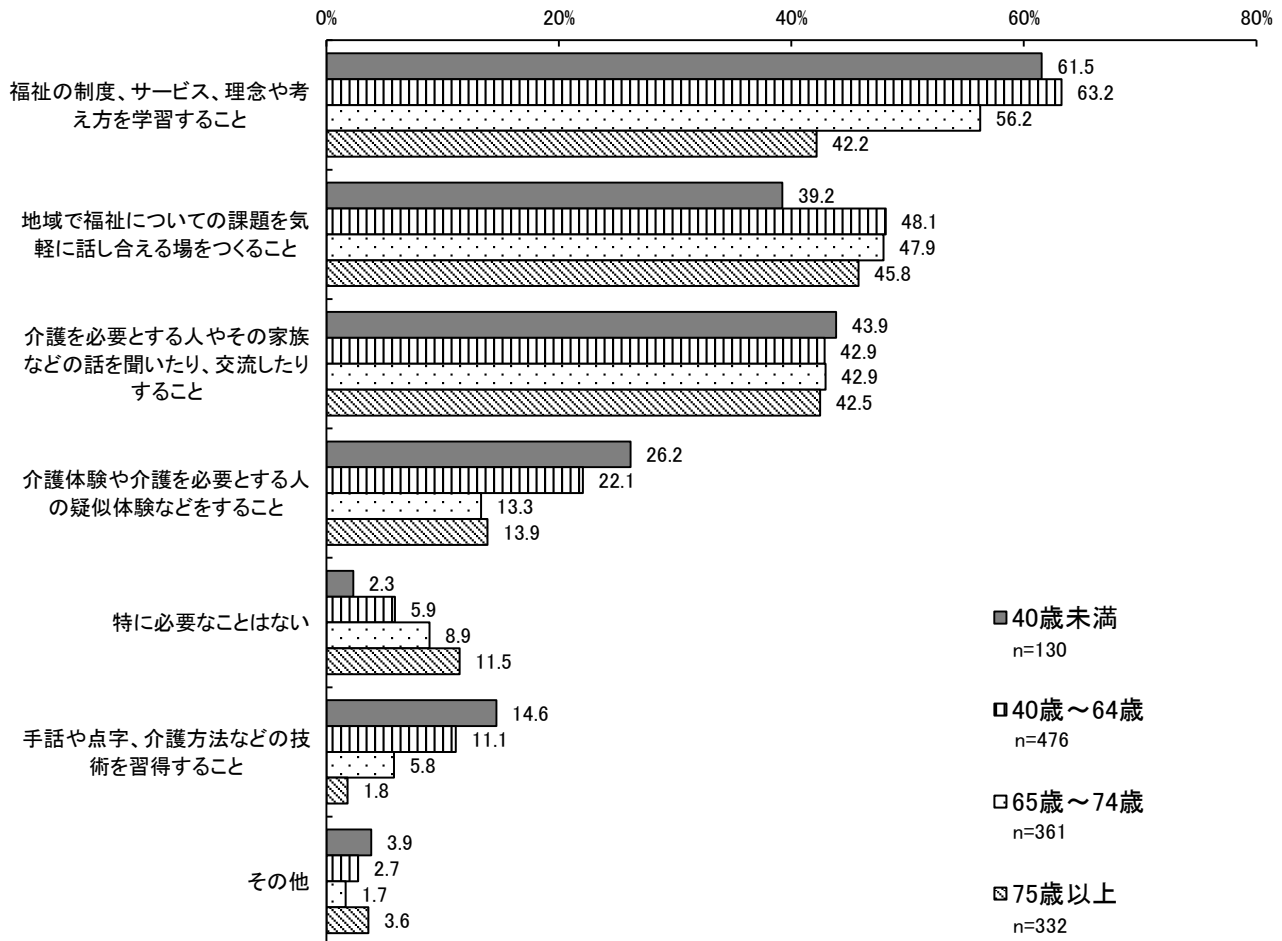


【年齢】

年齢別にみると、75歳以上を除く年齢層で「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」と回答した者が最も多く、なかでも40歳～64歳と75歳以上では21.0ポイントの差となっています。

75歳以上では、「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」と回答した者が最も多く、40歳未満（39.2%）より6.6ポイント多くなっています。

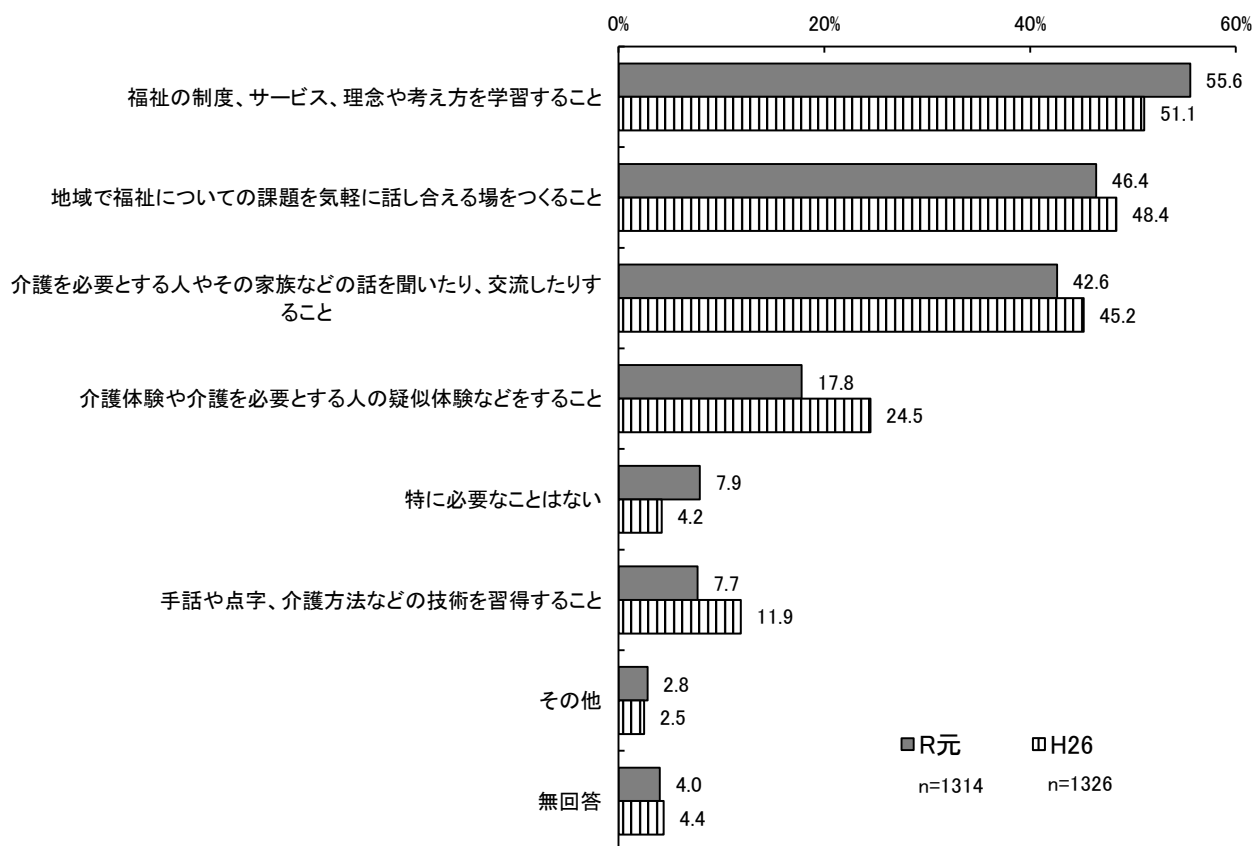
「介護体験や介護を必要とする人の疑似体験などをすること」と回答した者は40歳未満で多く、65歳～74歳より12.9ポイント多くなっています。



【経年変化】

経年変化をみると、「福祉の制度、サービス、理念や考え方を学習すること」と回答した者が、前回調査より 4.5 ポイント増加しています。

一方、「地域で福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」と回答した者が、前回調査より 2.0 ポイント、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」と回答した者は、前回調査より 2.6 ポイント、「介護体験や介護を必要とする人の疑似体験などをする」と回答した者は、前回調査より 6.7 ポイント減少しています。

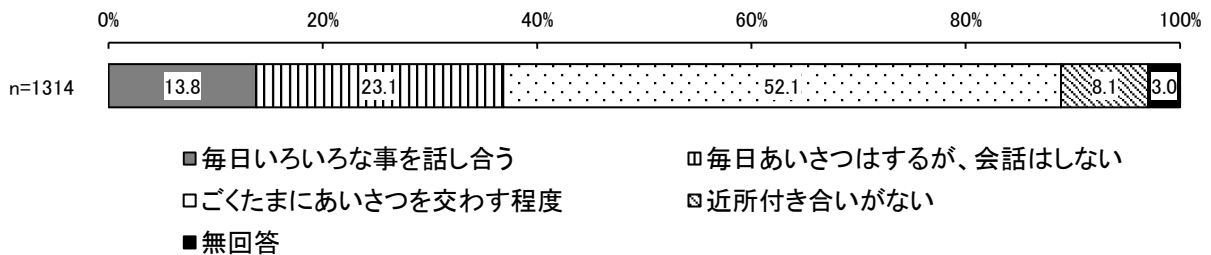


地域や隣人とのかかわりについて

問4 あなたは、日頃どれくらい近所付き合いをしていますか。

		(件)
1	毎日いろいろな話を話し合う	181
2	毎日あいさつはするが、会話はしない	303
3	ごくたまにあいさつを交わす程度	684
4	近所付き合いがない	107
	無回答	39

日頃どれくらい近所付き合いをしているかを聞いたところ、「ごくたまにあいさつを交わす程度」と回答した者が52.1%と最も多く、次いで「毎日あいさつはするが、会話はしない」(23.1%)、「毎日いろいろな話を話し合う」(13.8%)、「近所付き合いがない」(8.1%)の順となっています。

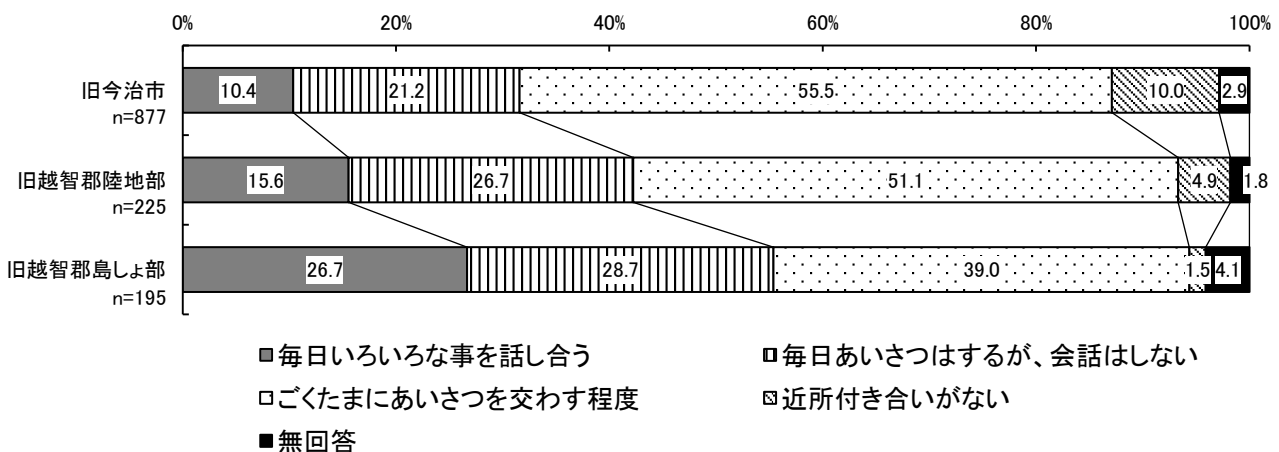


【地区】

地区別にみると、全ての地区で「ごくたまにあいさつを交わす程度」と回答した者が最も多く、旧今治市と旧越智郡島しょ部では16.5ポイント差があります。

「毎日いろいろな話を話し合う」と回答した者は、旧越智郡島しょ部で26.7%と最も多く、最も少ない旧今治市(10.4%)と比べると16.3ポイントの差があります。

「近所付き合いがない」と回答した者は、旧今治市で10.0%と最も多く、最も少ない旧越智郡島しょ部(1.5%)と比べると8.5ポイントの差があります。

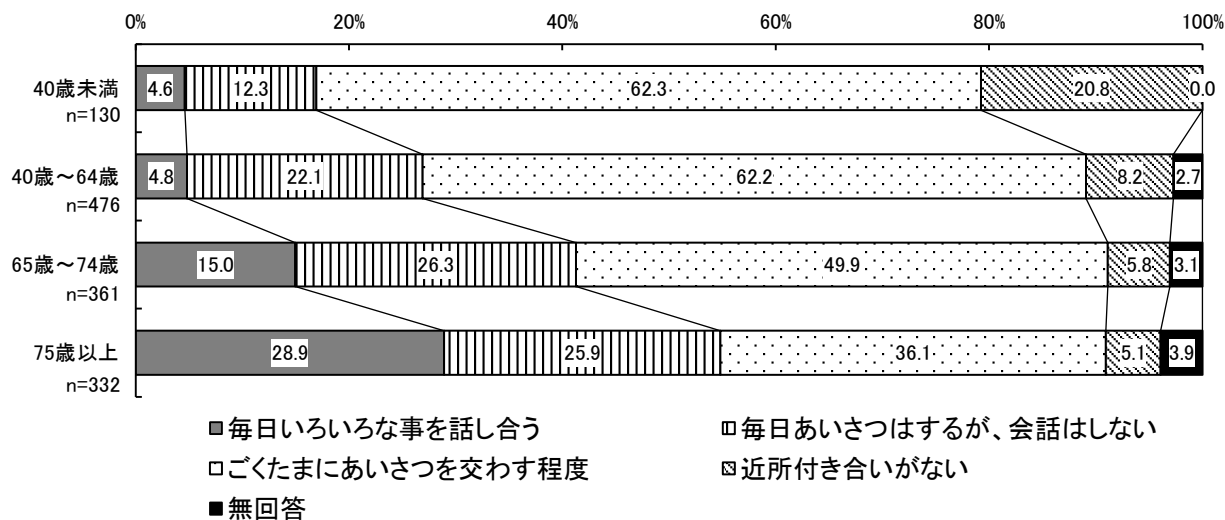


【年齢】

年齢別にみると、全ての年齢層で「ごくたまにあいさつを交わす程度」と回答した者が最も多く、40歳未満は75歳以上より26.2ポイント多くなっています。

「毎日いろいろな事を話し合う」と回答した者は、年齢層が高くなるほど多くなる傾向があり、75歳以上（28.9％）は40歳未満（4.6％）より24.3ポイント多くなっています。

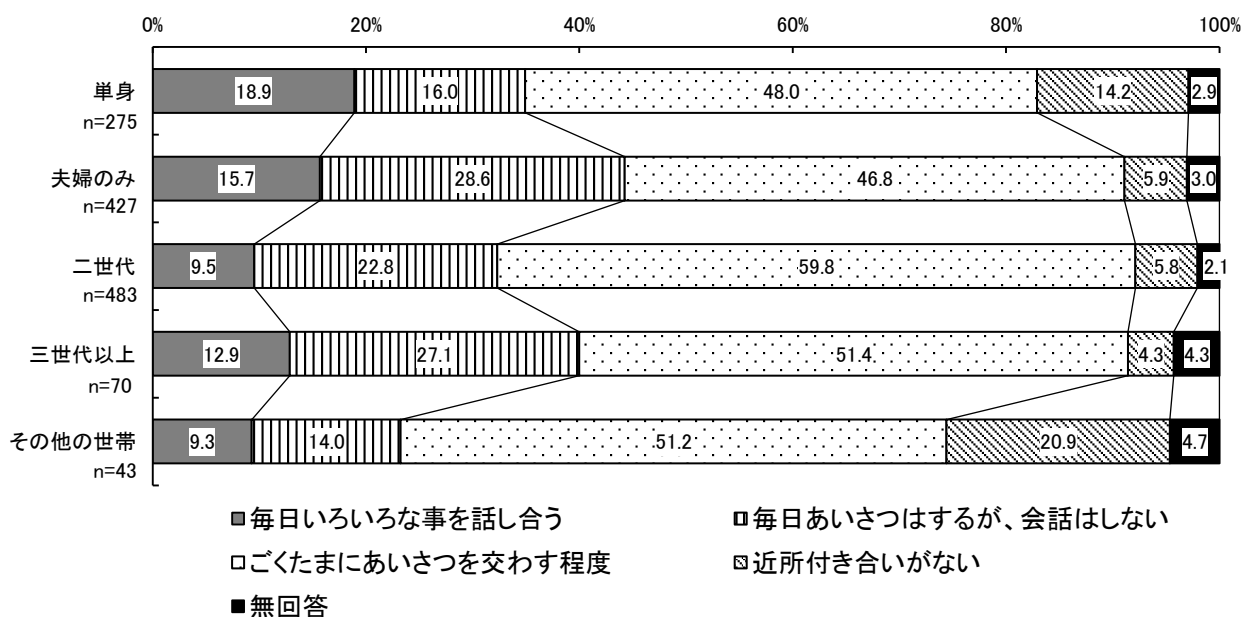
一方、「近所付き合いがない」と回答した者は、年齢層が低くなるほど多くなる傾向があり、40歳未満（20.8％）は75歳以上（5.1％）より15.7ポイント多くなっています。



【世帯】

世帯別にみると、すべての世帯で「ごくたまにあいさつを交わす程度」と回答した者が最も多く、二世帯は夫婦のみより13.0ポイント多くなっています。

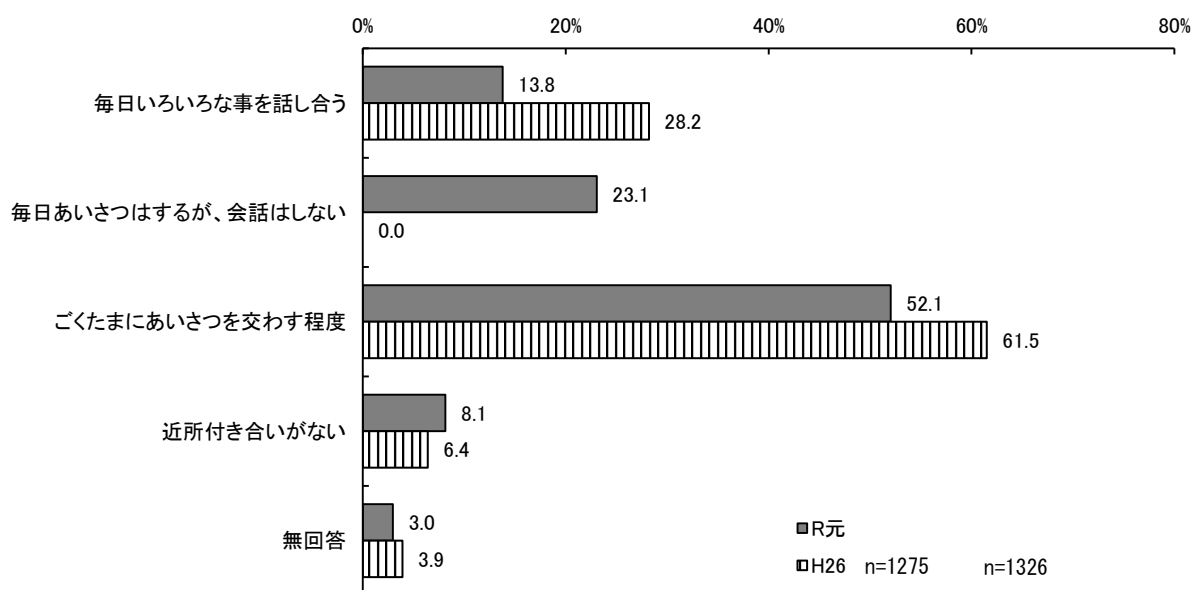
「毎日いろいろな事を話し合う」と回答した者が多いのは単身（18.9％）、「近所付き合いがない」と回答した者が多いのはその他の世帯（20.9％）となっています。



【経年変化】

経年変化をみると、「毎日いろいろな事を話し合う」と回答した者が、前回調査より 14.4 ポイント減少しています。

一方、「近所付き合いがない」と回答した者が、前回調査より 1.7 ポイント増加しています。

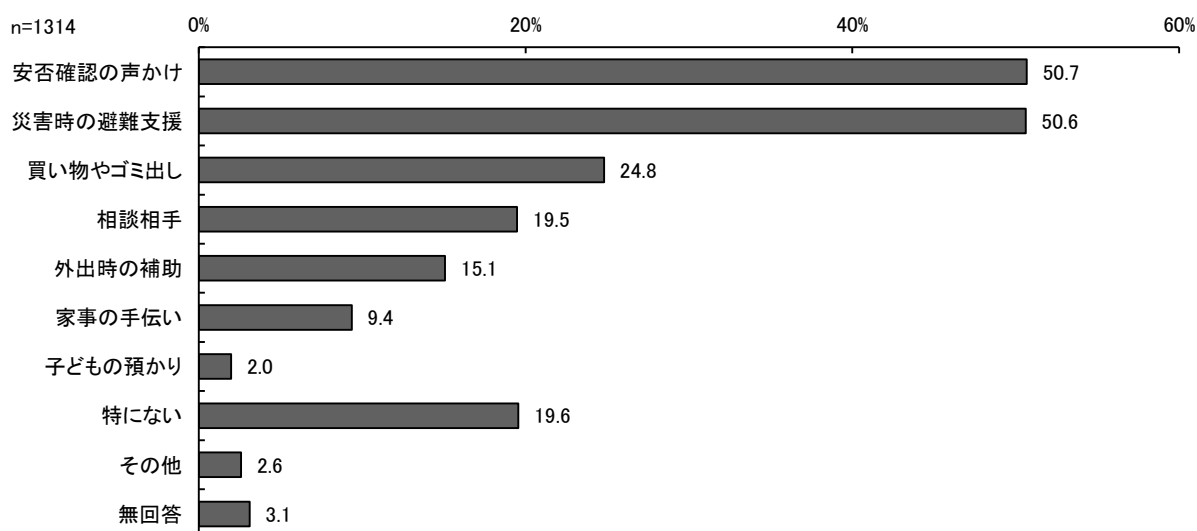


※平成 26 年度調査では、「暮らしのことで話し合ったり助け合ったりしている」、「あいさつする程度でそれほど親しくない」、「ほとんど付き合いをしていない」、令和元年度から「毎日あいさつはするが、会話はしない」を新設。

問5 もし日常生活が不自由になった場合、近所の人に手助けしてほしいと思うことは何ですか。

〈複数回答〉(件)		
1	安否確認の声かけ	666
2	買い物やゴミ出し	326
3	家事の手伝い	123
4	外出時の補助	198
5	子どもの預かり	26
6	相談相手	256
7	災害時の避難支援	665
8	特にない	257
9	その他	34
	無回答	41

もし日常生活が不自由になった場合、近所の人に手助けしてほしいと思うことは何かを聞いたところ、「安否確認の声かけ」と回答した者が50.7%と最も多く、次いで「災害時の避難支援」(50.6%)、「買い物やゴミ出し」(24.8%)、「特にない」(19.6%)、「相談相手」(19.5%)の順となっています。

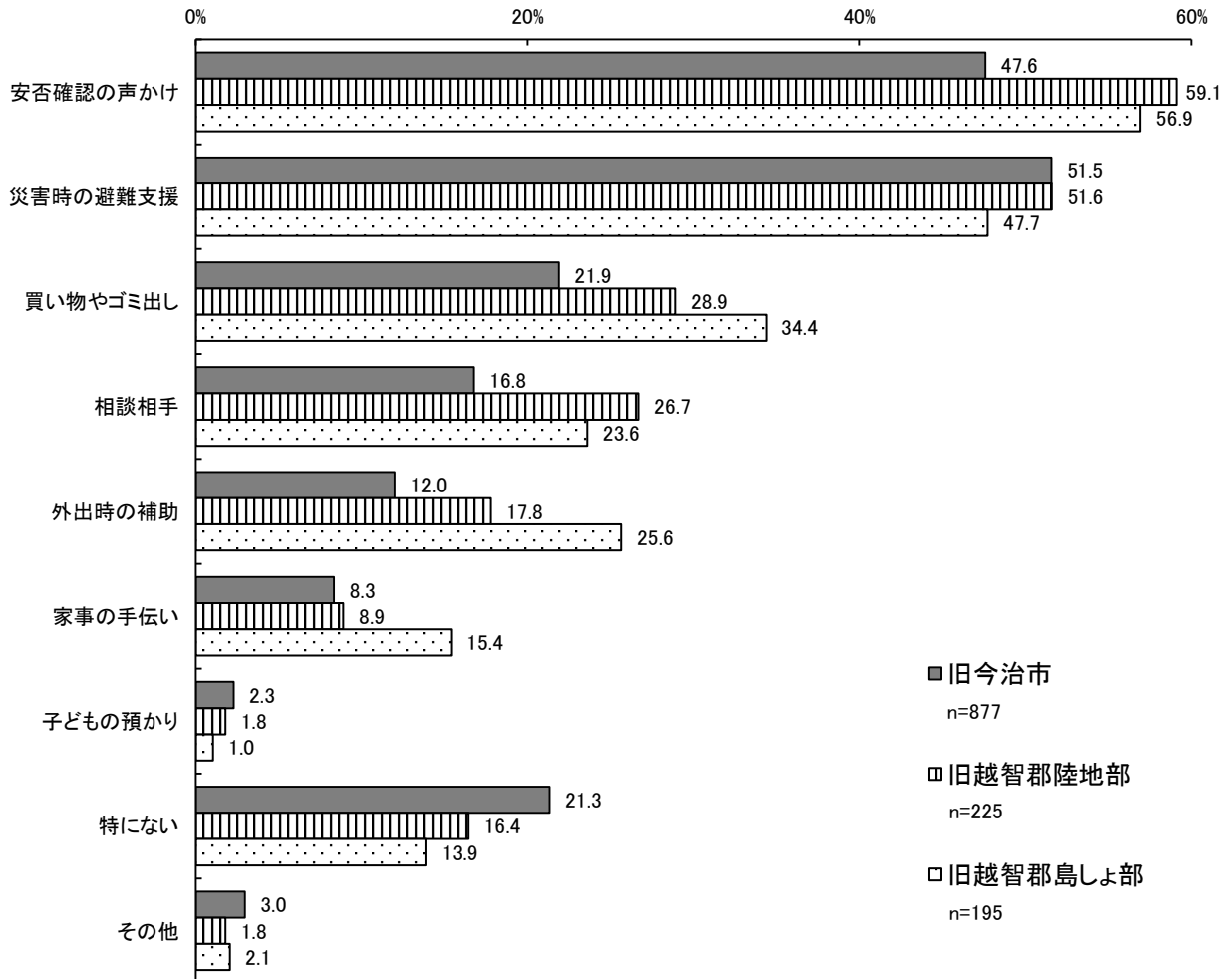


【地区】

地区別にみると、旧今治市では「災害時の避難支援」と回答した者が最も多く、次いで「安否確認の声かけ」、「買い物やゴミ出し」の順となっています。

一方、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では「安否確認の声かけ」と回答した者が最も多く、次いで「災害時の避難支援」、「買い物やゴミ出し」の順となっています。

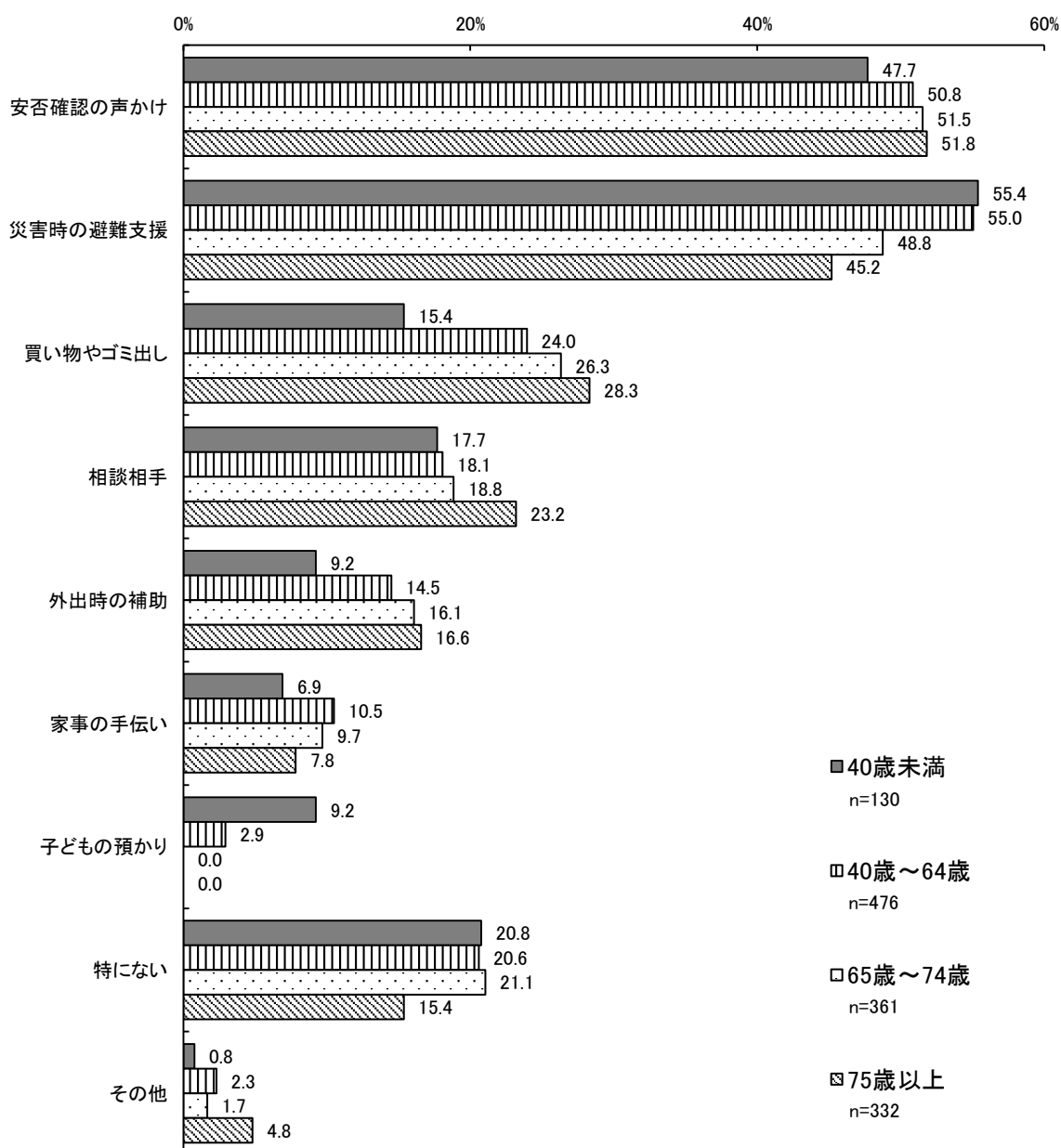
「外出時の補助」と回答した者は、旧越智郡島しょ部（25.6%）は旧今治市（12.0%）より13.6ポイント多くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、全ての年齢層で「安否確認の声かけ」や「災害時の避難支援」と回答した者が多くなっています。

「買い物やゴミ出し」「相談相手」「外出時の補助」と回答した者は、年齢層が高くなるほど多くなっています。75歳以上と40歳未満を比べると、「買い物やゴミ出し」で12.9ポイント、「相談相手」で5.5ポイント、「外出時の補助」で7.4ポイントの差があります。



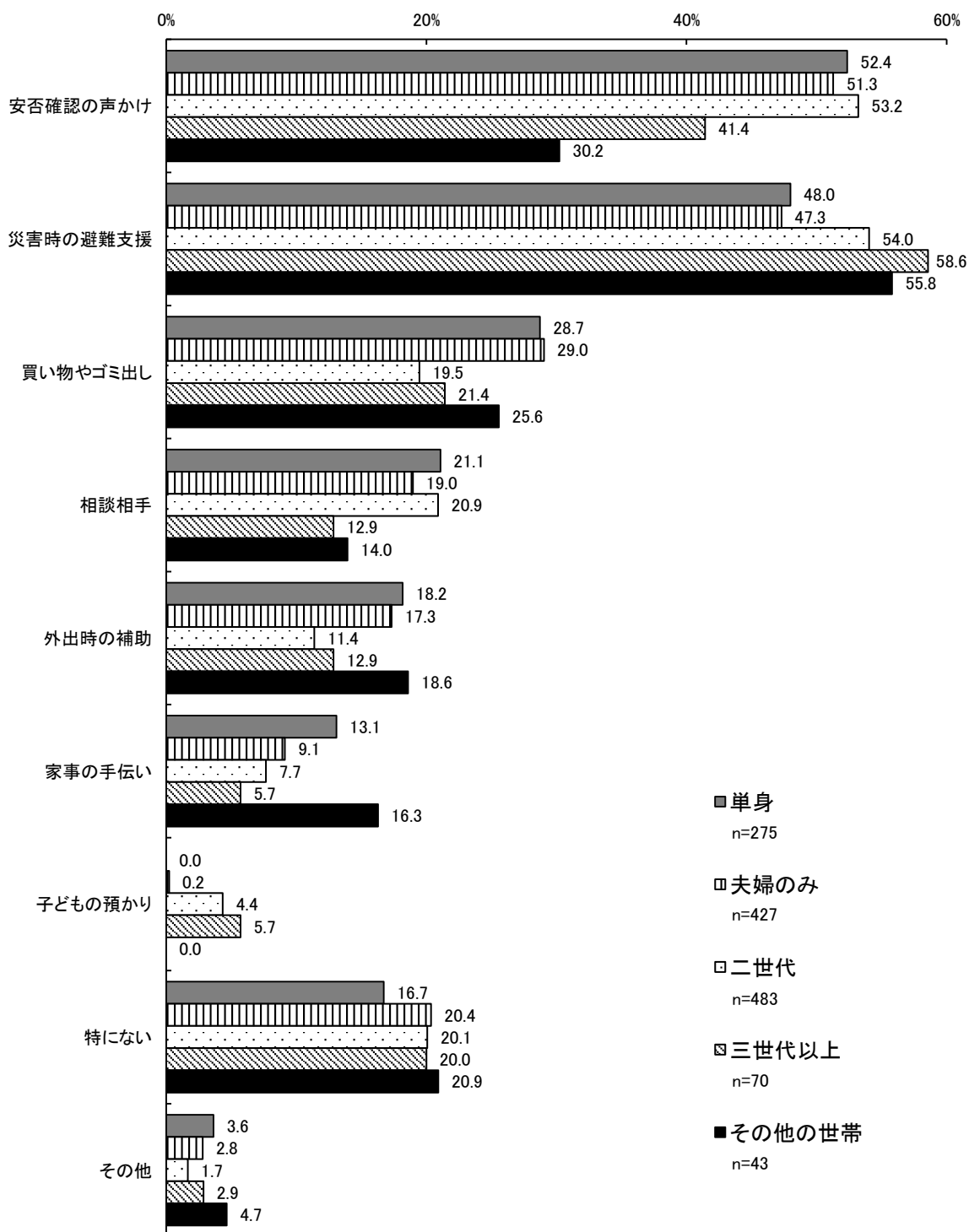
【世帯】

世帯別にみると、単身と夫婦のみでは、「安否確認の声かけ」と回答した者が最も多く、次いで「災害時の避難支援」、「買い物やゴミ出し」の順となっています。

二世代では「災害時の避難支援」と回答した者が最も多く、次いで、「安否確認の声かけ」「相談相手」の順となっています。

三世代では「災害時の避難支援」と回答した者が最も多く、次いで、「安否確認の声かけ」「買い物やゴミ出し」の順となっています。

どの世帯でも「安否確認の声かけ」や「災害時の避難支援」と回答した者は、4割を超えています。

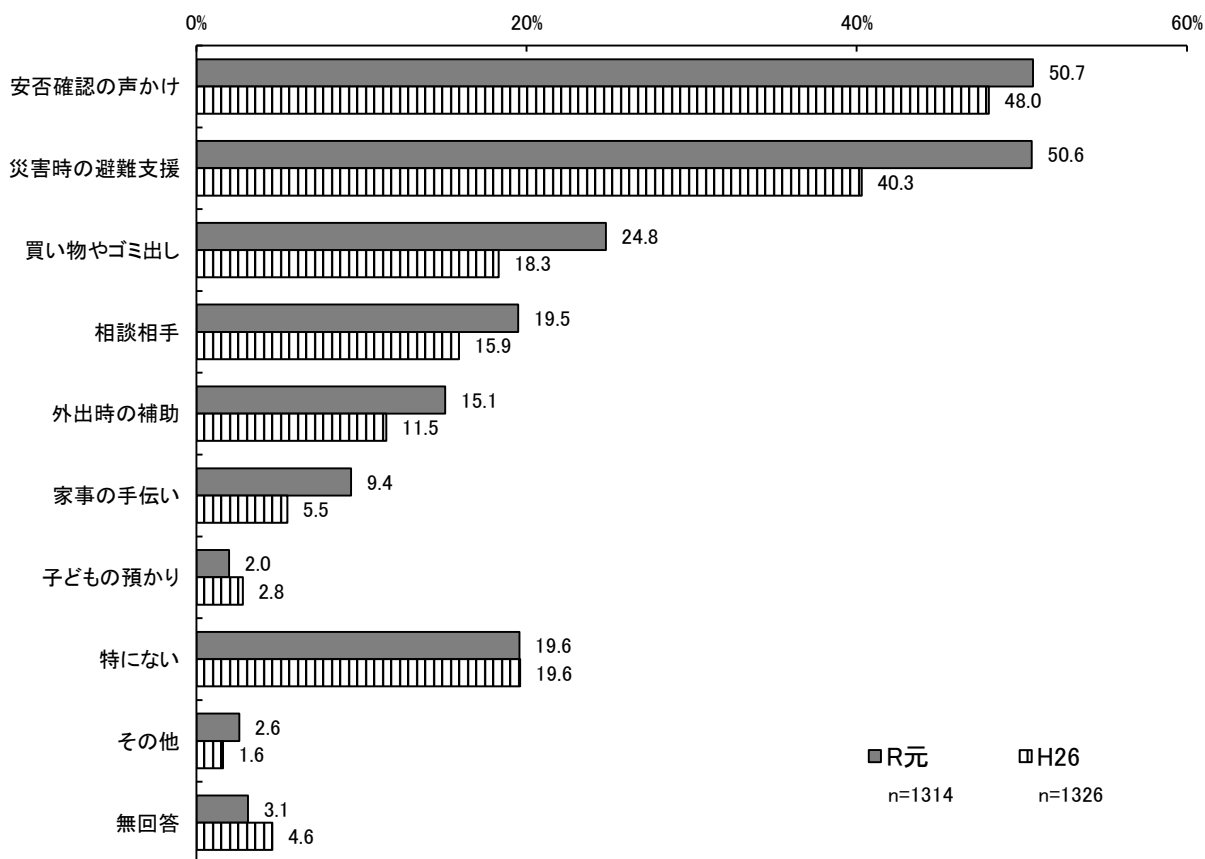


【経年変化】

経年変化をみると、「子どもの預かり」を除く項目で、前回調査より増加しています。

「安否確認の声かけ」と回答した者は、前回調査より 2.7 ポイント、「災害時の避難支援」と回答した者は、前回調査より 10.3 ポイント、「買い物やゴミ出し」と回答した者は、前回調査より 6.5 ポイント増加しています。

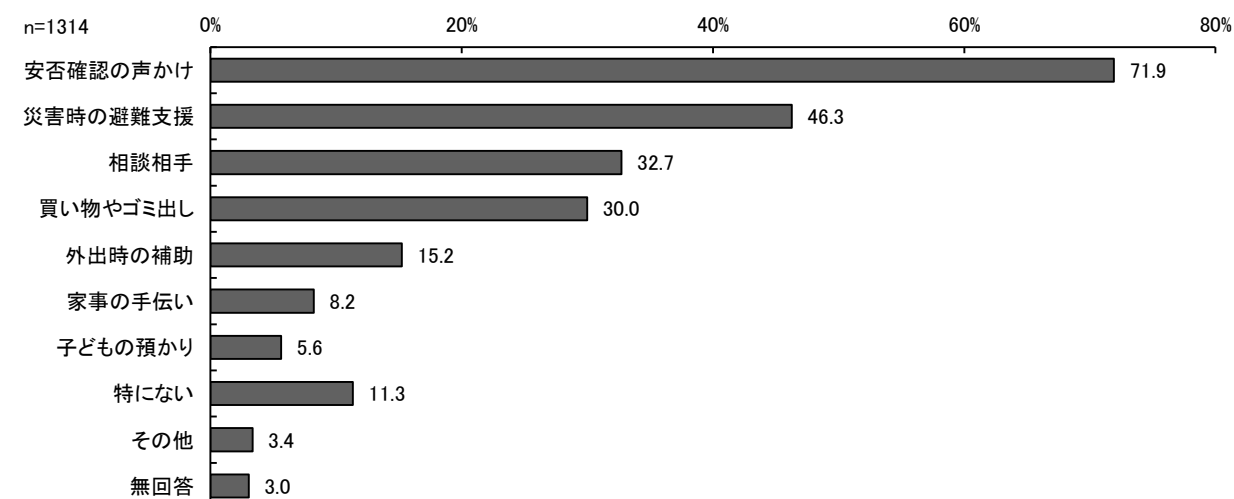
一方、「子どもの預かり」と回答した者は、前回調査より 0.8 ポイント減少しています。



問6 もし近くで困っている世帯があった場合、あなたが手助けを行えることは何ですか。

〈複数回答〉(件)		
1	安否確認の声かけ	945
2	買い物やゴミ出し	394
3	家事の手伝い	108
4	外出時の補助	200
5	子どもの預かり	74
6	相談相手	430
7	災害時の避難支援	608
8	特にない	149
9	その他	44
	無回答	40

もし近くで困っている世帯があった場合、手助けを行えることは何かを聞いたところ、「安否確認の声かけ」と回答した者が71.9%と最も多く、次いで「災害時の避難支援」(46.3%)、「相談相手」(32.7%)、「買い物やゴミ出し」(30.0%)の順となっています。

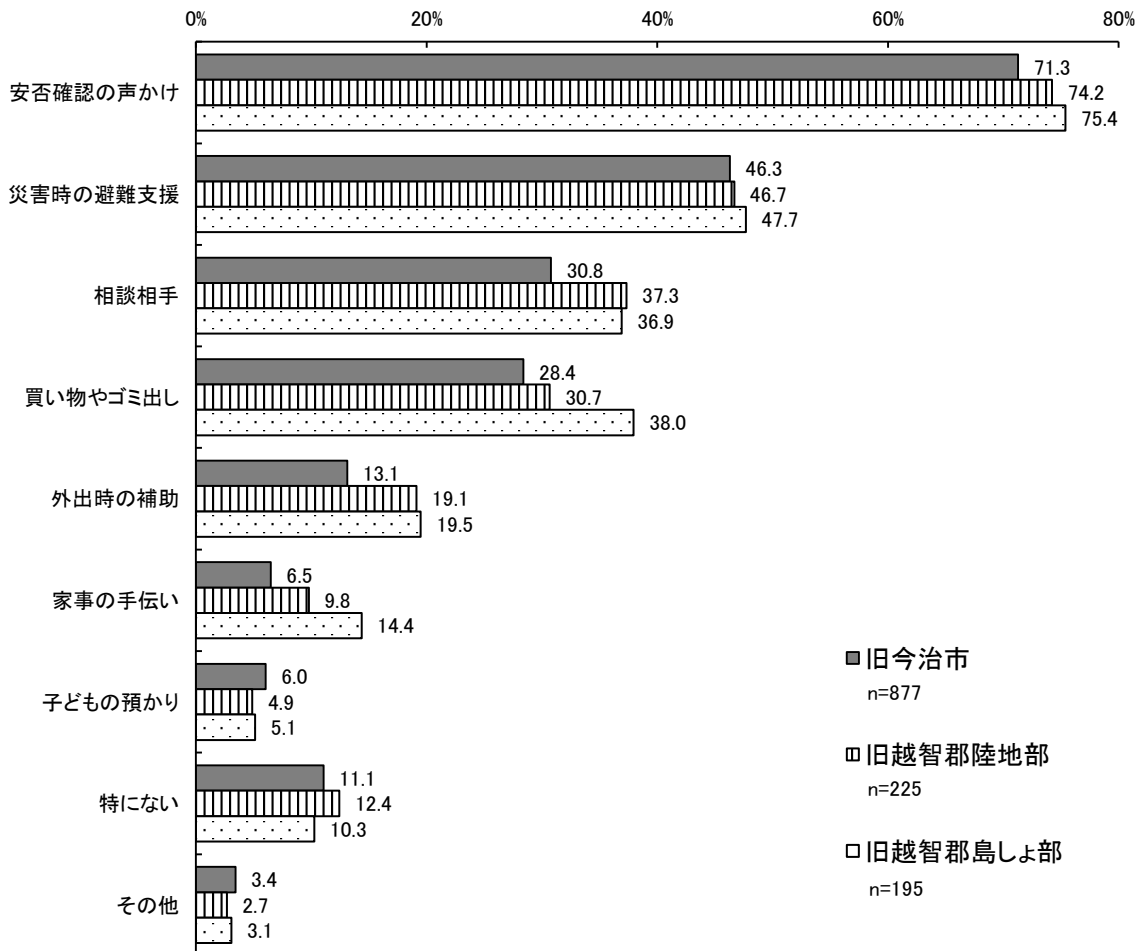


※令和元年度調査から、「話し相手」は削除。

【地区】

地区別にみると、全ての地区で「安否確認の声かけ」と回答した者が最も多く、次いで「災害時の避難支援」となっています。

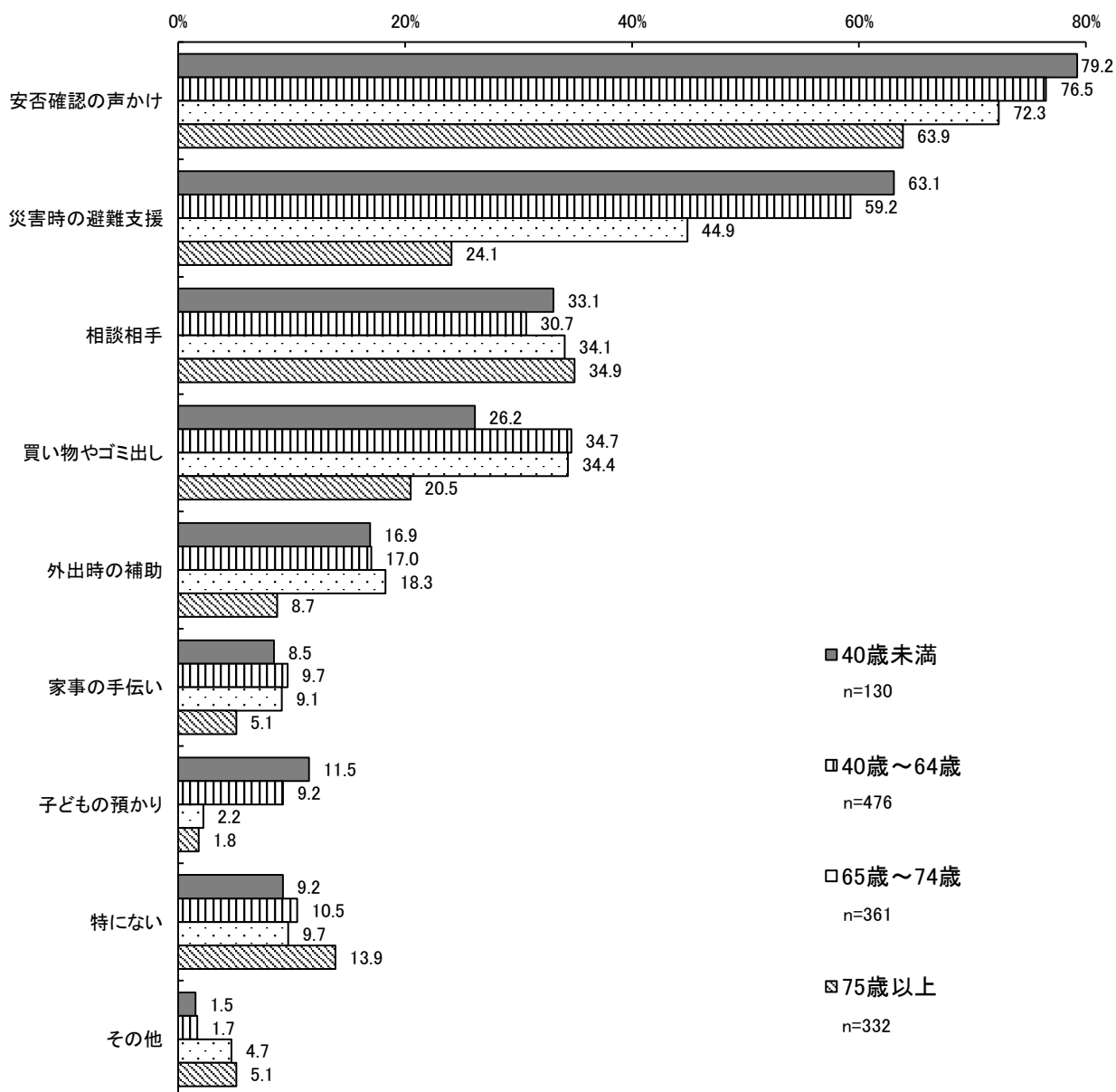
「相談相手」と回答した者は、旧越智郡陸地部（37.3％）と旧今治市（30.8％）では6.5ポイント、「買い物やゴミ出し」と回答した者は、旧越智郡島しょ部（38.0％）と旧今治市（28.4％）では9.6ポイントの差があります。



【年齢】

年齢別にみると、全ての年齢層で「安否確認の声かけ」と回答した者が最も多く、40歳未満（79.2%）と75歳以上（63.9%）では15.3ポイント差があります。

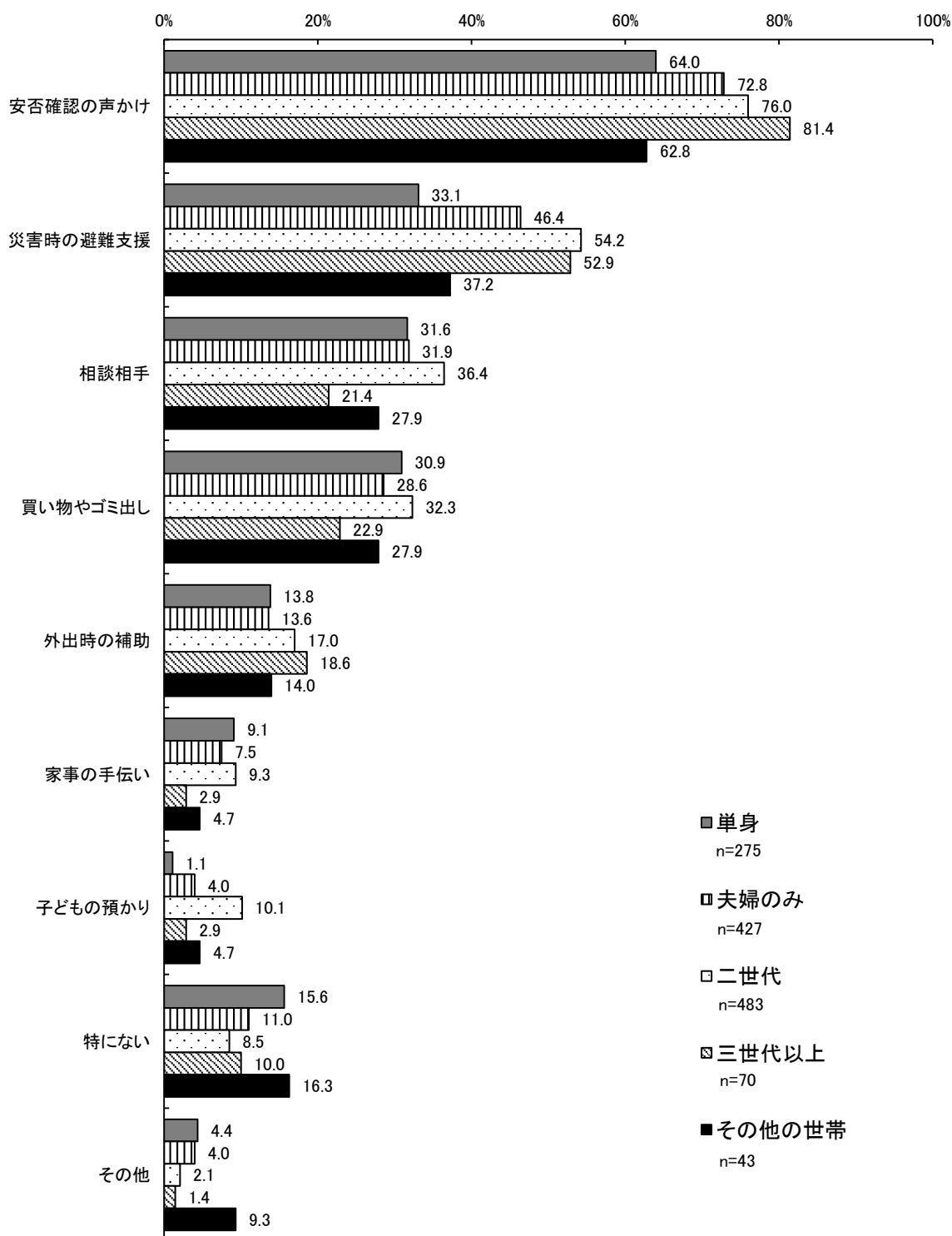
「災害時の避難支援」と回答した者は、40歳未満（63.1%）と75歳以上（24.1%）では39.0ポイント、「買い物やゴミ出し」と回答した者は、40歳～64歳（34.7%）と75歳以上（20.5%）では14.2ポイントの差があります。



【世帯】

世帯別にみると、どの世帯においても「安否確認の声かけ」と回答した者が最も多く6割を超えていますが、三世代以上（81.4%）と単身（64.0%）では17.4ポイント差があります。

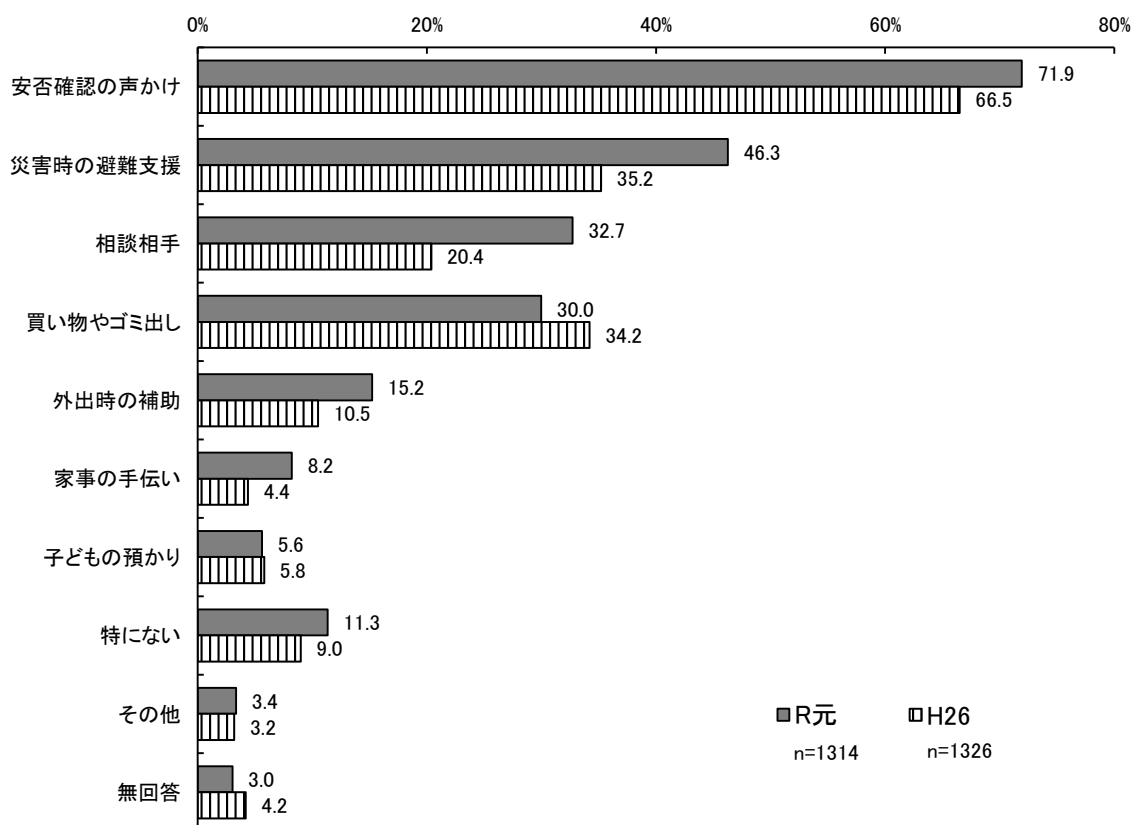
「災害時の避難支援」と回答した者は、二世代（54.2%）と単身（33.1%）では21.1ポイント、「相談相手」と回答した者は、二世代（36.4%）と三世代以上（21.4%）では15.0ポイントの差があります。



【経年変化】

経年変化をみると、「安否確認の声かけ」と回答した者は、前回調査より 5.4 ポイント、「災害時の避難支援」と回答した者は、前回調査より 11.1 ポイント、「相談相手」と回答した者は、前回調査より 12.3 ポイント増加しています。

一方、「買い物やゴミ出し」と回答した者は、前回調査より 4.2 ポイント、「子どもの預かり」と回答した者は、前回調査より 0.2 ポイント減少しています。



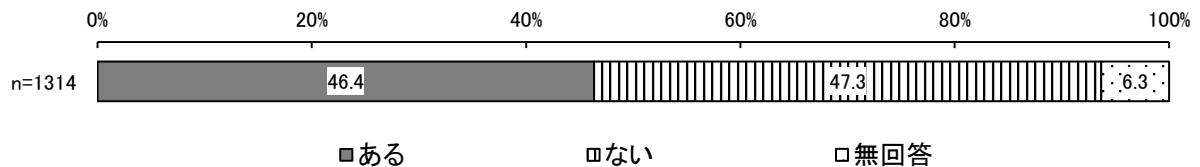
※令和元年度調査から、「話し相手」削除。

ボランティア活動について

問7 ボランティア活動に興味・関心がありますか。

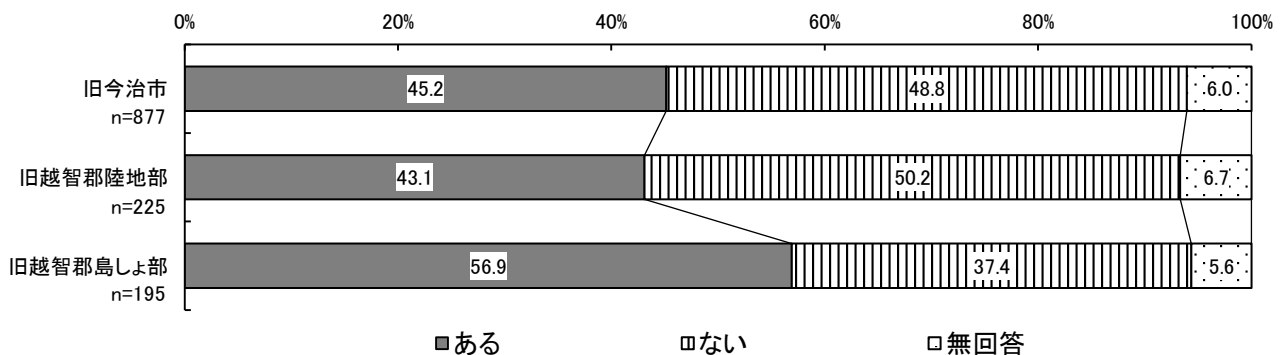
		(件)
1	ある	609
2	ない	622
	無回答	83

ボランティア活動に興味・関心があるかを聞いたところ、「ある」と回答した者が46.4%、「ない」と回答した者が47.3%となっています。



【地区】

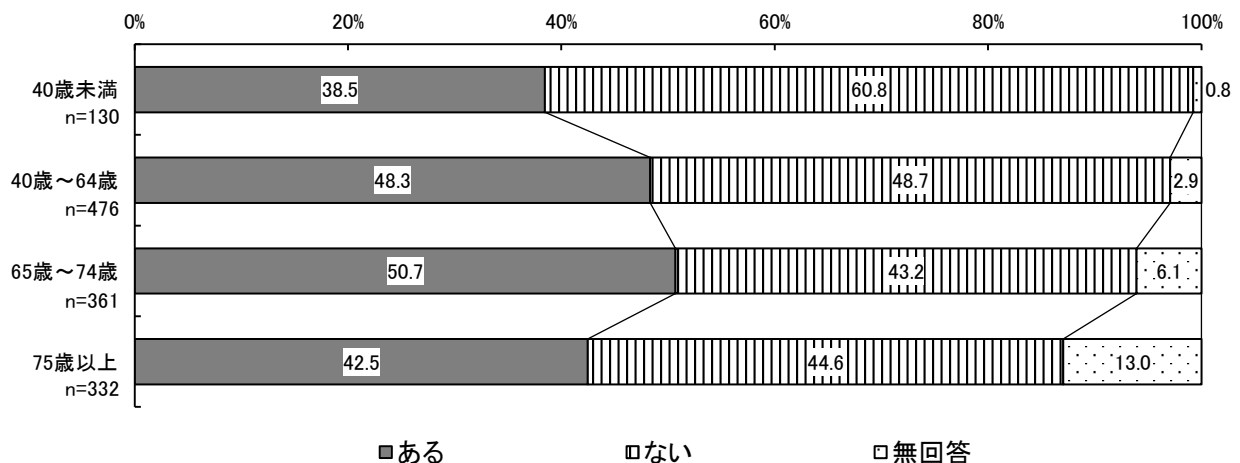
地区別にみると、旧今治市と旧越智郡陸地部では「ない」と回答した者が多かったものの、旧越智郡島しょ部では「ある」と回答した者が多く、「ない」と回答した者よりも19.5ポイント多くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、65歳～74歳を除く年齢層で「ない」と回答した者が多くなっています。

65歳～74歳では「ある」と回答した者が多く、「ない」と回答した者よりも7.5ポイント多くなっています。

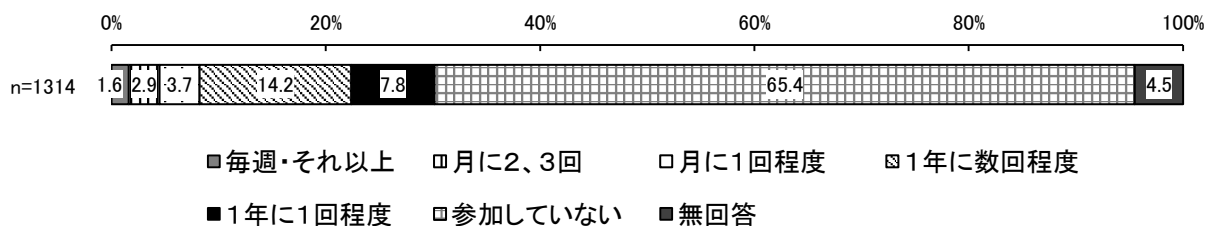


問8 過去1年間にボランティア活動にどのくらいの頻度で参加しましたか。

		(件)
1	毎週・それ以上	21
2	月に2、3回	38
3	月に1回程度	49
4	1年に数回程度	186
5	1年に1回程度	102
6	参加していない	859
	無回答	59

過去1年間にボランティア活動にどのくらいの頻度で参加したかを聞いたところ、「参加していない」と回答した者が65.4%と最も多くなっています。

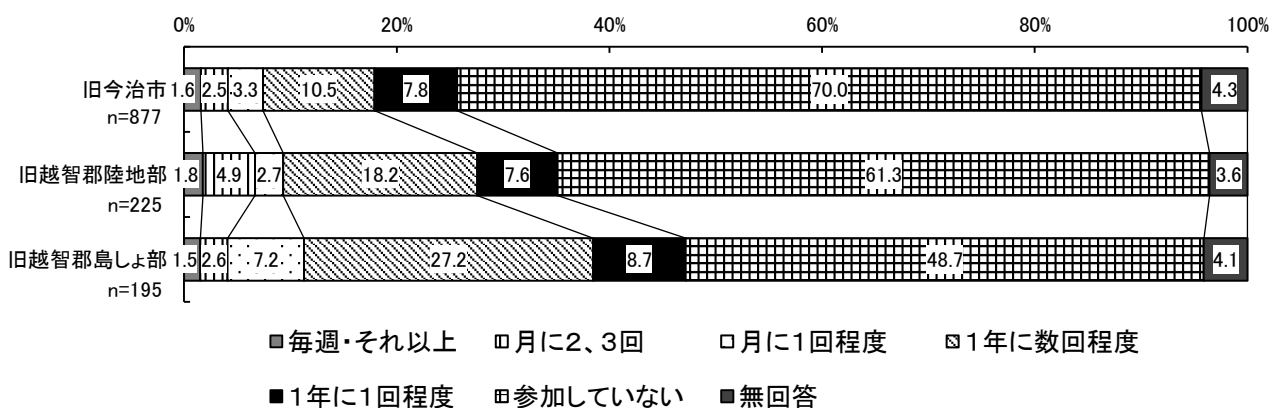
1年に1回程度以上参加している（「毎週・それ以上」1.6%、「月に2、3回」2.9%、「月に1回程度」3.7%、「1年に数回程度」14.2%、「1年に1回程度」7.8%の合計（以下同じ））と回答した者は30.2%となっています。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「参加していない」と回答した者が最も多く、旧今治市（70.0%）は旧越智郡島しょ部（48.7%）よりも21.3ポイント多くなっています。

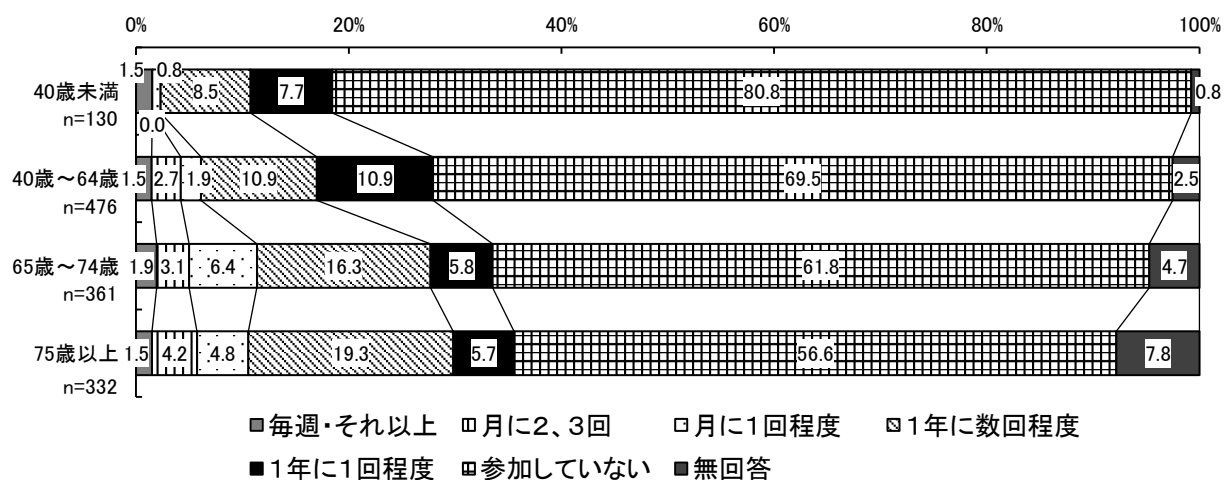
1年に1回程度以上参加していると回答した者は、旧今治市で25.7%、旧越智郡陸地部で35.2%、旧越智郡島しょ部で47.2%となっており、旧越智郡島しょ部と旧今治市では21.5ポイント差があります。



【年齢】

年齢別にみると、全ての年齢層で「参加していない」と回答した者が最も多く、40歳未満（80.8%）は75歳以上（56.6%）よりも24.2ポイント多くなっています。

1年に1回程度以上参加していると回答した者は、40歳未満で18.5%、40～64歳で27.9%、65～74歳で33.5%、75歳以上で35.5%と、年齢層が高くなるほど多くなっています。75歳以上と40歳未満では17.0ポイント差があります。



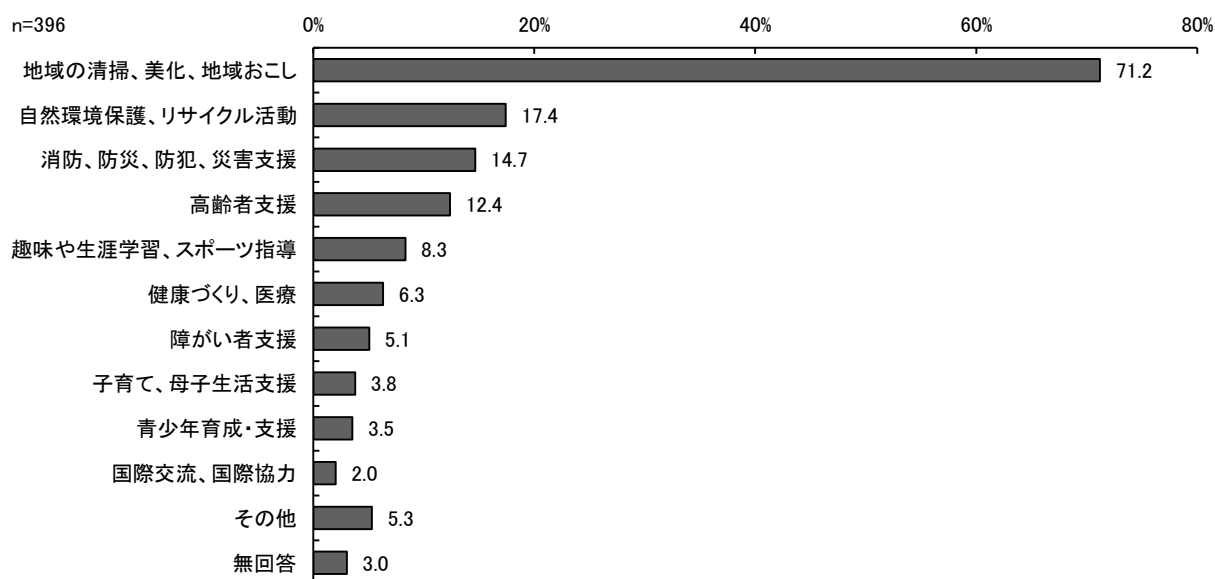
問 8-1 あなたは、どのようなボランティア活動に参加しましたか。

問 8 で 1 ～ 5 を選択された方にお伺いします。

〈複数回答〉(件)

1	高齢者支援	49
2	障がい者支援	20
3	子育て、母子生活支援	15
4	健康づくり、医療	25
5	地域の清掃、美化、地域おこし	282
6	消防、防災、防犯、災害支援	58
7	自然環境保護、リサイクル活動	69
8	趣味や生涯学習、スポーツ指導	33
9	青少年育成・支援	14
10	国際交流、国際協力	8
11	その他	21
	無回答	12

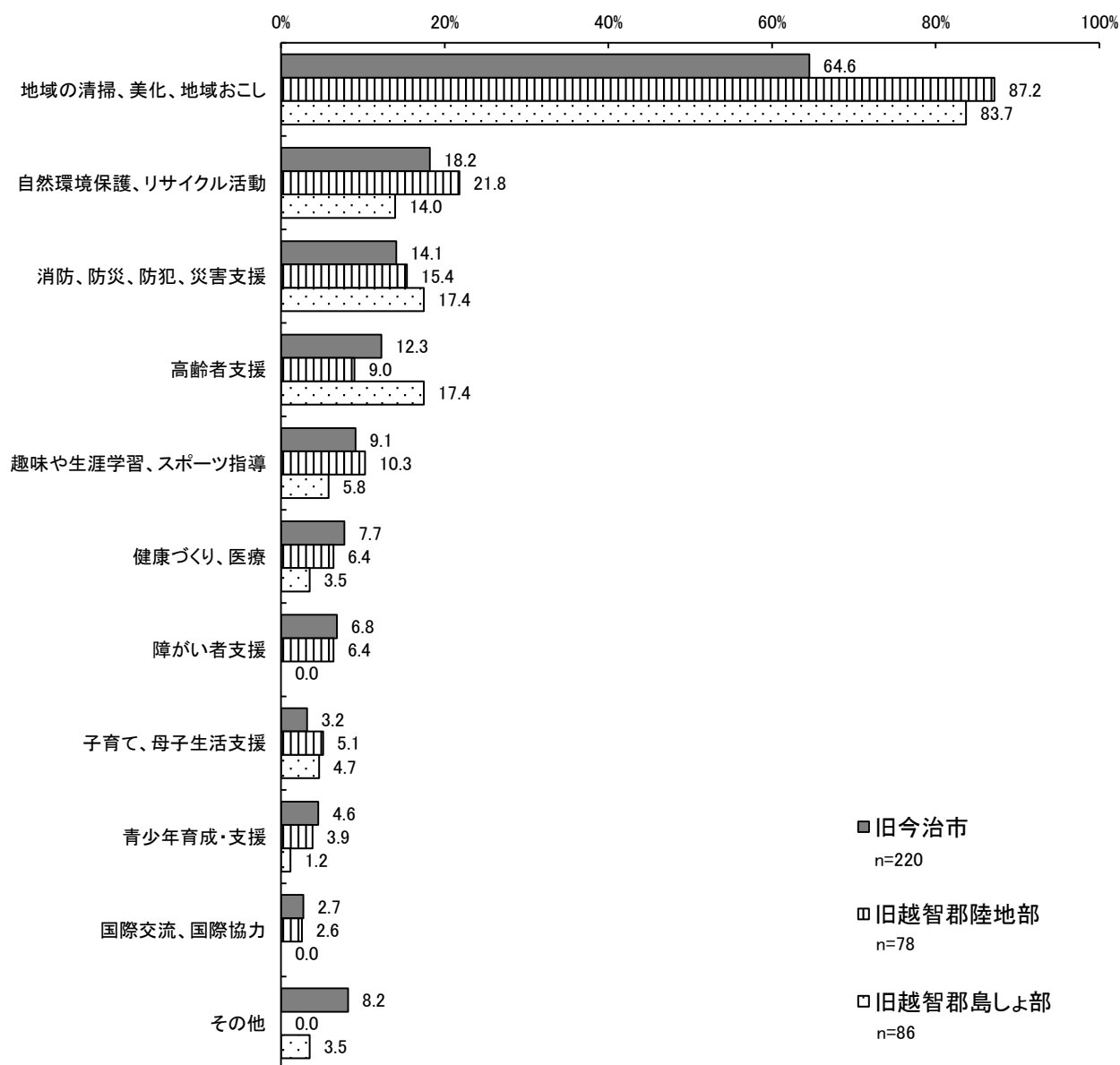
どのようなボランティア活動に参加したかを聞いたところ、「地域の清掃、美化、地域おこし」と回答した者が71.2%と最も多く、次いで「自然環境保護、リサイクル活動」(17.4%)、「消防、防災、防犯、災害支援」(14.7%)、「高齢者支援」(12.4%)の順となっています。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「地域の清掃、美化、地域おこし」と回答した者が最も多く、旧越智郡陸地部と旧今治市では 22.6 ポイント差があります。

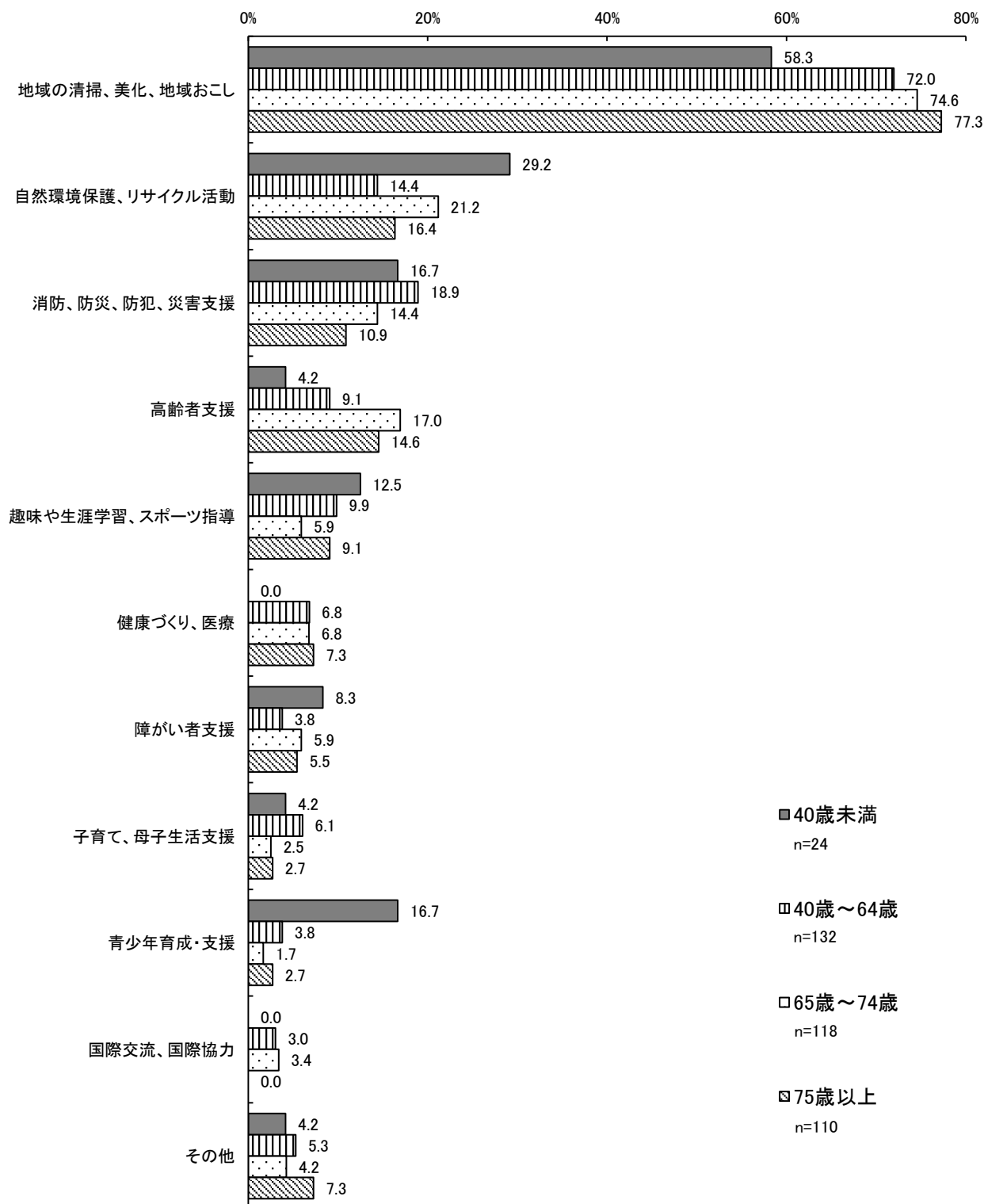
旧越智郡島しょ部では、「高齢者支援」と回答した者が他の地区と比べて多い傾向にあり、旧越智郡陸地部より 8.4 ポイント多くなっています。



【年齢】

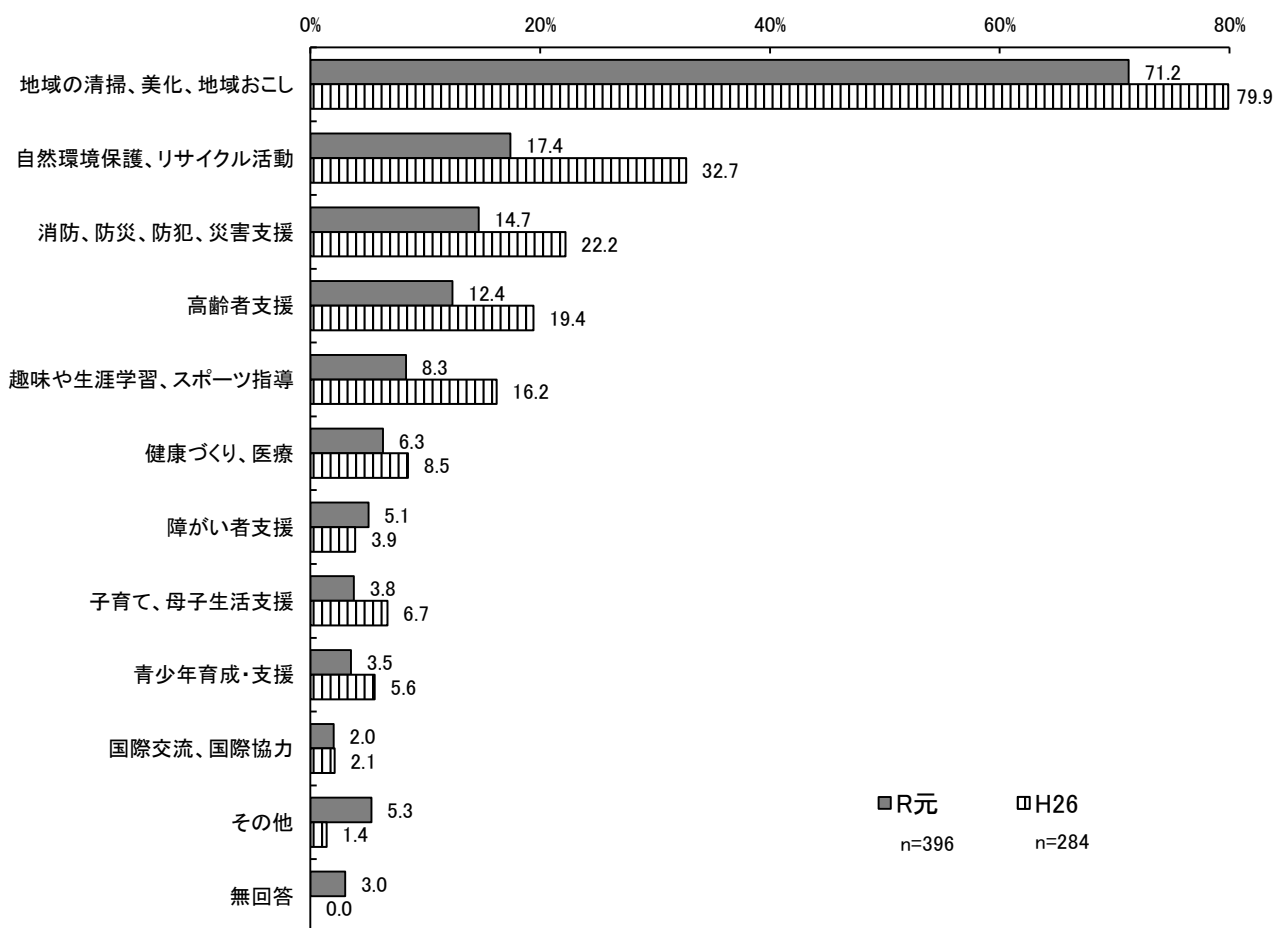
年齢別にみると、全ての年齢層で「地域の清掃、美化、地域おこし」と回答した者が最も多く、75歳以上（77.3%）は40歳未満（58.3%）より19.0ポイント多くなっています。

「自然環境保護、リサイクル活動」と回答した者は、40歳未満と40歳～64歳では14.8ポイント、「青少年育成・支援」と回答した者は、40歳未満と65歳～74歳では15.0ポイントの差があります。



【経年変化】

経年変化をみると、「障がい者支援」（前回調査より 1.2 ポイント増加）を除く項目で、前回調査より減少しています。「地域の清掃、美化、地域おこし」と回答した者は、前回調査より 8.7 ポイント、「自然環境保護、リサイクル活動」と回答した者は、前回調査より 15.3 ポイント、「消防、防災、防犯、災害支援」と回答した者は、前回調査より 7.5 ポイント、それぞれ減少しています。



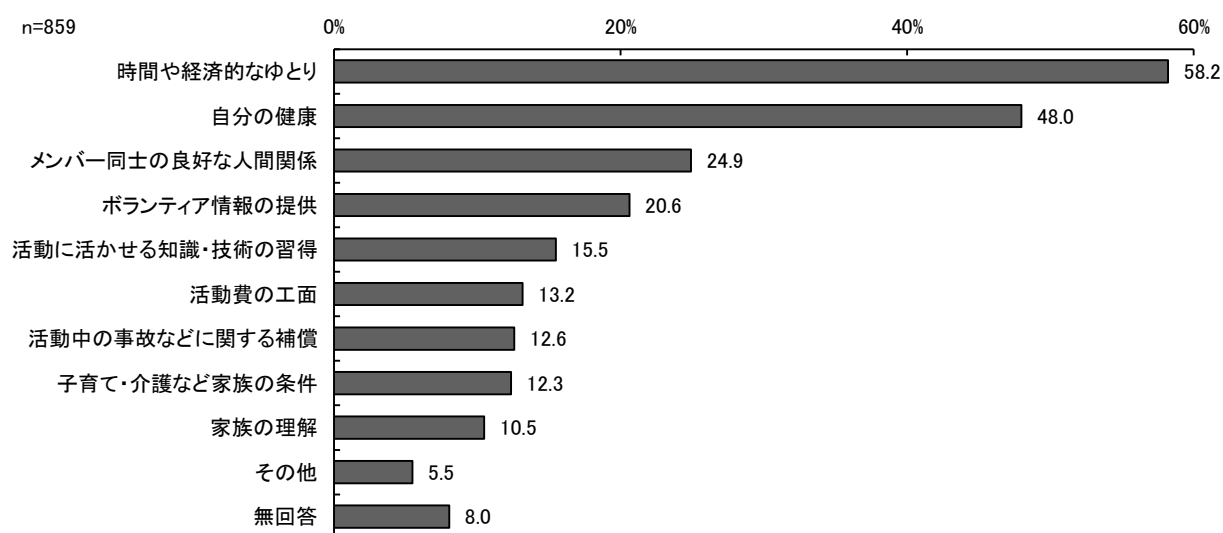
問 8-2 今後どのような条件が整えば、ボランティア活動に参加できると思いますか。

問 8 で 6 を選択された方にお伺いします。

〈複数回答〉(件)

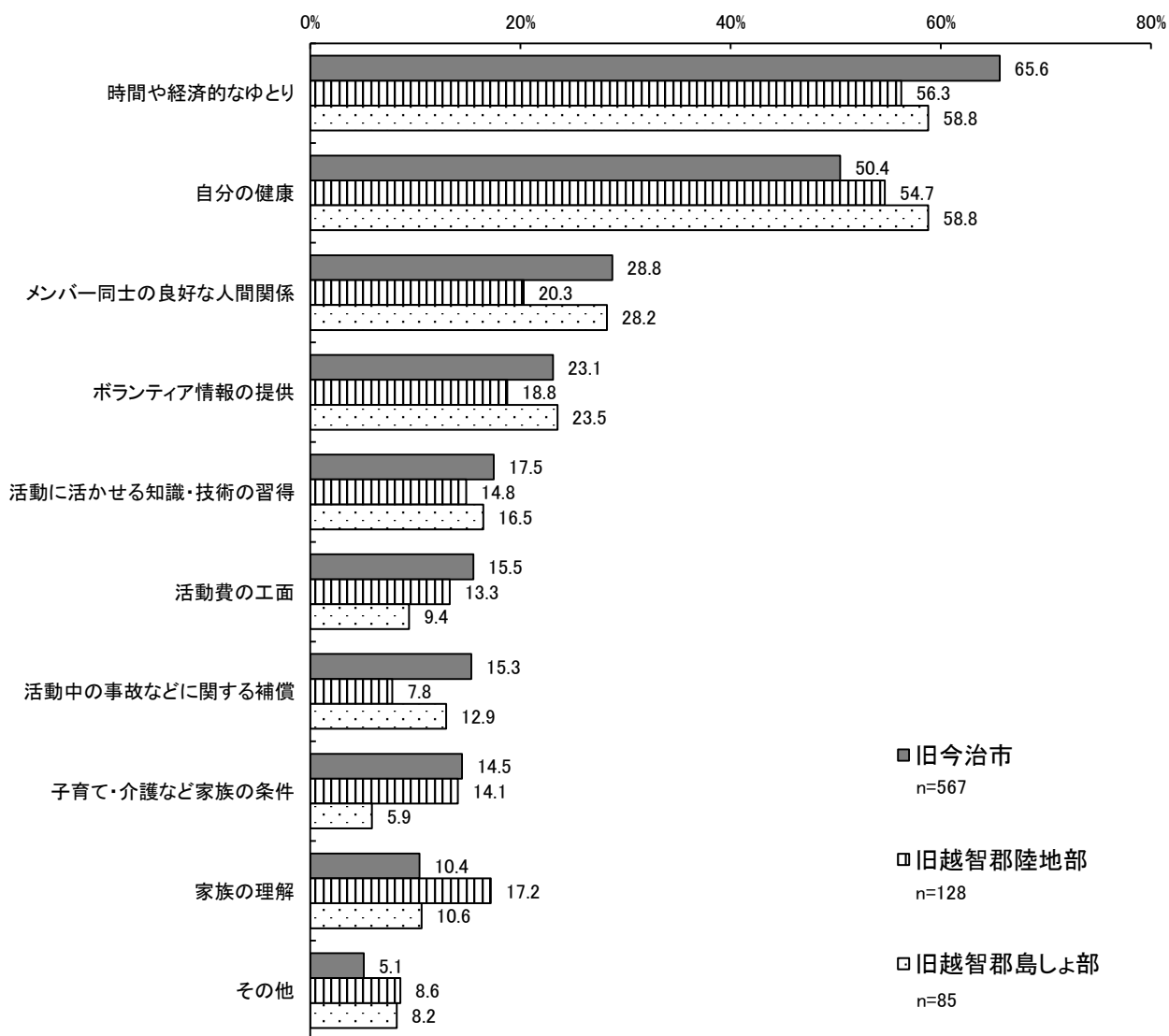
1	時間や経済的なゆとり	500
2	自分の健康	412
3	ボランティア情報の提供	177
4	家族の理解	90
5	子育て・介護など家族の条件	106
6	活動費の工面	113
7	活動に活かせる知識・技術の習得	133
8	活動中の事故などに関する補償	108
9	メンバー同士の良好な人間関係	214
10	その他	47
	無回答	69

今後どのような条件が整えばボランティア活動に参加できると思うかを聞いたところ、「時間や経済的なゆとり」と回答した者が 58.2%と最も多く、次いで「自分の健康」(48.0%)、「メンバー同士の良好な人間関係」(24.9%)、「ボランティア情報の提供」(20.6%)の順となっています。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「時間や経済的なゆとり」や「自分の健康」と回答した者が多く、次いで「メンバー同士の良好な人間関係」、「ボランティア情報の提供」の順となっています。

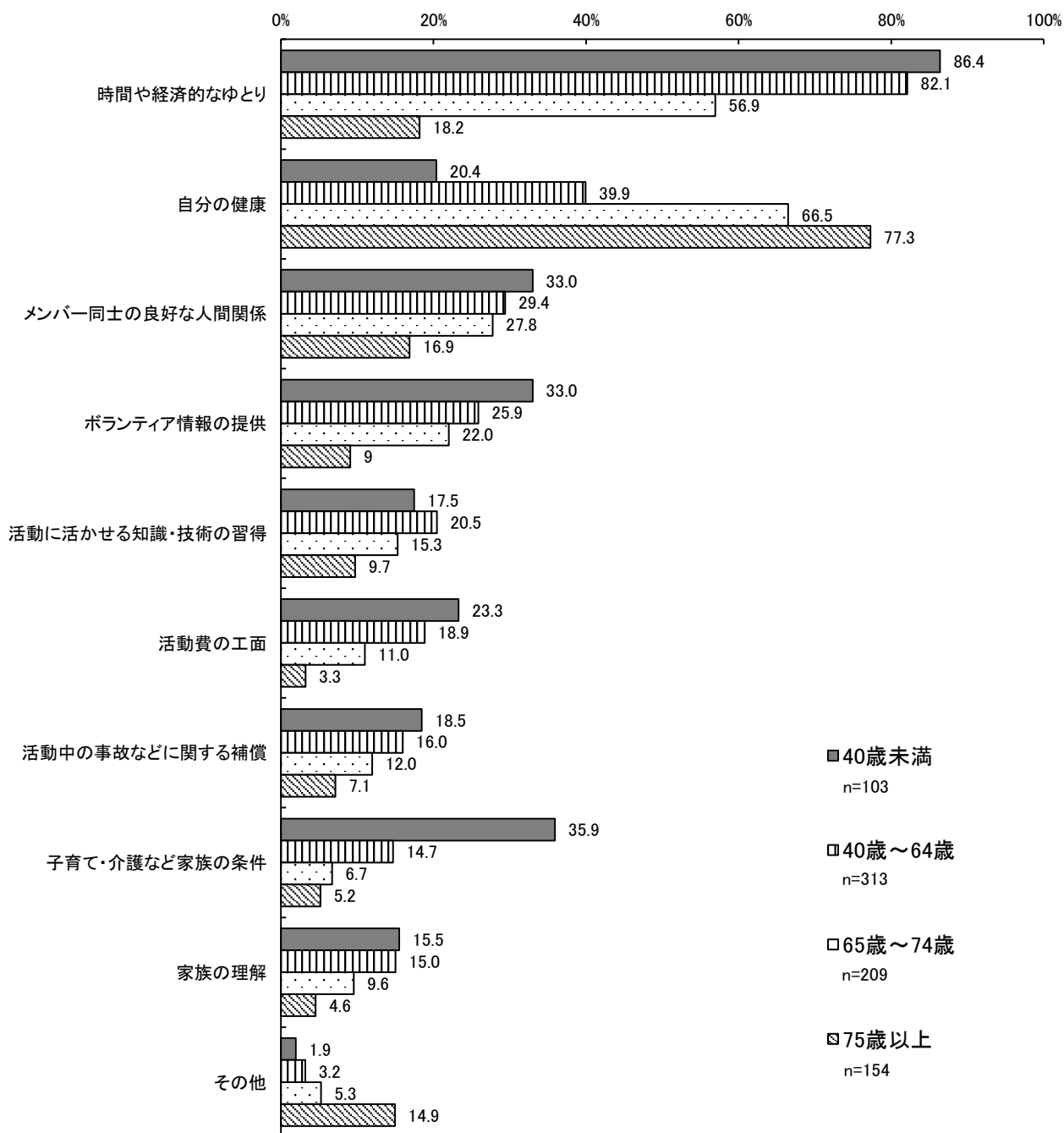


【年齢】

年齢別にみると、40歳未満と40～64歳の年齢層では「時間や経済的なゆとり」と回答した者が最も多く、65～74歳と75歳以上の年齢層は「自分の健康」と回答した者が最も多くなっています。

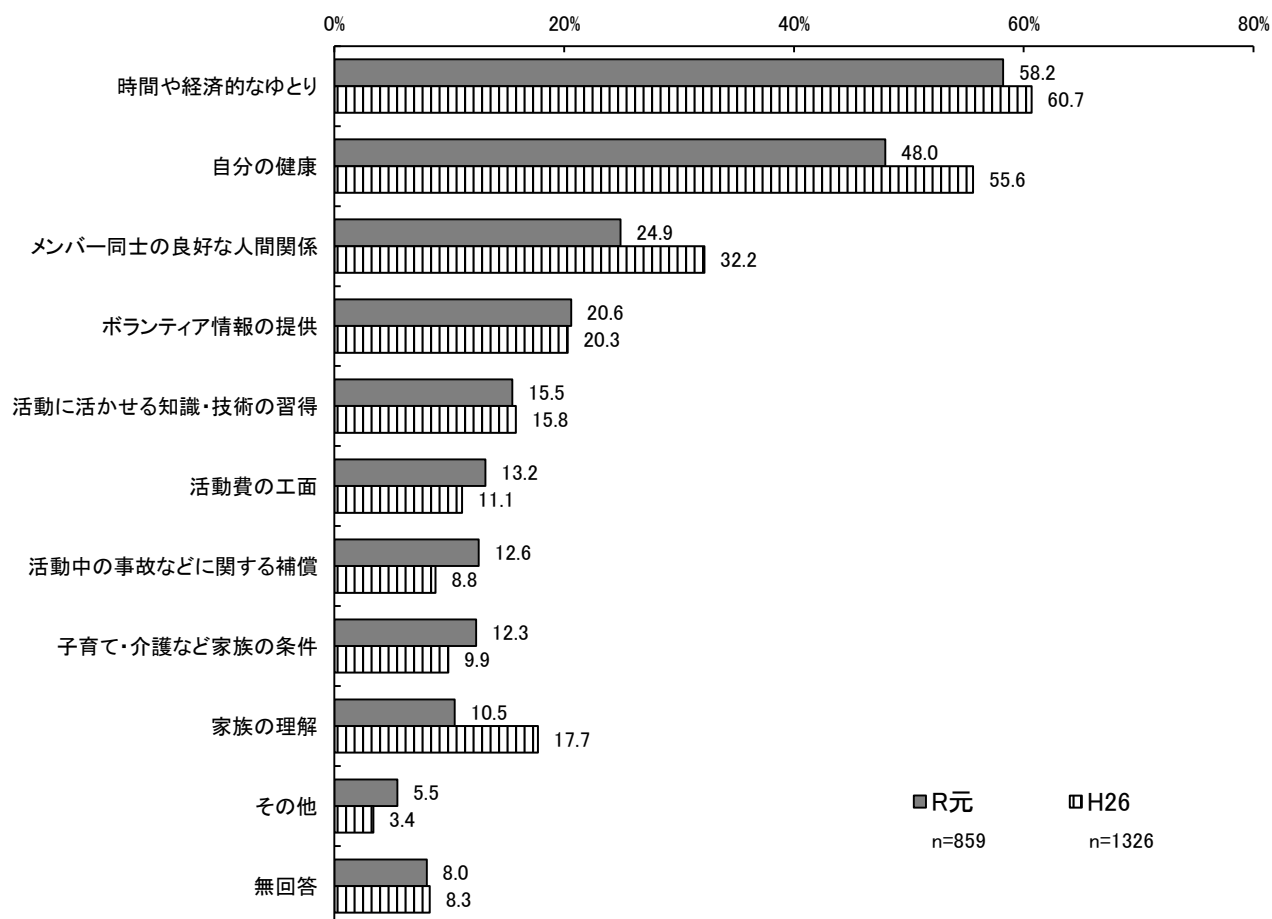
「時間や経済的なゆとり」と回答した者は、40歳未満が75歳以上より68.2ポイント多くなっていますが、一方「自分の健康」と回答した者は、75歳以上が40歳未満より56.9ポイント多くなっています。

また、「子育て・介護など家族の条件」と回答した者は、40歳未満（35.9%）と75歳以上（5.2%）では30.7ポイントの差があります。



【経年変化】

経年変化をみると、「時間や経済的なゆとり」と回答した者は、前回調査より 2.5 ポイント、「自分の健康」と回答した者は、前回調査より 7.6 ポイント減少しています。

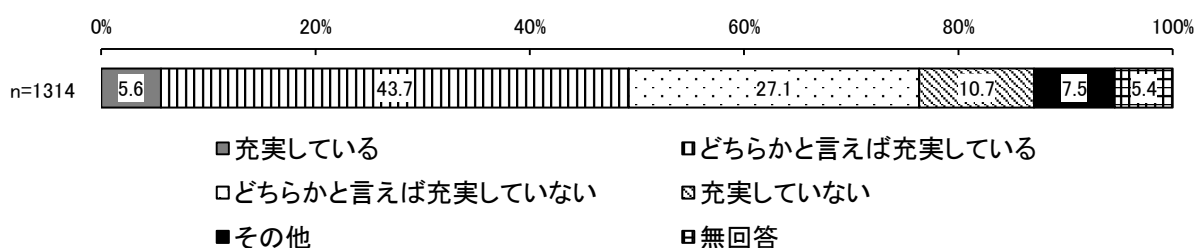


福祉サービスについて

問9 現在、国、県、市が提供している福祉サービスについて、あなたの考えに近いものはどれですか。

		(件)
1	充実している	73
2	どちらかと言えば充実している	574
3	どちらかと言えば充実していない	356
4	充実していない	141
5	その他	99
	無回答	71

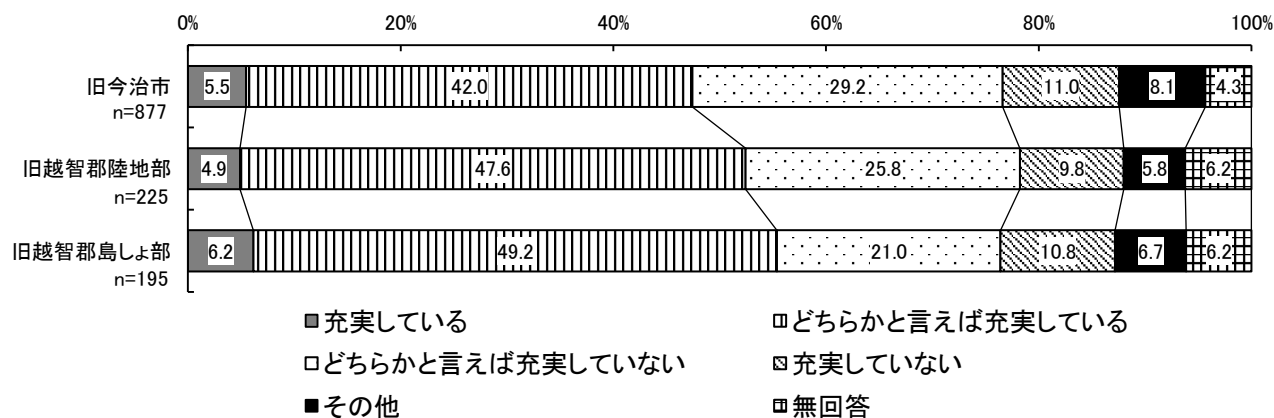
現在、国、県、市が提供している福祉サービスについて、考えに近いものはどれかを聞いたところ、サービスが充実している 49.3%（「充実している」5.6%、「どちらかと言えば充実している」43.7%の合計（以下同じ））、サービスが充実していない 37.8%（「どちらかと言えば充実していない」27.1%、「充実していない」10.7%の合計（以下同じ））となっており、充実しているが充実していないより 11.5 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、サービスが充実している 47.5%、サービスが充実していない 40.2%となっており、サービスが充実しているが 7.3 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、サービスが充実している 52.5%、サービスが充実していない 35.6%となっており、サービスが充実しているが 16.9 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、サービスが充実している 55.4%、サービスが充実していない 31.8%となっており、サービスが充実しているが 23.6 ポイント多くなっています。

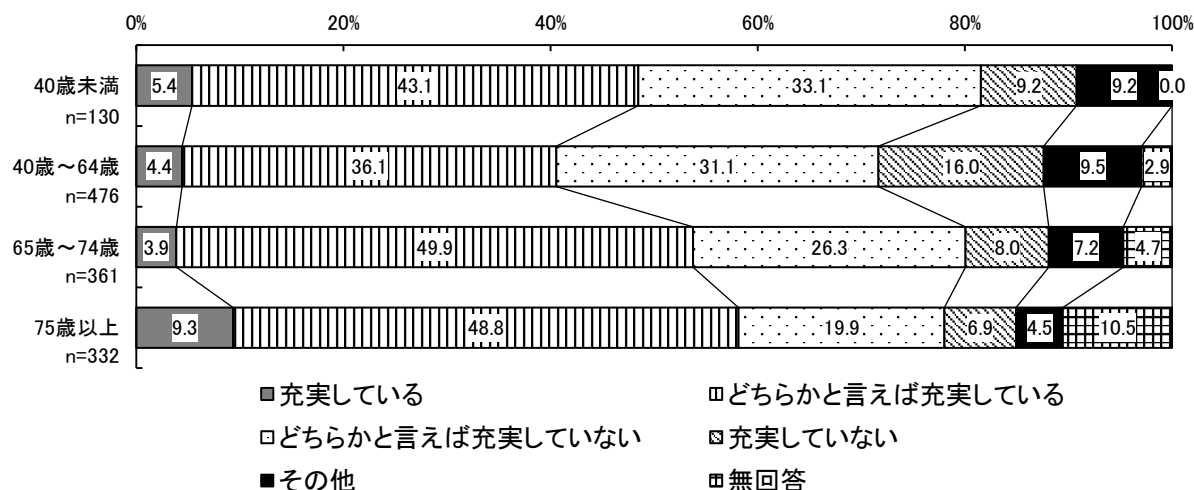
サービスが充実していると回答した者は、旧越智郡島しょ部と旧今治市では 7.9 ポイントの差があります。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、サービスが充実している48.5%、サービスが充実していない42.3%となっており、サービスが充実しているが6.2ポイント多くなっています。40歳～64歳は、サービスが充実している40.5%、サービスが充実していない47.1%となっており、サービスが充実していないが6.6ポイント多くなっています。65～74歳は、サービスが充実している53.8%、サービスが充実していない34.3%となっており、サービスが充実しているが19.5ポイント多くなっています。75歳以上は、サービスが充実している58.1%、サービスが充実していない26.8%となっており、サービスが充実しているが31.3ポイント多くなっています。

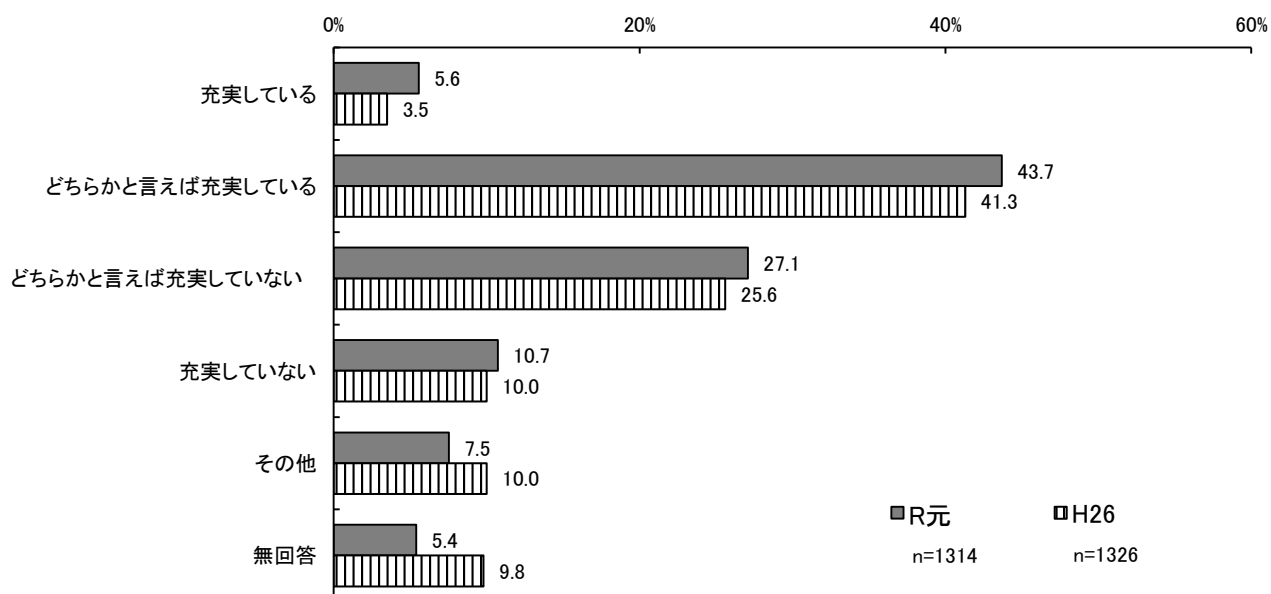
サービスが充実していると回答した者は、75歳以上と40歳～64歳では17.6ポイントの差があります。



【経年変化】

経年変化をみると、「どちらかと言えば充実している」と回答した者がともに最も多く、前回調査より2.4ポイント増加しています。

サービスが充実していると回答した者は、前回調査より4.5ポイント増加しています。また、サービスが充実していないと回答した者も、前回調査より2.2ポイント増加しています。



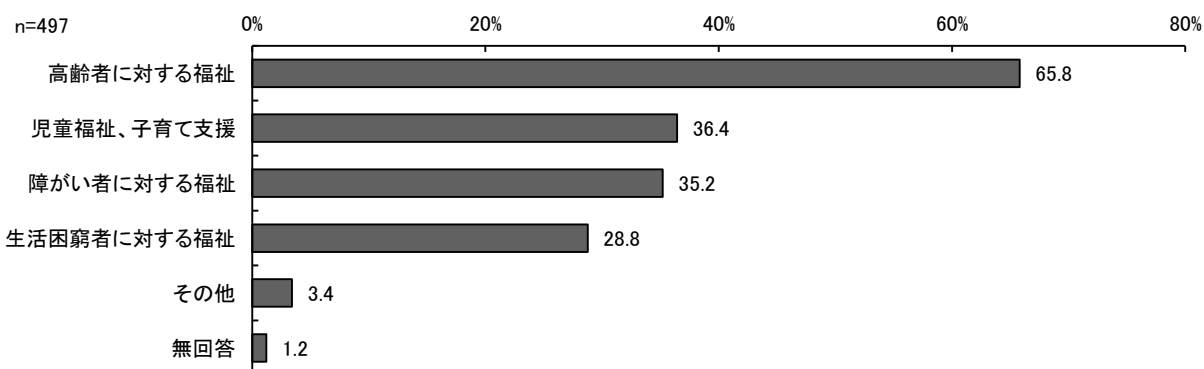
問 9-1 どの分野で充実していないと思いますか。

問 9 で 3 ～ 4 に ○ をつけた方にお伺いします。

〈複数回答〉(件)

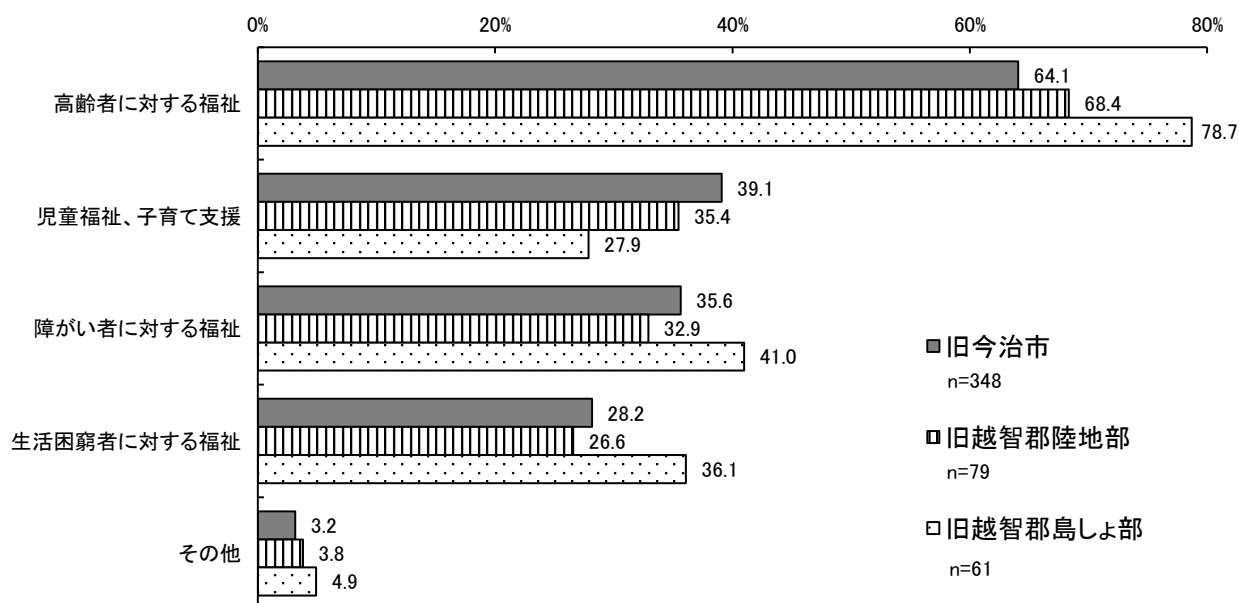
1	高齢者に対する福祉	327
2	障がい者に対する福祉	175
3	児童福祉、子育て支援	181
4	生活困窮者に対する福祉	143
5	その他	17
	無回答	6

どの分野で充実していないと思うかを聞いたところ、「高齢者に対する福祉」と回答した者が 65.8% と最も多く、次いで「児童福祉、子育て支援」(36.4%)、「障がい者に対する福祉」(35.2%)、「生活困窮者に対する福祉」(28.8%) の順となっています。



【地区】

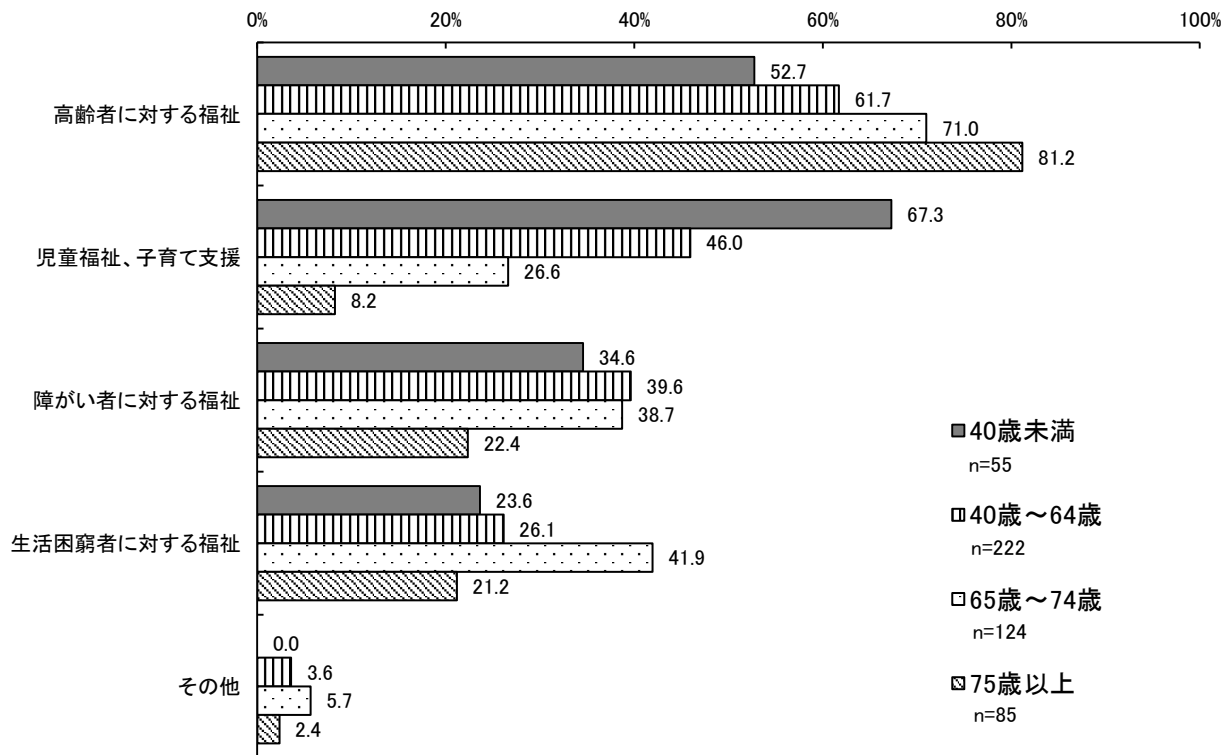
地区別にみると、全ての地区で「高齢者に対する福祉」と回答した者が最も多く、6割を超えています。なかでも旧越智郡島しょ部では 78.7% と、他の地区と比べて 10.3 ポイント以上多くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は「児童福祉、子育て支援」、それ以外の年齢層では「高齢者に対する福祉」と回答した者が最も多くなっています。

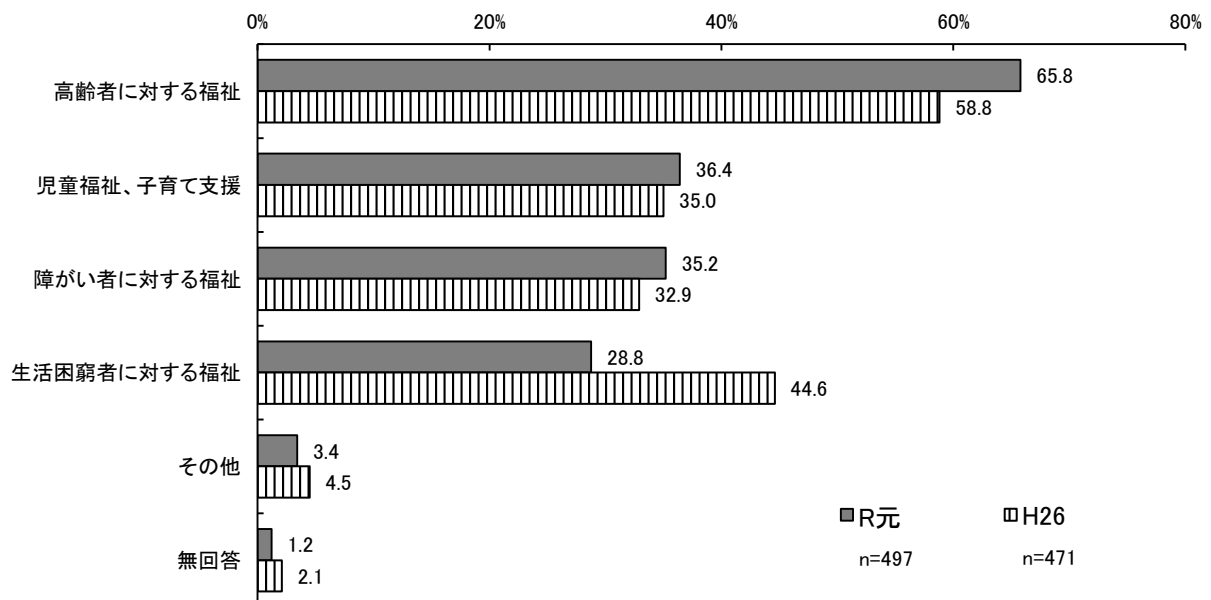
「生活困窮者に対する福祉」と回答した者は、65歳～74歳（41.9%）が75歳以上（21.2%）より20.7ポイント多くなっています。



【経年変化】

経年変化をみると、「高齢者に対する福祉」と回答した者は、前回調査より7.0ポイント、「児童福祉、子育て支援」と回答した者は、前回調査より1.4ポイント、「障がい者に対する福祉」と回答した者は、前回調査より2.3ポイント増加しています。

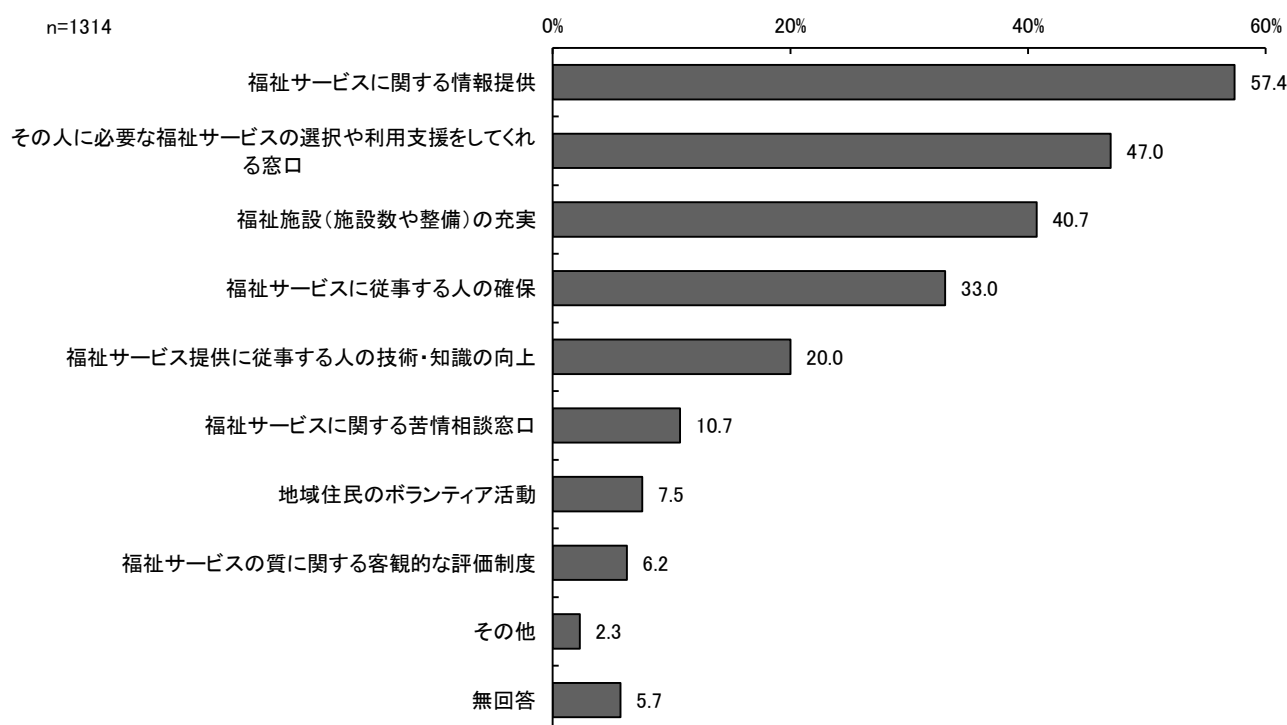
一方、「生活困窮者に対する福祉」と回答した者は、前回調査より15.8ポイント減少しています。



問 10 援助を必要とする方が、適切に福祉サービスを利用できるようにするために、何を優先させる必要があると思いますか。

〈複数回答・3 つまで〉(件)		
1	福祉サービスに関する情報提供	754
2	福祉サービスに関する苦情相談窓口	141
3	地域住民のボランティア活動	99
4	福祉施設(施設数や整備)の充実	535
5	その人に必要な福祉サービスの選択や利用支援をしてくれる窓口	617
6	福祉サービスに従事する人の確保	434
7	福祉サービス提供に従事する人の技術・知識の向上	263
8	福祉サービスの質に関する客観的な評価制度	82
9	その他	30
	無回答	75

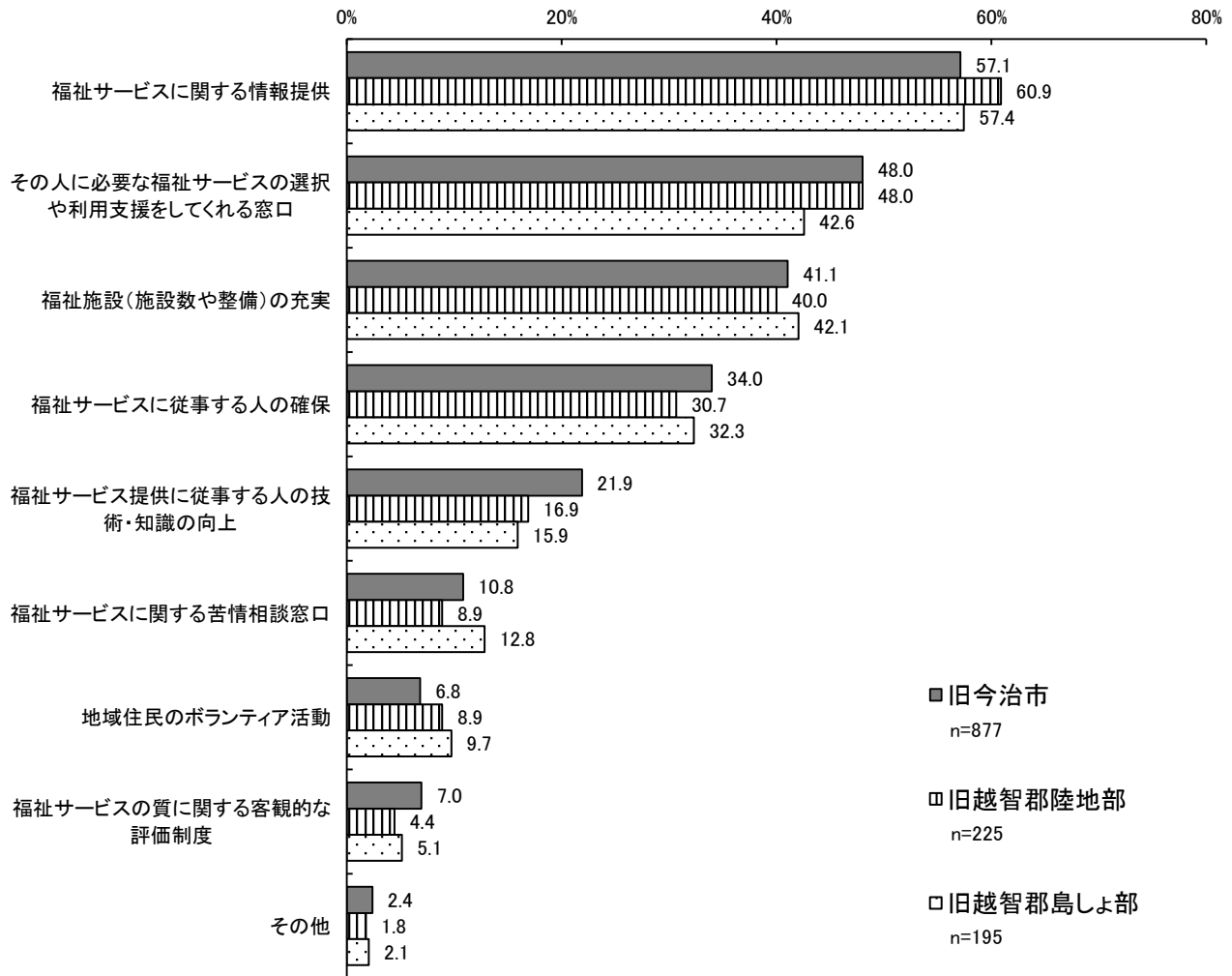
援助を必要とする方が、適切に福祉サービスを利用できるようにするために、何を優先させる必要があるかを聞いたところ、「福祉サービスに関する情報提供」と回答した者が57.4%と最も多く、次いで「その人に必要な福祉サービスの選択や利用支援をしてくれる窓口」(47.0%)、「福祉施設(施設数や整備)の充実」(40.7%)、「福祉サービスに従事する人の確保」(33.0%)、「福祉サービス提供に従事する人の技術・知識の向上」(20.0%)の順となっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「福祉サービスに関する情報提供」と回答した者が最も多く、次いで「その人に必要な福祉サービスの選択や利用支援をしてくれる窓口」、「福祉施設（施設数や整備）の充実」の順となっています。

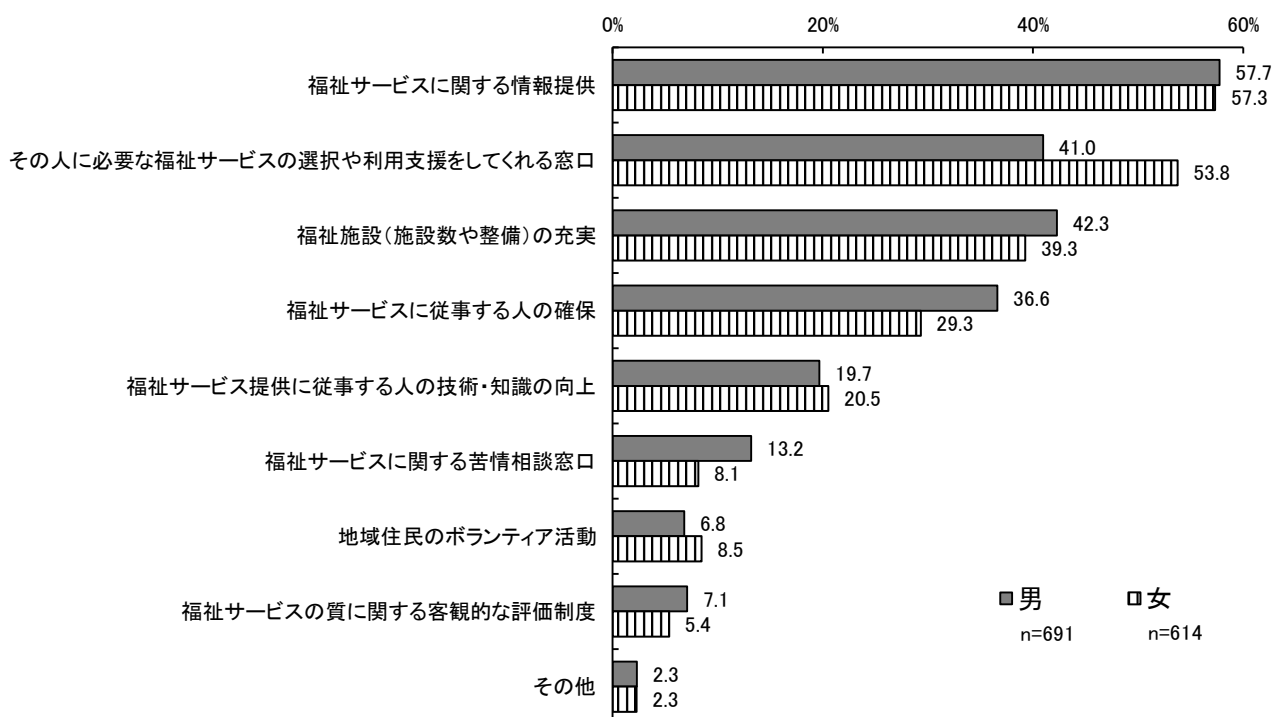
なかでも「その人に必要な福祉サービスの選択や利用支援をしてくれる窓口」と回答した者は、旧今治市や旧越智郡陸地部が48.0%と旧越智郡島しょ部（42.6%）と比べて多く、5.4ポイント差となっています。



【性別】

性別でみると、男女ともに「福祉サービスに関する情報提供」と回答した者が最も多くなっています。

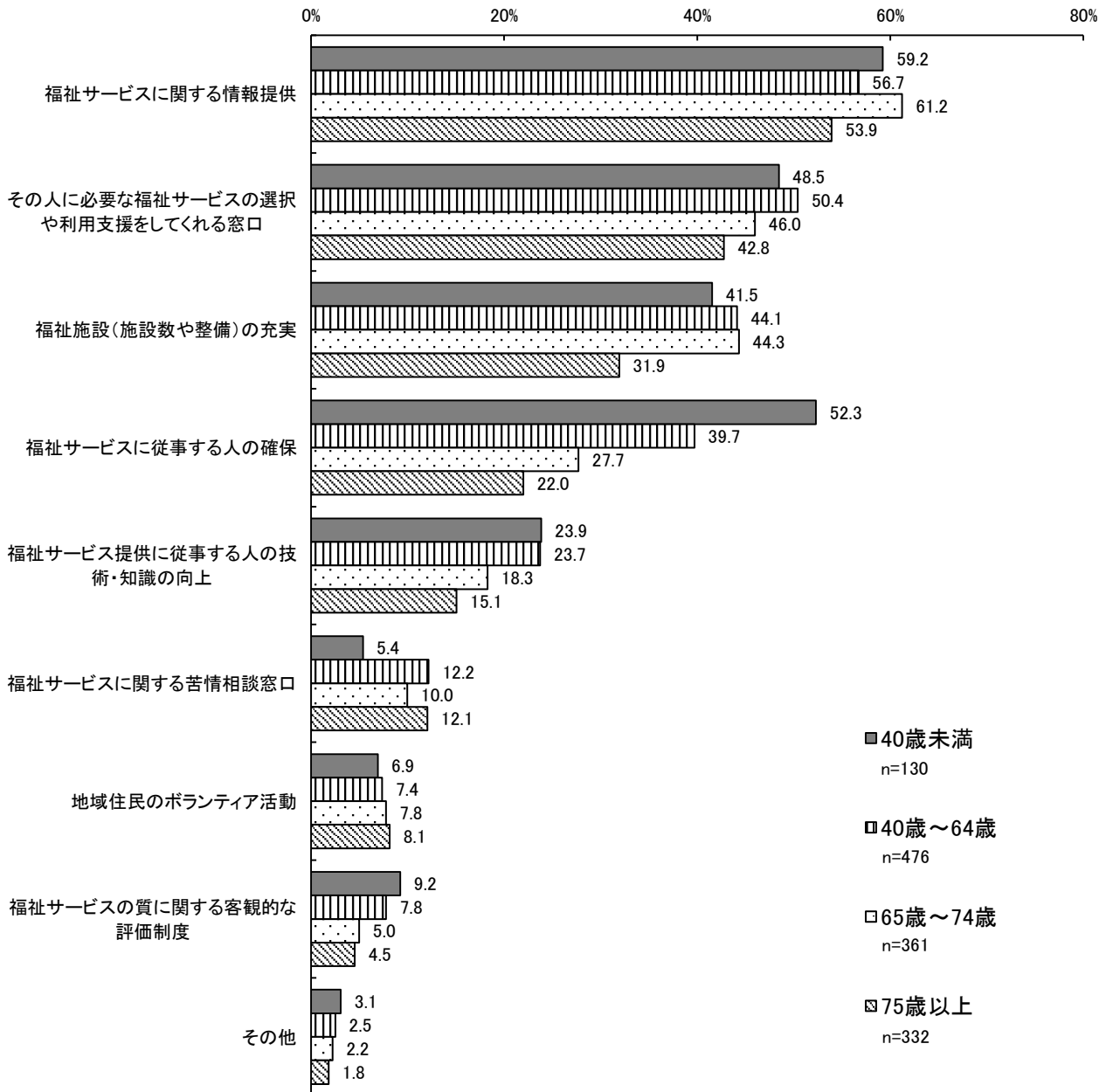
「その人に必要な福祉サービスの選択や利用支援をしてくれる窓口」と回答した者は、女性の方が男性よりも 12.8 ポイント多く、一方「福祉サービスに従事する人の確保」と回答した者は、男性の方が女性よりも 7.3 ポイント多くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、全ての年齢層で「福祉サービスに関する情報提供」と回答した者が最も多く、5割を超えています。

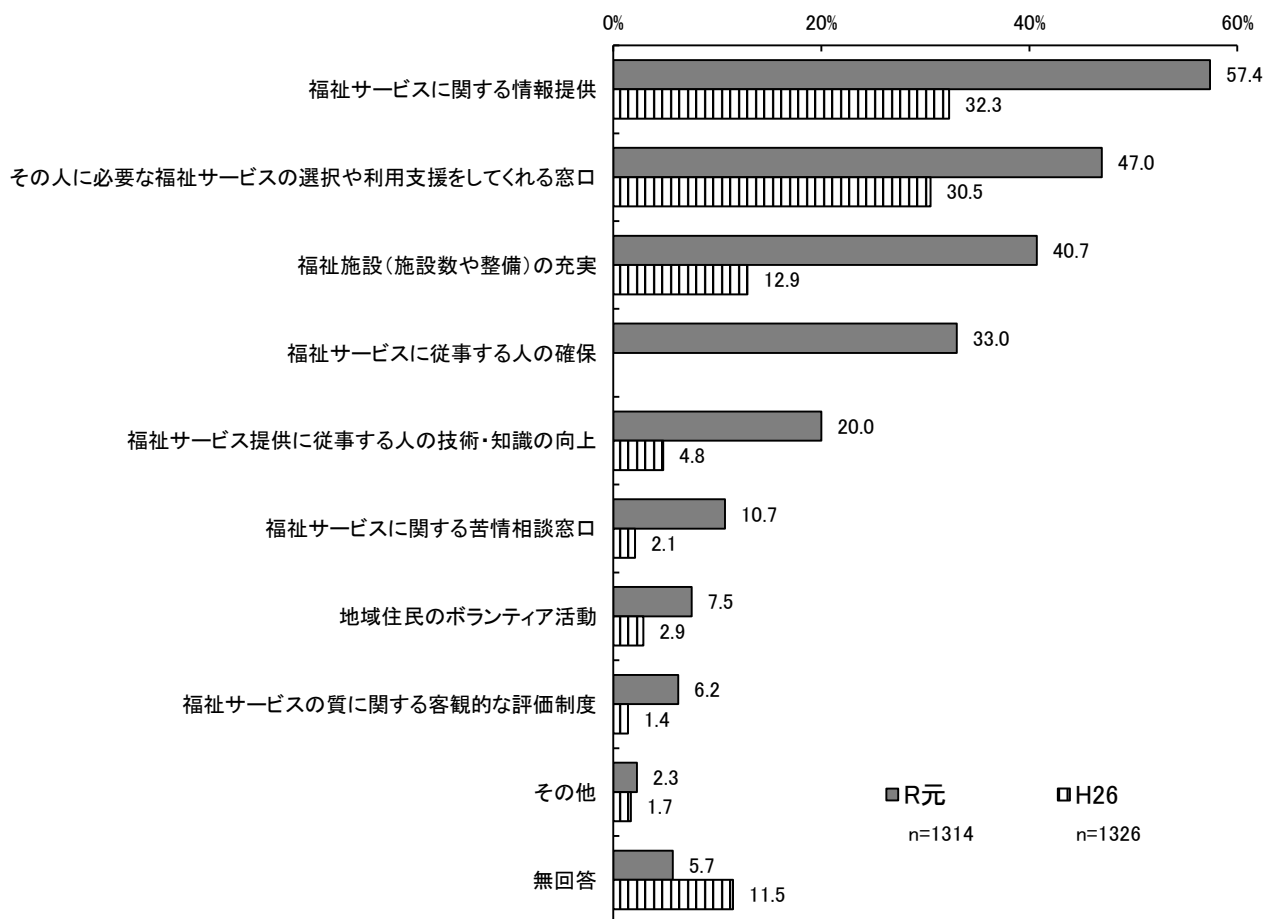
「福祉サービスに従事する人の確保」と回答した者は、40歳未満が52.3%と最も多く、75歳以上と比べて30.3ポイントの差があります。



【経年変化】

経年変化をみると、全ての項目で、前回調査より増加しています。

「福祉サービスに関する情報提供」と回答した者は、前回調査より 25.1 ポイント、「その人に必要な福祉サービスの選択や利用支援をしてくれる窓口」と回答した者は、前回調査より 16.5 ポイント、「福祉施設（施設数や整備）の充実」と回答した者は、前回調査より 27.8 ポイント増加しています。

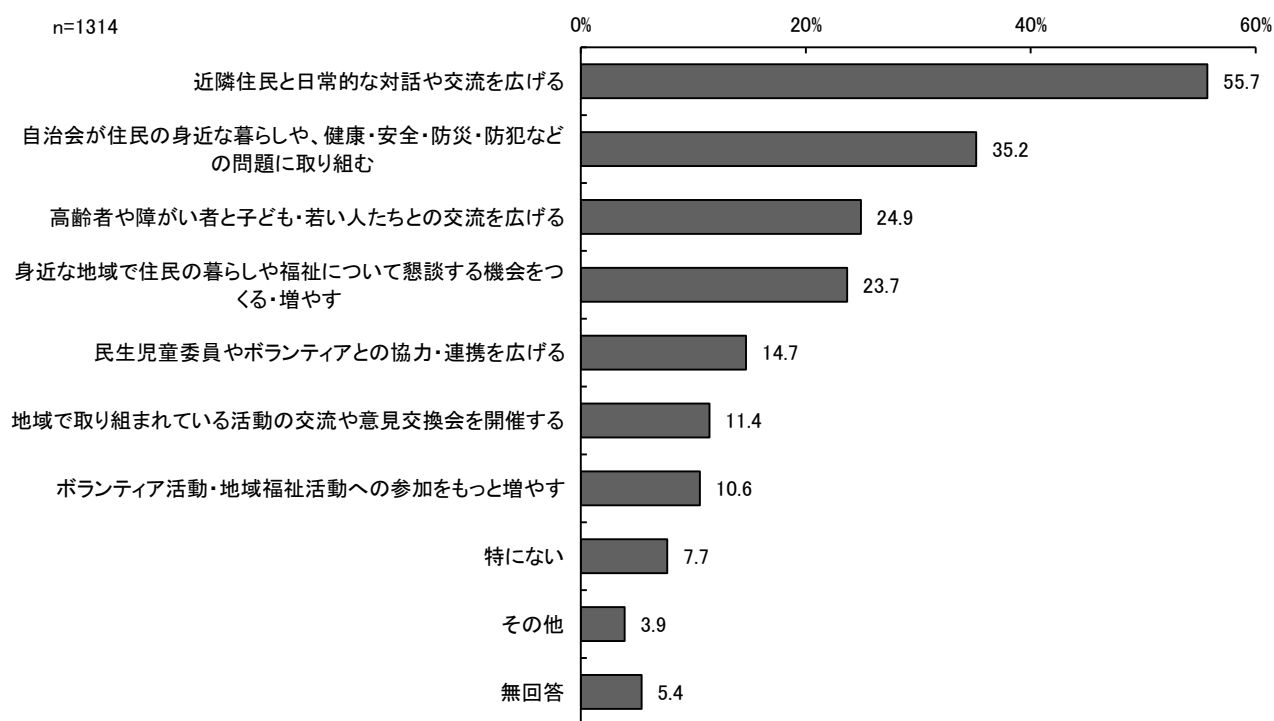


問 11 つながりと支え合いのある安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指す上で、住民が取り組む必要があることは何だと思いますか。

〈複数回答・3 つまで〉(件)

1	近隣住民と日常的な対話や交流を広げる	732
2	高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる	327
3	自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む	462
4	身近な地域で住民の暮らしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす	311
5	地域で取り組まれている活動の交流や意見交換会を開催する	150
6	民生児童委員やボランティアとの協力・連携を広げる	193
7	ボランティア活動・地域福祉活動への参加をもっと増やす	139
8	特にない	101
9	その他	51
	無回答	71

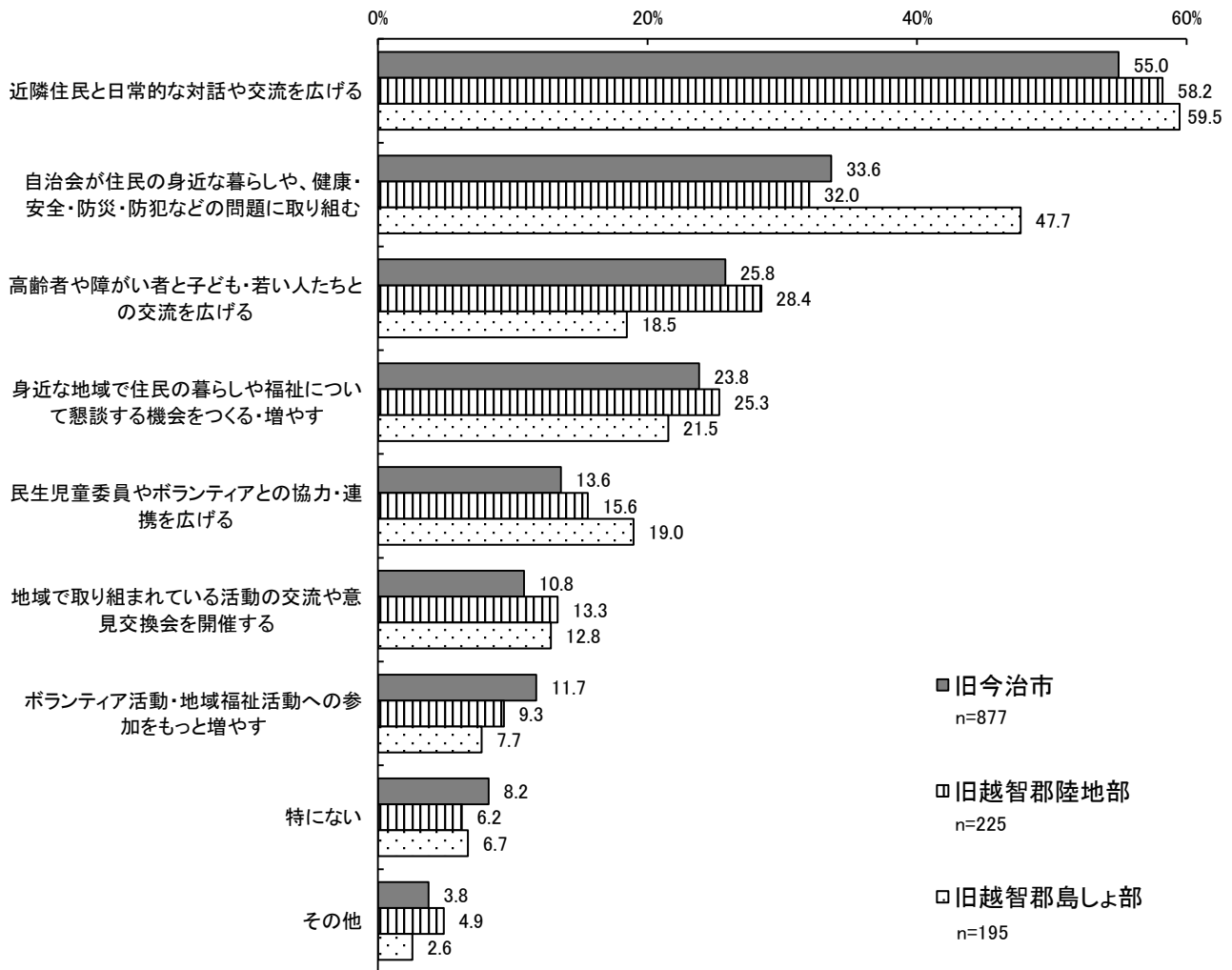
つながりと支え合いのある安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指す上で、住民が取り組む必要があることは何だと思うかを聞いたところ、「近隣住民と日常的な対話や交流を広げる」と回答した者が55.7%と最も多く、次いで「自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む」(35.2%)、「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」(24.9%)、「身近な地域で住民の暮らしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす」(23.7%)の順となっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「近隣住民と日常的な対話や交流を広げる」と回答した者が最も多く、5割を超えています。

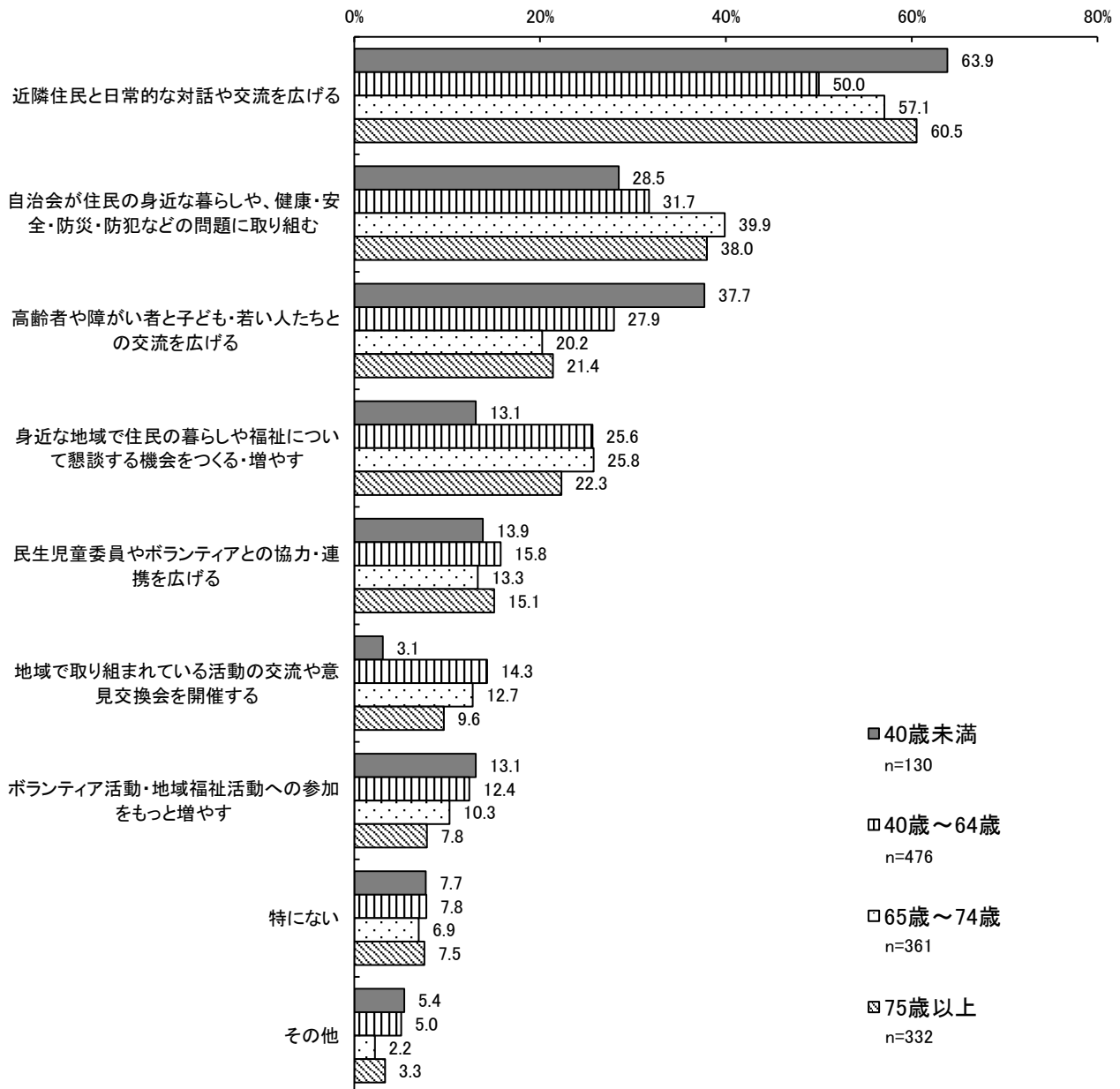
「自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む」と回答した者は、旧越智郡島しょ部（47.7%）と旧越智郡陸地部（32.0%）では15.7ポイント、「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」と回答した者は、旧越智郡陸地部（28.4%）と旧越智郡島しょ部（18.5%）では9.9ポイントの差があります。



【年齢】

年齢別にみると、全ての年齢層で「近隣住民と日常的な対話や交流を広げる」と回答した者が最も多く、5割を超えています。

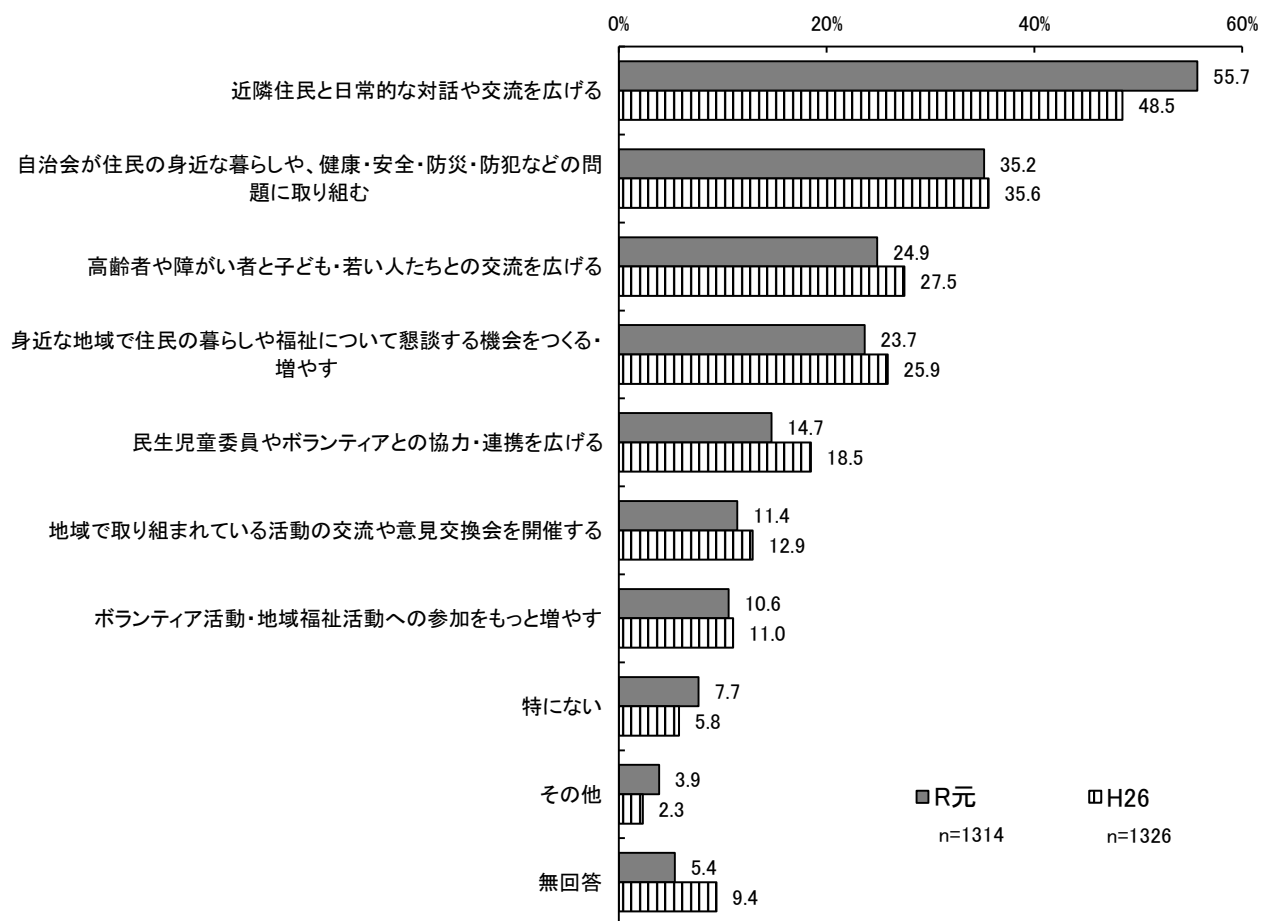
「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」と回答した者は、40歳未満（37.7%）と65歳～74歳（20.2%）とは17.5ポイントの差があります。



【経年変化】

経年変化をみると、「近隣住民と日常的な対話や交流を広げる」と回答した者は、前回調査より 7.2 ポイント増加しています。

一方、「自治会が住民の身近な暮らしや、健康・安全・防災・防犯などの問題に取り組む」と回答した者は、前回調査より 0.4 ポイント、「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」と回答した者は、前回調査より 2.6 ポイント、「身近な地域で住民の暮らしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす」と回答した者は、前回調査より 2.2 ポイント減少しています。



社会問題について

問 12 あなたは次のような社会問題について、どのようなことが重要であると思いますか。

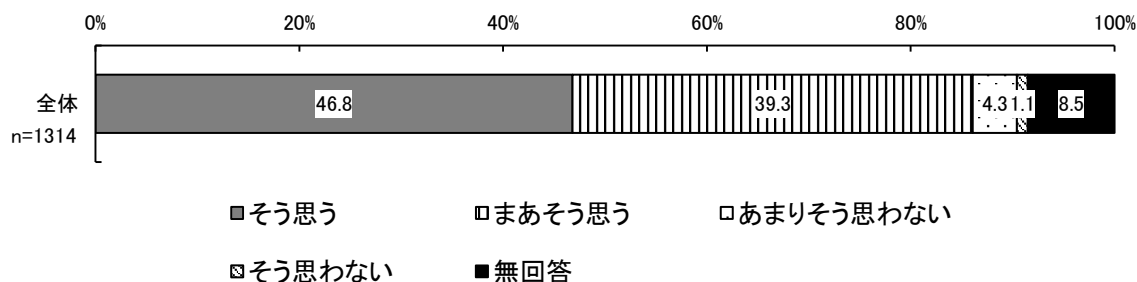
(件)

	そう思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答
1 障がいのある人となない人が、共に生きるため、 社会の中にあるバリアを取り除くこと	615	516	57	14	112
2 生活保護を受けている人に対する偏見や差別 を取り除くこと	371	534	236	62	111
3 ひとり親家庭の自立を支援するための地域の つながり	461	576	133	19	125
4 ドメスティックバイオレンス被害を防ぐための地 域のつながり	489	527	132	18	148
5 ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えて いくこと	442	513	197	37	125
6 地域の防犯対策	780	373	45	6	110
7 災害時における支援体制	886	292	18	4	114
8 認知症の人やその家族を支えるための地域の つながり	581	538	65	11	119
9 ホームレスの問題を社会全体で考えていくこと	278	527	319	62	128
10 高齢者・児童・障がい者等の虐待を防ぐための 地域のつながり	651	477	42	10	134
11 成年後見制度の周知	488	547	114	13	152
12 再犯防止のための支援	490	537	111	22	154

【1 障がいのある人となない人が、共に生きるため、社会の中にあるバリアを取り除くこと】

障がいのある人となない人が、共に生きるため、社会の中にあるバリアを取り除くことが重要であるかを聞いたところ、思う 86.1%（「そう思う」46.8%、「まあそう思う」39.3%の合計（以下同じ））、思わない 5.4%（「あまりそう思わない」4.3%、「そう思わない」1.1%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 80.7 ポイント多くなっています。

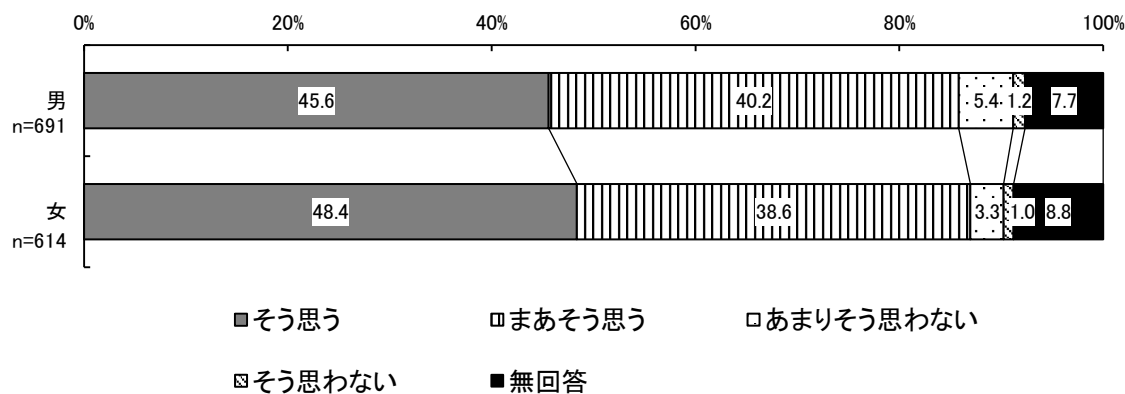
なお、「そう思う」（46.8%）の方が、「まあそう思う」（39.3%）よりも 7.5 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 85.8%、思わない 6.6%となっており、思うが 79.2 ポイント多くなっています。女性は、思う 87.0%、思わない 4.3%となっており、思うが 82.7 ポイント多くなっています。

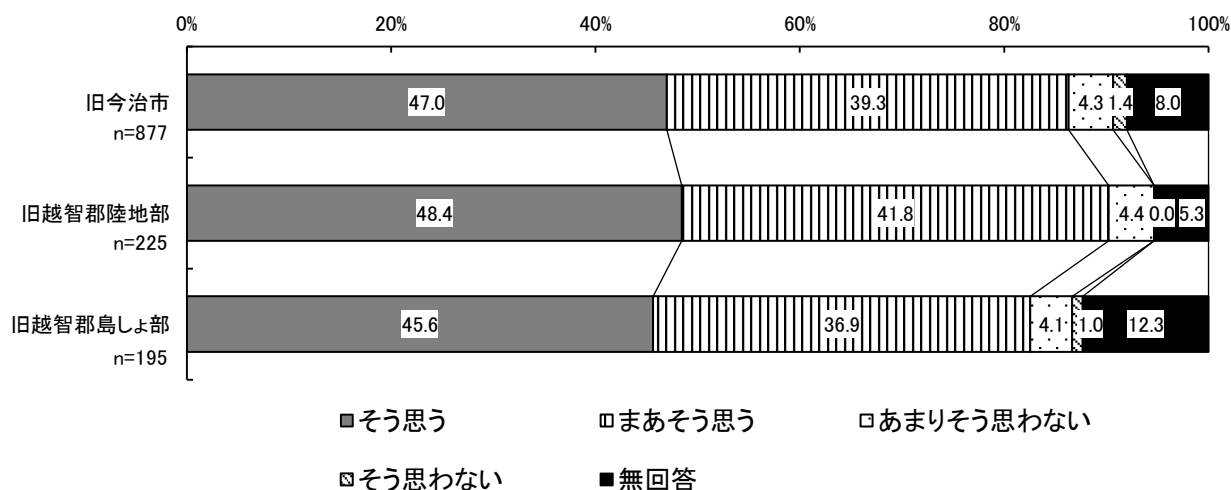
「そう思う」と回答した者は、女性の方が男性より 2.8 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 86.3%、思わない 5.7%となっており、思うが 80.6 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 90.2%、思わない 4.4%となっており、思うが 85.8 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 82.5%、思わない 5.1%となっており、思うが 77.4 ポイント多くなっています。

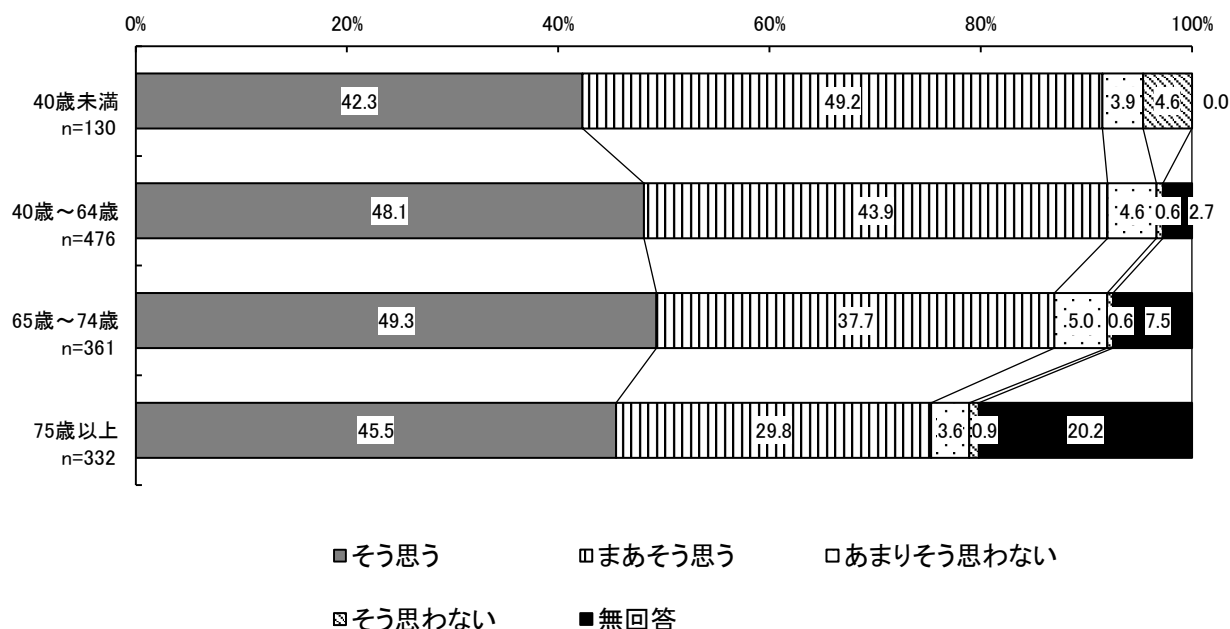
思うと回答した者は、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部とでは 7.7 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、12.3%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 91.5%、思わない 8.5%となっており、思うが 83.0 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 92.0%、思わない 5.2%となっており、思うが 86.8 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 87.0%、思わない 5.6%となっており、思うが 81.4 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 75.3%、思わない 4.5%となっており、思うが 70.8 ポイント多くなっています。

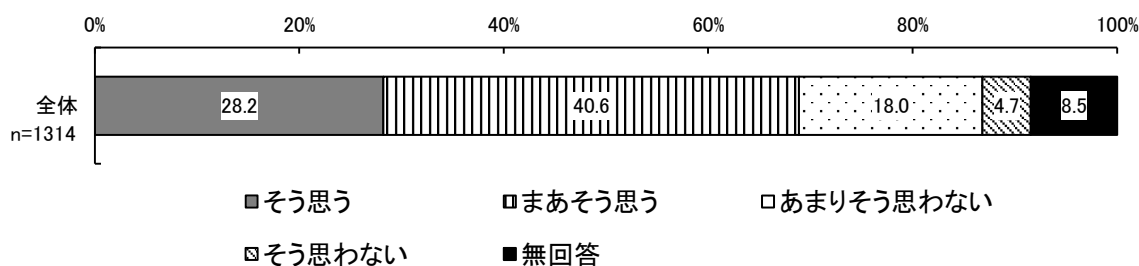
思うと回答した者は、40歳～64歳と75歳以上では 16.7 ポイント差があります。ただし、75歳以上の 20.2%が無回答になっています。



【2 生活保護を受けている人に対する偏見や差別を取り除くこと】

生活保護を受けている人に対する偏見や差別を取り除くことが重要であるかを聞いたところ、思う 68.8%（「そう思う」28.2%、「まあそう思う」40.6%の合計（以下同じ））、思わない 22.7%（「あまりそう思わない」18.0%、「そう思わない」4.7%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 46.1 ポイント多くなっています。

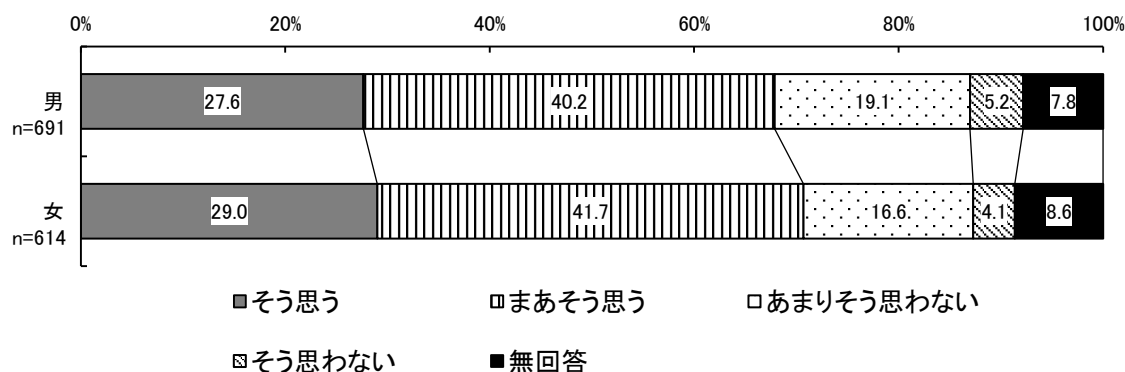
なお、「まあそう思う」（40.6%）の方が、「そう思う」（28.2%）よりも 12.4 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 67.8%、思わない 24.3%となっており、思うが 43.5 ポイント多くなっています。女性は、思う 70.7%、思わない 20.7%となっており、思うが 50.0 ポイント多くなっています。

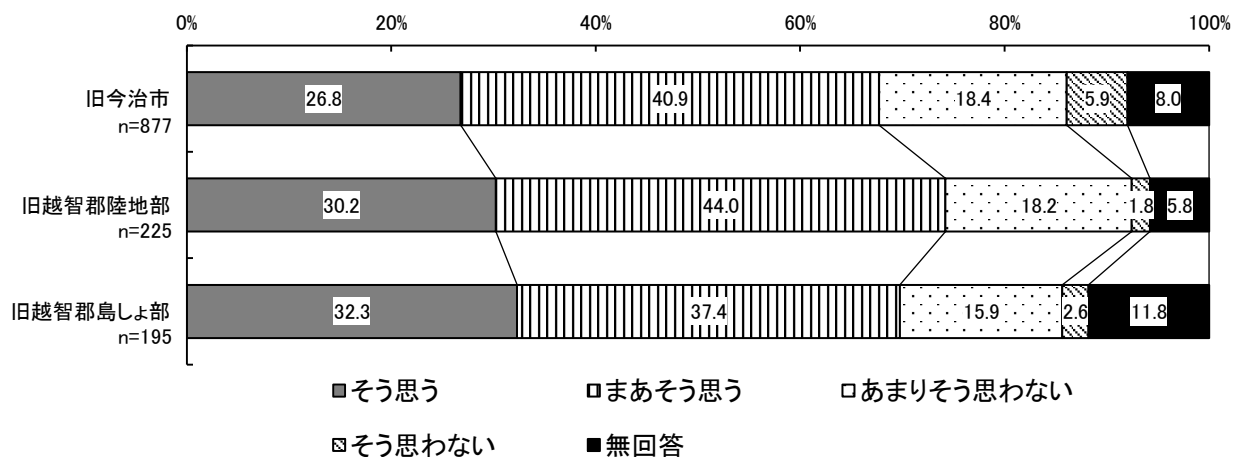
思うと回答した者は、女性の方が男性より 2.9 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 67.7%、思わない 24.3%となっており、思うが 43.4 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 74.2%、思わない 20.0%となっており、思うが 54.2 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 69.7%、思わない 18.5%となっており、思うが 51.2 ポイント多くなっています。

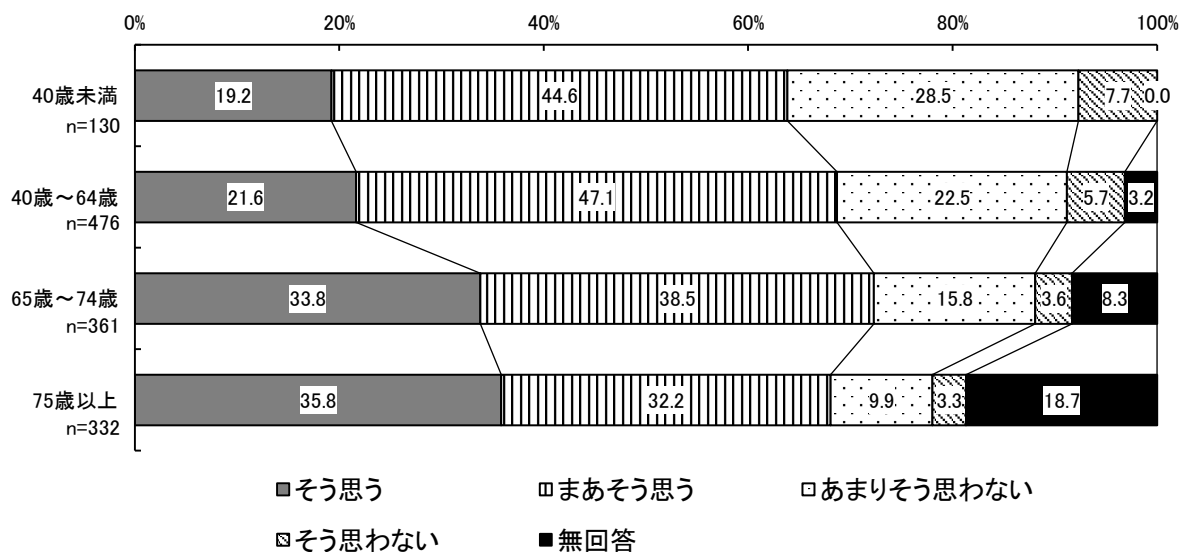
思うと回答した者は、旧越智郡陸地部と旧今治市では 6.5 ポイント差があります。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 63.8%、思わない 36.2%となっており、思うが 27.6 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 68.7%、思わない 28.2%となっており、思うが 40.5 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 72.3%、思わない 19.4%となっており、思うが 52.9 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 68.0%、思わない 13.2%となっており、思うが 54.8 ポイント多くなっています。

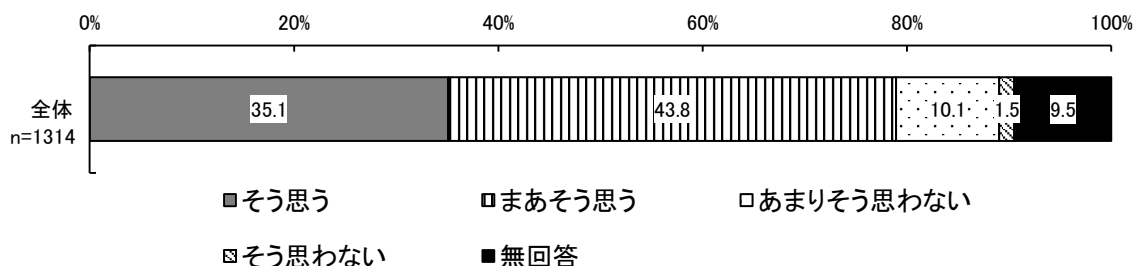
「思う」と回答した者は、年齢層が高くなるほど多くなる傾向があり、75歳以上は 40歳未満より 16.6 ポイント多くなっています。



【3 ひとり親家庭の自立を支援するための地域のつながり】

ひとり親家庭の自立を支援するための地域のつながりが重要であるかを聞いたところ、思う 78.9%（「そう思う」35.1%、「まあそう思う」43.8%の合計（以下同じ））、思わない 11.6%（「あまりそう思わない」10.1%、「そう思わない」1.5%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 67.3 ポイント多くなっています。

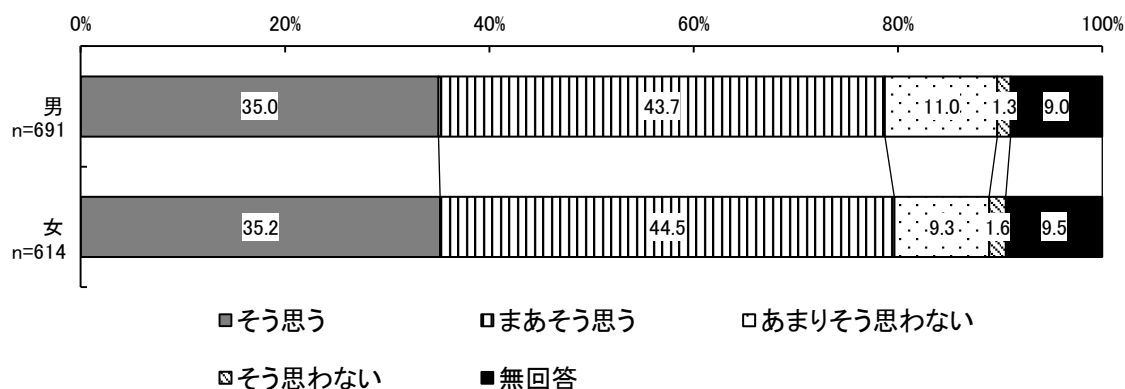
なお、「まあそう思う」（43.8%）の方が、「そう思う」（35.1%）よりも 8.7 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 78.7%、思わない 12.3%となっており、思うが 66.4 ポイント多くなっています。女性は、思う 79.7%、思わない 10.9%となっており、思うが 68.8 ポイント多くなっています。

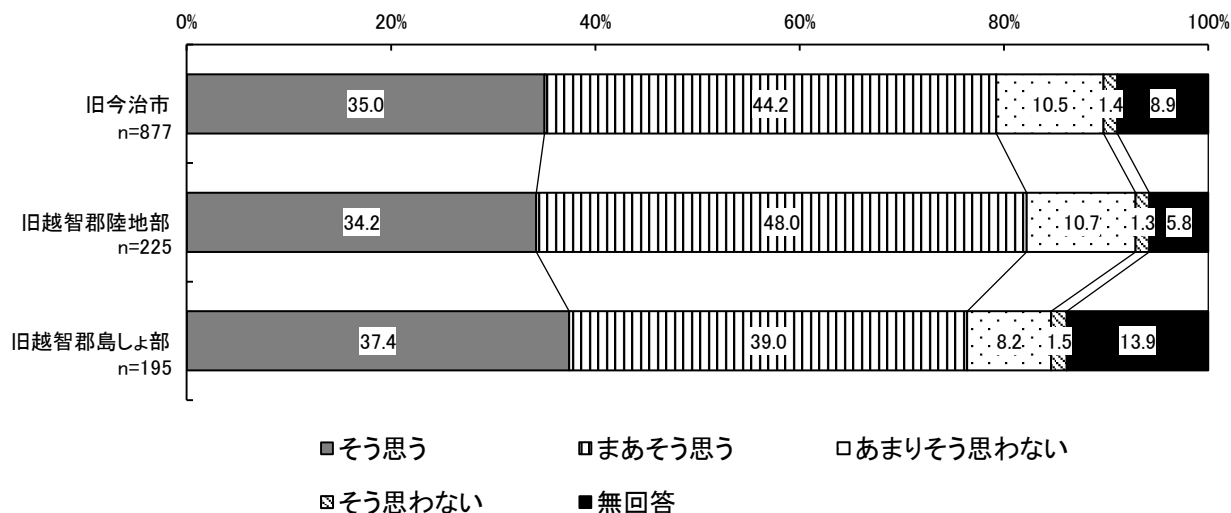
思わないと回答した者は、男性の方が女性より 1.4 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 79.2%、思わない 11.9%となっており、思うが 67.3 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 82.2%、思わない 12.0%となっており、思うが 70.2 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 76.4%、思わない 9.7%となっており、思うが 66.7 ポイント多くなっています。

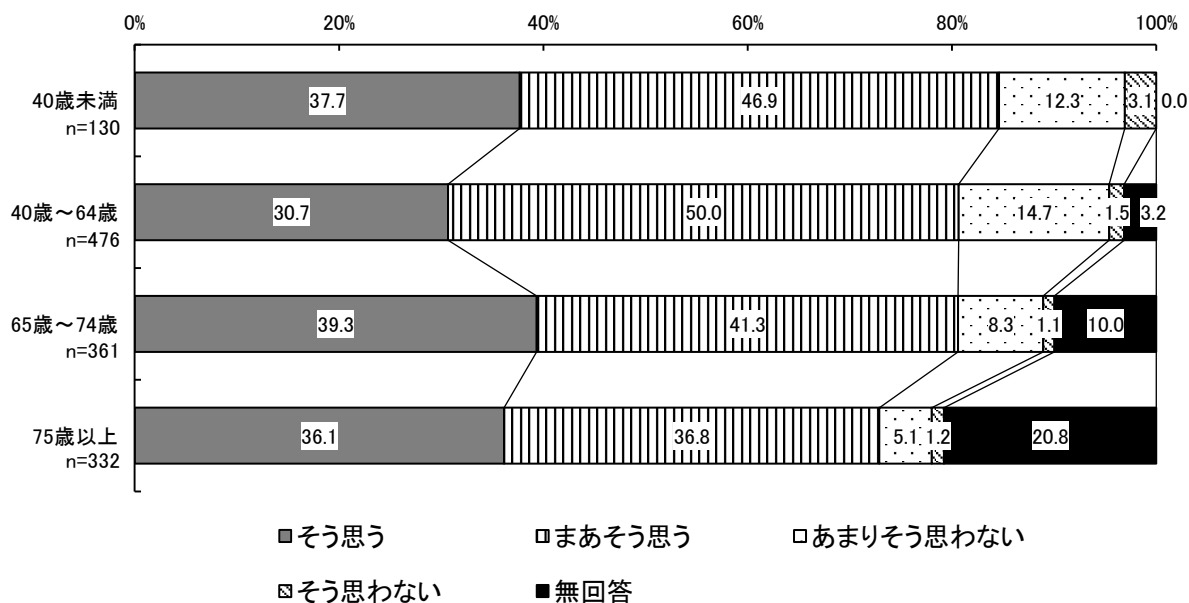
思うと回答した者は、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では 5.8 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、13.9%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 84.6%、思わない 15.4%となっており、思うが 69.2 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 80.7%、思わない 16.2%となっており、思うが 64.5 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 80.6%、思わない 9.4%となっており、思うが 71.2 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 72.9%、思わない 6.3%となっており、思うが 66.6 ポイント多くなっています。

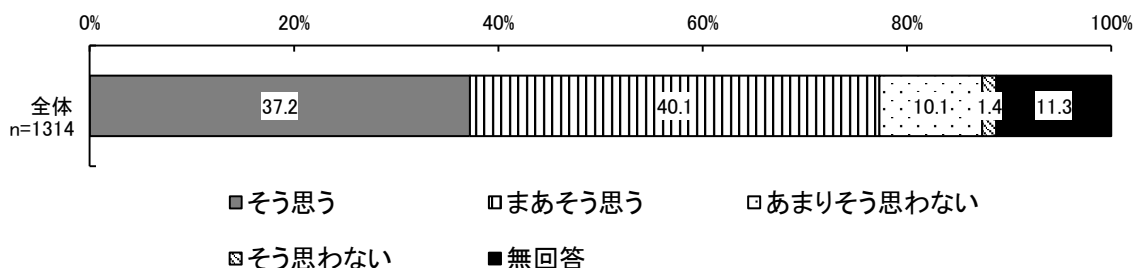
思うと回答した者は、年齢層が高くなるほど少なくなる傾向があり、40歳未満と75歳以上では 11.7 ポイント差があります。ただし、75歳以上の 20.8%が無回答になっています。



【4 ドメスティックバイオレンス被害を防ぐための地域のつながり】

ドメスティックバイオレンス被害を防ぐための地域のつながりが重要であるかを聞いたところ、思う 77.3%（「そう思う」37.2%、「まあそう思う」40.1%の合計（以下同じ））、思わない 11.5%（「あまりそう思わない」10.1%、「そう思わない」1.4%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 65.8 ポイント多くなっています。

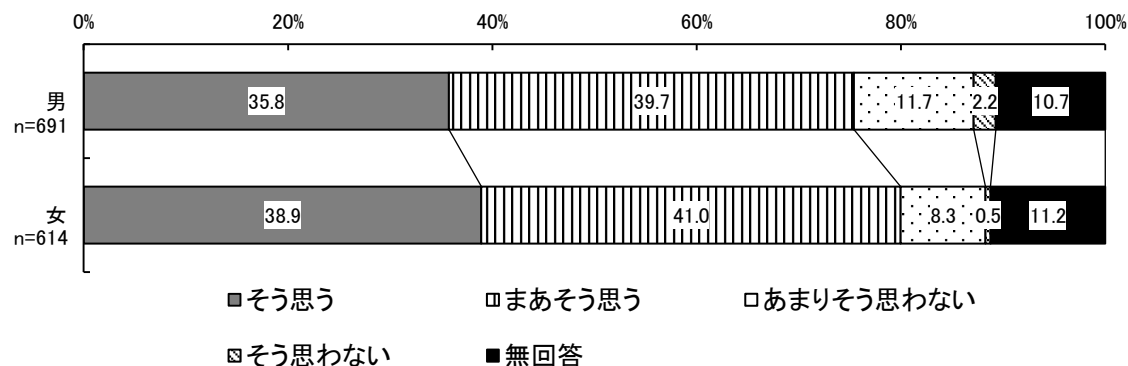
なお、「まあそう思う」（40.1%）の方が、「そう思う」（37.2%）よりも 2.9 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 75.5%、思わない 13.9%となっており、思うが 61.6 ポイント多くなっています。女性は、思う 79.9%、思わない 8.8%となっており、思うが 71.1 ポイント多くなっています。

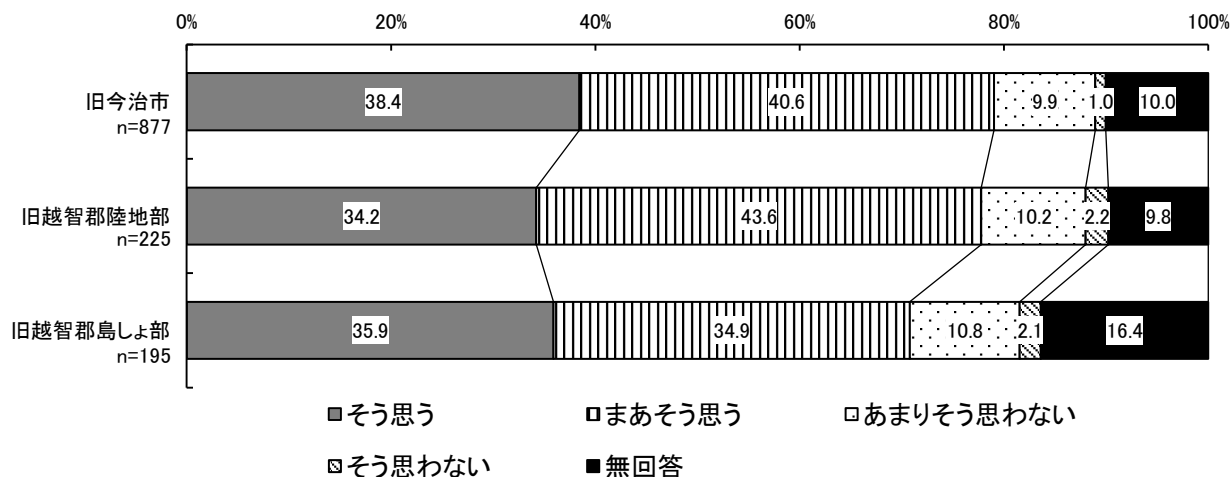
思うと回答した者は、女性の方が男性より 4.4 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 79.0%、思わない 10.9%となっており、思うが 68.1 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 77.8%、思わない 12.4%となっており、思うが 65.4 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 70.8%、思わない 12.9%となっており、思うが 57.9 ポイント多くなっています。

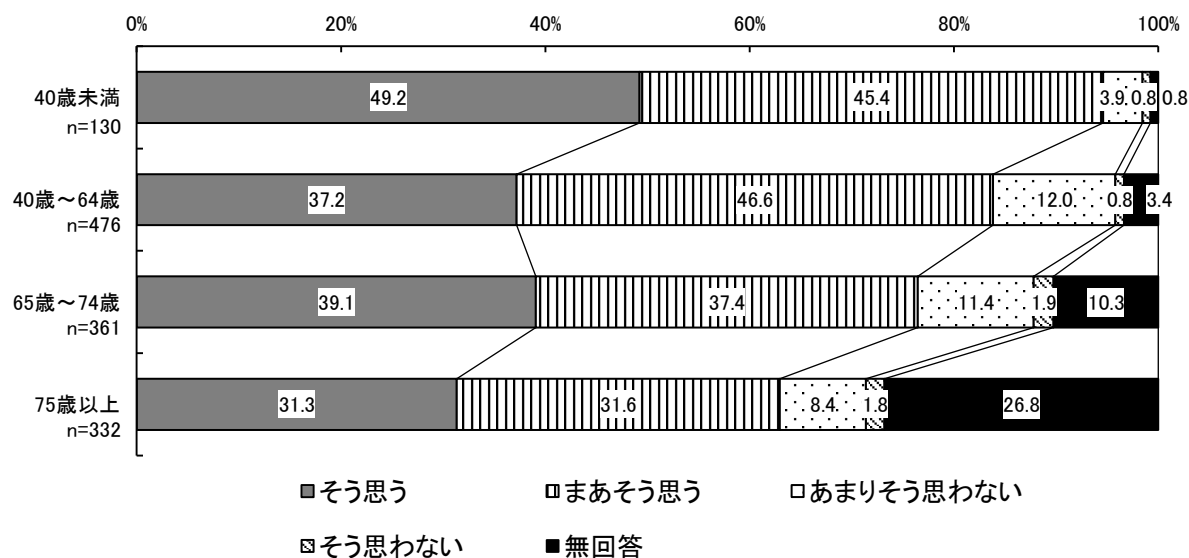
思うと回答した者は、旧今治市と旧越智郡島しょ部では 8.2 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、16.4%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 94.6%、思わない 4.7%となっており、思うが 89.9 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 83.8%、思わない 12.8%となっており、思うが 71.0 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 76.5%、思わない 13.3%となっており、思うが 63.2 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 62.9%、思わない 10.2%となっており、思うが 52.7 ポイント多くなっています。

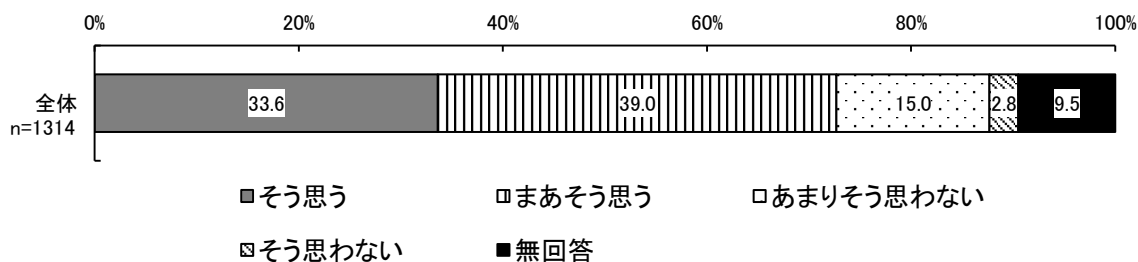
思うと回答した者は、年齢層が高くなるほど少なくなる傾向があり、40歳未満と75歳以上では 31.7 ポイント差があります。ただし、75歳以上の 26.8%が無回答になっています。



【5 ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えていくこと】

ひきこもりやニートの問題を社会全体で考えていくことが重要であるかを聞いたところ、思う 72.6%（「そう思う」33.6%、「まあそう思う」39.0%の合計（以下同じ））、思わない 17.8%（「あまりそう思わない」15.0%、「そう思わない」2.8%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 54.8 ポイント多くなっています。

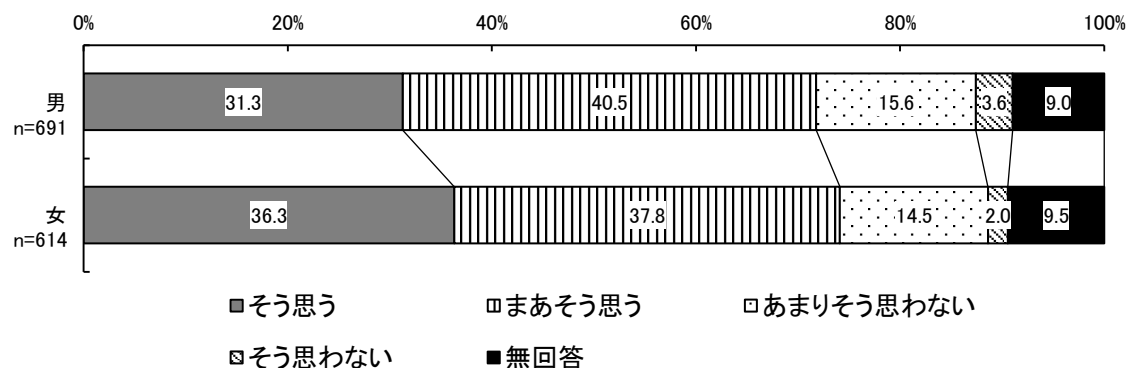
なお、「まあそう思う」（39.0%）の方が、「そう思う」（33.6%）よりも 5.4 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 71.8%、思わない 19.2%となっており、思うが 52.6 ポイント多くなっています。女性は、思う 74.1%、思わない 16.5%となっており、思うが 57.6 ポイント多くなっています。

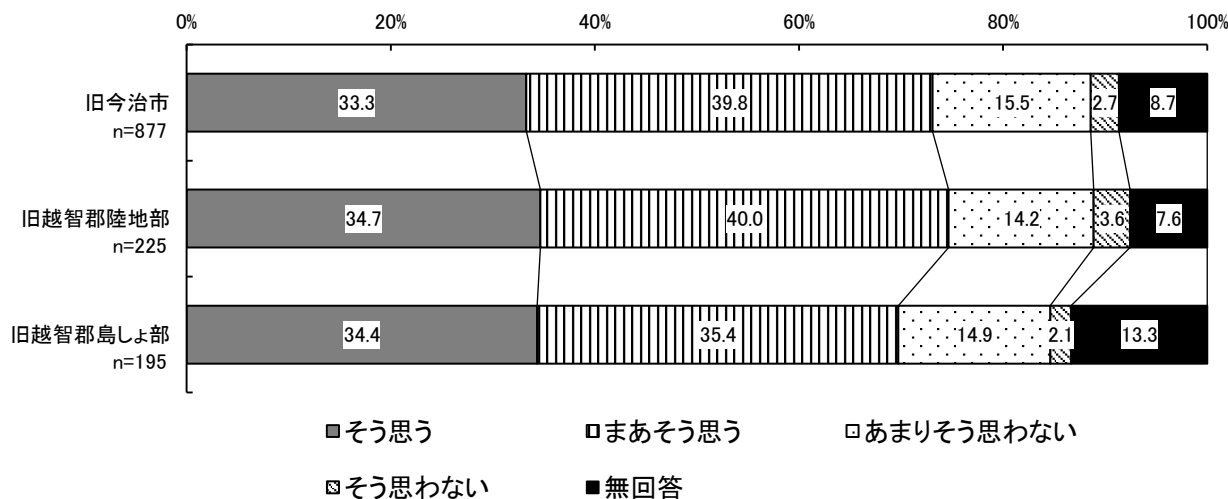
「そう思う」と回答した者は、女性の方が男性より 5.0 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 73.1%、思わない 18.2%となっており、思うが 54.9 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 74.7%、思わない 17.8%となっており、思うが 56.9 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 69.8%、思わない 17.0%となっており、思うが 52.8 ポイント多くなっています。

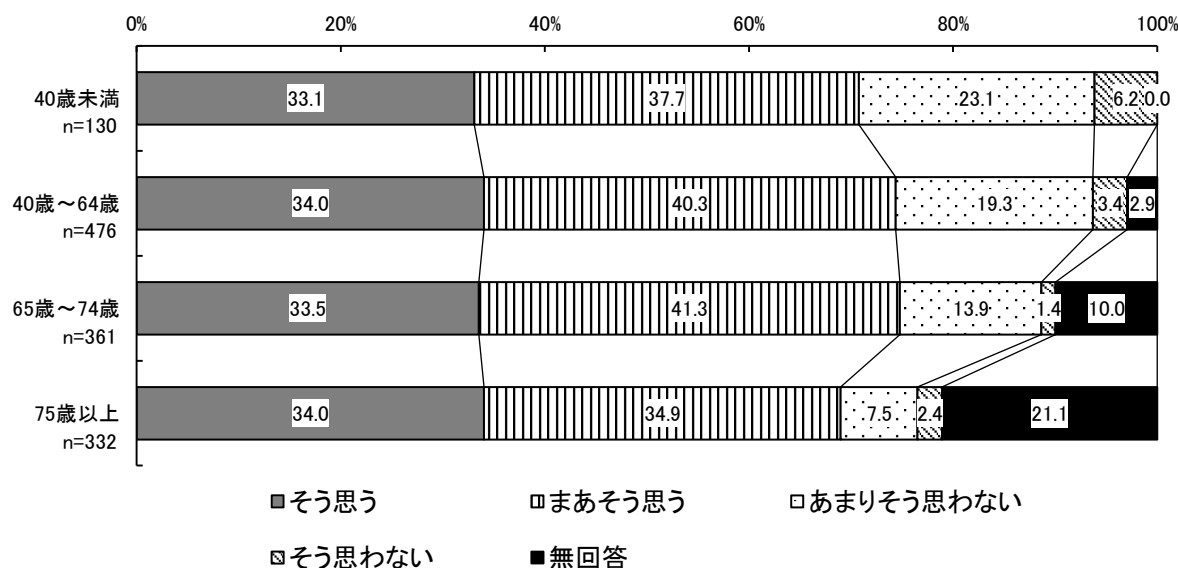
思うと回答した者は、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では 4.9 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、13.3%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 70.8%、思わない 29.3%となっており、思うが 41.5 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 74.3%、思わない 22.7%となっており、思うが 51.6 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 74.8%、思わない 15.3%となっており、思うが 59.5 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 68.9%、思わない 9.9%となっており、思うが 59.0 ポイント多くなっています。

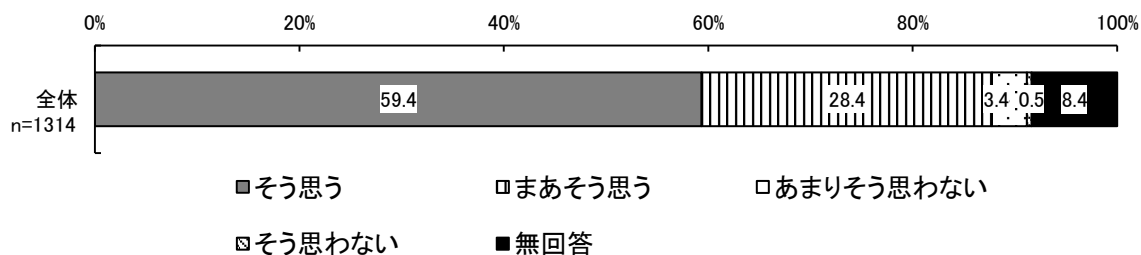
思わないと回答した者は、年齢層が高くなるほど少なくなる傾向があり、40歳未満と75歳以上では 19.4 ポイント差があります。ただし、75歳以上の 21.1%が無回答になっています。



【6 地域の防犯対策】

地域の防犯対策が重要であるかを聞いたところ、思う 87.8%（「そう思う」59.4%、「まあそう思う」28.4%の合計（以下同じ））、思わない 3.9%（「あまりそう思わない」3.4%、「そう思わない」0.5%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 83.9 ポイント多くなっています。

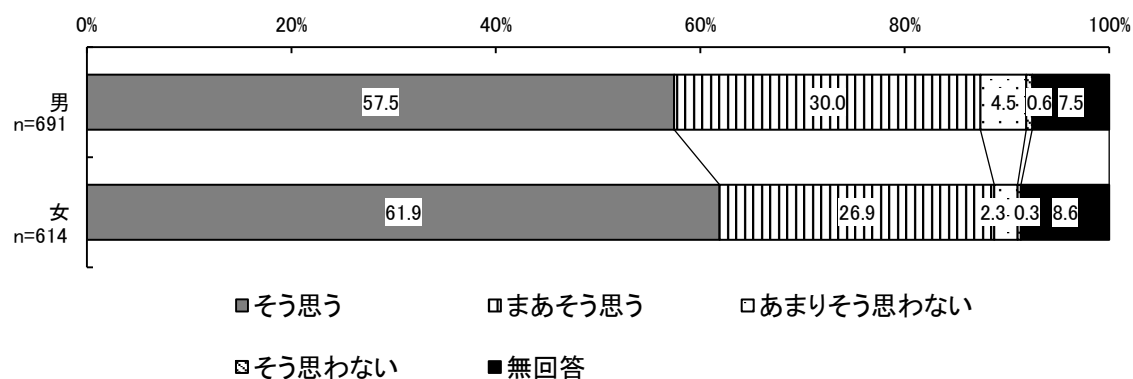
なお、「そう思う」（59.4%）の方が、「まあそう思う」（28.4%）よりも 31.0 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 87.5%、思わない 5.1%となっており、思うが 82.4 ポイント多くなっています。女性は、思う 88.8%、思わない 2.6%となっており、思うが 86.2 ポイント多くなっています。

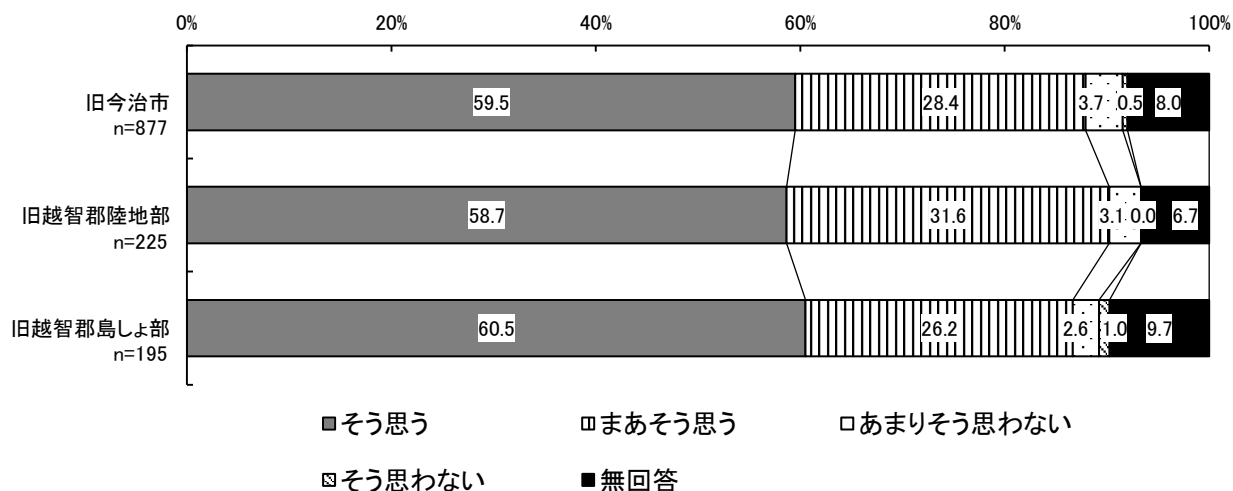
「そう思う」と回答した者は、女性の方が男性より 4.4 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 87.9%、思わない 4.2%となっており、思うが 83.7 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 90.3%、思わない 3.1%となっており、思うが 87.2 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 86.7%、思わない 3.6%となっており、思うが 83.1 ポイント多くなっています。

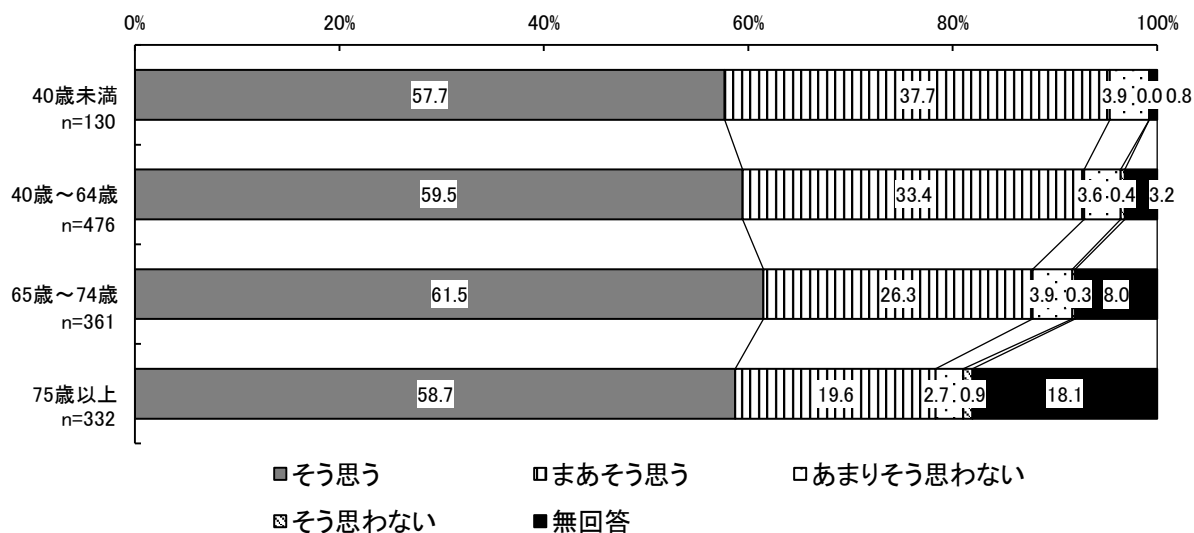
思うと回答した者は、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では 3.6 ポイント差があります。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 95.4%、思わない 3.9%となっており、思うが 91.5 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 92.9%、思わない 4.0%となっており、思うが 88.9 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 87.8%、思わない 4.2%となっており、思うが 83.6 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 78.3%、思わない 3.6%となっており、思うが 74.7 ポイント多くなっています。

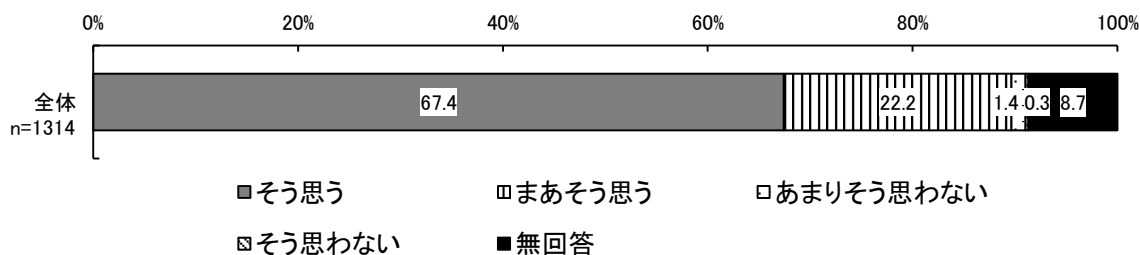
思うと回答した者は、年齢層が高くなるほど少なくなる傾向があり、40歳未満と75歳以上では 17.1 ポイント差があります。ただし、75歳以上の 18.1%が無回答になっています。



【7 災害時における支援体制】

災害時における支援体制が重要であるかを聞いたところ、思う 89.6%（「そう思う」67.4%、「まあそう思う」22.2%の合計（以下同じ））、思わない 1.7%（「あまりそう思わない」1.4%、「そう思わない」0.3%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 87.9 ポイント多くなっています。

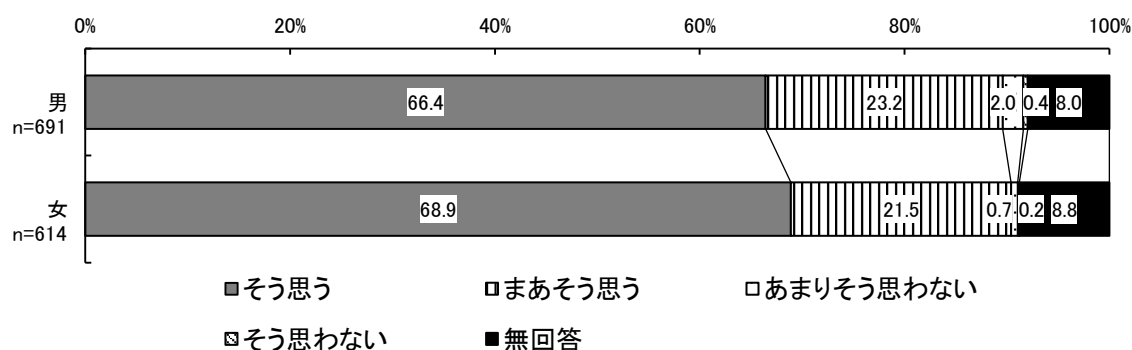
なお、「そう思う」（67.4%）の方が、「まあそう思う」（22.2%）よりも 45.2 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 89.6%、思わない 2.4%となっており、思うが 87.2 ポイント多くなっています。女性は、思う 90.4%、思わない 0.9%となっており、思うが 89.5 ポイント多くなっています。

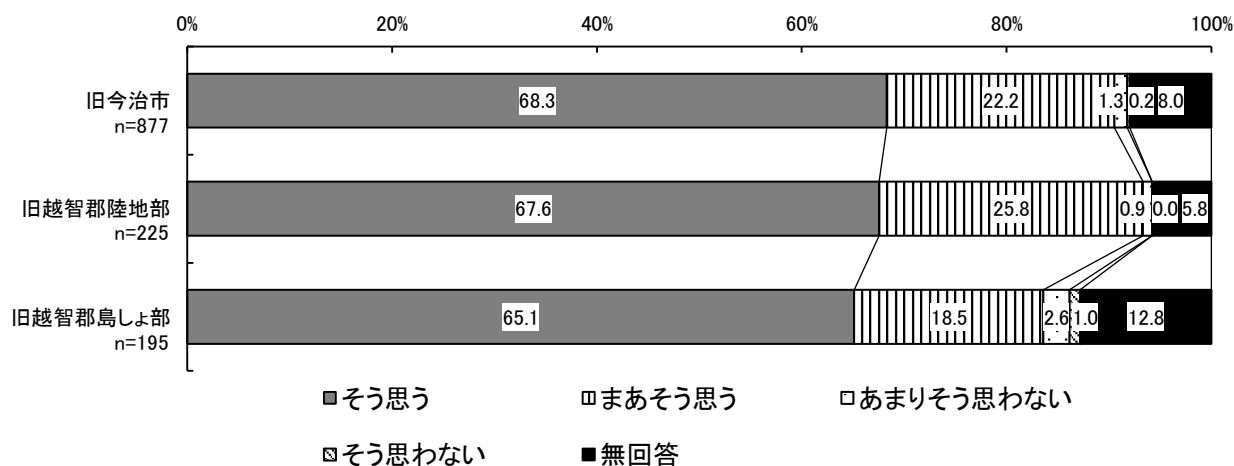
「そう思う」と回答した者は、女性の方が男性より 2.5 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 90.5%、思わない 1.5%となっており、思うが 89.0 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 93.4%、思わない 0.9%となっており、思うが 92.5 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 83.6%、思わない 3.6%となっており、思うが 80.0 ポイント多くなっています。

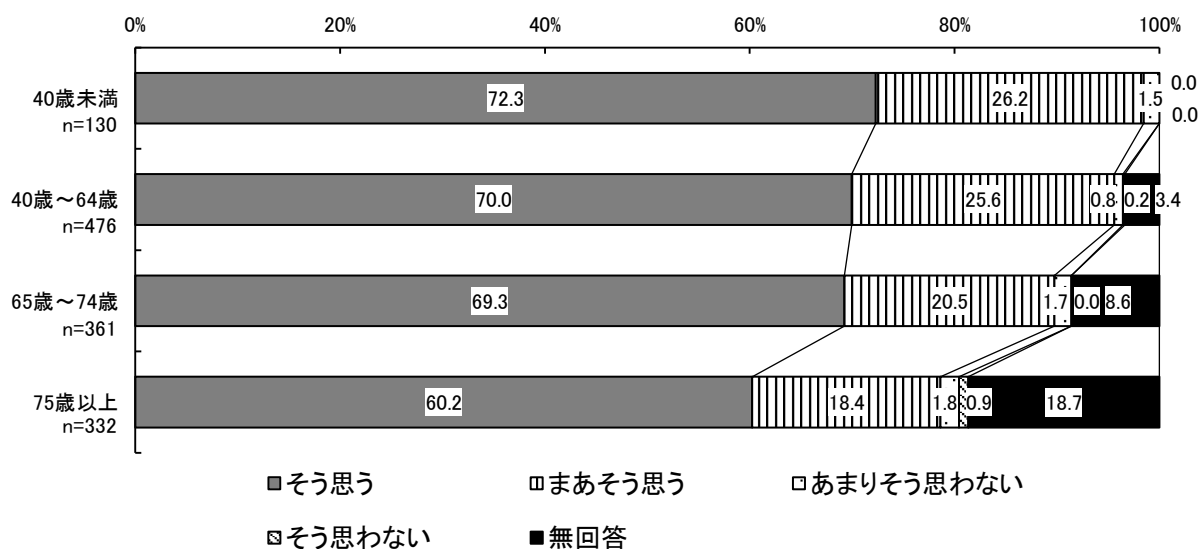
思うと回答した者は、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では 9.8 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、12.8%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 98.5%、思わない 1.5%となっており、思うが 97.0 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 95.6%、思わない 1.0%となっており、思うが 94.6 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 89.8%、思わない 1.7%となっており、思うが 88.1 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 78.6%、思わない 2.7%となっており、思うが 75.9 ポイント多くなっています。

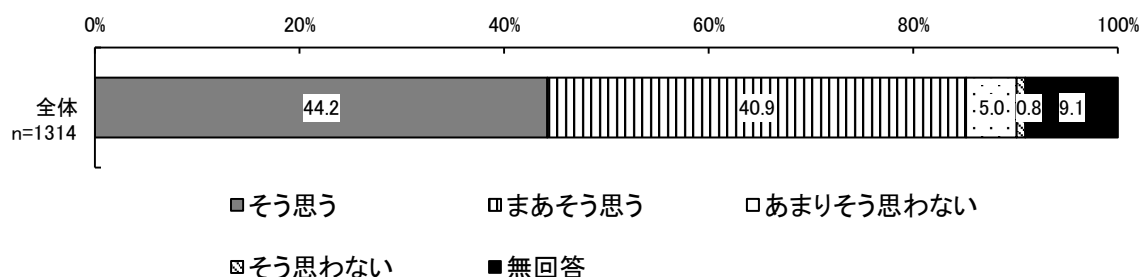
思うと回答した者は、年齢層が高くなるほど少なくなる傾向があり、40歳未満と75歳以上では 19.9 ポイント差があります。ただし、75歳以上の 18.7%が無回答になっています。



【8 認知症の人やその家族を支えるための地域のつながり】

認知症の人やその家族を支えるための地域のつながりが重要であるかを聞いたところ、思う 85.1%（「そう思う」44.2%、「まあそう思う」40.9%の合計（以下同じ））、思わない 5.8%（「あまりそう思わない」5.0%、「そう思わない」0.8%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 79.3 ポイント多くなっています。

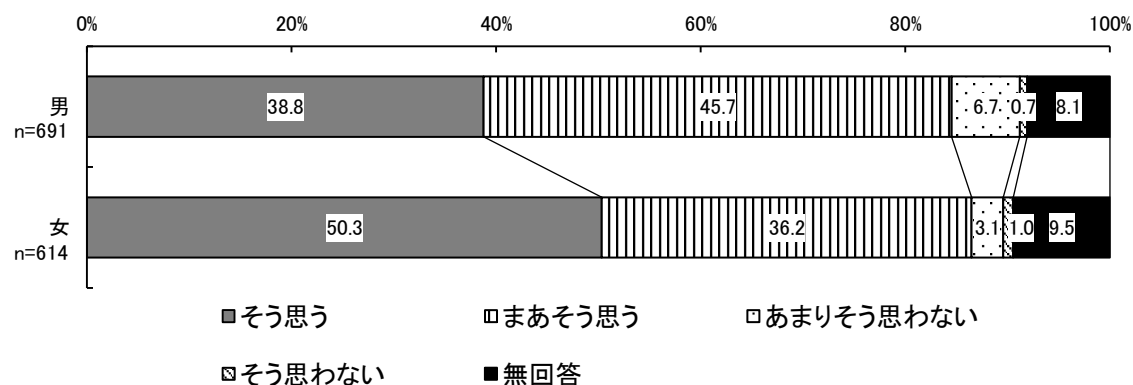
なお、「そう思う」（44.2%）の方が、「まあそう思う」（40.9%）よりも 3.3 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 84.5%、思わない 7.4%となっており、思うが 77.1 ポイント多くなっています。女性は、思う 86.5%、思わない 4.1%となっており、思うが 82.4 ポイント多くなっています。

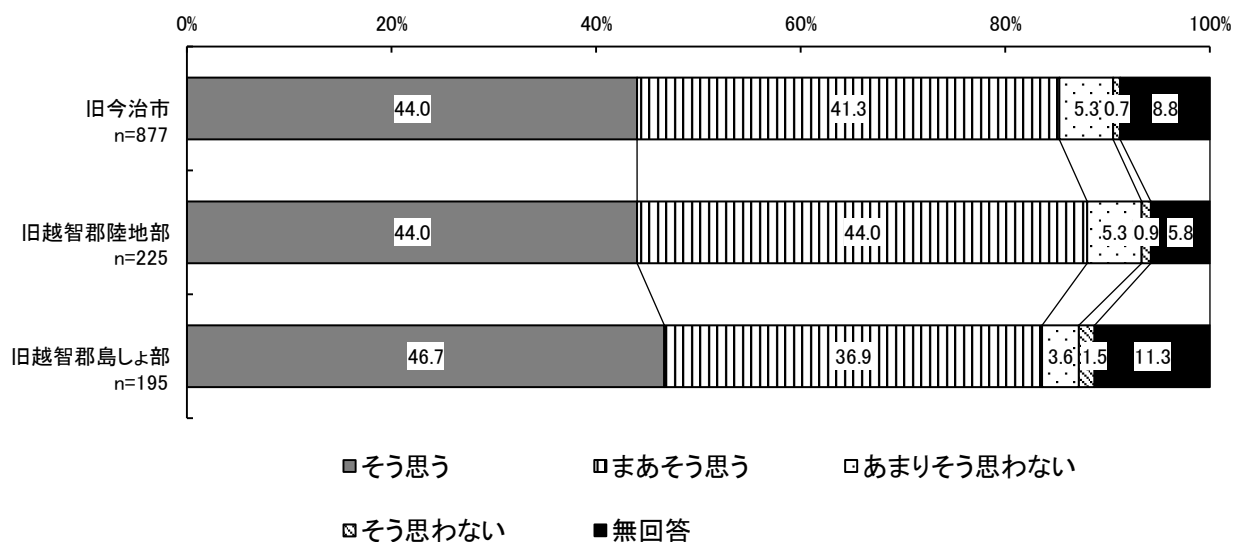
「そう思う」と回答した者は、女性の方が男性より 11.5 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 85.3%、思わない 6.0%となっており、思うが 79.3 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 88.0%、思わない 6.2%となっており、思うが 81.8 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 83.6%、思わない 5.1%となっており、思うが 78.5 ポイント多くなっています。

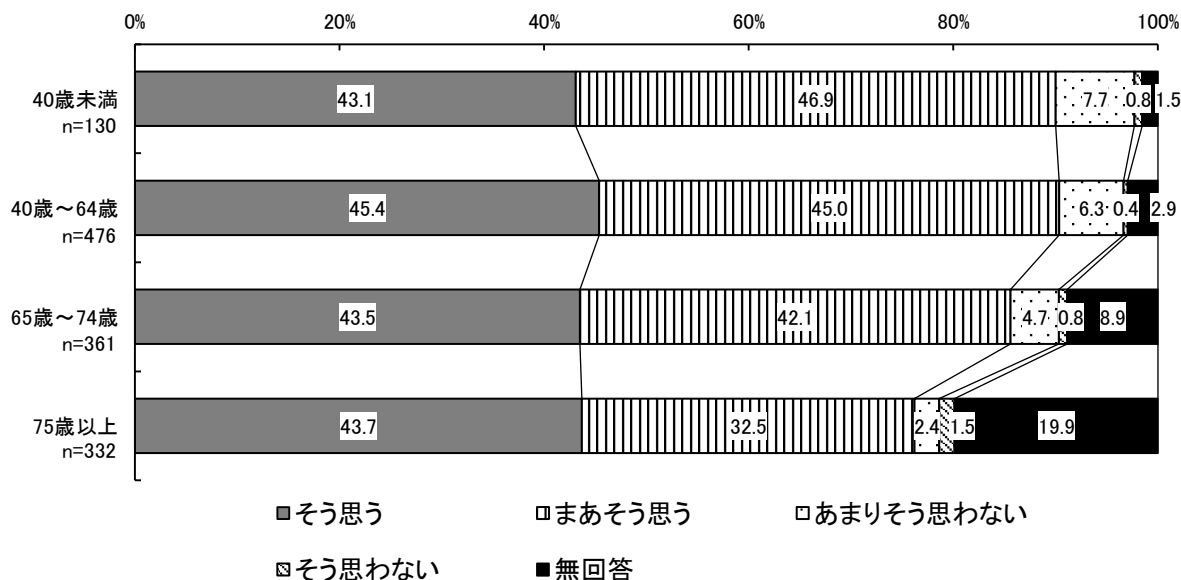
思うと回答した者は、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では 4.4 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、11.3%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 90.0%、思わない 8.5%となっており、思うが 81.5 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 90.4%、思わない 6.7%となっており、思うが 83.7 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 85.6%、思わない 5.5%となっており、思うが 80.1 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 76.2%、思わない 3.9%となっており、思うが 72.3 ポイント多くなっています。

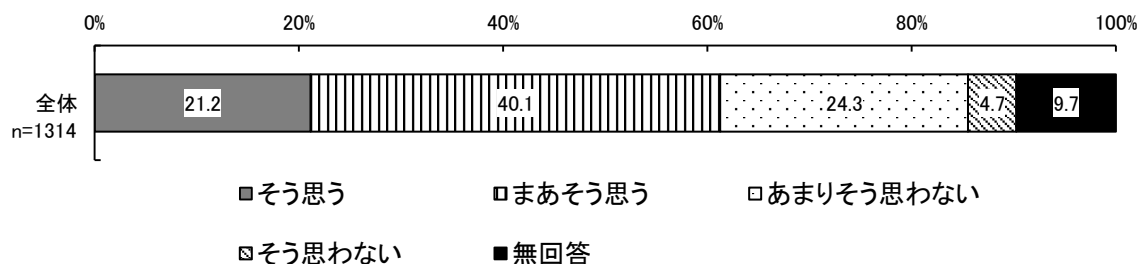
思うと回答した者は、40歳～64歳と75歳以上では 14.2 ポイント差があります。ただし、75歳以上の 19.9%が無回答になっています。



【9 ホームレスの問題を社会全体で考えていくこと】

ホームレスの問題を社会全体で考えていくことが重要であるかを聞いたところ、思う 61.3%（「思う」21.2%、「まあ思う」40.1%の合計（以下同じ））、思わない 29.0%（「あまり思わない」24.3%、「そう思わない」4.7%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 32.3 ポイント多くなっています。

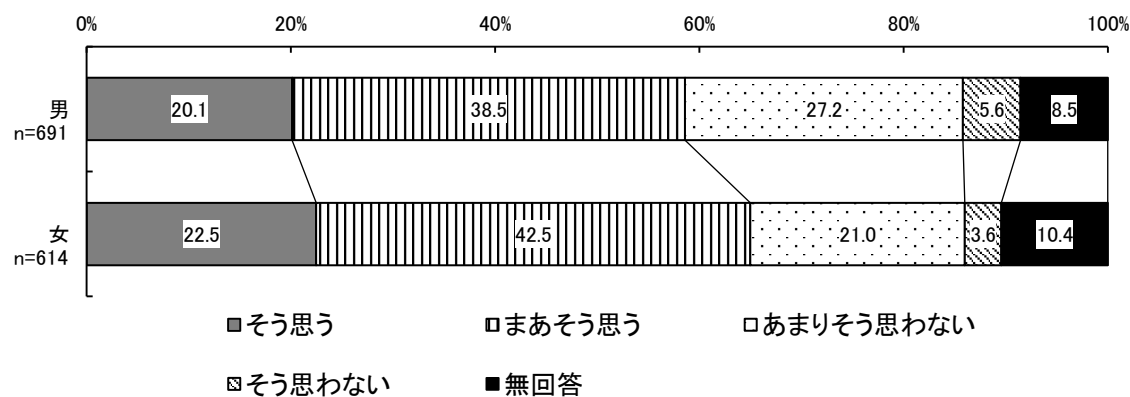
なお、「まあ思う」(40.1%)の方が、「思う」(21.2%)よりも 18.9 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 58.6%、思わない 32.8%となっており、思うが 25.8 ポイント多くなっています。女性は、思う 65.0%、思わない 24.6%となっており、思うが 40.4 ポイント多くなっています。

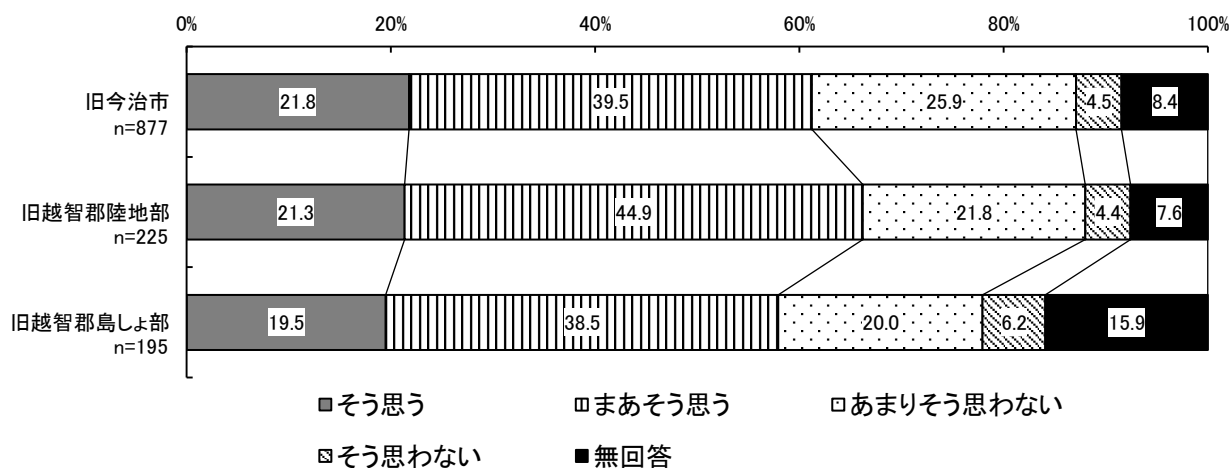
思わないと回答した者は、男性が女性より 8.2 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 61.3%、思わない 30.4%となっており、思うが 30.9 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 66.2%、思わない 26.2%となっており、思うが 40.0 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 58.0%、思わない 26.2%となっており、思うが 31.8 ポイント多くなっています。

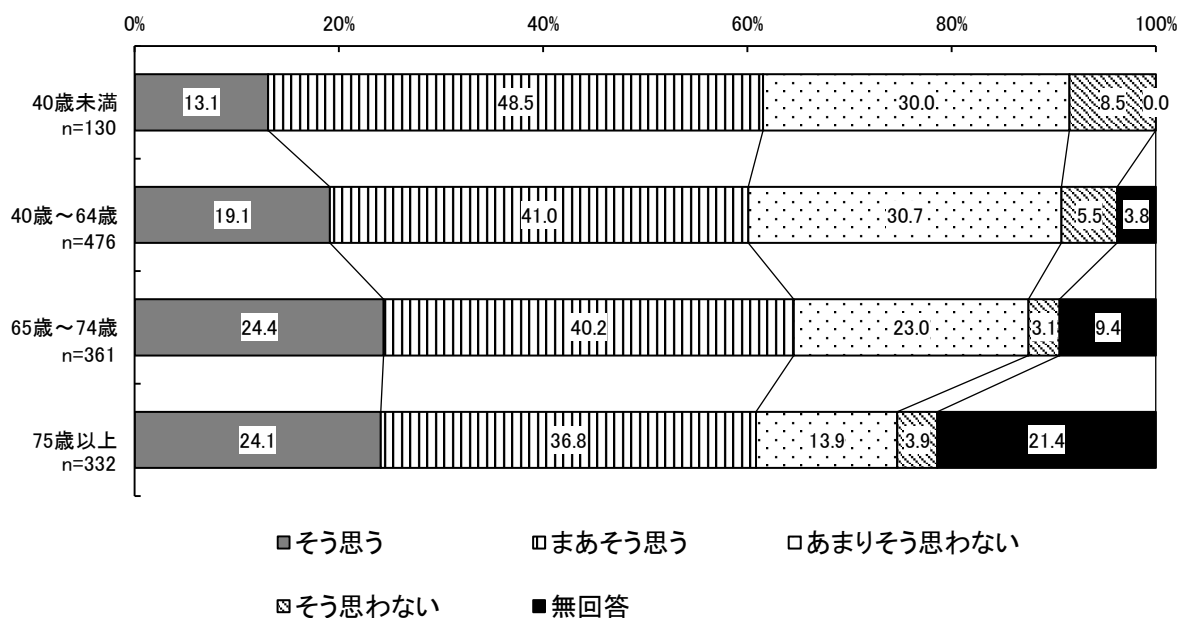
思うと回答した者は、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では 8.2 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、15.9%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 61.6%、思わない 38.5%となっており、思うが 23.1 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 60.1%、思わない 36.2%となっており、思うが 23.9 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 64.6%、思わない 26.1%となっており、思うが 38.5 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 60.9%、思わない 17.8%となっており、思うが 43.1 ポイント多くなっています。

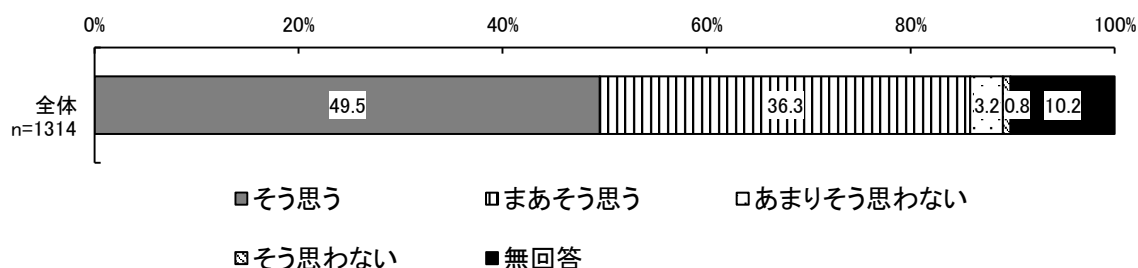
思わないと回答した者は、40歳未満と 75歳以上では 20.7 ポイント差があります。ただし、75歳以上では、21.4%が無回答になっています。



【10 高齢者・児童・障がい者等の虐待を防ぐための地域のつながり】

高齢者・児童・障がい者等の虐待を防ぐための地域のつながりが重要であるかを聞いたところ、思う 85.8%（「そう思う」49.5%、「まあそう思う」36.3%の合計（以下同じ））、思わない 4.0%（「あまりそう思わない」3.2%、「そう思わない」0.8%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 81.8 ポイント多くなっています。

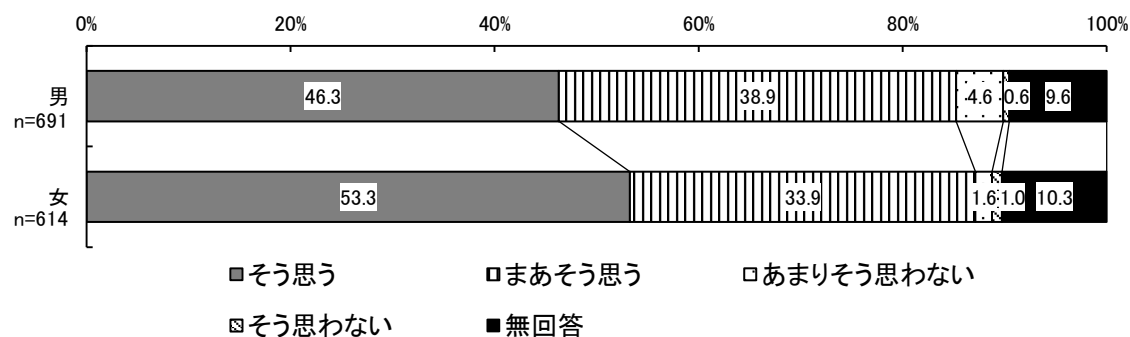
なお、「そう思う」（49.5%）の方が、「まあそう思う」（36.3%）よりも 13.2 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 85.2%、思わない 5.2%となっており、思うが 80.0 ポイント多くなっています。女性は、思う 87.2%、思わない 2.6%となっており、思うが 84.6 ポイント多くなっています。

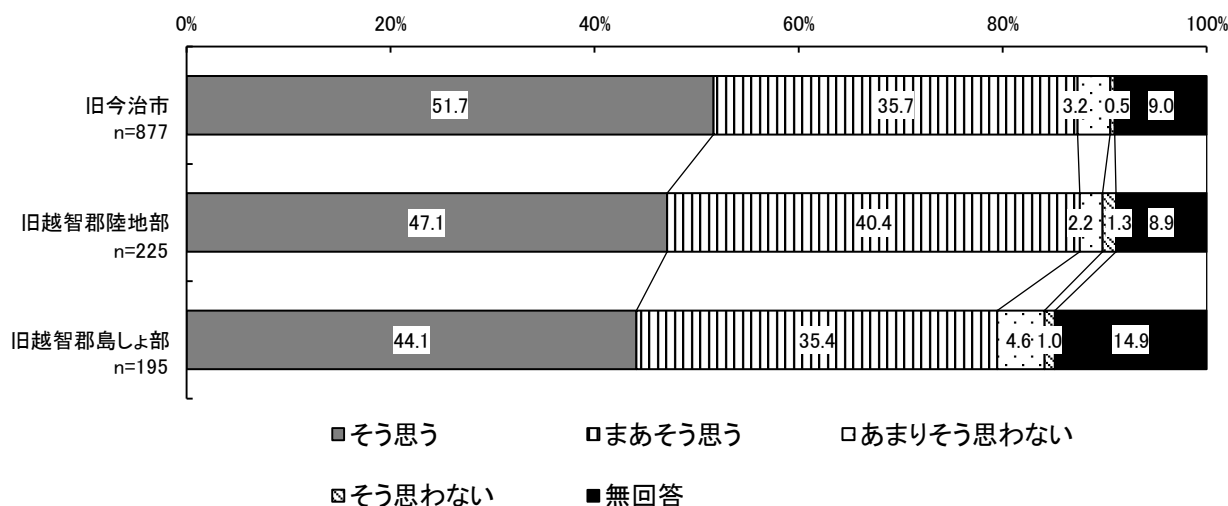
「そう思う」と回答した者は、女性の方が男性より 7.0 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 87.4%、思わない 3.7%となっており、思うが 83.7 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 87.5%、思わない 3.5%となっており、思うが 84.0 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 79.5%、思わない 5.6%となっており、思うが 73.9 ポイント多くなっています。

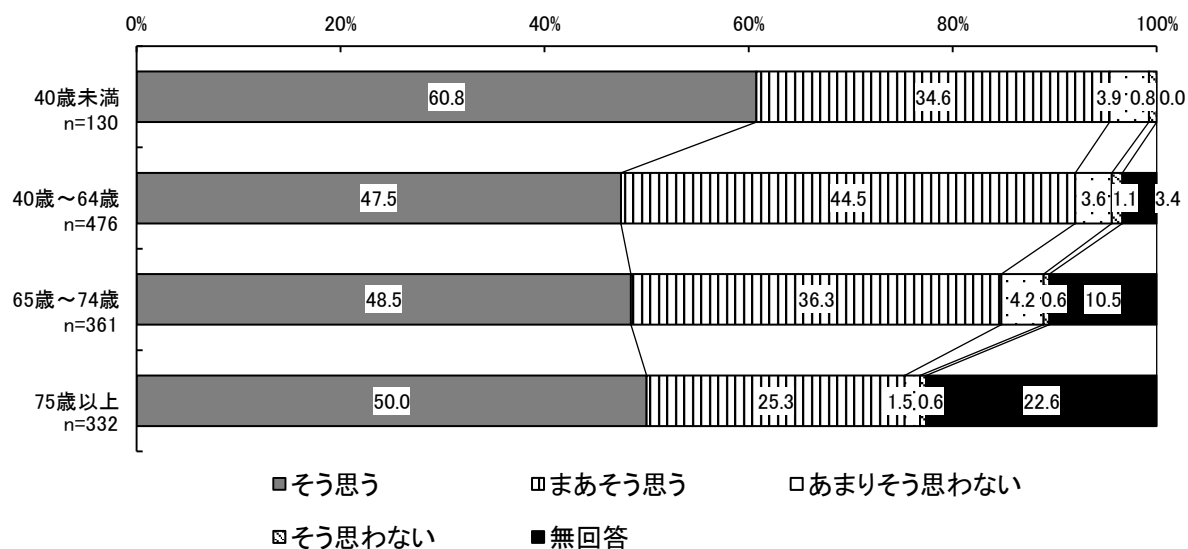
「そう思う」と回答した者は、旧今治市と旧越智郡島しょ部では 7.6 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、14.9%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40 歳未満は、思う 95.4%、思わない 4.7%となっており、思うが 90.7 ポイント多くなっています。40 歳～64 歳は、思う 92.0%、思わない 4.7%となっており、思うが 87.3 ポイント多くなっています。65 歳～74 歳は、思う 84.8%、思わない 4.8%となっており、思うが 80.0 ポイント多くなっています。75 歳以上は、思う 75.3%、思わない 2.1%となっており、思うが 73.2 ポイント多くなっています。

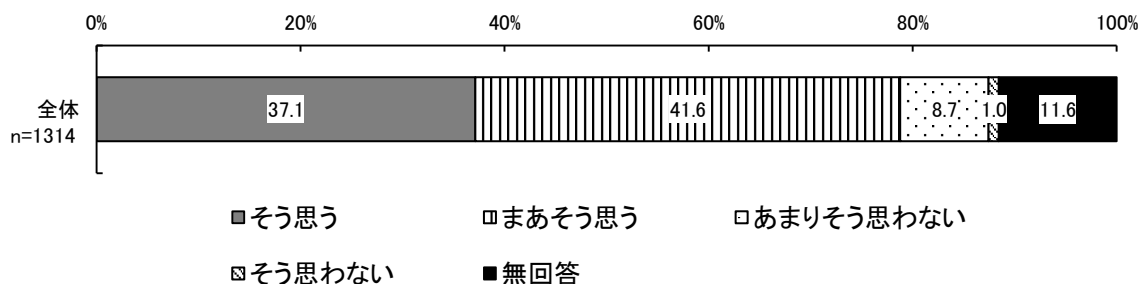
思うと回答した者は、年齢層が高くなるほど少なくなる傾向があり、40 歳未満と 75 歳以上では 20.1 ポイント差があります。ただし、75 歳以上の 22.6%が無回答になっています。



【11 成年後見制度の周知】

成年後見制度の周知について聞いたところ、思う 78.7%（「そう思う」37.1%、「まあそう思う」41.6%の合計（以下同じ））、思わない 9.7%（「あまりそう思わない」8.7%、「そう思わない」1.0%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 69.0 ポイント多くなっています。

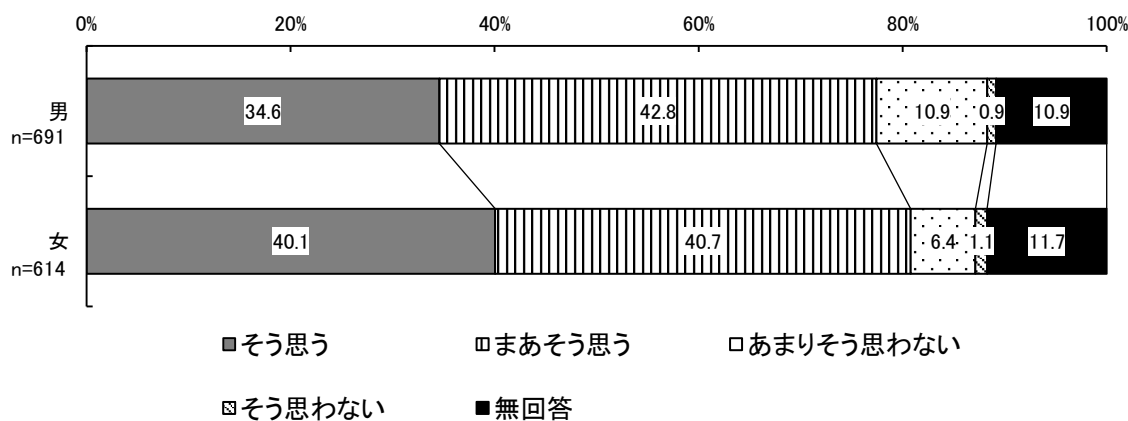
なお、「まあそう思う」（41.6%）の方が、「そう思う」（37.1%）よりも 4.5 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 77.4%、思わない 11.8%となっており、思うが 65.6 ポイント多くなっています。女性は、思う 80.8%、思わない 7.5%となっており、思うが 73.3 ポイント多くなっています。

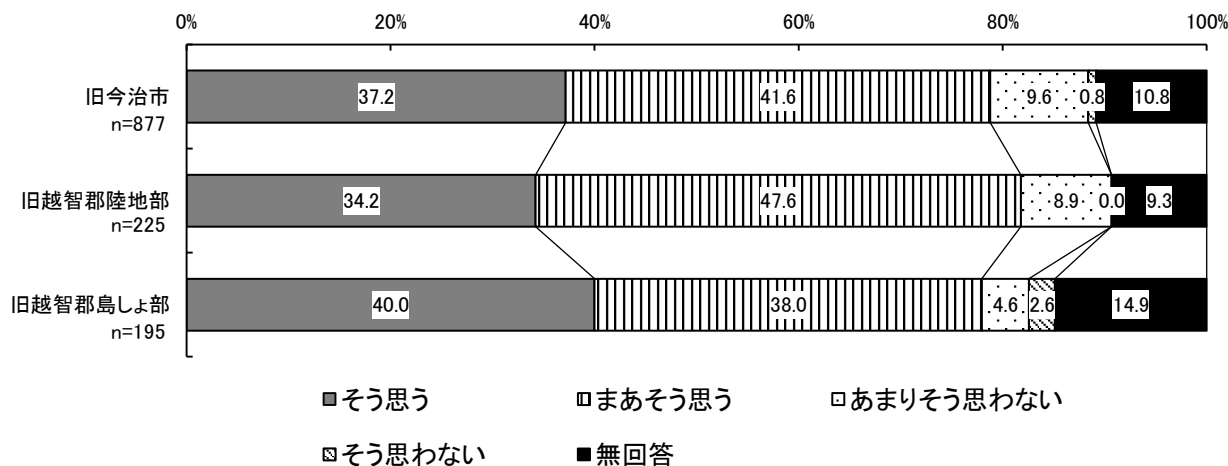
「そう思う」と回答した者は、女性の方が男性より 5.5 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 78.8%、思わない 10.4%となっており、思うが 68.4 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 81.8%、思わない 8.9%となっており、思うが 72.9 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 78.0%、思わない 7.2%となっており、思うが 70.8 ポイント多くなっています。

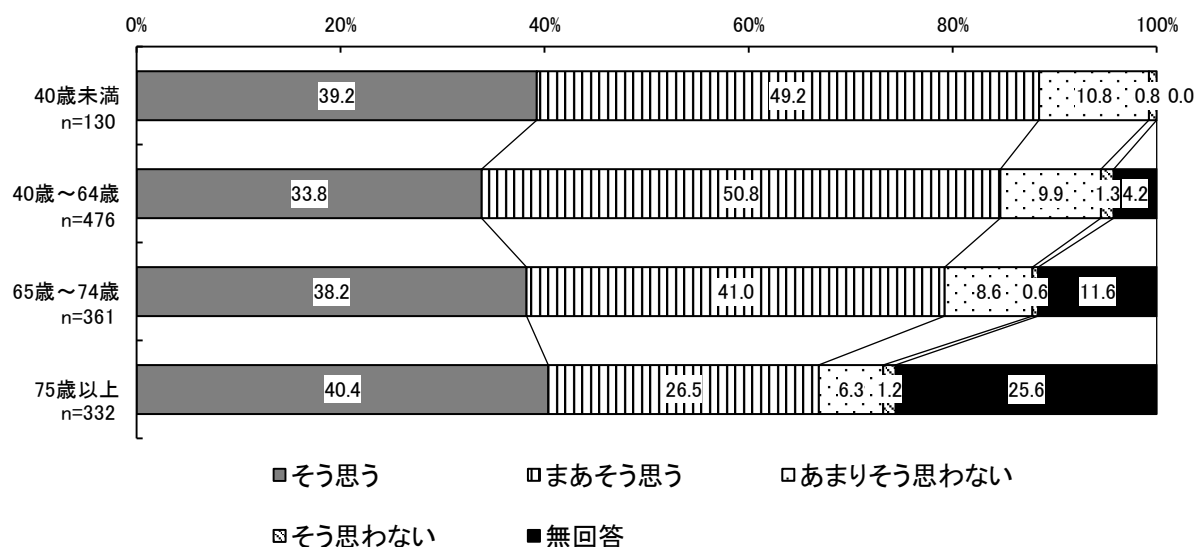
「そう思う」と回答した者は、旧越智郡島しょ部と旧越智郡陸地部では 5.8 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、14.9%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、思う 88.4%、思わない 11.6%となっており、思うが 76.8 ポイント多くなっています。40歳～64歳は、思う 84.6%、思わない 11.2%となっており、思うが 73.4 ポイント多くなっています。65歳～74歳は、思う 79.2%、思わない 9.2%となっており、思うが 70.0 ポイント多くなっています。75歳以上は、思う 66.9%、思わない 7.5%となっており、思うが 59.4 ポイント多くなっています。

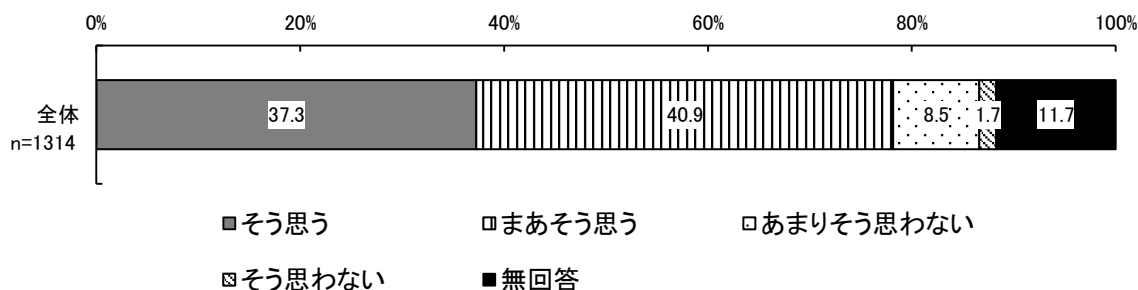
思うと回答した者は、年齢層が高くなるほど少なくなる傾向があり、40歳未満と75歳以上では 21.5 ポイント差があります。ただし、75歳以上の 25.6%が無回答になっています。



【12 再犯防止のための支援】

再犯防止のための支援について聞いたところ、思う 78.2%（「そう思う」37.3%、「まあそう思う」40.9%の合計（以下同じ））、思わない 10.2%（「あまりそう思わない」8.5%、「そう思わない」1.7%の合計（以下同じ））となり、思うが思わないより 81.8 ポイント多くなっています。

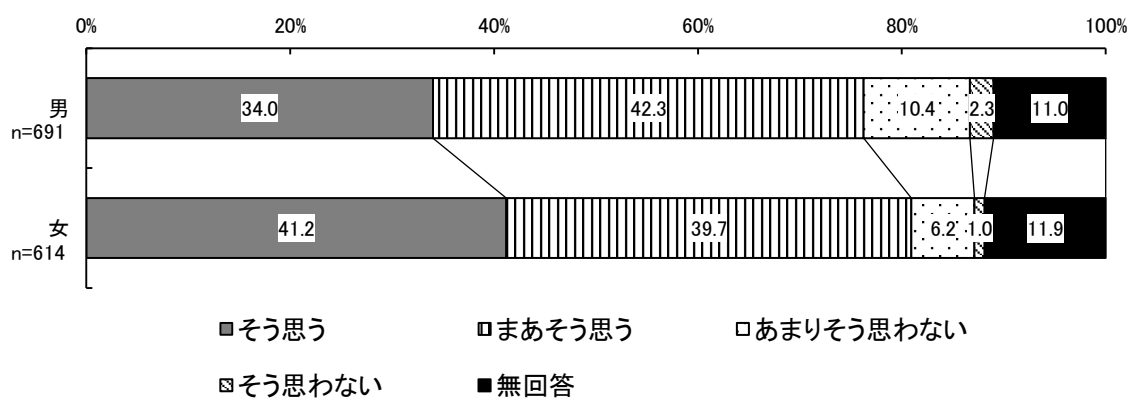
なお、「まあそう思う」（40.9%）の方が、「そう思う」（37.3%）よりも 3.6 ポイント多くなっています。



【性別】

性別でみると、男性は、思う 76.3%、思わない 12.7%となっており、思うが 63.6 ポイント多くなっています。女性は、思う 80.9%、思わない 7.2%となっており、思うが 73.7 ポイント多くなっています。

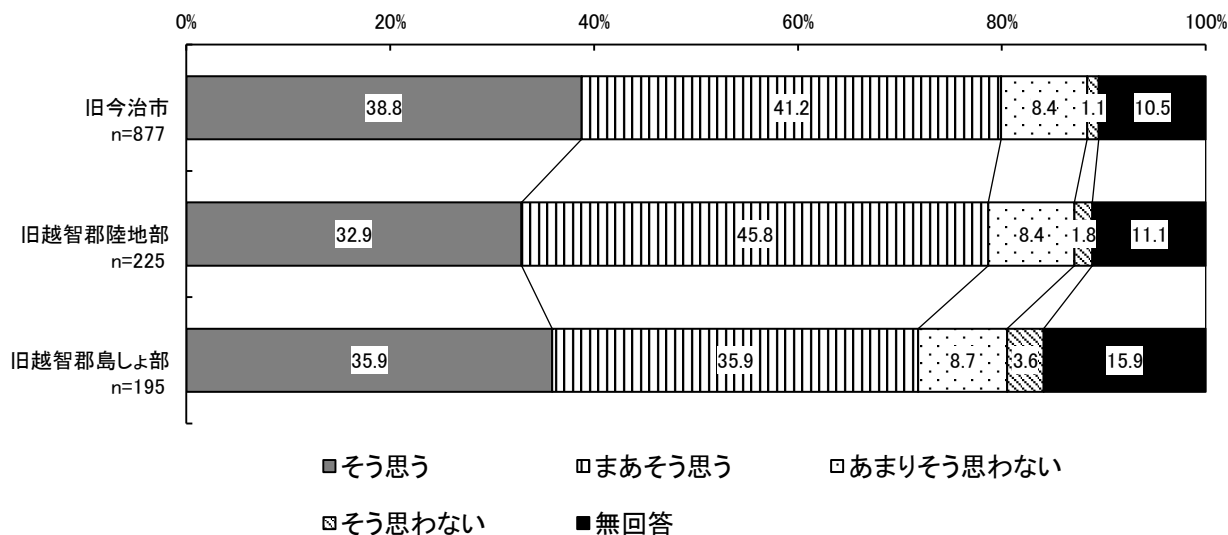
「そう思う」と回答した者は、女性の方が男性より 7.2 ポイント多くなっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は、思う 80.0%、思わない 9.5%となっており、思うが 70.5 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、思う 78.7%、思わない 10.2%となっており、思うが 68.5 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、思う 71.8%、思わない 12.3%となっており、思うが 59.5 ポイント多くなっています。

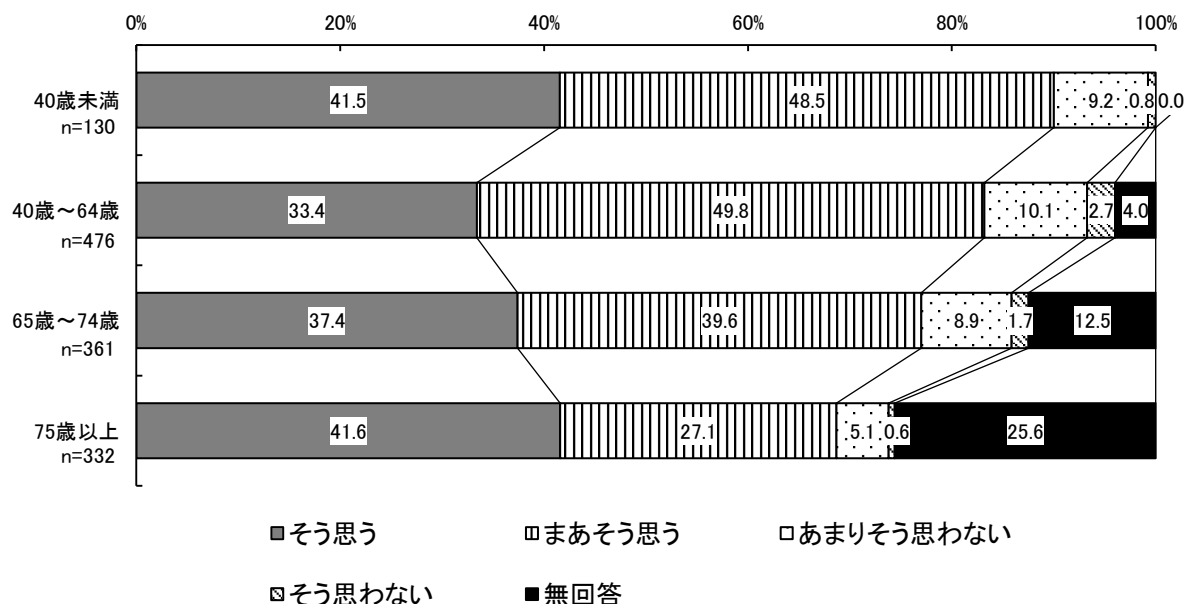
思うと回答した者は、旧今治市と旧越智郡島しょ部では 8.2 ポイント差があります。ただし、旧越智郡島しょ部では、15.9%が無回答になっています。



【年齢】

年齢別にみると、40 歳未満は、思う 90.0%、思わない 10.0%となっており、思うが 80.0 ポイント多くなっています。40 歳～64 歳は、思う 83.2%、思わない 12.8%となっており、思うが 70.4 ポイント多くなっています。65 歳～74 歳は、思う 77.0%、思わない 10.6%となっており、思うが 66.4 ポイント多くなっています。75 歳以上は、思う 68.7%、思わない 5.7%となっており、思うが 63.0 ポイント多くなっています。

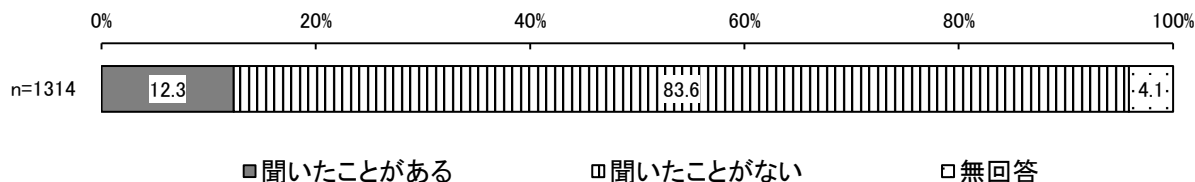
思うと回答した者は、年齢層が高くなるほど少なくなる傾向があり、40 歳未満と 75 歳以上では 21.3 ポイント差があります。ただし、75 歳以上の 25.6%が無回答になっています。



問 13 あなたの周囲で、家族などによる高齢者や子ども、障がい者への虐待について耳にしたことはありますか。

		(件)
1	聞いたことがある	162
2	聞いたことがない	1098
	無回答	54

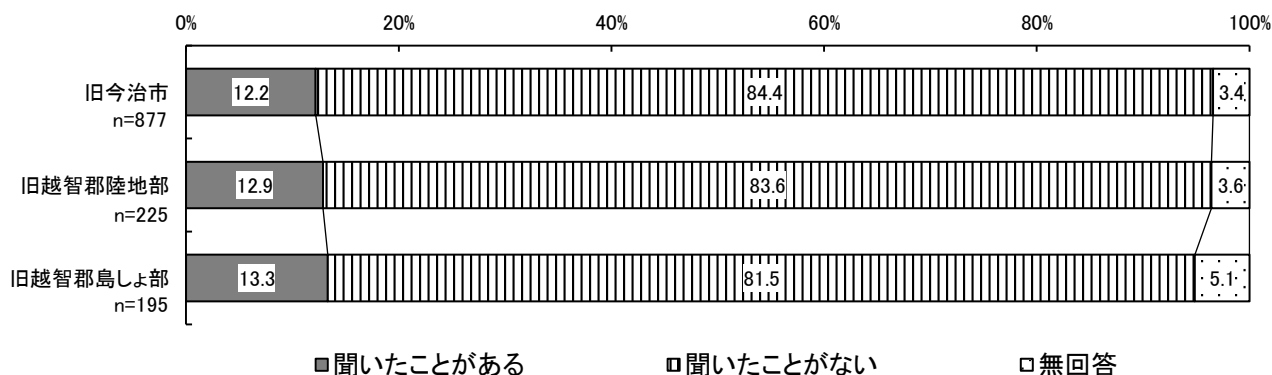
周囲で、家族などによる高齢者や子ども、障がい者への虐待について耳にしたことがあるかを聞いたところ、「聞いたことがある」が12.3%、「聞いたことがない」が83.6%となっています。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「聞いたことがない」と回答した者が8割を超えています。

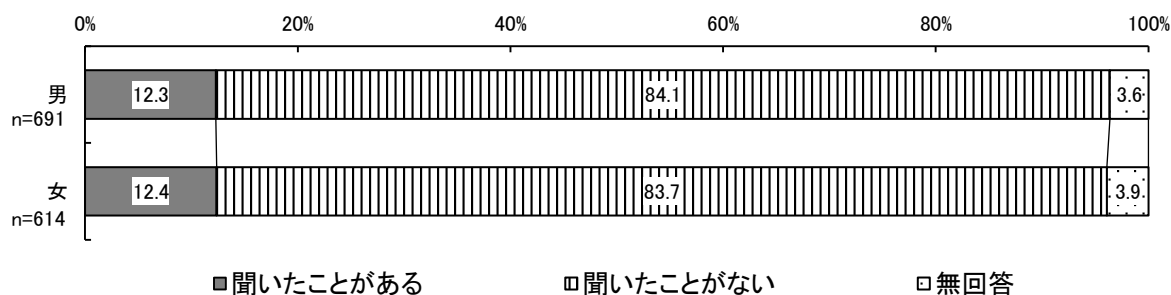
「聞いたことがある」と回答した者は、旧越智郡島しょ部と旧今治市では1.1ポイント差があります。



【性別】

性別でみると、男女ともに「聞いたことがない」と回答した者が8割を超えています。

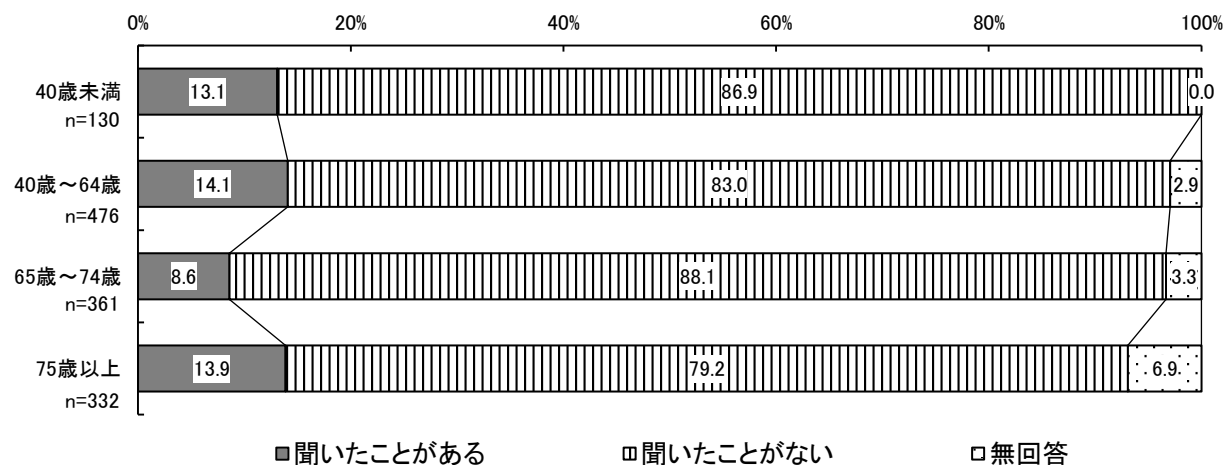
「聞いたことがある」と回答した者は、女性の方が男性よりも0.1ポイント多くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、全ての年齢層で「聞いたことがない」と回答した者が多いですが、75歳以上のみ8割を切っています。

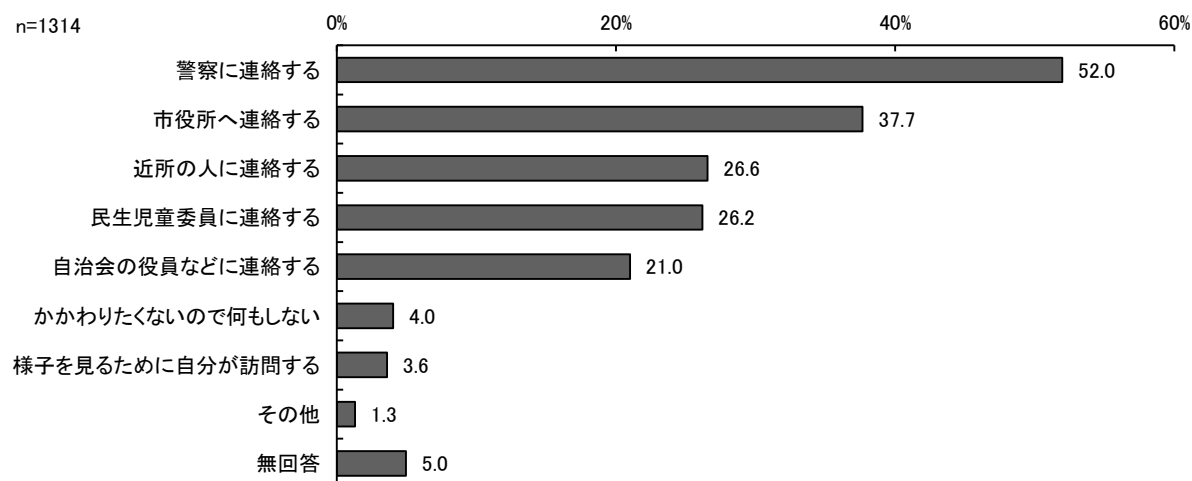
「聞いたことがある」と回答した者は、40歳～64歳が最も多く、65歳～74歳と比べると5.5ポイント多くなっています。



問 14 もしあなたの周囲で、虐待が発生しているとあなた自身が思われた場合最初にどのように対応しますか。

		(件)
1	近所の人に連絡する	349
2	警察に連絡する	683
3	市役所へ連絡する	495
4	自治会の役員などに連絡する	276
5	民生児童委員に連絡する	344
6	様子を見るために自分が訪問する	47
7	かかわりたくないので何もしない	53
8	その他	17
	無回答	65

もし周囲で、虐待が発生しているとあなた自身が思われた場合、最初にどのように対応するかを聞いたところ、「警察に連絡する」と回答した者が52.0%と最も多く、次いで「市役所へ連絡する」(37.7%)、「近所の人に連絡する」(26.6%)、「民生児童委員に連絡する」(26.2%)、「自治会の役員などに連絡する」(21.0%)の順となっています。

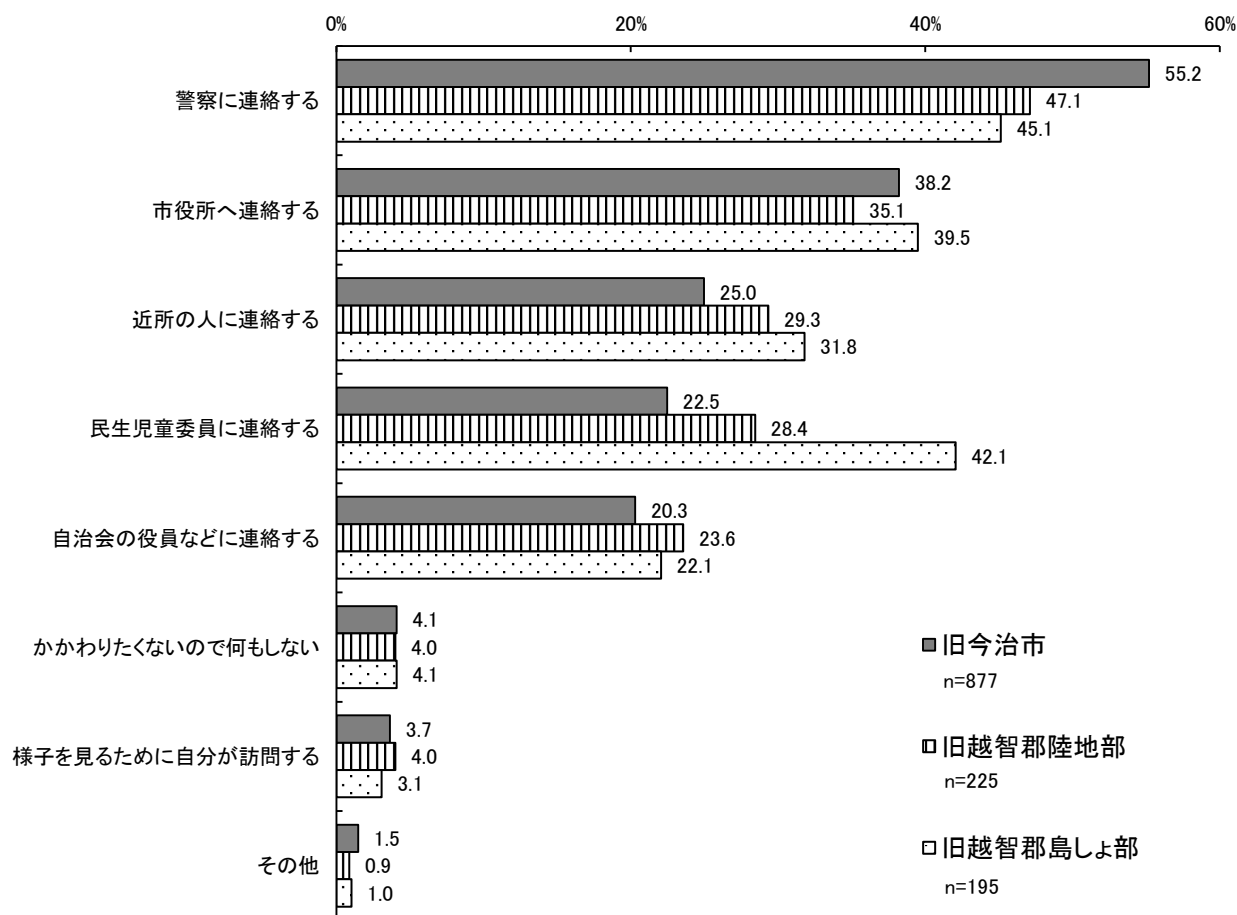


【地区】

地区別にみると、旧今治市と旧越智郡陸地部では「警察に連絡する」と回答した者が最も多く、次いで「市役所へ連絡する」、「近所の人に連絡する」の順となっています。

一方、旧越智郡島しょ部では「警察に連絡する」と回答した者が最も多かったものの、次いで「民生児童委員に連絡する」、「市役所へ連絡する」の順となっています。

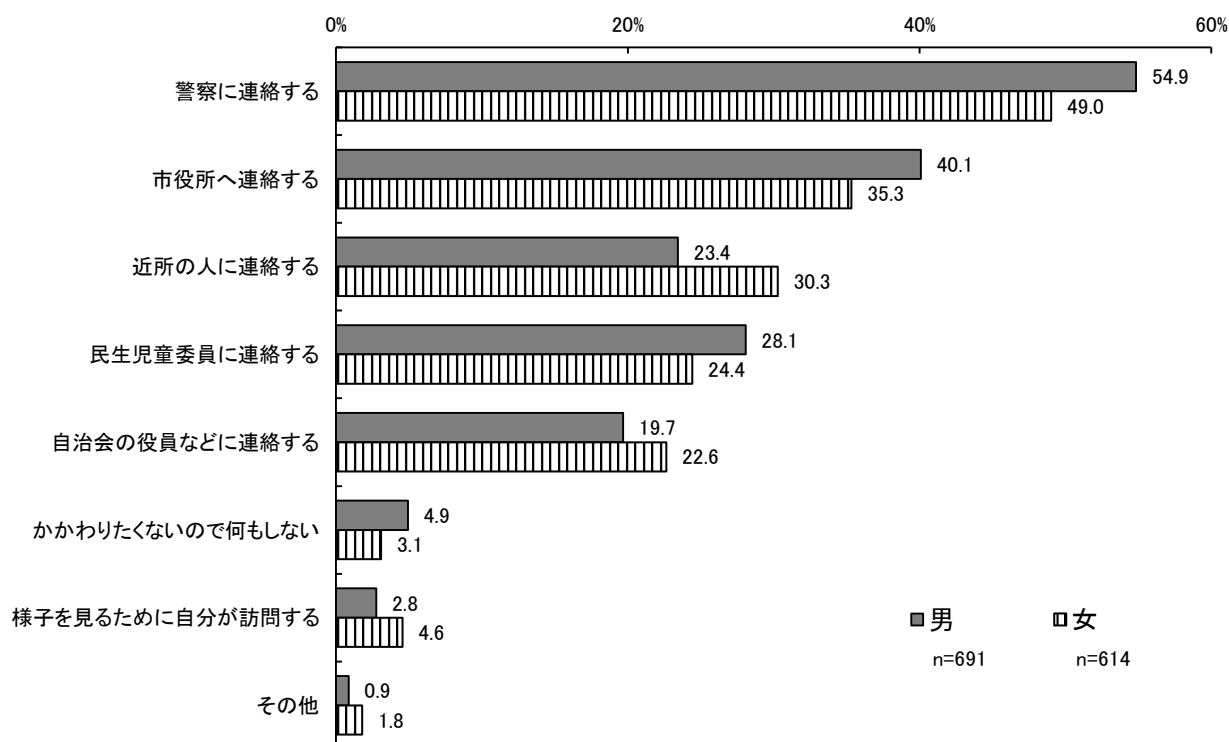
「民生児童委員に連絡する」と回答した者は、旧越智郡島しょ部で4割を超えており、他の地区と比べて13.7ポイント以上多くなっています。



【性別】

性別でみると、男女ともに「警察に連絡する」と回答した者が最も多く、次いで「市役所へ連絡する」となっています。

「近所の人に連絡する」と回答した者は、女性の方が男性よりも 6.9 ポイント多く、一方「民生児童委員に連絡する」と回答した者は、男性の方が女性よりも 3.7 ポイント多くなっています。



【年齢】

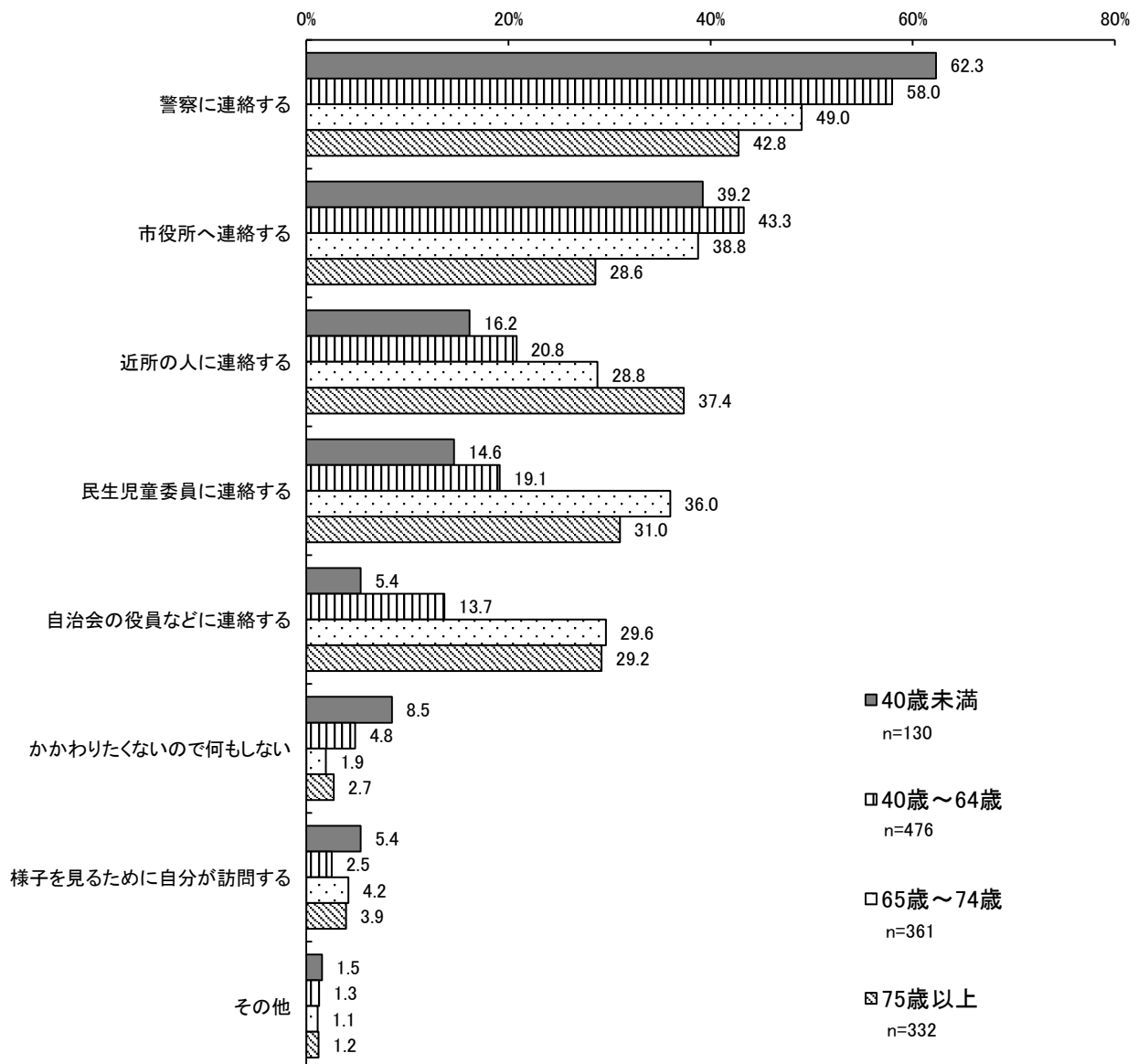
年齢別にみると、40歳未満と40歳～64歳では「警察に連絡する」と回答した者が最も多く、次いで「市役所へ連絡する」、「近所の人に連絡する」の順となっています。

65歳～74歳では「警察に連絡する」と回答した者が最も多く、次いで「市役所へ連絡する」、「民生児童委員に連絡する」の順となっています。

75歳以上では「警察に連絡する」と回答した者が最も多く、次いで「近所の人に連絡する」、「民生児童委員に連絡する」の順となっています。

「警察に連絡する」と回答した者は、年齢層が低くなるほど多くなっており、40歳未満は75歳以上より19.5ポイント多くなっています。

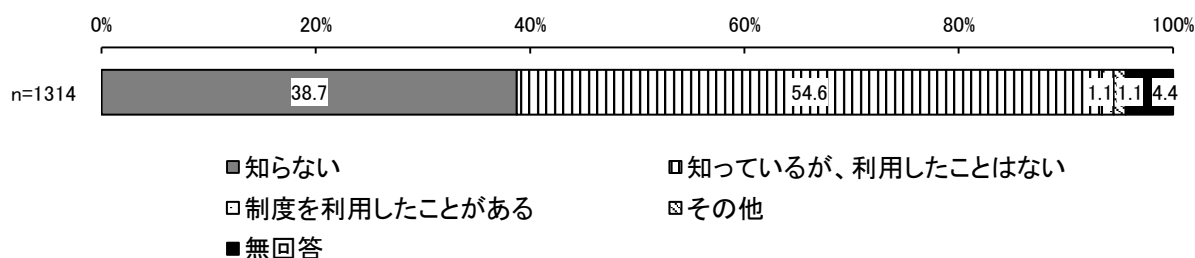
一方、「近所の人に連絡する」と回答した者は、年齢層が高くなるほど多くなっており、75歳以上は40歳未満より21.2ポイント多くなっています。



問 15 成年後見制度について知っていますか。

		(件)
1	知らない	509
2	知っているが、利用したことはない	718
3	制度を利用したことがある	14
4	その他	15
	無回答	58

成年後見制度を知っているかどうかを聞いたところ、知っているが55.7%（「知っているが、利用したことはない」54.6%、「制度を利用したことがある」1.1%の合計（以下同じ））、「知らない」と回答した者が38.7%、「その他」が1.1%となっています。

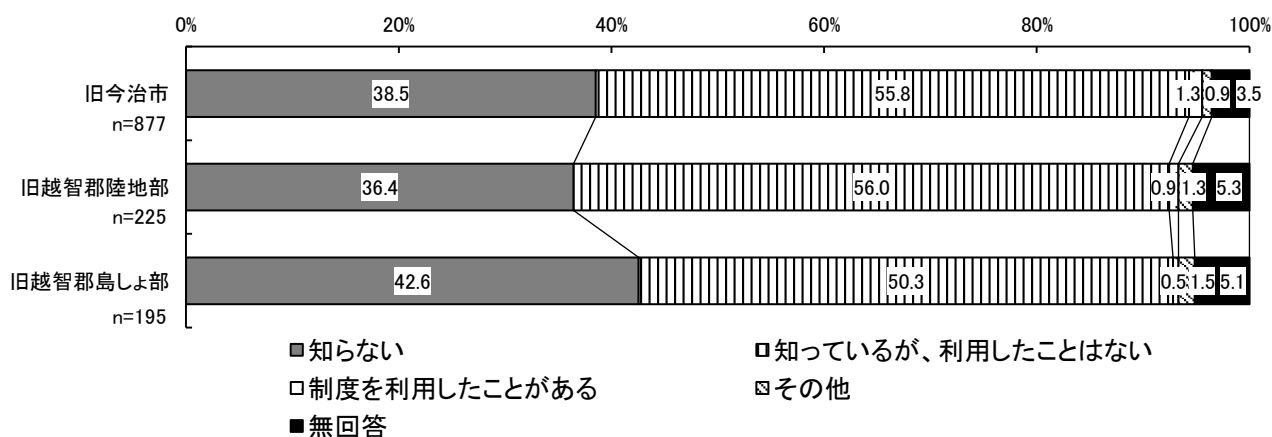


【地区】

地区別にみると、旧今治市は、知っているが57.1%、「知らない」が38.5%となっており、知っているが18.6ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、知っているが56.9%、「知らない」が36.4%となっており、知っているが20.5ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、知っているが50.8%、「知らない」が42.6%となっており、知っているが8.2ポイント多くなっています。

知っていると回答した者は、旧今治市と旧越智郡島しょ部では6.3ポイント差があり、「知らない」と回答した者は、旧越智郡島しょ部と旧越智郡陸地部では6.2ポイント差があります。

「制度を利用したことがある」と回答した者は、旧今治市と旧越智郡島しょ部では0.8ポイント差があります。

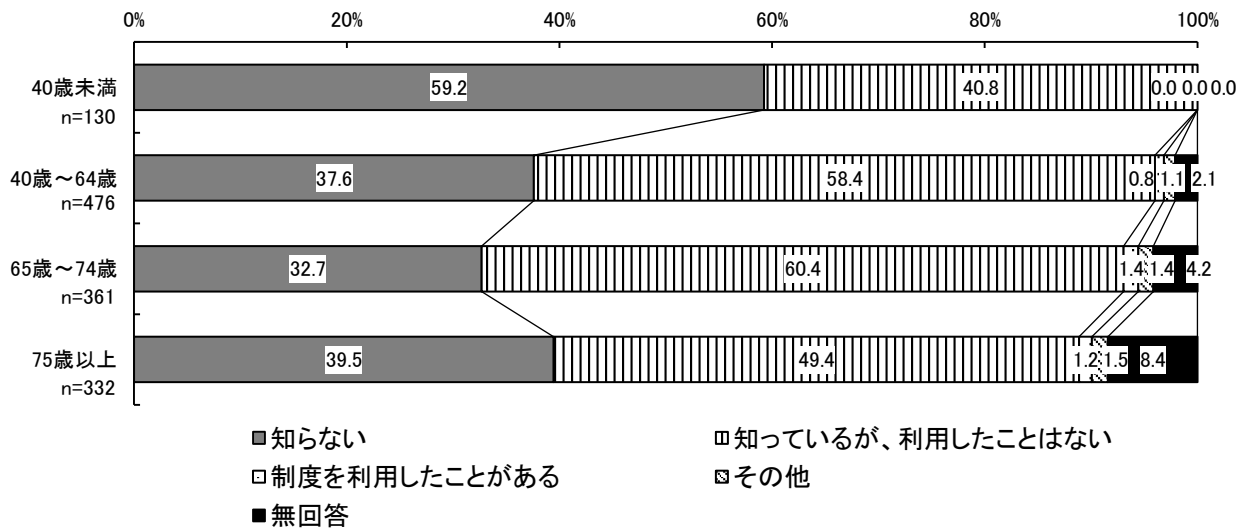


【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、知っているが40.8%、「知らない」が59.2%となっており、「知らない」が18.4ポイント多くなっています。40歳～64歳は、知っているが59.2%、「知らない」が37.6%となっており、知っているが21.6ポイント多くなっています。65歳～74歳は、知っているが61.8%、「知らない」が32.7%となっており、知っているが29.1ポイント多くなっています。75歳以上は、知っているが50.6%、「知らない」が39.5%となっており、知っているが11.1ポイント多くなっています。

「知らない」と回答した者は、40歳未満と65歳～74歳では26.5ポイント差があります。

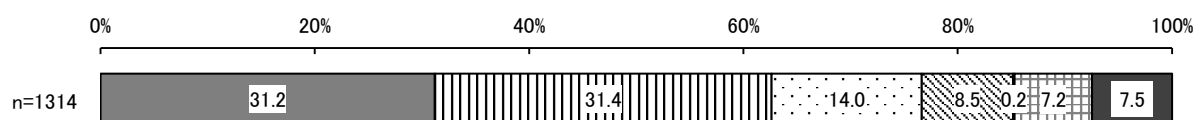
「制度を利用したことがある」と回答した者は、65歳～74歳（1.4%）が最も多く、40歳未満ではいませんでした。



問 16 もし、あなたは支援が必要になった場合、成年後見制度を利用したい
と思いますか。

		(件)
1	利用したい	410
2	制度を良く知らないから、利用したいとは思わない	413
3	手続きが面倒そうなので、利用したいとは思わない	184
4	費用面での負担が気になり、利用したいとは思わない	112
5	過去に利用したことがあり、現在は利用したいとは思わない	2
6	その他	95
	無回答	98

成年後見制度への利用希望を聞いたところ、「利用したい」と回答した者が31.2%、利用したいとは思わないが54.1%（「制度を良く知らないから、利用したいとは思わない」31.4%、「手続きが面倒そうなので、利用したいとは思わない」14.0%、「費用面での負担が気になり、利用したいとは思わない」8.5%、「過去に利用したことがあり、現在は利用したいとは思わない」0.2%の合計（以下同じ））、「その他」が7.2%となっています。

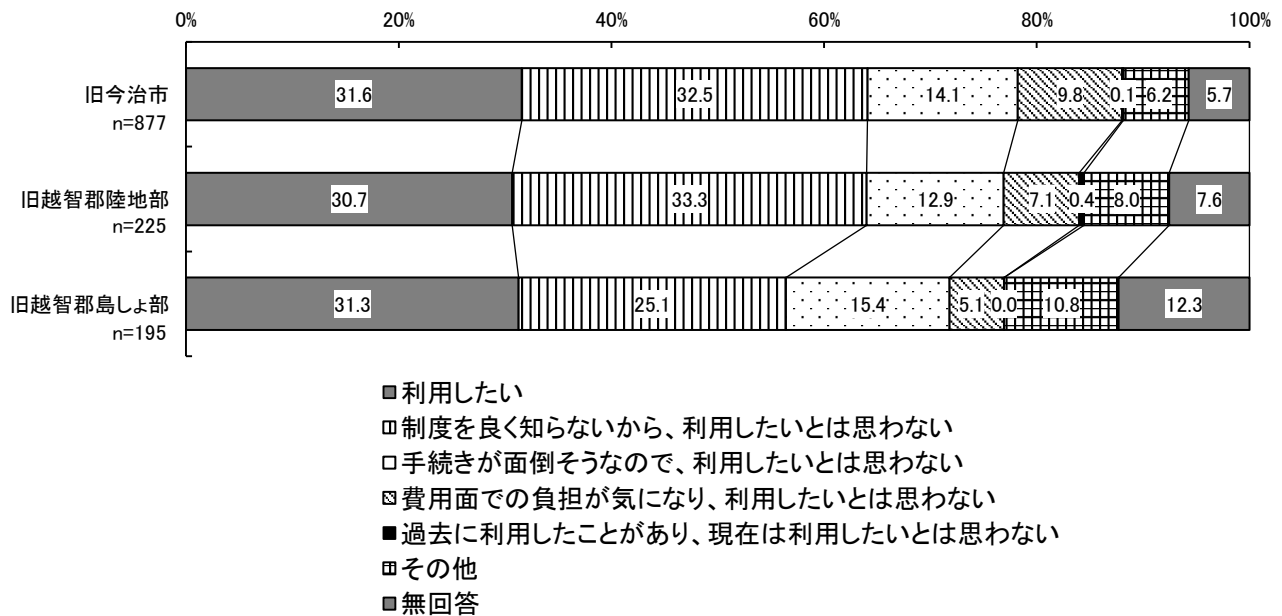


- 利用したい
- ▣ 制度を良く知らないから、利用したいとは思わない
- 手続きが面倒そうなので、利用したいとは思わない
- ▤ 費用面での負担が気になり、利用したいとは思わない
- 過去に利用したことがあり、現在は利用したいとは思わない
- ▣ その他
- 無回答

【地区】

地区別にみると、旧今治市は、「利用したい」が31.6%、利用したいとは思わないが56.5%となっており、利用したいとは思わないが24.9ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部は、「利用したい」が30.7%、利用したいとは思わないが53.7%となっており、利用したいとは思わないが23.0ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部は、「利用したい」が31.3%、利用したいとは思わないが45.6%となっており、利用したいとは思わないが14.3ポイント多くなっています。

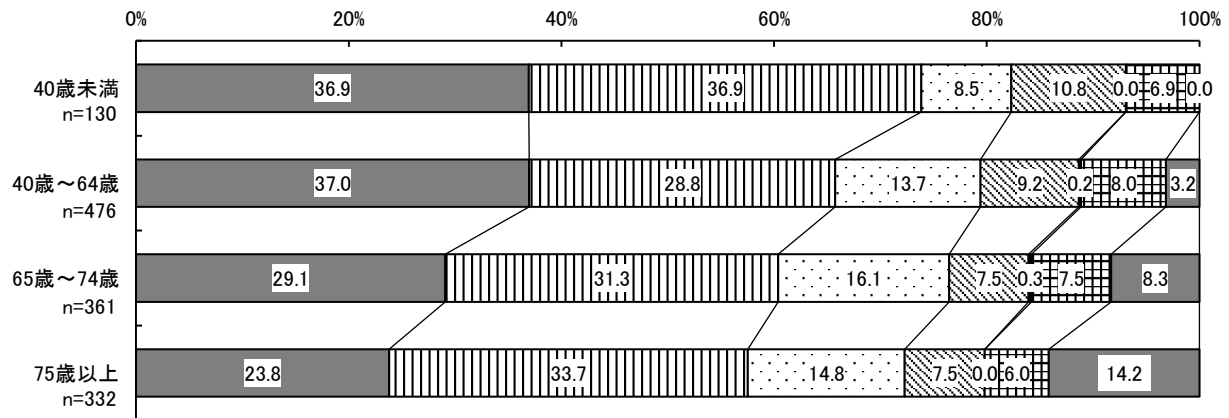
旧今治市と旧越智郡陸地部では「制度を良く知らないから、利用したいとは思わない」が最も多く、旧越智郡島しょ部では「利用したい」が最も多くなっています。「制度を良く知らないから、利用したいとは思わない」と回答した者は、旧越智郡陸地部と旧越智郡島しょ部では8.2ポイント差があります。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満は、「利用したい」が36.9%、利用したいとは思わないが56.2%となっており、利用したいとは思わないが19.3ポイント多くなっています。40歳～64歳は、「利用したい」が37.0%、利用したいとは思わないが51.9%となっており、利用したいとは思わないが14.9ポイント多くなっています。65歳～74歳は、「利用したい」が29.1%、利用したいとは思わないが55.2%となっており、利用したいとは思わないが26.1ポイント多くなっています。75歳以上は、「利用したい」が23.8%、利用したいとは思わないが56.0%となっており、利用したいとは思わないが32.2ポイント多くなっています。

「利用したい」と回答した者は、40歳～64歳と75歳以上では13.2ポイント差があります。

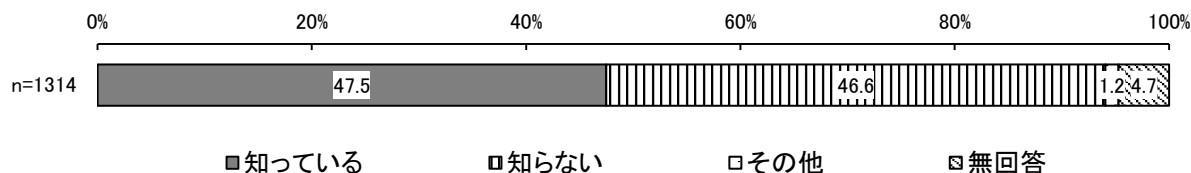


- 利用したい
- ▨ 制度を良く知らないから、利用したいとは思わない
- ▤ 手続きが面倒そうなので、利用したいとは思わない
- ▧ 費用面での負担が気になり、利用したいとは思わない
- 過去に利用したことがあり、現在は利用したいとは思わない
- その他
- 無回答

問 17 国においては、刑務所などを出所した人の再犯防止に向け、社会復帰支援の推進に取り組んでいることについて知っていますか。

		(件)
1	知っている	624
2	知らない	612
3	その他	16
	無回答	62

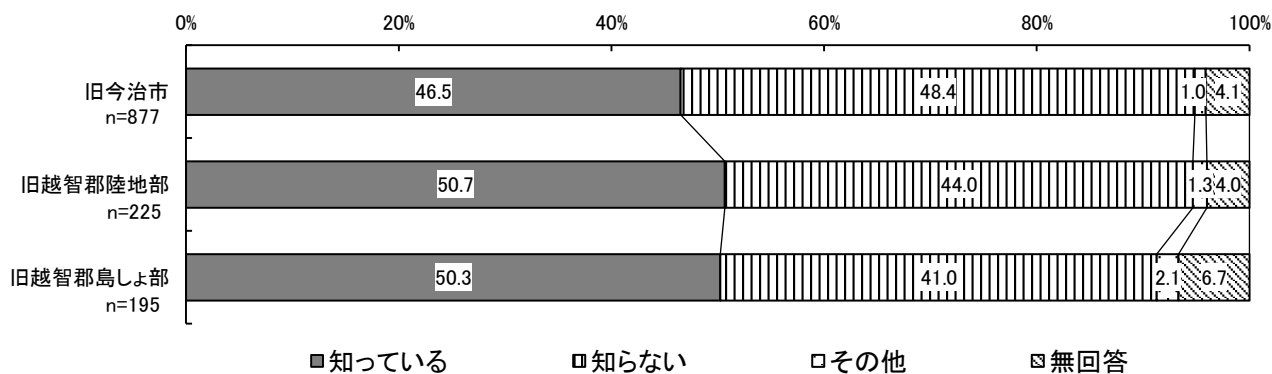
社会復帰支援の推進への認知度を聞いたところ、「知っている」と回答した者が47.5%、「知らない」が46.6%、「その他」が1.2%となっています。



【地区】

地区別にみると、旧今治市は「知らない」が多く、その他の地区では「知っている」の方が多くなっています。

「知っている」と答えた者は、旧越智郡陸地部と旧今治市では4.2ポイント差、「知らない」と答えた者は、旧今治市と旧越智郡島しょ部では7.4ポイント差があります。

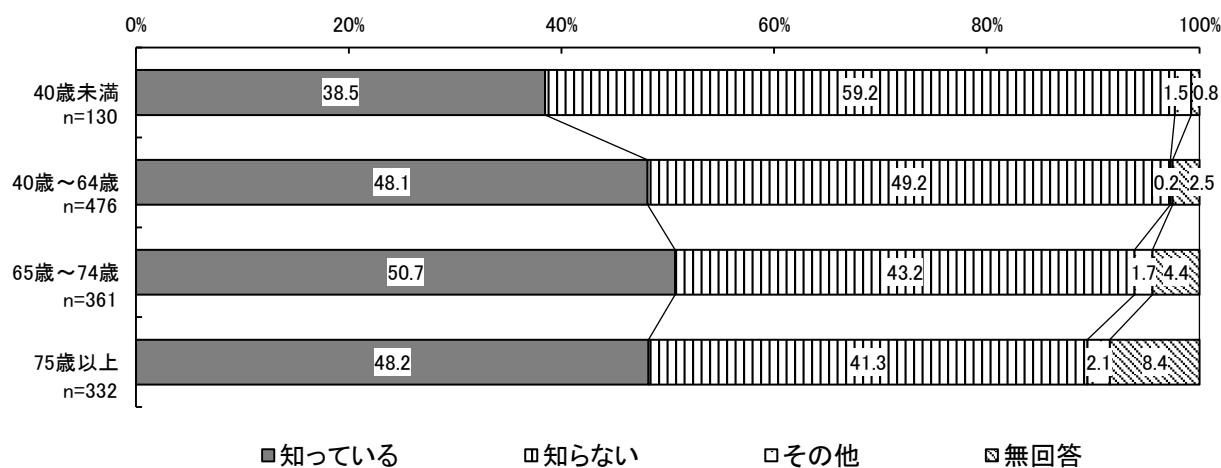


【年齢】

年齢別でみると、40歳未満と40歳～64歳では「知らない」が多く、65歳～74歳と75歳以上では「知っている」の方が多くなっています。

「知っている」と答えた者は、65歳～74歳と40歳未満では12.2ポイント差、「知らない」と答えた者は、40歳未満と75歳以上では17.9ポイント差があります。

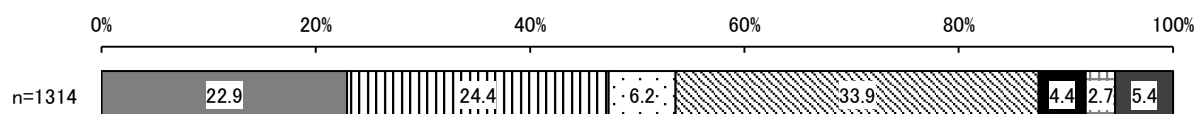
40歳未満では、「知らない」の方が「知っている」より20.7ポイント多くなっています。



問18 あなたは、刑務所などを出所した人に対する社会復帰支援として、どのように取り組む必要があると思いますか。

		(件)
1	市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ	301
2	行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ	321
3	少年や認知症・障がいのある出所者については積極的に支援すべきだ	82
4	地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ	445
5	特別な支援や配慮は必要ない	58
6	その他	36
	無回答	71

刑務所などを出所した人に対する社会復帰支援として、どのように取り組む必要があるかを聞いたところ、「市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」と回答した者が22.9%、「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」が24.4%、「少年や認知症・障がいのある出所者については積極的に支援すべきだ」が6.2%、「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」が33.9%、「特別な支援や配慮は必要ない」が2.7%となっています。



- 市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ
- ▣ 行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ
- 少年や認知症・障がいのある出所者については積極的に支援すべきだ
- ▤ 地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ
- 特別な支援や配慮は必要ない
- その他
- 無回答

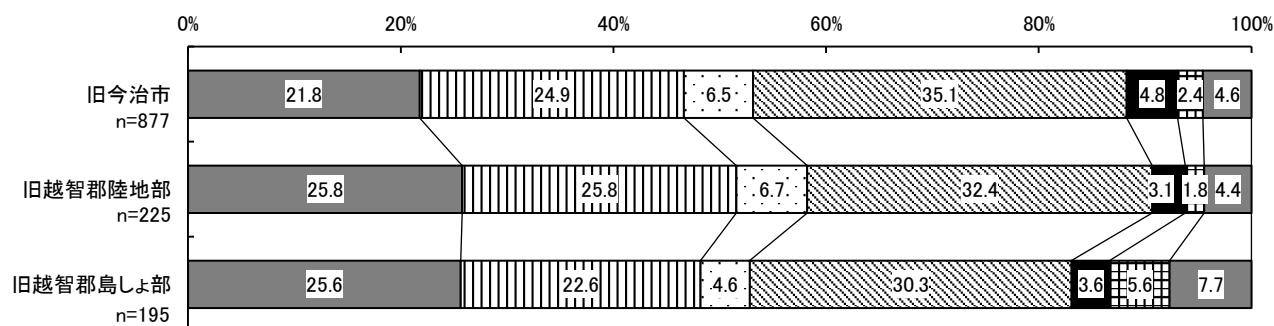
【地区】

地区別にみると、全ての地区で「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」と回答した者が最も多くなっており、旧今治市と旧越智郡島しょ部では4.8ポイント差があります。

次いで、旧今治市では、「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」（24.9%）、「市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」（21.8%）の順となっています。

旧越智郡陸地部では、「市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」と「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」が25.8%で並んでいます。

旧越智郡島しょ部では「市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」（25.6%）、「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」（22.6%）の順となっています。

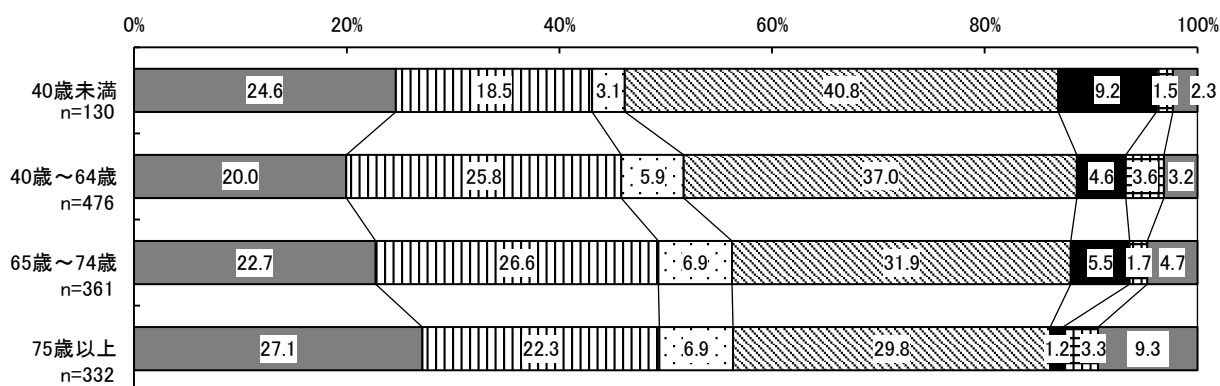


- 市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ
- ▣ 行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ
- 少年や認知症・障がいのある出所者については積極的に支援すべきだ
- ▤ 地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ
- 特別な支援や配慮は必要ない
- ▣ その他
- 無回答

【年齢】

年齢別でみると、全ての年齢層で、「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」と回答した者が最も多く、40歳未満と75歳以上では11.0ポイント差があります。

「特別な支援や配慮は必要ない」と答えた者は、40歳未満（9.2%）で最も多く、75歳以上（1.2%）より8.0ポイント多くなっています。



- 市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ
- ▣ 行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ
- 少年や認知症・障がいのある出所者については積極的に支援すべきだ
- ▤ 地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ
- 特別な支援や配慮は必要ない
- ▣ その他
- 無回答

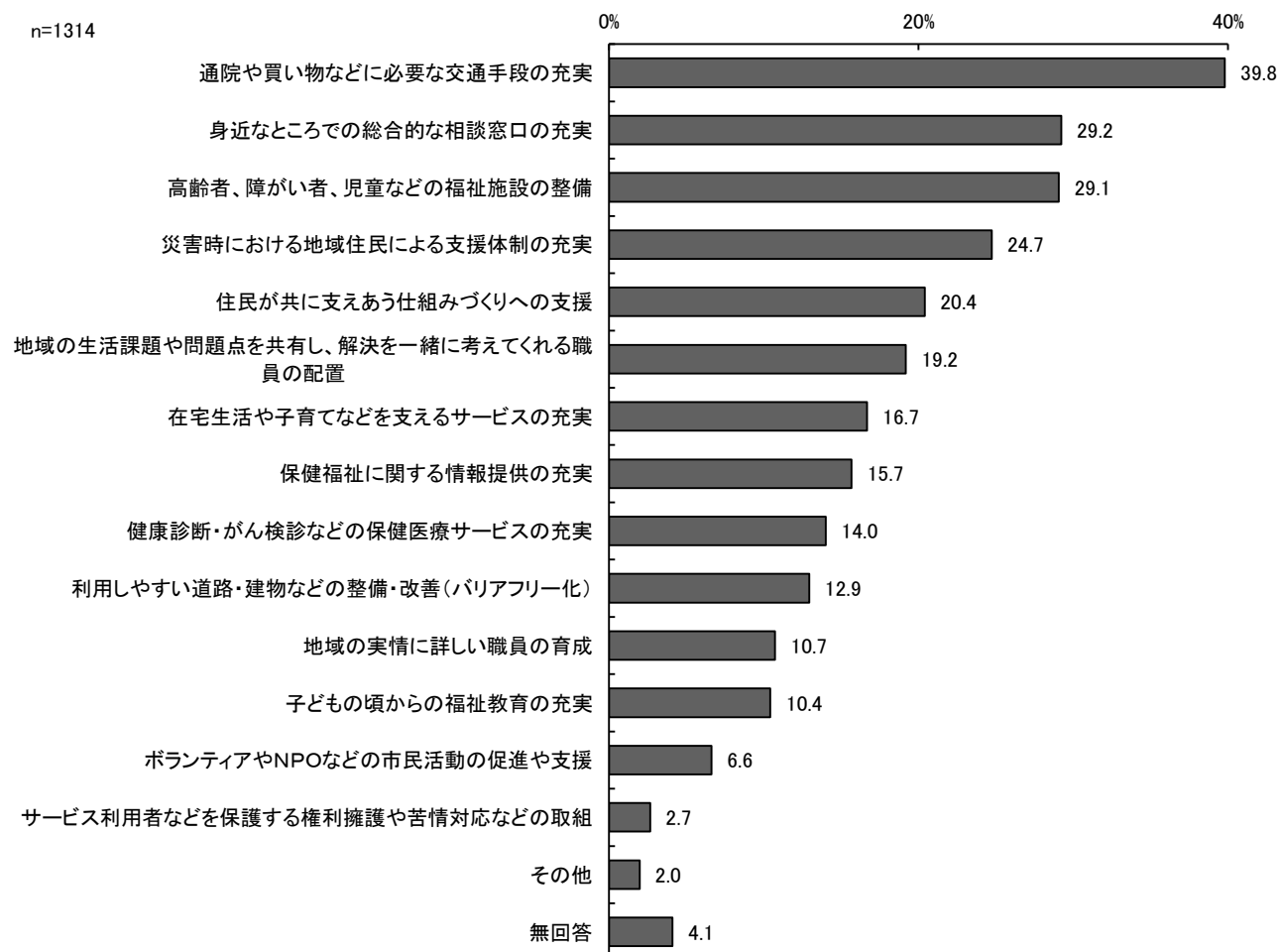
今治市の施策について

問 19 今後、今治市が取り組む施策として、次のどれを優先して充実させる必要があると思いますか。

〈複数回答・3 つまで〉(件)

1	住民が共に支えあう仕組みづくりへの支援	268
2	ボランティアやNPOなどの市民活動の促進や支援	87
3	身近なところでの総合的な相談窓口の充実	384
4	保健福祉に関する情報提供の充実	206
5	在宅生活や子育てなどを支えるサービスの充実	219
6	地域の実情に詳しい職員の育成	141
7	地域の生活課題や問題点を共有し、解決を一緒に考えてくれる職員の配置	252
8	高齢者、障がい者、児童などの福祉施設の整備	382
9	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	184
10	サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取組	35
11	子どもの頃からの福祉教育の充実	137
12	災害時における地域住民による支援体制の充実	325
13	通院や買い物などに必要な交通手段の充実	523
14	利用しやすい道路・建物などの整備・改善(バリアフリー化)	170
15	その他	26
	無回答	54

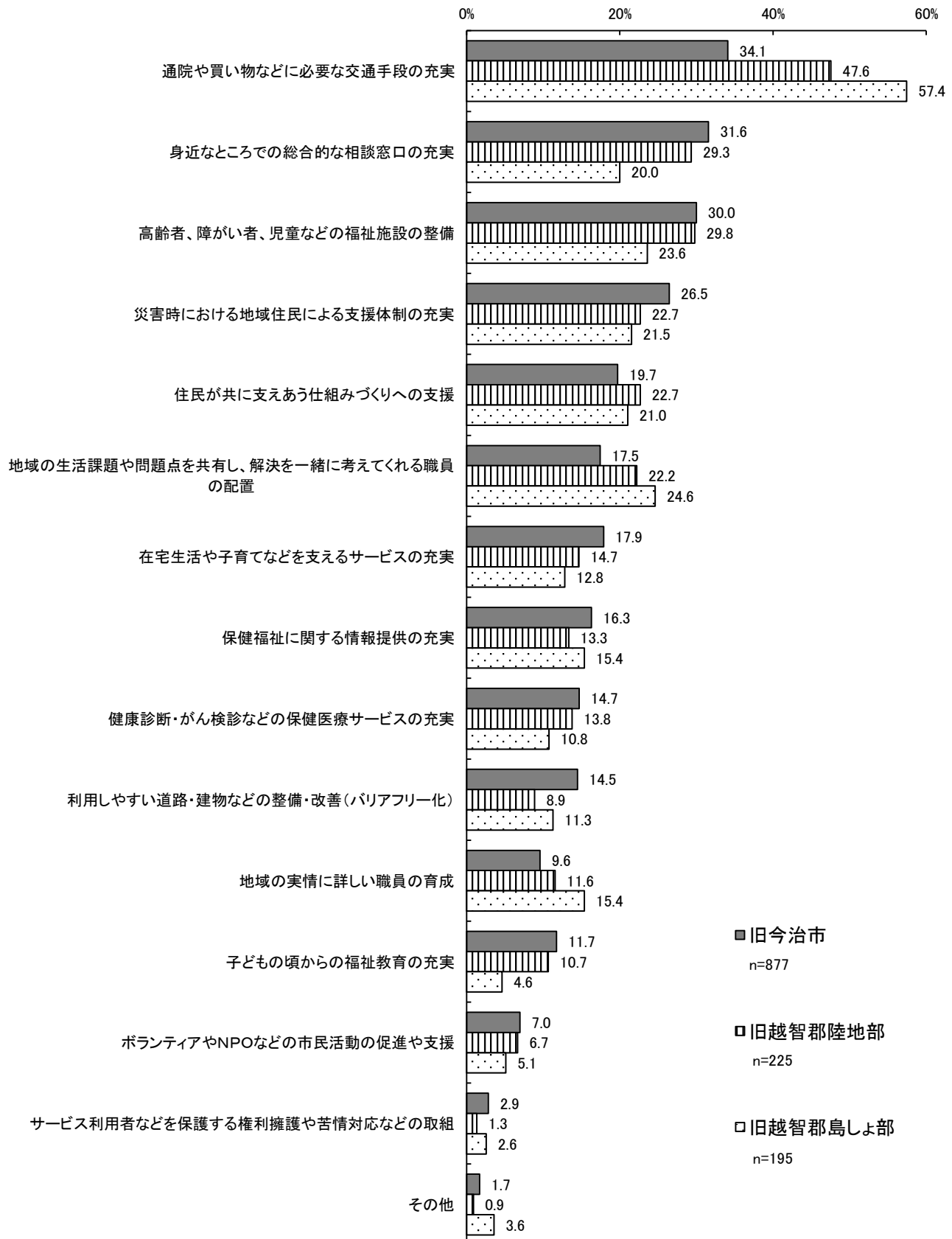
今治市が優先して取り組むべき施策について聞くと、「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」と回答した者が39.8%と最も多く、次いで、「身近なところでの総合的な相談窓口の充実」(29.2%)、「高齢者、障がい者、児童などの福祉施設の整備」(29.1%)、「災害時における地域住民による支援体制の充実」(24.7%)の順となっています。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」と回答した者が最も多く、旧越智郡島しょ部と旧今治市では 23.3 ポイント差があります。

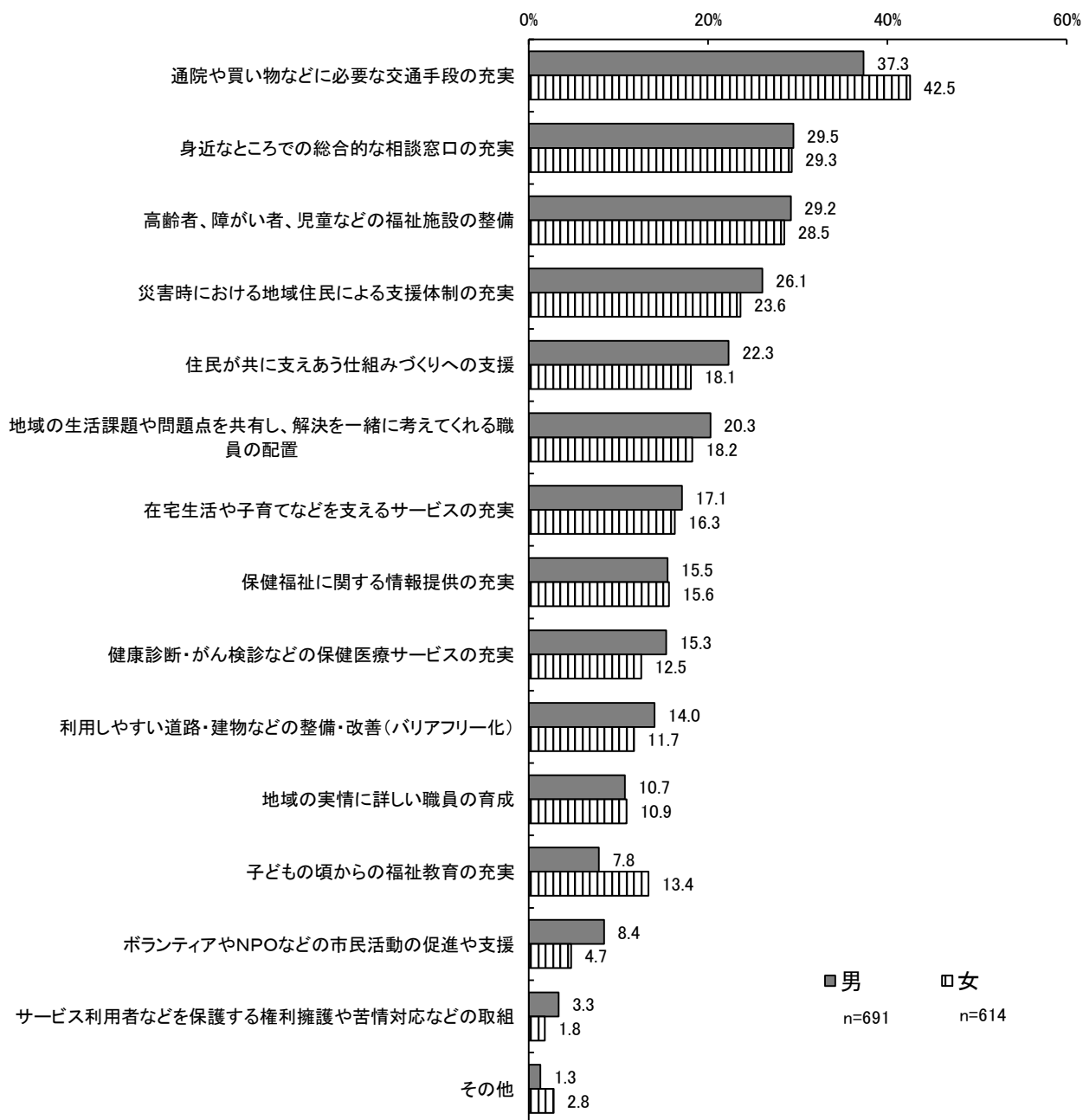
「身近なところでの総合的な相談窓口の充実」と回答した者は、旧今治市（31.6%）が旧越智郡島しょ部（20.0%）よりも 11.6 ポイント多くなっています。



【性別】

性別にみると、男女ともに、「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」と回答した者が最も多く、女性（42.5%）の方が男性（37.3%）よりも 5.2 ポイント多くなっています。

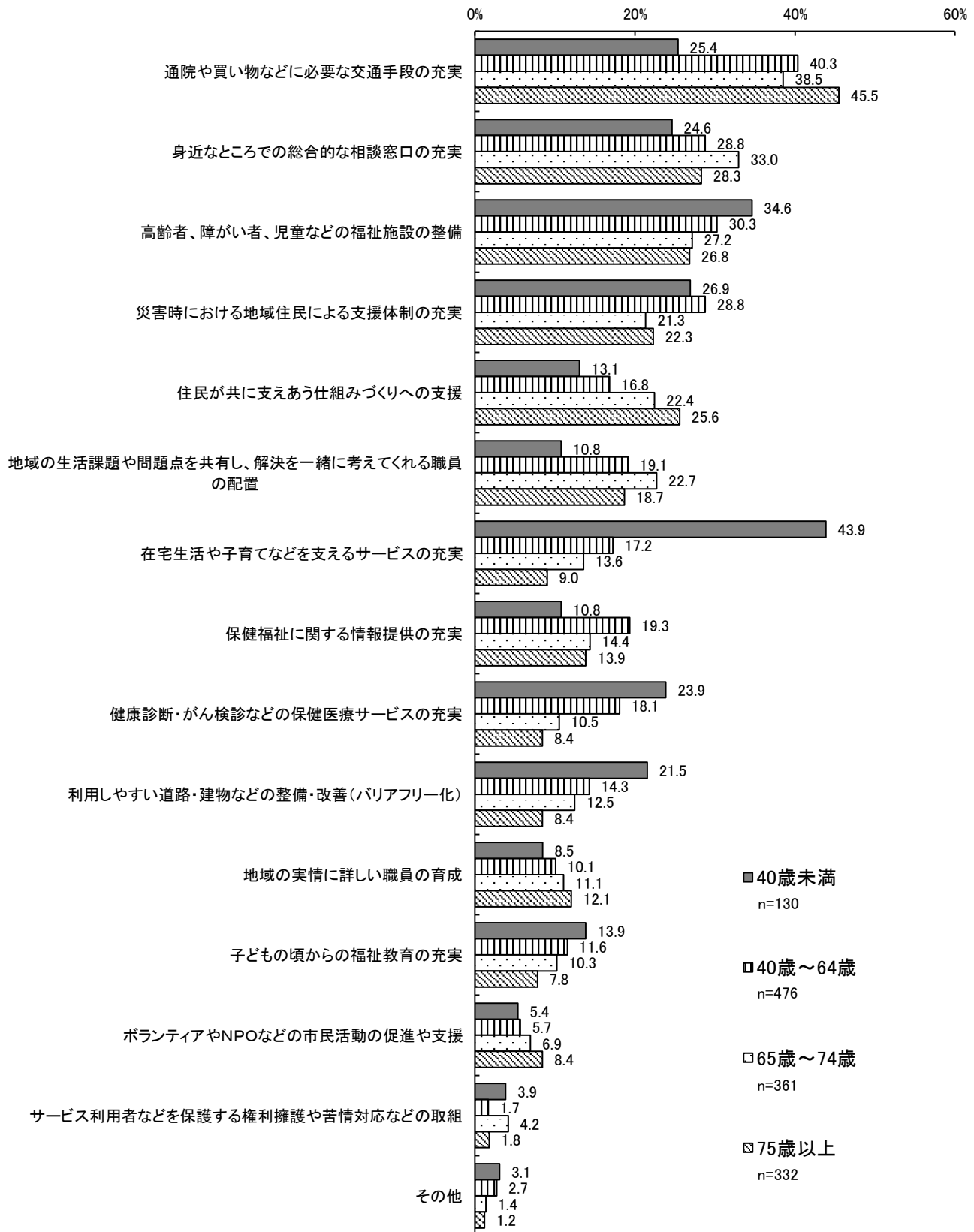
男女差が最も多いものは「子どもの頃からの福祉教育の充実」で、女性（13.4%）の方が男性（7.8%）より 5.6 ポイント多くなっています。



【年齢】

年齢別にみると、40歳未満では「在宅生活や子育てなどを支えるサービスの充実」が最も多く、その他の年齢層では「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」が最も多くなっています。

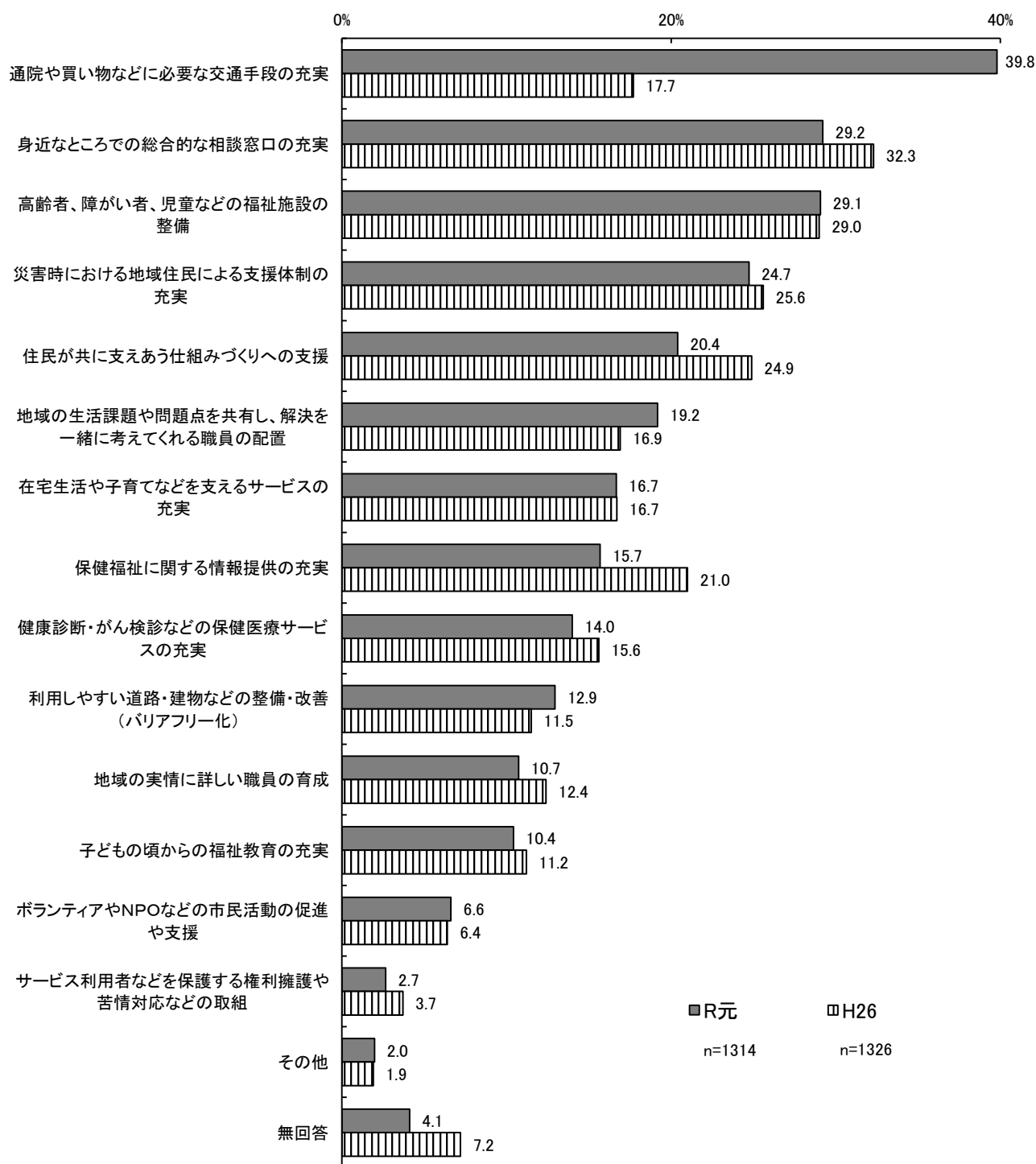
「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」と回答した者は、75歳以上と40歳未満では20.1ポイント差があります。一方、「在宅生活や子育てなどを支えるサービスの充実」と回答した者は、40歳未満と75歳以上では34.9ポイント差があります。



【経年変化】

経年変化をみると、「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」と回答した者が、前回調査より 22.1 ポイント増加しています。

一方で、「身近なところでの総合的な相談窓口の充実」と回答した者が、前回調査より 3.1 ポイント、「住民が共に支えあう仕組みづくりへの支援」と回答した者が、前回調査より 4.5 ポイント、「保健福祉に関する情報提供の充実」と回答した者が、前回調査より 5.3 ポイント減少しています。



問 20 地域福祉を進めるためのご意見、ご要望がございましたらご記入ください。

■日常生活に関すること	(40 件)
■高齢者に関すること	(14 件)
■子育て・教育に関すること	(11 件)
■地域に関すること	(22 件)
■行政に対する要望	(66 件)
■災害・防犯に関すること	(5 件)
■福祉の現場に関すること	(5 件)
■障がい者などに関すること	(11 件)
■福祉サービスに関すること	(14 件)
■その他	(27 件)

※資料編参照